

「いきいき安心プランⅤまつど」
(第7期高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画)
策定にかかる市民アンケート調査 報告書

平成27年3月

松戸市

－ 目次 －

【 1/2 】

序章	調査の概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査の構成・改修の状況	3
3.	報告書の見方	3
第1章	若年者調査	5
1.	ご自身や家族の状況について	7
2.	身体状態や日常の生活状況について	12
3.	生きがいやこころのハリについて	38
4.	介護保険制度について	50
5.	介護保険制度以外のサービスについて	58
6.	今後の生活について	62
7.	介護者としての状況について	74
8.	まとめと考察	94
第2章	一般高齢者調査	97
1.	ご自身や家族の状況について	99
2.	身体状態や日常の生活状況について	107
3.	生きがいやこころのハリについて	191
4.	介護保険や権利擁護の制度について	201
5.	今後の生活について	211
6.	介護保険制度以外のサービスについて	223
7.	介護者としての状況について	227
8.	まとめと考察	242

【 2/2 】

第3章	在宅介護保険認定者調査	245
1.	ご自身や家族の状況について	247
2.	身体状態や日常の生活状況について	256
3.	生きがいやこころのハリについて	319
4.	介護保険サービスについて	328
5.	介護保険や権利擁護の制度について	337
6.	今後の生活について	344
7.	介護保険制度以外のサービスについて	353
8.	介護者としての状況について	357
9.	まとめと考察	367
第4章	介護保険施設利用者調査	369
1.	ご自身や家族の状況について	371
2.	施設の利用状況について	374
3.	日常の生活状況等について	382
4.	権利擁護について	385
5.	今後の生活について	386
6.	まとめと考察	388

－ 目次 －

第5章	調査間の比較	389
1.	身体状態や日常の生活状況について	391
2.	生きがいやこころのハリについて	393
3.	介護保険や権利擁護の制度について	395
4.	介護者として	399
5.	被介護者として	403
6.	まとめと考察	405
第6章	日常生活圏域ニーズ調査	407
I.	調査結果の概観	409
1.	機能	409
2.	日常生活	411
3.	健康・疾病	412
II.	評価項目別の結果	414
1.	機能	414
2.	日常生活	440
3.	社会活動	448
III.	健康・疾病	454
1.	疾病	454
2.	主観的健康感	463
IV.	介護	469
1.	既往症	469
2.	介助・介護の状況	472
資料	自由意見・調査票	475
自由意見		
1.	若年者調査	477
2.	一般高齢者調査	481
3.	在宅介護保険認定者調査	484
4.	介護保険施設利用者調査	488
調査票		
1.	若年者調査	490
2.	一般高齢者調査	495
3.	在宅介護保険認定者調査	501
4.	介護保険施設利用者調査	507

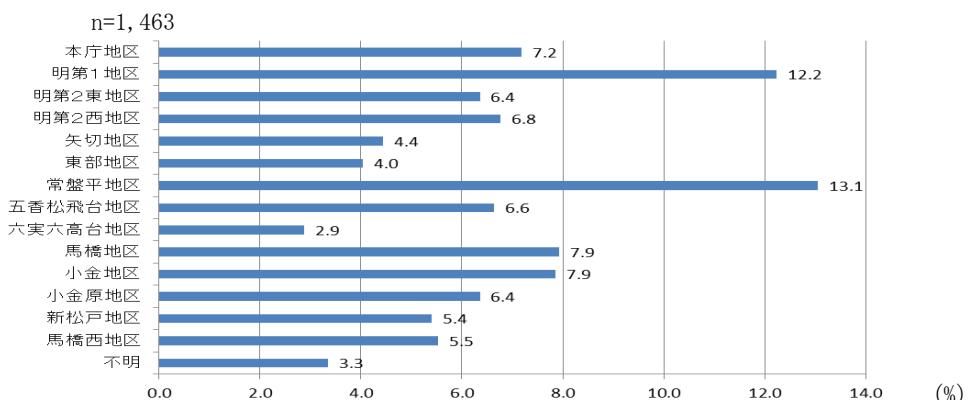
第1章 若年者調査

1. ご自身や家族の状況について

(1) 地域

F1. はじめにお住まいの地域を教えて下さい。(1つに○)

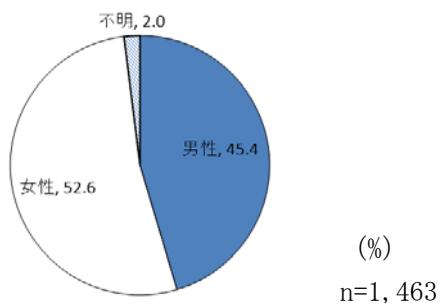
「常盤平地区」が13.1%で最も高く、次いで「明第1地区」が12.2%となっている。



(2) 性別

F2. あなたの性別についてお伺いします。(どちらかに○)

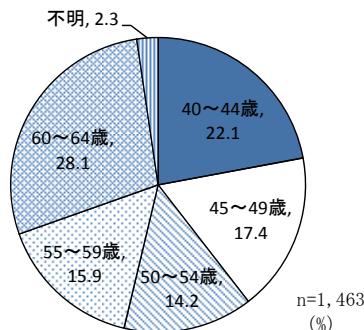
「男性」が45.4%、「女性」が52.6%である。



(3) 年齢

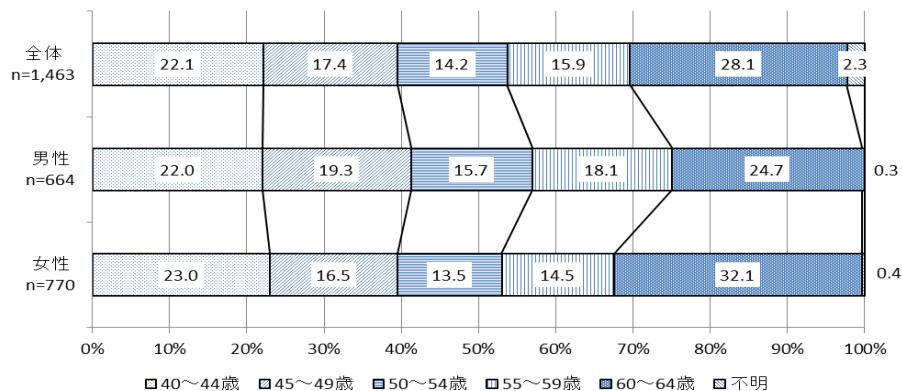
F3. あなたの現在の満年齢をご記入ください。(平成26年1月17日現在)

「60~64歳」が28.1%で最も高く、次いで「40~44歳」が22.1%となっている。



[性別]

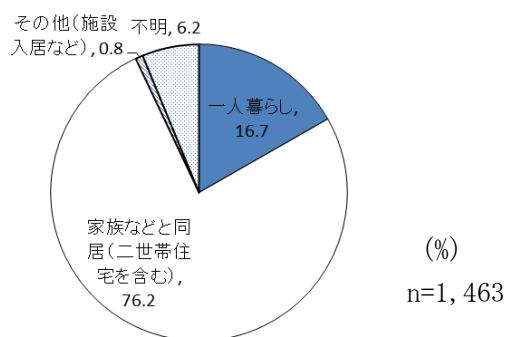
「60～64歳」が男性（24.7%）、女性（32.1%）でともに高くなっている。



(4) 家族構成

F4. あなたの家族構成についてお伺いします。(1つに○)

「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が76.2%を占め、「一人暮らし」が16.7%、「その他（施設入居など）」が0.8%となっている。

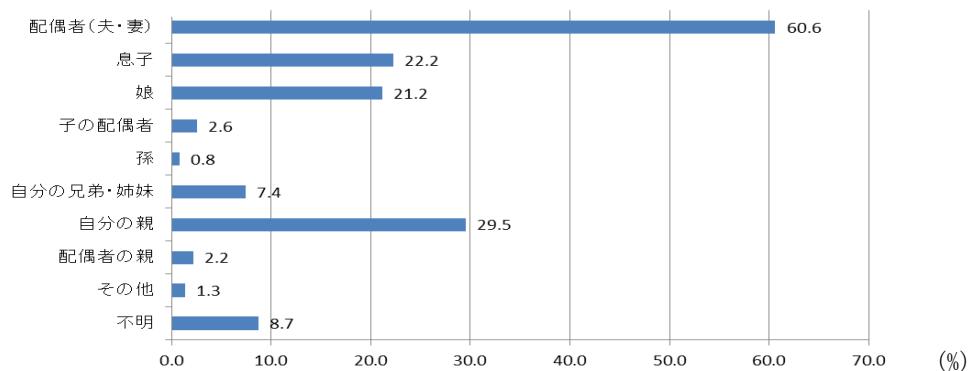


(5) 同居家族

F4-1. あなたと同居されている方についてお伺いします。(あてはまる全てに○)

「配偶者（夫・妻）」が60.6%を占め、次いで、「自分の親」が29.5%、「息子」が22.2%、「娘」が21.2%などとなっている。

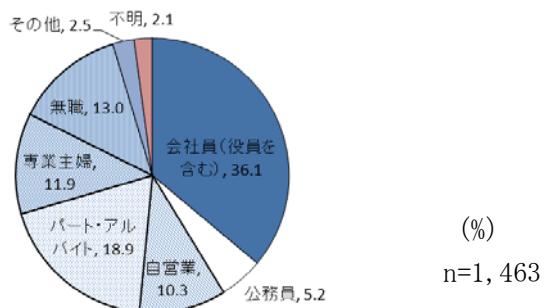
n=1,463 (複数回答)



(6) 職業

F5. あなたの職業についてお伺いします。(1つに○)

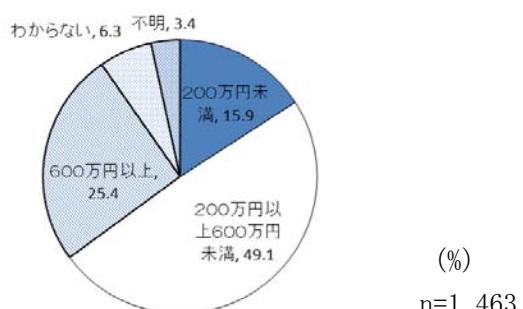
「会社員（役員を含む）」が36.1%で最も高く、以下、「パート・アルバイト」が18.9%、「無職」が13.0%となっている。



(7) 所得

F6. あなたの世帯全体の所得（年金を含む手取り）は以下のどれに該当しますか。(1つに○)

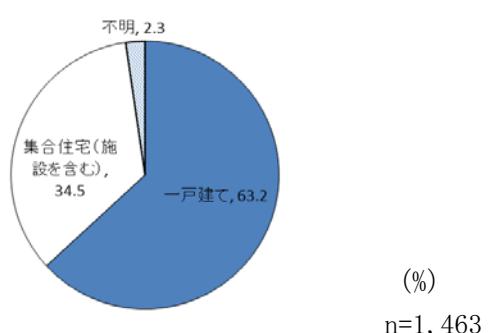
「200万円以上600万円未満」が49.1%で最も高く、以下、「600万円以上」が25.4%、「200万円未満」が15.9%となっている。



(8) 住まいの形態

F7. あなたのお住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(どちらかに○)

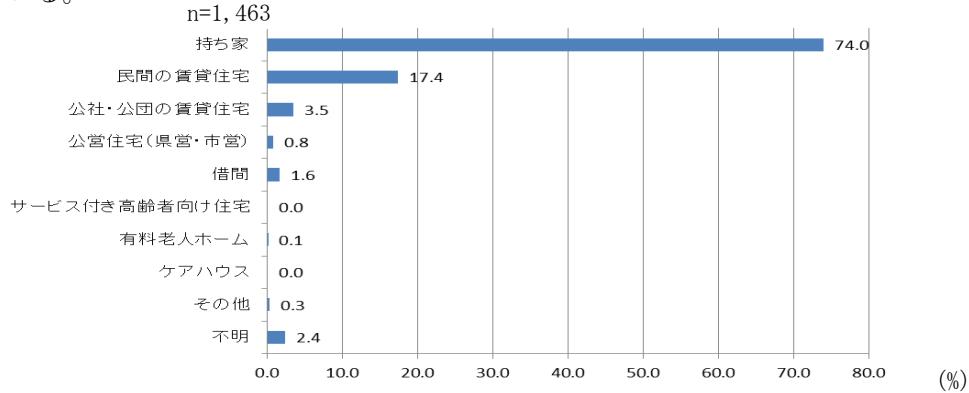
「一戸建て」が63.2%、「集合住宅」が34.5%となっている。



(9) 住まいの所有形態

F8. あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

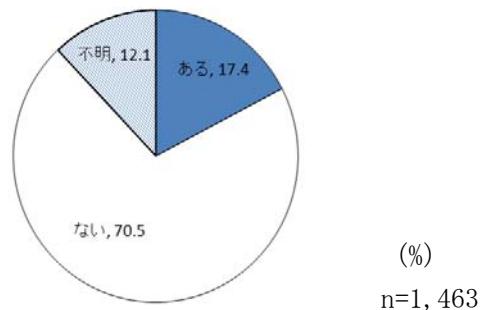
「持家」が74.0%で最も高く、以下、「民間賃貸住宅」が17.4%、「公社・公団の賃貸住宅」が3.5%などとなっている。



(10) エレベーター

F9. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか。(どちらかに○)

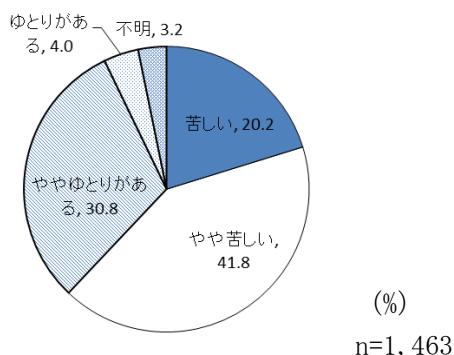
「ある」が17.4%、「ない」が70.5%となっている。



(11) 現在の経済的な暮らしの状況

F10. あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

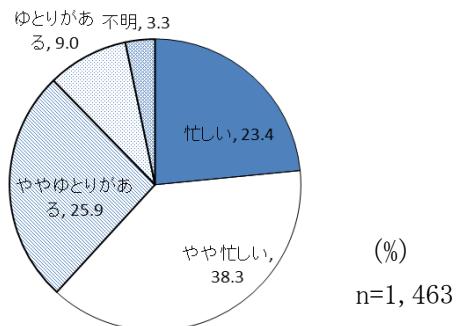
「苦しい」(20.2%)と「やや苦しい」(41.8%)を合わせた『苦しい』が62.0%、「ややゆとりがある」(30.8%)と「ゆとりがある」(4.0%)を合わせた『ゆとりがある』が34.8%となっている。



(12) 現在の時間的な暮らしの状況

F11. あなたは、現在の暮らしの状況を時間的にみてどう感じていますか。(1つに○)

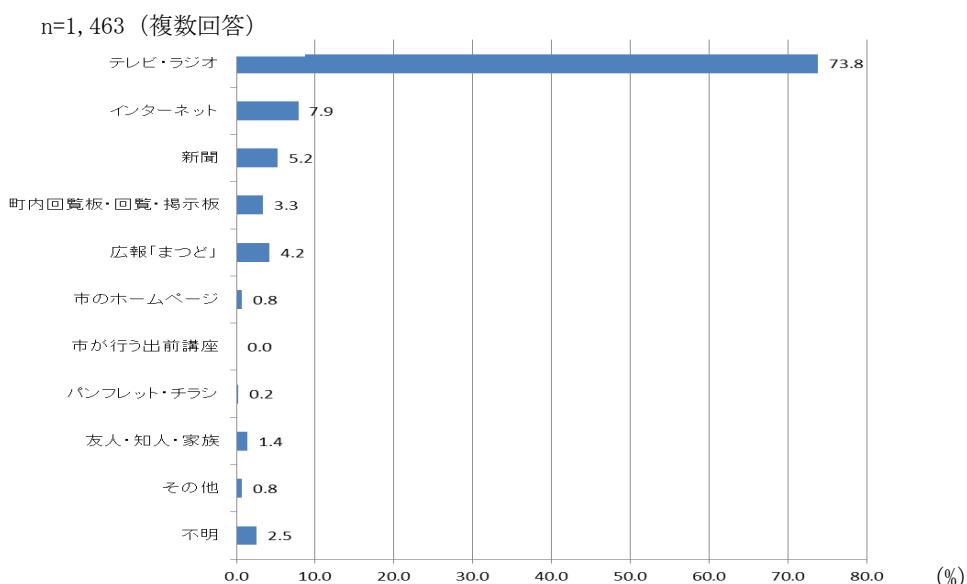
「忙しい」(23.4%)と「やや忙しい」(38.3%)を合わせた『忙しい』が61.7%、「ややゆとりがある」(25.9%)と「ゆとりがある」(9.0%)を合わせた『ゆとりがある』が34.9%となっている。



(13) 情報入手

F12. あなたは普段から社会保障や行政などの情報を何によって入手していますか。(あてはまる全てに○)

「テレビ・ラジオ」が73.8%と突出して高く、以下、「インターネット」が7.9%、「新聞」が5.2%、「広報まつど」が4.2%、「町内回覧板・回覧・掲示板」が3.3%などとなっている。

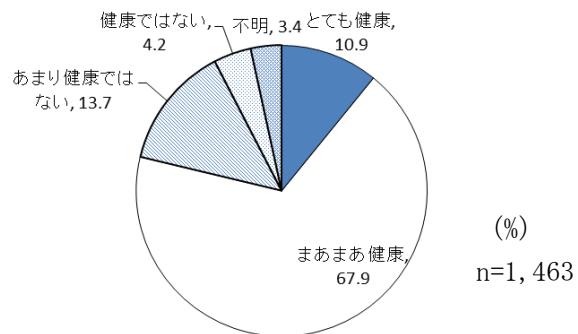


2. 身体状態や日常の生活状況について

(1) 現在の健康状態

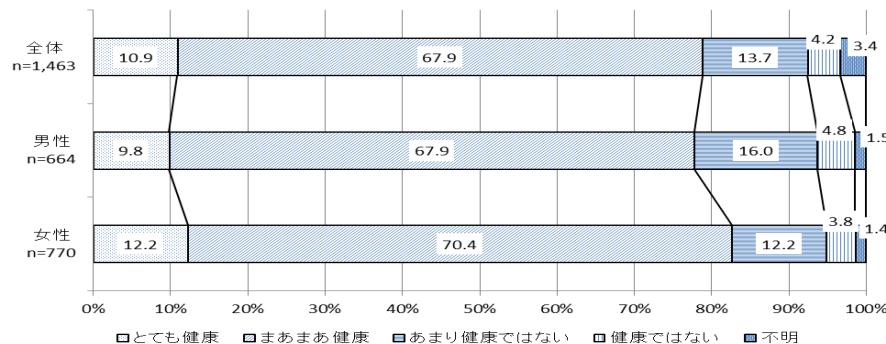
Q1. あなたは、普段から健康だと思いますか。(1つに○)

「とても健康」(10.9%) と「まあまあ健康」(67.9%) を合わせた『健康』が78.8%、「あまり健康ではない」(13.7%) と「健康ではない」(4.2%) を合わせた『健康ではない』が17.9%となっている。



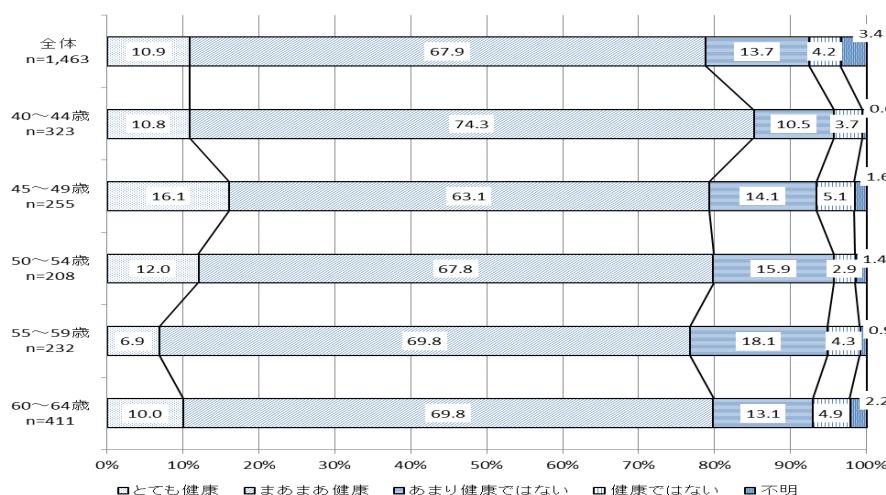
[性別]

『健康』は女性 (82.6%) が男性 (77.7%) より4.9ポイント高くなっている。



[年齢]

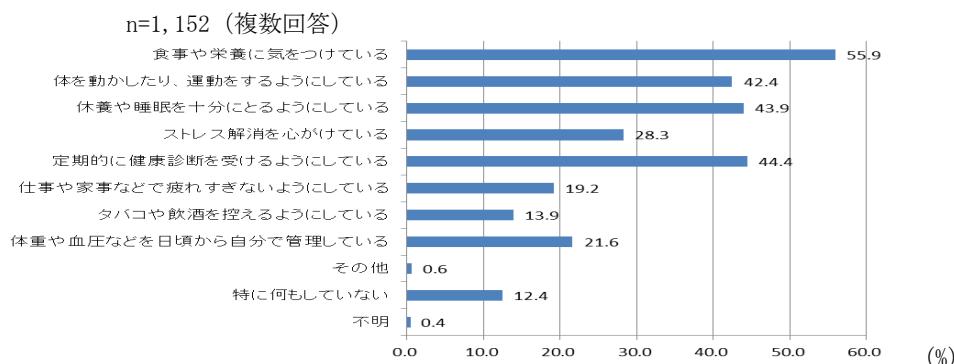
「55～59歳」の「あまり健康ではない」(18.1%) と「健康ではない」(4.3%) を合わせた『健康ではない』が22.4%と高くなっている。



(2) 健康維持

Q1-1. あなたは、日常的に健康維持のために特に気をつけていることはありますか。(あてはまる全てに○)

「食事や栄養に気をつけている」が55.9%で最も高く、以下、「定期的に健康診断を受けるようにしている」が44.4%、「体を動かしたり、運動をするようにしている」が42.4%などとなっている。



[性別]

女性の方が気をつけている割合が多い項目が多いが、「体を動かしたり、運動をするようにしている」と「タバコや飲酒を控えるようにしている」は男性の方が高くなっている。

	(回答 複数 回答 数 人 数 人)	つ 食 事 て や い 栄 養 に 気 を	し 運 体 て 動 を い を 動 る す か る し よ た り に に 、	い に 休 と 養 る や よ 睡 う 眠 に を し 十 て 分	が ス ト レ い ス 解 消 を 心	て を 定 い 受 期 る け の に 健 康 に 診 し 断	に 疲 仕 し れ 事 す や い ぎ 家 な 事 い な よ ど う で	る え タ バ よ う や に 飲 酒 し を い 控	理 日 体 し 頃 重 て か や ら 血 自 圧 分 な で 管 を	そ の 他	い 特 に 何 も し て い な	不 明
全体	1,152	55.9	42.4	43.9	28.3	44.4	19.2	13.9	21.6	0.6	12.4	0.4
男性	516	51.2	45.3	42.1	26.9	40.7	16.1	17.1	21.5	0.8	14.0	0.4
女性	636	59.7	40.1	45.4	29.4	47.5	21.7	11.3	21.7	0.5	11.2	0.5

[年齢]

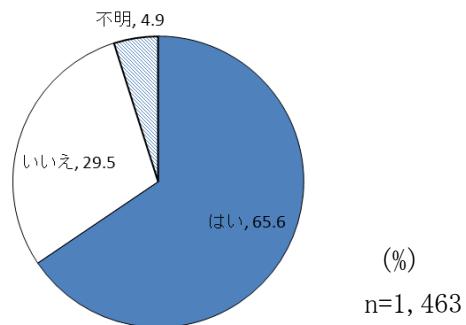
他の年代と比べ、60~64歳は「体重や血圧などを日ごろから自分で管理している」(36.6%) が高くなっている。

	(回答 複数 回答 数 人 数 人)	を 食 事 け や い 栄 養 に 気 を	よ り 体 う 、 を に 運 動 か て を し い す た る	し 分 休 て に 養 い と や る 睡 よ 眠 う を に 十 て	心 ス ト レ い ス 解 消 を 心	に 断 定 し を 期 て 受 的 に い け の に 健 康 に 診 し 断	よ う 疲 仕 し れ 事 す や い ぎ 家 な 事 い な よ ど う で	て 控 タ バ よ う や に 飲 酒 し を	で を 体 管 日 重 頃 や ら 血 自 圧 分 な で 管 を	そ の 他	い 特 に 何 も し て い	不 明
全体	1,152	55.9	42.4	43.9	28.3	44.4	19.2	13.9	21.6	0.6	12.4	0.4
40~44歳	275	52.4	30.2	42.2	24.7	34.9	17.5	13.1	9.8	0.7	16.0	0.7
45~49歳	202	53.5	38.1	46.5	33.7	44.1	16.3	16.3	15.3	1.0	13.9	1.0
50~54歳	166	48.2	33.1	35.5	22.3	50.0	19.3	13.9	21.1	0.0	15.7	0.0
55~59歳	178	56.2	44.9	39.9	29.2	44.4	18.0	11.2	20.2	0.6	10.1	0.0
60~64歳	328	63.7	58.8	50.6	30.5	50.0	23.2	14.3	36.6	0.6	8.2	0.3

(3) 健康診査

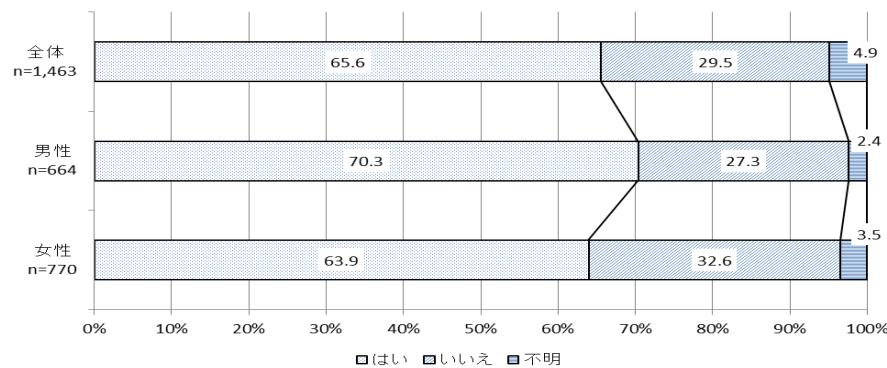
Q2. あなたは、毎年健康診査を受けていますか。(どちらかに○)

「はい」が65.6%、「いいえ」が29.5%となっている。



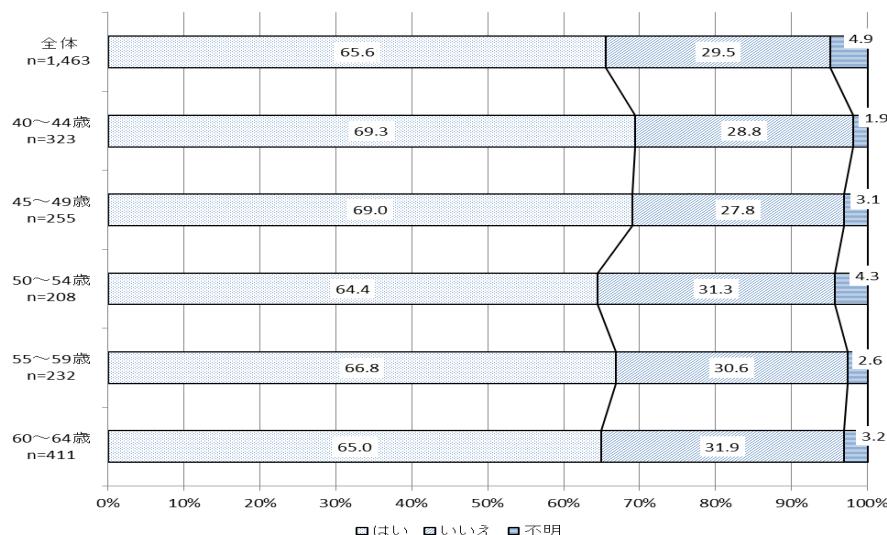
[性別]

「はい」は男性（70.3%）が女性（63.9%）より6.4ポイント高くなっている。



[年齢]

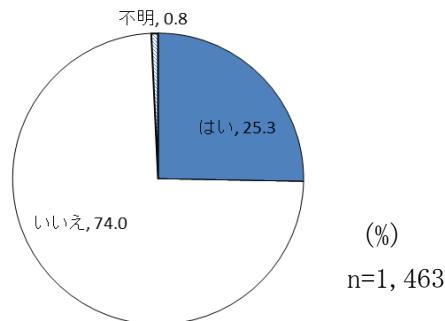
「はい」は40～44歳（69.3%）で高くなっている。一方、「いいえ」は60～64歳（31.9%）で他の年代と比べ、高くなっている。



(4) 歯科健康診査

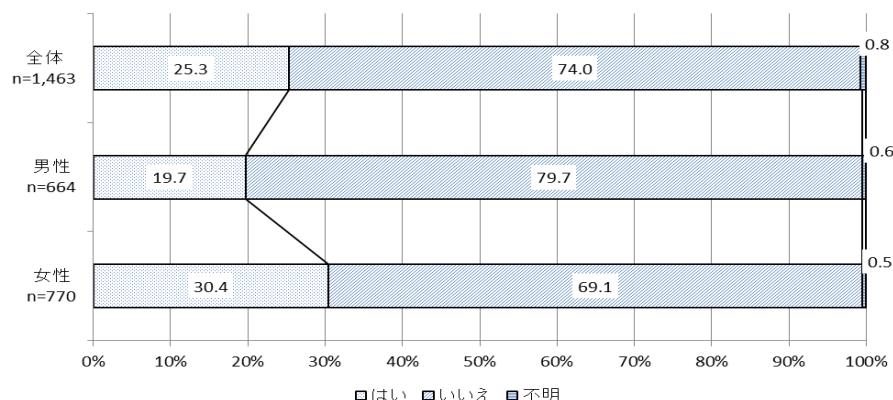
Q3. あなたは、毎年歯科健康診査を受けていますか。(どちらかに○)

「いいえ」が74.0%、「はい」が25.3%となっている。



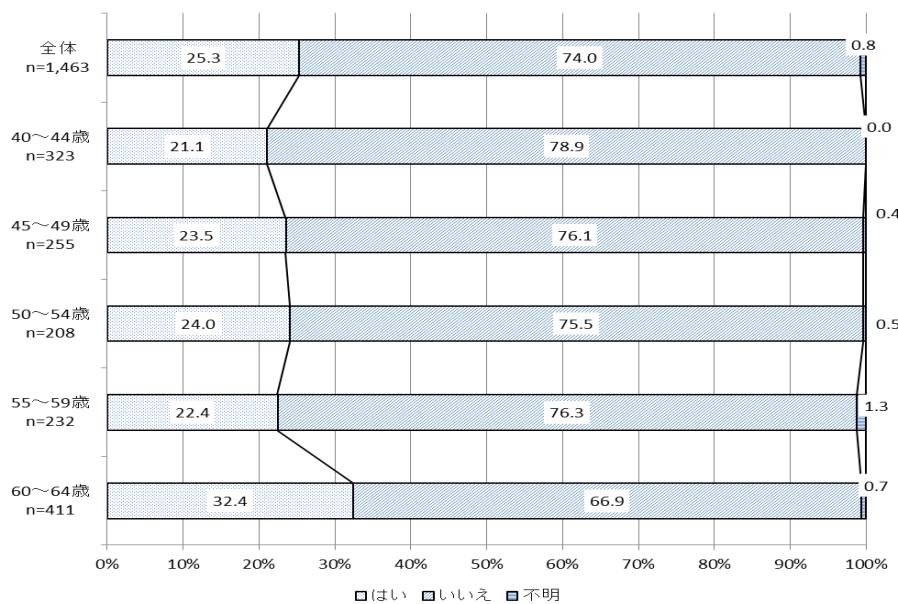
[性別]

「はい」は女性（30.4%）が男性（19.7%）より10.7ポイント高くなっている。



[年齢]

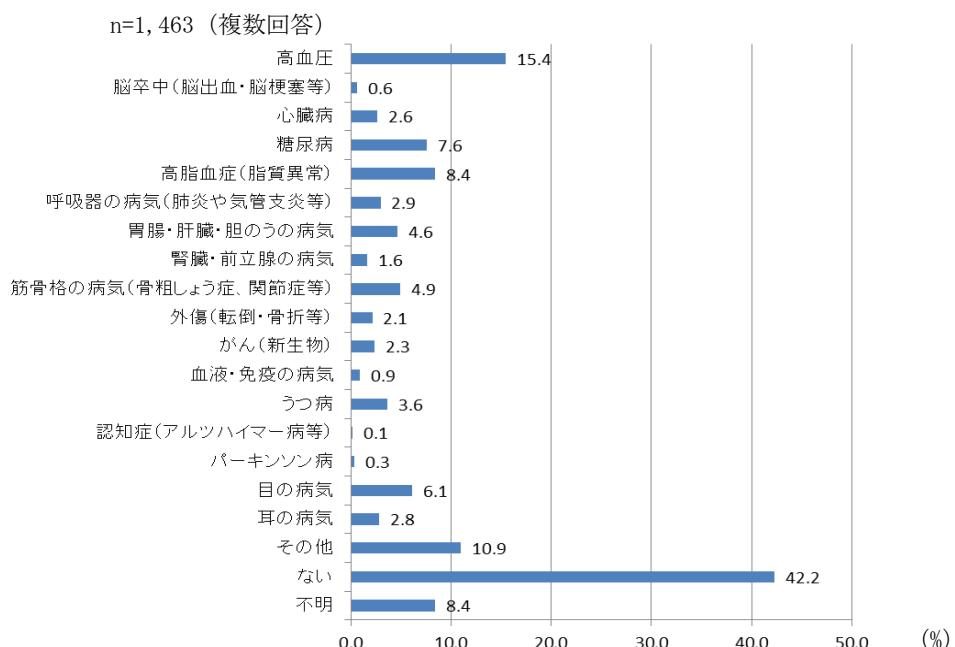
60～64歳の「はい」（32.4%）が他の年代と比べ、高くなっている。



(5) 治療中または後遺症のある病気ケガ

Q4. あなたは、現在治療中、または後遺症のある病気やケガはありますか。（あてはまる全てに○）

「ない」が42.2%で最も高いが、治療中などのは「高血圧」が15.4%、「高脂血症（脂質異常）」が8.4%、「糖尿病」が7.6%、「目の病気」が6.1%となっている。



[性別]

「高血圧」は男性(18.8%)が女性(12.7%)より6.1ポイント高く、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は女性(7.0%)が男性(2.6%)より4.4ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	等呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	不明
全体	1,463	15.4	0.6	2.6	7.6	8.4	2.9	4.6	1.6	4.9	2.1	2.3	0.9	3.6	0.1	0.3	6.1	2.8	10.9	42.2	8.4
男性	664	18.8	1.4	3.6	9.8	8.7	2.6	4.4	2.9	2.6	2.7	1.5	0.9	3.6	0.2	0.6	5.3	2.1	8.6	42.3	7.1
女性	770	12.7	0.0	1.8	5.7	8.1	3.4	5.1	0.6	7.0	1.7	3.0	0.9	3.8	0.1	0.1	6.8	3.1	12.7	42.2	9.2

[年齢]

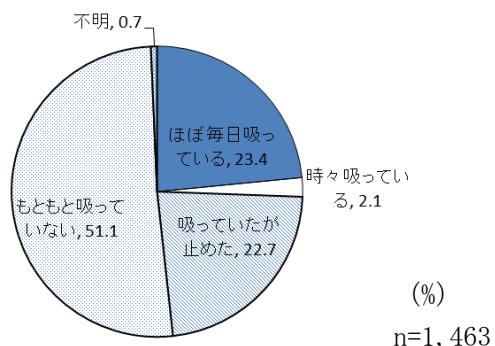
45～49歳の「うつ病」6.3%、60～64歳の「高血圧」25.8%が他の年代と比べ、高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回)	高血圧	等(卒中 (脳出血 ・脳梗塞))	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	うつ病、筋骨格の病気 (関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	病認知症 (アルツハイマー)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	不明
全体	1,463	15.4	0.6	2.6	7.6	8.4	2.9	4.6	1.6	4.9	2.1	2.3	0.9	3.6	0.1	0.3	6.1	2.8	10.9	42.2	8.4
40～44歳	323	4.6	0.0	0.9	3.1	2.5	3.4	3.7	0.9	1.5	1.9	0.6	0.3	4.0	0.3	0.0	2.5	1.2	11.5	58.5	8.7
45～49歳	255	5.9	0.0	2.0	4.7	7.1	2.0	5.1	2.0	3.5	2.4	1.6	0.4	6.3	0.0	0.8	3.1	3.5	11.8	53.7	5.9
50～54歳	208	17.8	0.5	2.4	6.7	7.2	1.4	4.3	2.4	3.4	1.0	2.9	1.0	2.9	0.0	1.0	6.3	1.9	15.4	40.4	7.7
55～59歳	232	21.1	1.3	3.0	9.5	11.2	4.3	6.0	0.9	4.7	2.6	2.6	1.7	2.6	0.4	0.0	6.0	3.9	10.3	34.5	8.2
60～64歳	411	25.8	1.2	4.4	12.4	12.7	3.4	4.9	2.2	9.5	2.4	3.6	1.2	2.9	0.0	0.2	10.7	2.9	7.8	28.0	9.2

(6) タバコ

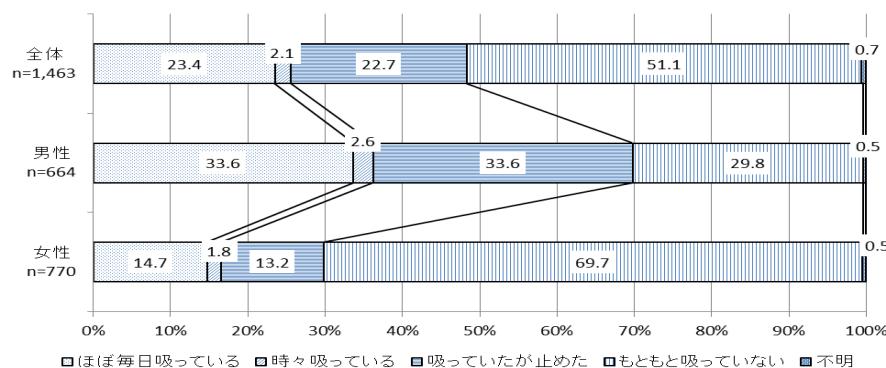
Q5. あなたは、タバコを吸っていますか。(1つに○)

「もともと吸っていない」が51.1%で最も高く、以下、「ほぼ毎日吸っている」が23.4%、「吸っていたが止めた」が22.7%、「時々吸っている」が2.1%となっている。



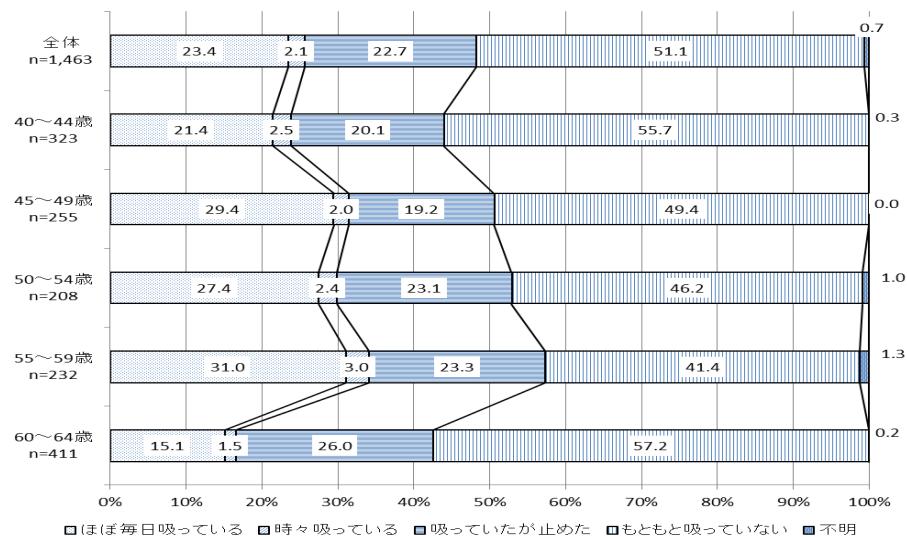
[性別]

男性は「ほぼ毎日吸っている」と「吸っていたが止めた」がともに33.6%、女性は「もともと吸っていない」の69.7%が最も高くなっている。



[年齢]

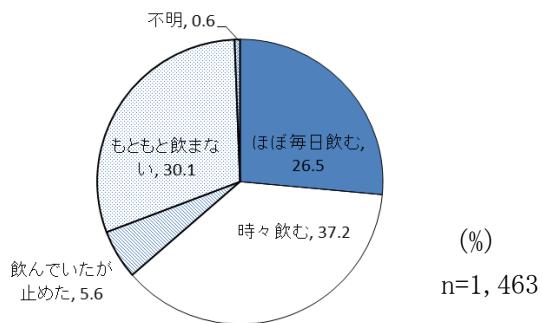
55～59歳の「ほぼ毎日吸っている」(31.0%)と「時々吸っている」(3.0%)を合わせた『吸っている』が34.0%で他の年代と比べ、高くなっている。



(7) 酒

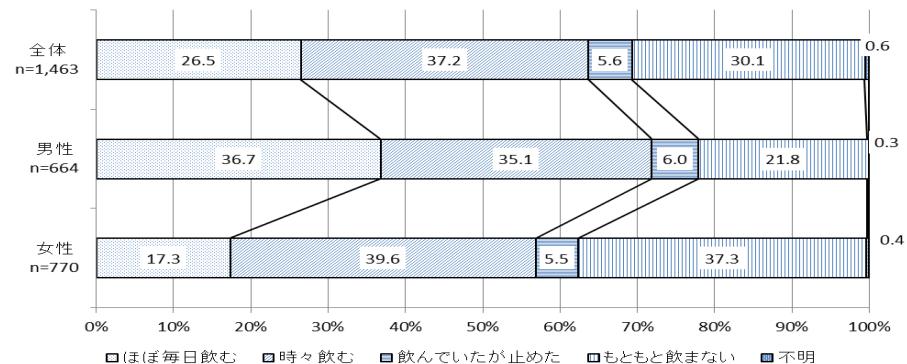
Q6. あなたは、お酒を飲みますか。(1つに○)

「ほぼ毎日飲む」(26.5%)と「時々飲む」(37.2%)を合わせた『飲む』が63.7%、「飲んでいたが止めた」(5.6%)と「もともと飲まない」(30.1%)を合わせた『飲まない』が35.7%となっている。



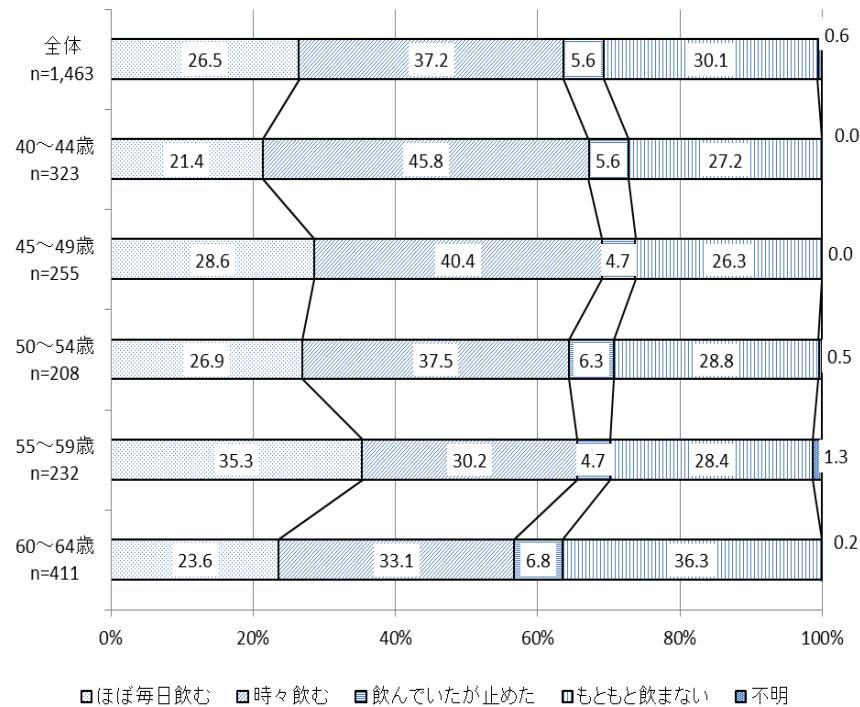
[性別]

『飲む』は男性(71.8%)が女性(56.9%)より14.9ポイント高くなっている。



[年齢]

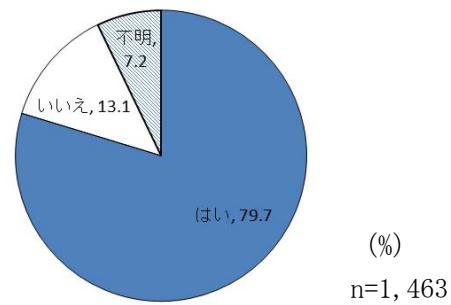
他の年代に比べ、55～59歳は『ほぼ毎日飲む』（35.3%）が特に高くなっている。



(8) 家族や友人・知人などに相談しているか

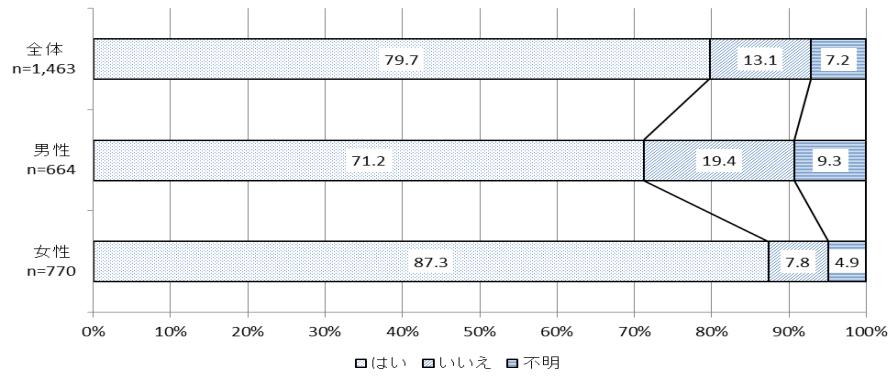
Q7. あなたは、何かあったときに、家族や友人などに相談していますか。（どちらかに○）

「はい」が79.7%、「いいえ」が13.1%となっている。



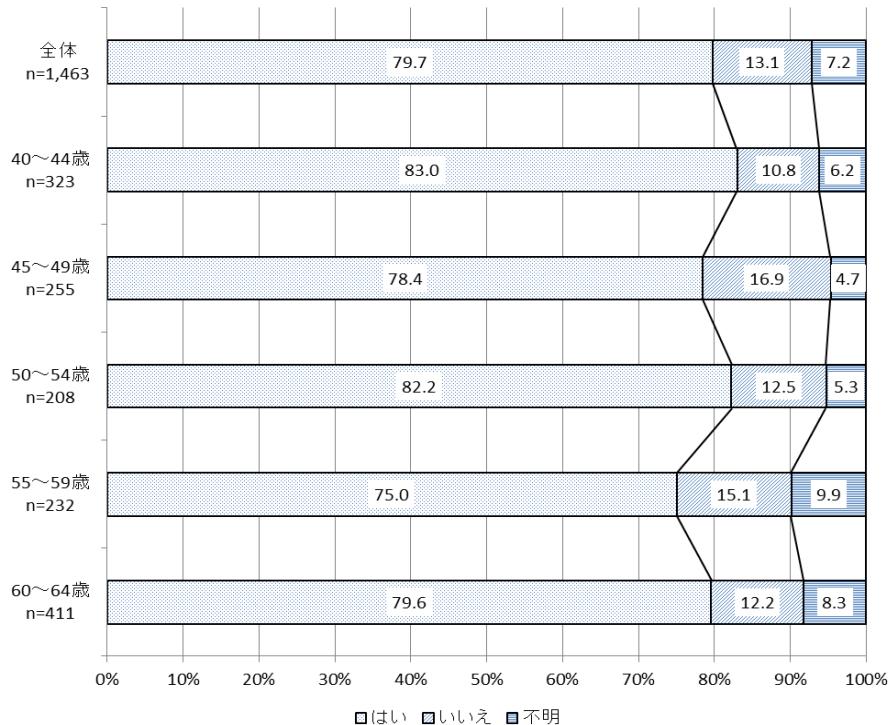
[性別]

「はい」は女性（87.3%）が男性（71.2%）より16.1ポイント高くなっている。



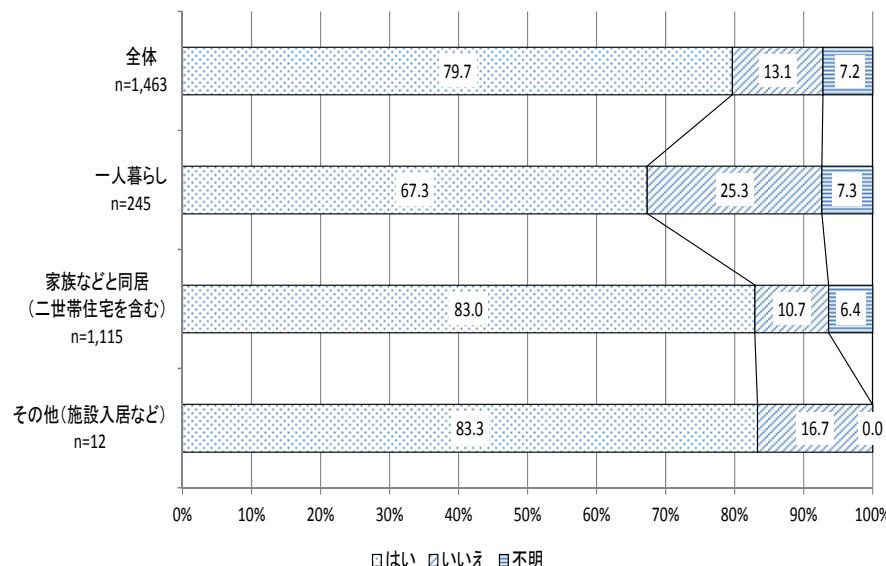
[年齢]

「はい」は40～44歳（83.0%）が最も高くなっている。



[世帯構成]

「はい」はその他（施設入居など）（83.3%）が、「いいえ」は一人暮らし（25.3%）が高くなっている。

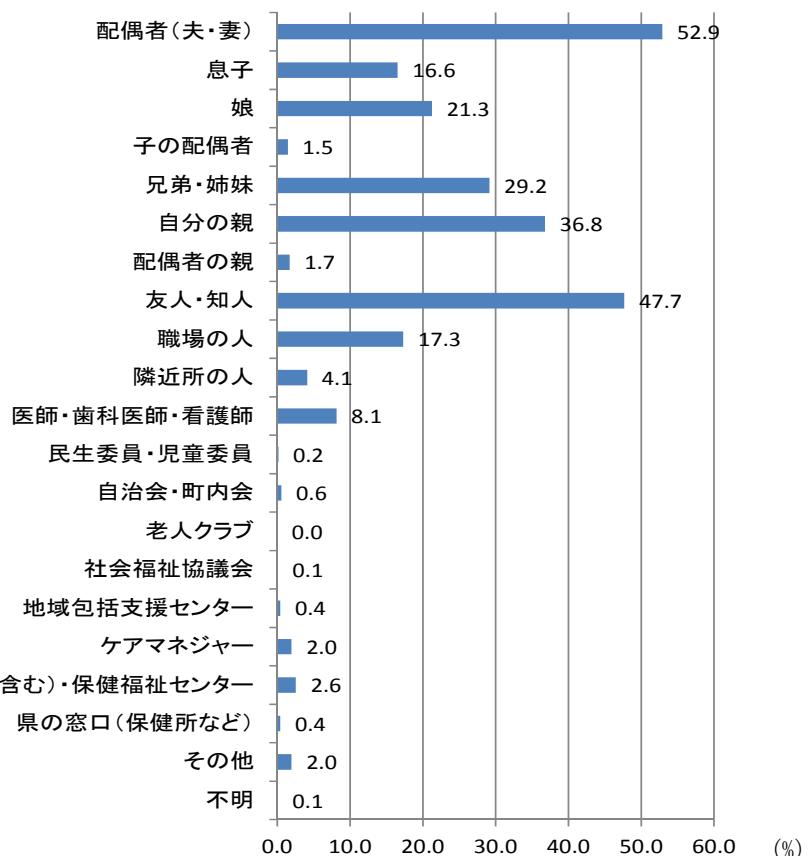


(9) 相談相手

Q7-1. あなたが相談する相手の方を教えてください。(あてはまる全てに○)

「配偶者（夫・妻）」が52.9%で最も高く、以下、「友人・知人」が47.7%、「自分の親」が36.8%、「兄弟・姉妹」が29.2%、「娘」が21.3%などとなっている。

n=1,463 (複数回答)



[性別]

男性は「配偶者」(61.9%)が、女性は「友人・知人」(57.6%)が最も高くなっている。

	回答者数 (人) (複数)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	兄弟・姉妹	自分の親	配偶者の親	友人・知人	職場の人	隣近所の人	医師・歯科医師・看護師	民生委員・児童委員	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー	市役所(支所含む)・保健福祉センター	県の窓口(保健所など)	その他	不明
全体	1,166	52.9	16.6	21.3	1.5	29.2	36.8	1.7	47.7	17.3	4.1	8.1	0.2	0.6	0.0	0.1	0.4	2.0	2.6	0.4	2.0	0.1
40~44歳	268	53.4	4.1	4.9	0.0	25.4	69.8	3.4	55.2	23.1	2.6	4.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9	1.5	0.4	1.1	0.0
45~49歳	200	48.5	11.0	11.0	0.5	30.0	52.5	2.0	50.5	26.0	2.5	10.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	2.0	1.0	2.0	0.0
50~54歳	171	45.0	10.5	17.0	0.6	26.9	38.6	1.2	52.0	20.5	5.3	9.9	0.0	0.6	0.0	0.6	1.2	4.1	5.3	1.2	4.1	0.0
55~59歳	174	51.1	20.1	27.6	2.9	29.3	22.4	2.3	46.6	16.1	4.6	6.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	0.0	1.7	0.0
60~64歳	327	59.3	31.5	39.1	2.8	33.6	6.7	0.0	38.5	6.1	5.2	10.7	0.3	0.6	0.0	0.0	0.6	1.2	3.4	0.0	1.8	0.3

[年齢]

40~49歳までは「自分の親」、50~54歳までは「友人・知人」、55歳以上になると「配偶者（夫・妻）」が最も高くなっている。

	回答者数 ～人～ (複数)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	兄弟・姉妹	自分の親	配偶者の親	友人・知人	職場の人	隣近所の人	師医師・歯科医師・看護師	民生委員・児童委員	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー	保健所(支所含む)	県の窓口(保健所など)	その他	不明
全体	1,166	52.9	16.6	21.3	1.5	29.2	36.8	1.7	47.7	17.3	4.1	8.1	0.2	0.6	0.0	0.1	0.4	2.0	2.6	0.4	2.0	0.1
40~44歳	268	53.4	4.1	4.9	0.0	25.4	69.8	3.4	55.2	23.1	2.6	4.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9	1.5	0.4	1.1	0.0
45~49歳	200	48.5	11.0	11.0	0.5	30.0	52.5	2.0	50.5	26.0	2.5	10.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	2.0	1.0	2.0	0.0
50~54歳	171	45.0	10.5	17.0	0.6	26.9	38.6	1.2	52.0	20.5	5.3	9.9	0.0	0.6	0.0	0.6	1.2	4.1	5.3	1.2	4.1	0.0
55~59歳	174	51.1	20.1	27.6	2.9	29.3	22.4	2.3	46.6	16.1	4.6	6.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	0.0	1.7	0.0
60~64歳	327	59.3	31.5	39.1	2.8	33.6	6.7	0.0	38.5	6.1	5.2	10.7	0.3	0.6	0.0	0.0	0.6	1.2	3.4	0.0	1.8	0.3

[世帯構成]

一人暮らしは「友人・知人」(57.6%)が、家族などと同居(二世帯住宅を含む)は「配偶者(夫・妻)」(61.0%)が、その他(施設入居など)は「兄弟・姉妹」(50.0%)が最も高くなっている。

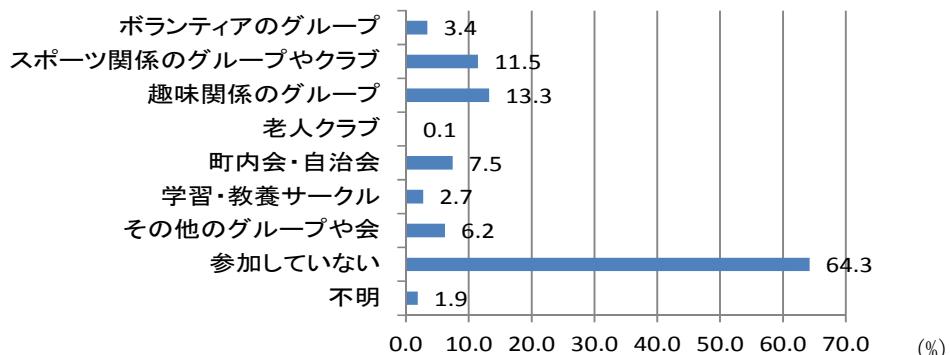
	回答者数 ～人～ (複数回答)	配偶者 (夫・妻)	友人・知人	自分の親	兄弟・姉妹	娘	職場の人	息子	看護師・歯科医師・	隣近所の人	市役所・保健福祉含むセントラル
全体	1,166	52.9	47.7	36.8	29.2	21.3	17.3	16.6	8.1	4.1	2.6
世帯構成別	一人暮らし	165	2.4	57.6	20.6	41.8	14.5	18.2	8.5	10.3	9.7
	家族などと同居(二世帯住宅を含む)	925	61.0	46.3	40.2	26.7	21.7	16.9	17.6	7.9	3.0
	その他(施設入居など)	10	20.0	40.0	30.0	50.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0

(10) グループ参加

Q8. あなたは、日頃、グループや会等に参加していますか。(あてはまる全てに○)

「参加していない」が最も高いが、参加している人は「趣味関係のグループ」(13.3%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(11.5%)などとなっている。

n=1,463 (複数回答)



[性別]

男性に比べ、女性の参加率が高くなっている。

	(回答数 複数回答 人数)	グル ラン プティ アの の	ブル ラン プテ ィアの の	ブル ラン プテ ィアの の	ブル ラン プテ ィアの の	老人 クラブ	町内 会・自 治会	ク学 ル習 ・教養 サ ー	ブそ やその 他のグ ル	参 加 して い ない	不 明
全体	1463	3.4	11.5	13.3	0.1	7.5	2.7	6.2	64.3	1.9	
男性	664	3.3	10.8	10.4	0.3	6.5	1.5	6.5	67.5	1.4	
女性	770	3.4	12.1	15.8	0.0	8.3	3.8	6.1	61.7	2.1	

[年齢]

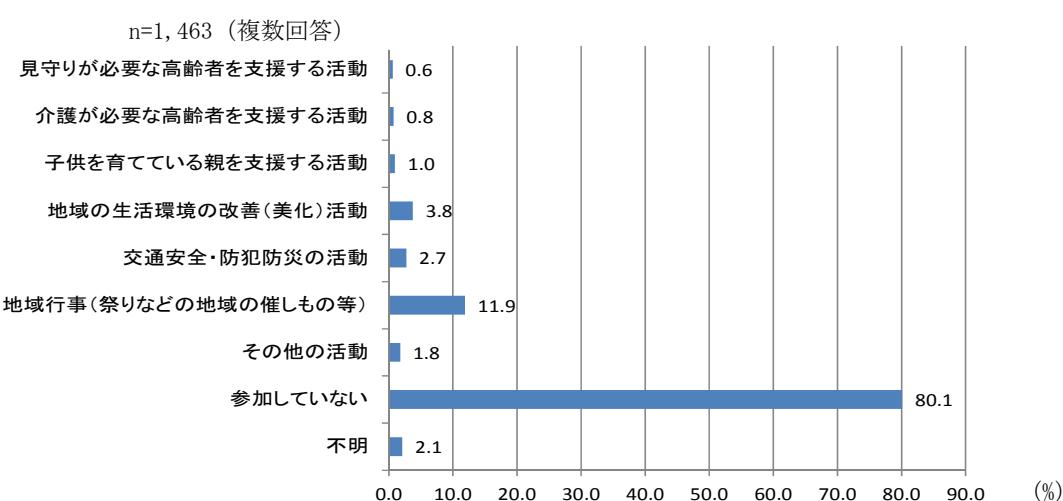
55～59歳は「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加が高く、その他の年代は「趣味関係のグループ」への参加が高くなっている。

	(回答数 複数回答 人数)	グル ラン プティ アの の	ブル ラン プテ ィアの の	ブル ラン プティ アの の	ブル ラン プティ アの の	老人 クラブ	町内 会・自 治会	ク学 ル習 ・教養 サ ー	ブそ やその 他のグ ル	参 加 して い ない	不 明
全体	1,463	3.4	11.5	13.3	0.1	7.5	2.7	6.2	64.3	1.9	
40～44歳	323	2.8	8.0	9.6	0.0	5.0	0.9	5.9	72.4	0.6	
45～49歳	255	1.6	9.8	13.3	0.0	7.1	2.0	3.9	68.6	0.8	
50～54歳	208	1.9	8.2	9.1	0.0	6.7	1.9	7.7	67.3	3.4	
55～59歳	232	3.9	11.6	9.5	0.0	8.6	3.9	5.6	62.9	3.4	
60～64歳	411	5.4	17.0	20.7	0.5	9.5	4.4	7.8	54.3	1.5	

(11) 地域活動等への参加状況

Q9. あなたは、日頃、地域で行われている活動に参加していますか。(あてはまる全てに○)

「参加していない」が80.1%で突出して高いが、参加している人は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」(11.9%)、「地域の生活環境の改善（美化）活動」(3.8%)などとなっている。



[日常生活圏域]

「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」は六実六高台地区で最も高くなっている。

(%)

	回 複 答 数 者 回 答 （ 人 ）	動 齡 見 者 守 り を 支 援 必 要 す る な 活 高 動 齡	介 護 者 を 支 援 必 要 す る な 活 高 動 齡	親 子 を 供 を 育 て る 活 動	改 地 善 域 （ 生 化 ） 環 境 活 動	災 交 通 の 安 全 ・ 防 犯 防	の ど 地 等 の 域 （ 地 行 事 の 催 し も な い ）	そ の 他 の 活 動	参 加 し て い な い	不 明
全体	1,463	0.6	0.8	1.0	3.8	2.7	11.9	1.8	80.1	2.1
本庁地区	105	0.0	0.0	2.9	2.9	1.0	8.6	3.8	84.8	1.0
明第1地区	179	1.1	1.7	0.0	2.8	3.4	10.6	1.1	83.2	2.2
明第2東地区	93	0.0	0.0	1.1	3.2	1.1	7.5	1.1	86.0	2.2
明第2西地区	99	0.0	0.0	1.0	1.0	2.0	9.1	2.0	83.8	1.0
矢切地区	65	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	9.2	0.0	84.6	3.1
東部地区	59	0.0	1.7	0.0	1.7	3.4	15.3	1.7	76.3	1.7
常盤平地区	191	0.0	1.0	0.0	4.7	4.2	13.6	2.6	78.0	2.1
五香松飛台地区	97	1.0	0.0	0.0	4.1	2.1	14.4	2.1	78.4	2.1
六実六高台地区	42	2.4	0.0	0.0	4.8	4.8	19.0	4.8	73.8	0.0
馬橋地区	116	0.9	0.0	1.7	9.5	3.4	18.1	1.7	75.0	0.0
小金地区	115	1.7	0.9	0.9	3.5	0.9	14.8	0.0	77.4	3.5
小金原地区	93	1.1	2.2	3.2	3.2	1.1	10.8	1.1	79.6	1.1
新松戸地区	79	1.3	1.3	2.5	6.3	2.5	16.5	1.3	73.4	2.5
馬橋西地区	81	0.0	0.0	0.0	2.5	6.2	4.9	1.2	86.4	1.2

[性別]

男性、女性ともに参加率が高いのは「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」となっている。

(%)

	回 複 答 数 者 回 答 （ 人 ）	動 齡 見 者 守 り を 支 援 必 要 す る な 活 高 動 齡	介 護 者 を 支 援 必 要 す る な 活 高 動 齡	親 子 を 供 を 育 て る 活 動	改 地 善 域 （ 生 化 ） 環 境 活 動	災 交 通 の 安 全 ・ 防 犯 防	の ど 地 等 の 域 （ 地 行 事 の 催 し も な い ）	そ の 他 の 活 動	参 加 し て い な い	不 明
全体	1,463	0.6	0.8	1.0	3.8	2.7	11.9	1.8	80.1	2.1
男性	664	0.5	0.6	0.5	2.7	4.1	10.8	2.4	80.6	2.1
女性	770	0.8	0.8	1.4	4.5	1.7	12.9	1.2	80.4	1.6

[年齢]

いずれの年代ともに参加率が高いのは「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」となっている。

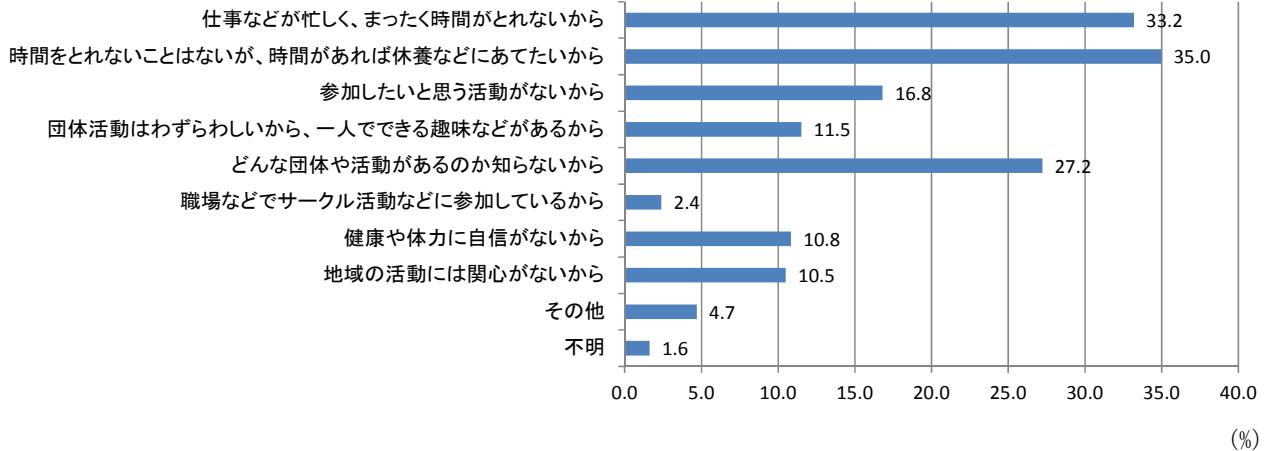
	回 複 答 数 者 回 数 答 （人 ）	高 見 活 動 者 り を が 支 必 援 要 す な る 高	活 齡 介 動 者 護 を 支 援 要 す な る 高	活 動 介 護 を 支 援 要 す な る 高	活 子 動 供 を 支 育 援 す て す る い	活 地 動 の 改 善 （ 生 美 活 化 環 境 ）	防 交 通 の 改 善 （ 生 美 活 化 環 境 ）	防 灾 安 全 活 動 ・ 防 犯	し な ど の 行 事 （ 地 域 の 祭 り ）	そ の 他 の 活 動	参 加 し て い な い	不 明
全体	1,463	0.6	0.8	1.0	3.8	2.7	11.9	1.8	80.1	2.1		
40～44歳	323	0.3	0.3	1.2	4.3	2.8	11.1	0.9	83.3	0.6		
45～49歳	255	0.0	0.8	0.4	4.3	2.0	12.5	1.2	82.0	0.8		
50～54歳	208	0.0	1.4	0.5	2.9	1.9	7.7	2.4	84.6	1.4		
55～59歳	232	0.9	0.4	0.9	0.9	1.3	12.5	0.9	80.6	3.4		
60～64歳	411	1.5	0.7	1.5	4.9	4.6	14.1	2.9	74.9	2.7		

(12) 特にしていない理由

Q9-1. あなたが、地域で行われている活動に参加していない理由を教えてください。（あてはまる全てに○）

「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」が35.0%で最も高く、以下、「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が33.2%、「どんな団体や活動があるのか知らないから」が27.2%、「参加したいと思う活動がないから」が16.8%などとなっている。

n=1,172 (複数回答)



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較すると、「仕事などが忙しく、まったく時間が取れないから」と「職場などでサークル活動などに参加しているから」が微増している。

	回 複 答 数 者 回 数 答 （人 ）	が く 仕 と 、事 れ ま な な つ ど い た が か く 忙 ら 時 間	に が と 時 あ あ は 間 て れ な を た ば い と い 休 が れ か 養 、 な ら な 時 い ど 間 こ	活 参 動 加 が し な い か と ら 思 う	が で わ 団 あ で し 体 る き い 活 か る か 動 ら 趣 ら は 味 、 わ な ー ず ど 人 ら	い が ど か あ ん ら る な の 団 か 体 知 や ら 活 な 動	し ル 職 て 活 場 い 動 な ど か ど で ら に サ ー 参 加 ク	が 健 康 な い や か 體 力 に 自 信	心 地 が 域 な い 活 か 動 ら に は 関	そ の 他	不 明	
今回調査	1,172	33.2	35.0	16.8	11.5	27.2	2.4	10.8	10.5	4.7	1.6	
平成22年調査	311	27.7	40.8	21.5	14.5	26.0	1.9	9.6	10.9	4.5	0.3	

[日常生活圏域]

六実六高台地区は「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」(54.8%)が突出して高くなっている。

	回答者数(人)(複数回)	た仕く事時間が忙しくないからつ	ない時間にあてられたがいいからばと休は養な	な参加したいと思う活動が	な団体活動はわざきらわ趣味い	のどかん知らな團体や活動がある	な職場などに参加でサーキュラ活動	か健康や体力に自信がない	い地域の活動には関心がな	その他	(%)
全体	1,172	33.2	35.0	16.8	11.5	27.2	2.4	10.8	10.5	4.7	1.6
本庁地区	89	30.3	31.5	20.2	9.0	28.1	3.4	10.1	12.4	2.2	2.2
明第1地区	149	33.6	38.9	16.8	11.4	29.5	0.0	8.1	7.4	8.1	1.3
明第2東地区	80	26.3	23.8	20.0	11.3	32.5	1.3	16.3	8.8	3.8	1.3
明第2西地区	83	27.7	49.4	19.3	13.3	37.3	0.0	15.7	10.8	7.2	0.0
矢切地区	55	32.7	36.4	16.4	10.9	16.4	0.0	16.4	9.1	0.0	1.8
東部地区	45	35.6	31.1	8.9	6.7	13.3	4.4	8.9	17.8	2.2	4.4
常盤平地区	149	26.8	40.3	14.1	14.1	30.2	2.0	10.7	11.4	4.0	2.7
五香松飛台地区	76	26.3	28.9	21.1	13.2	31.6	3.9	15.8	7.9	2.6	2.6
六実六高台地区	31	54.8	22.6	22.6	6.5	19.4	3.2	3.2	12.9	3.2	0.0
馬橋地区	87	40.2	31.0	13.8	13.8	26.4	5.7	6.9	12.6	8.0	1.1
小金地区	89	40.4	31.5	21.3	12.4	24.7	4.5	15.7	11.2	4.5	1.1
小金原地区	74	31.1	45.9	13.5	17.6	24.3	1.4	8.1	14.9	4.1	0.0
新松戸地区	58	34.5	39.7	10.3	6.9	25.9	1.7	8.6	3.4	6.9	0.0
馬橋西地区	70	37.1	31.4	14.3	8.6	25.7	4.3	7.1	12.9	1.4	1.4

[性別]

「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」が男性(36.3%)、女性(34.4%)ともに最も高くなっている。

	回答者数(人)	た仕く事時間が忙しくないからつ	ない時間にあてられたがいいからばと休は養な	な参加したいと思う活動が	な団体活動はわざきらわ趣味い	のどかん知らな團体や活動がある	な職場などに参加でサーキュラ活動	か健康や体力に自信がない	い地域の活動には関心がな	その他	(%)
全体	1,172	33.2	35.0	16.8	11.5	27.2	2.4	10.8	10.5	4.7	1.6
男性	535	33.5	36.3	18.5	13.3	28.2	1.9	8.4	13.5	4.1	0.9
女性	619	32.1	34.4	15.2	9.9	26.5	2.9	12.8	8.1	5.3	2.3

[年齢]

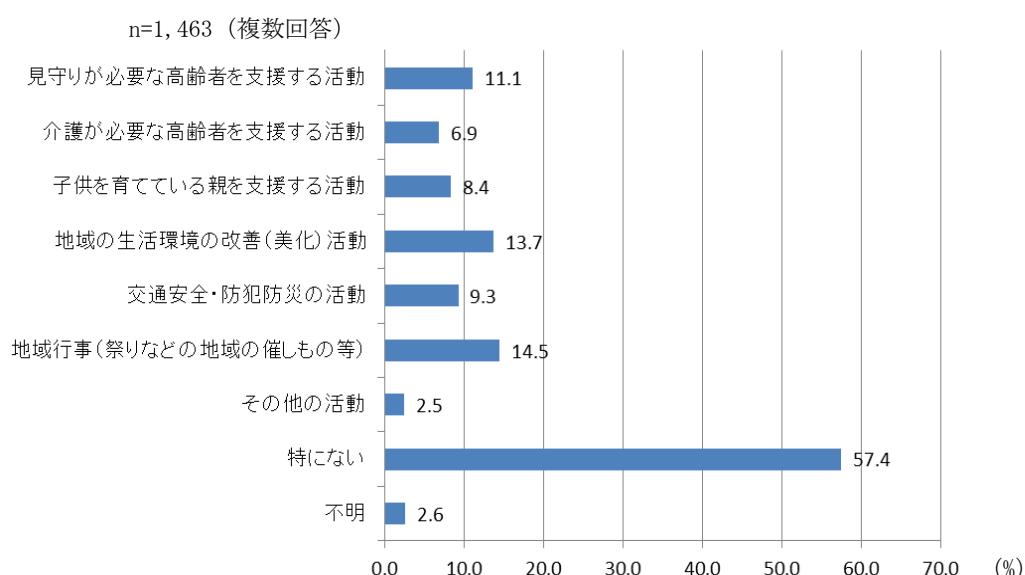
55～59歳は「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が、その他の年代は「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」が最も高くなっている。

	答 一 答 者 数 (人) （複 数 回）	た仕 く事 時な どが と忙 れし なく、 かま らつ	ない時 どが 間に 、を あ時 と て間 れ たが ない い かれ こ らば と 休 は 養な	な参 加 かし ら い と 思 う 活 動 が	なか団 ど ら 体 が 一 動 る 人 は か で わ ら き ら る わ 趣 味 い	のど か ん 知 な ら な い や か ら か ら 活 動 が あ る	な職 場 ど に 参 加 し で サ ー ク ル か 活 動	か健 康 や 体 力 に 自 信 が な い	い地 域 か ら の 活 動 に は 関 心 が な い	そ の 他	不 明
全体	1,172	33.2	35.0	16.8	11.5	27.2	2.4	10.8	10.5	4.7	1.6
40～44歳	269	37.5	38.7	13.8	7.8	31.6	3.0	7.1	8.2	4.5	1.1
45～49歳	209	36.8	41.6	14.4	9.1	27.8	1.9	8.6	11.5	4.8	1.0
50～54歳	176	31.3	37.5	14.8	11.9	32.4	1.1	11.4	12.5	5.1	1.7
55～59歳	187	35.8	33.7	15.0	10.7	21.4	4.3	16.0	11.8	5.9	0.5
60～64歳	308	25.0	28.2	23.1	16.6	24.4	1.9	12.0	9.7	4.2	2.6

(13) 今後、参加したい活動

Q10. あなたは、今後、参加してみたいと思う地域の活動はありますか。（あてはまる全てに○）

「特にない」が57.4%で突出して高いが、参加したい人は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」が14.5%、「地域の生活環境の改善（美化）活動」が13.7%などとなっている。



[性別]

男性は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」（15.2%）が、女性は「見守りが必要な高齢者を支援する活動」（14.7%）が高くなっている。

回答 複数者 回答 （人）	動 高 齢 者 見 守 り が 支 援 必 要 す る な 活 動	介 護 を 支 援 必 要 す る な 高 齢	親 子 供 を 支 援 す て 活 動	改 善 域 （ 美 生 活 ） 環 境 活 動	災 交 通 の 安 全 ・ 防 犯 防	の ど 地 域 （ 地 域 行 事 の 催 し も な い ）	そ の 他 の 活 動	特 に な い	不 明	(%)
全体	1,463	11.1	6.9	8.4	13.7	9.3	14.5	2.5	57.4	2.6
男性	664	6.6	3.9	5.1	14.8	12.3	15.2	2.4	59.9	2.3
女性	770	14.7	9.5	11.2	12.9	6.8	14.2	2.1	55.5	2.5

[年齢]

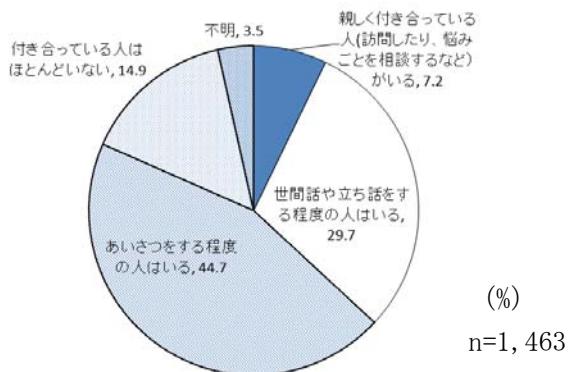
40～54歳までは「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」が、55歳以上は「地域の生活環境の改善（美化）活動」が高くなっている。

回答 複数者 回答 （人）	動 高 齢 者 見 守 り が 支 援 必 要 す る な 活 動	介 護 を 支 援 必 要 す る な 高 齢	親 子 供 を 支 援 す て 活 動	改 善 域 （ 美 生 活 ） 環 境 活 動	災 交 通 の 安 全 ・ 防 犯 防	の ど 地 域 （ 地 域 行 事 の 催 し も な い ）	そ の 他 の 活 動	特 に な い	不 明	(%)
全 体	1,463	11.1	6.9	8.4	13.7	9.3	14.5	2.5	57.4	2.6
40～44歳	323	9.3	8.4	10.2	12.7	9.0	18.6	2.2	56.3	1.5
45～49歳	255	12.9	7.8	7.1	13.7	12.5	14.1	1.2	54.9	2.7
50～54歳	208	12.5	5.8	5.8	10.1	12.5	15.9	1.0	61.1	1.9
55～59歳	232	10.3	5.6	8.6	13.8	8.2	11.6	3.4	59.1	2.2
60～64歳	411	10.7	6.6	9.0	16.5	6.8	13.1	2.9	56.9	3.2

(14) 隣近所とのつきあい

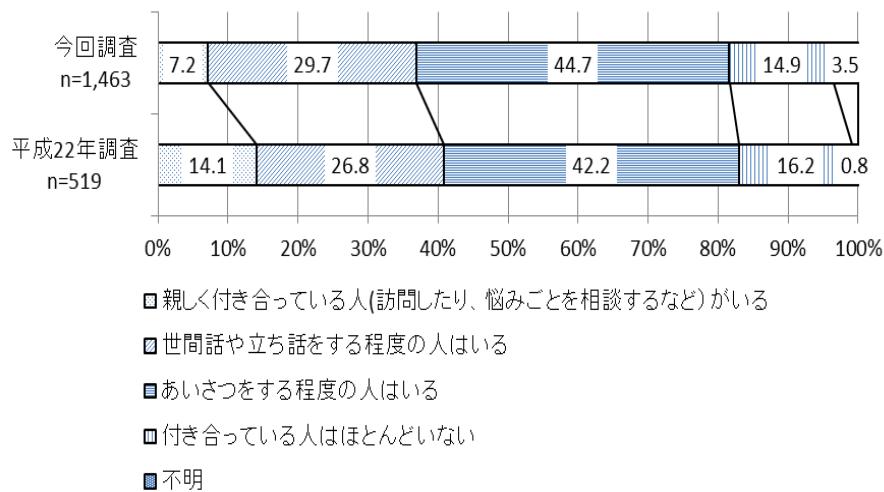
Q11. あなたは、日頃から、隣近所の方とどの程度のお付き合いをしていますか。(1つに○)

「あいさつをする程度の人はいる」が44.7%で最も高く、以下、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が29.7%、「つきあっている人はほとんどいない」が14.9%、「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が7.2%となっている。



[経年比較]

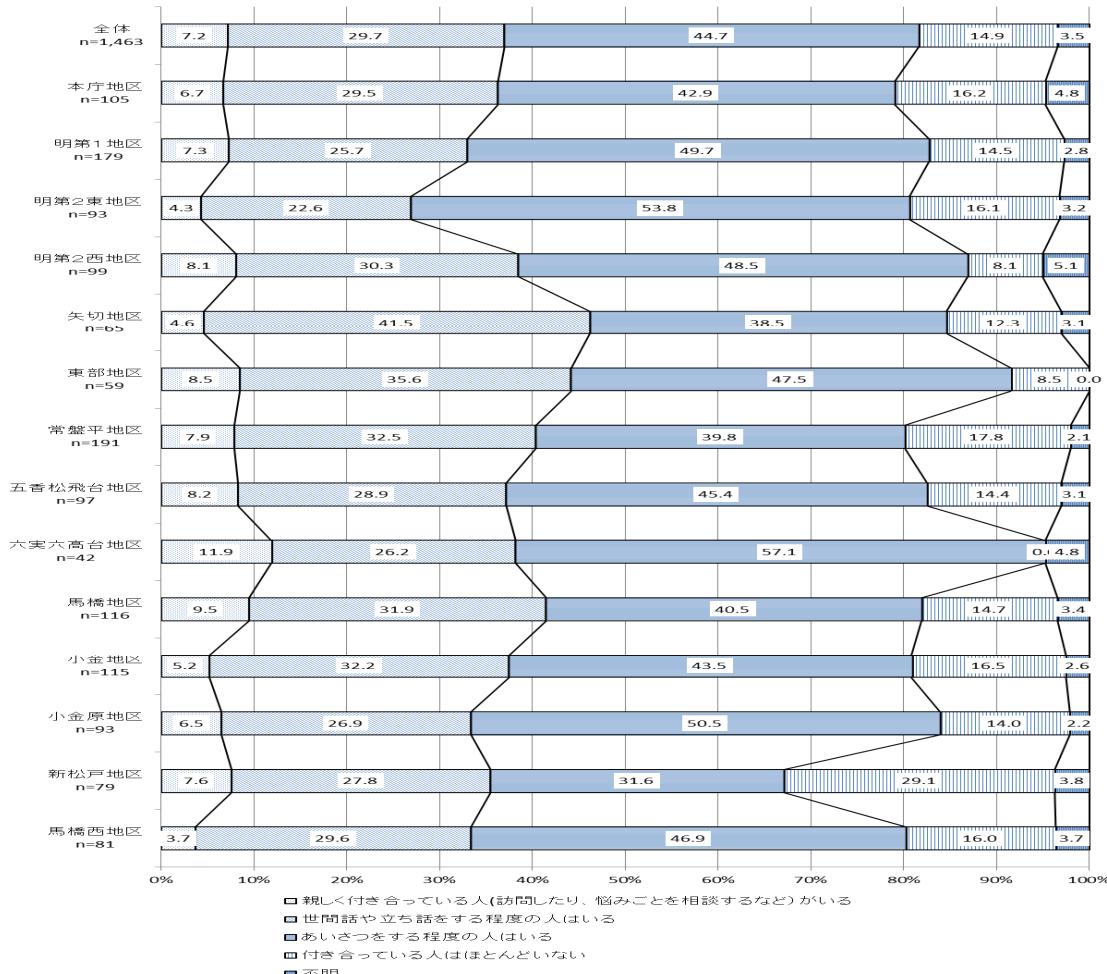
前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較すると、「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が6.9ポイント低下しており、人間関係が希薄になっている。



[日常生活圏域]

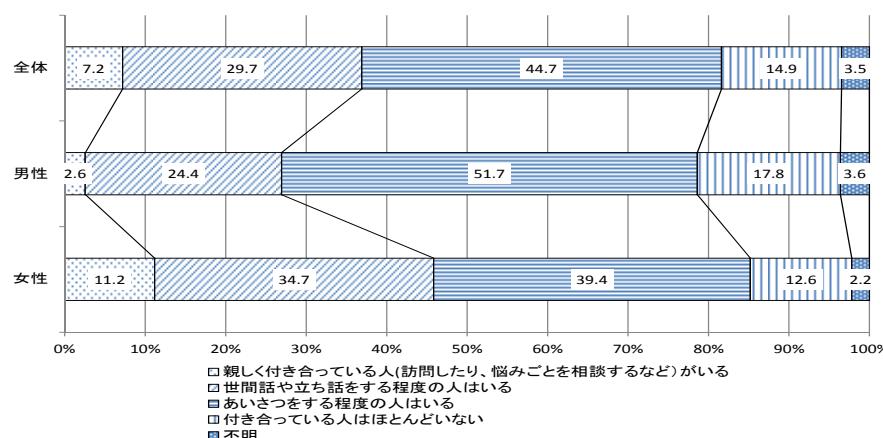
「あいさつをする程度の人はいる」は六実六高台地区（57.1%）、明第2東地区（53.8%）と小金原地区（50.5%）で、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」は矢切地区（41.5%）で、「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」は六実六高台地区（11.9%）で高くなっている。

一方、「つきあっている人はほとんどいない」は新松戸地区（29.1%）と常盤平地区（17.8%）で高くなっている。



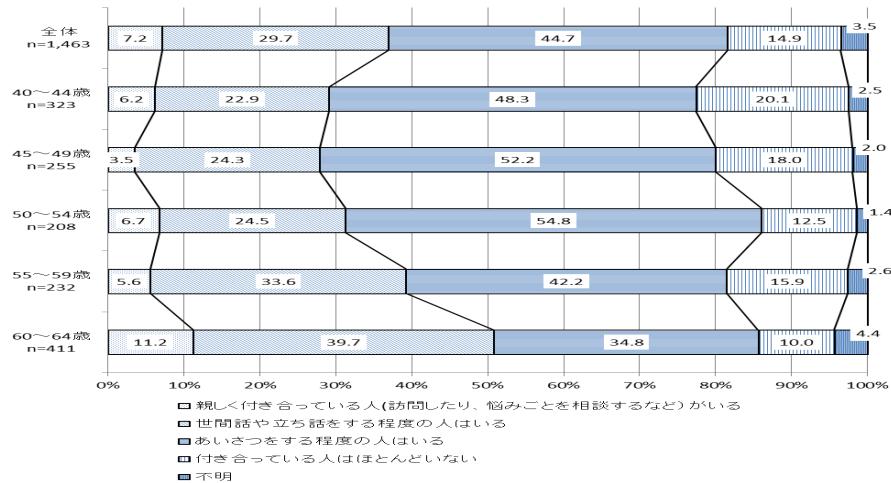
[性別]

「あいさつをする程度の人はいる」は男性（51.7%）が女性（39.4%）より12.3ポイント高くなっている。



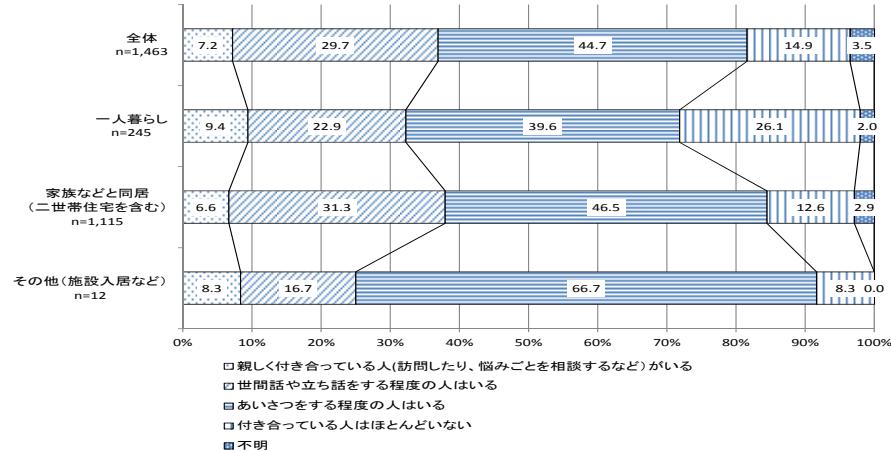
[年齢]

「世間話や立ち話をする程度の人はいる」は年代が上がるにつれ、高くなっている。



[世帯構成]

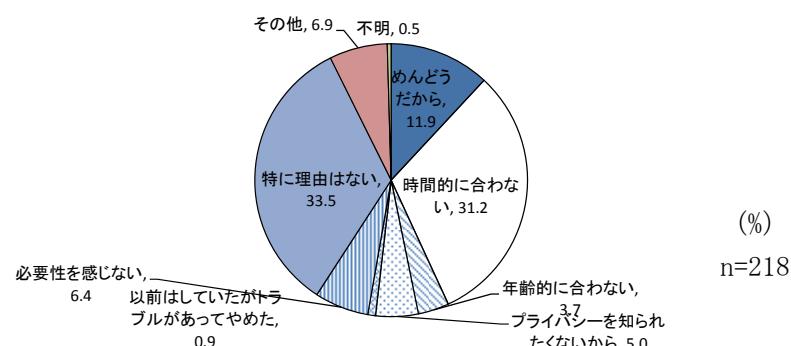
いずれの世帯構成においても「親しく付き合っている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」は低い。



(15) 不付き合い理由

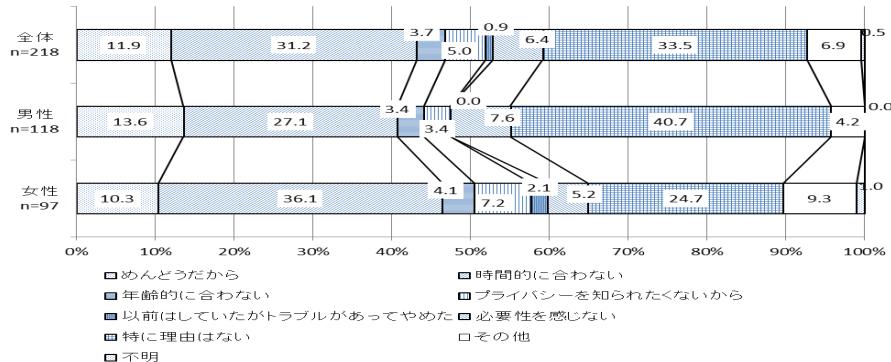
Q11-1. あなたが、隣近所の方とほとんどお付き合いしない理由を教えてください。(1つに○)

「特に理由はない」が33.5%で最も高いが、理由がある人は「時間的に合わない」が31.2%となっている。



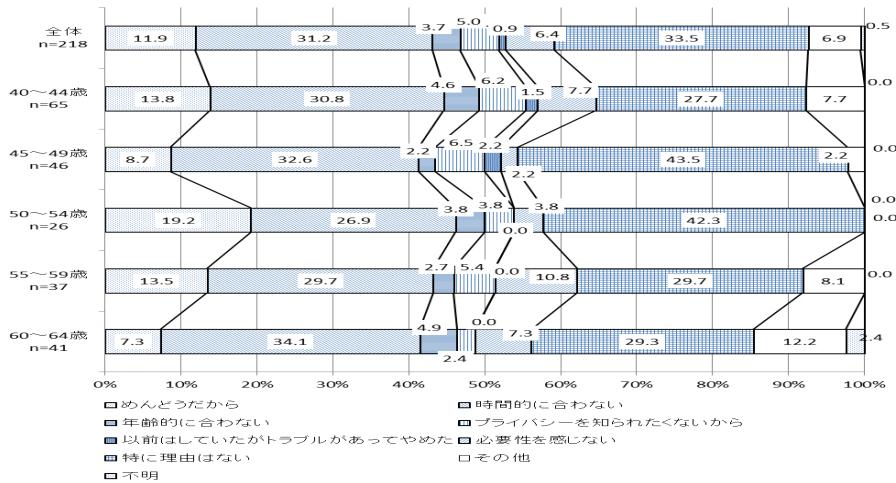
[性別]

男性は「特に理由はない」(40.7%) が、女性は「時間的に合わない」(36.1%) が最も高くなっている。



[年齢]

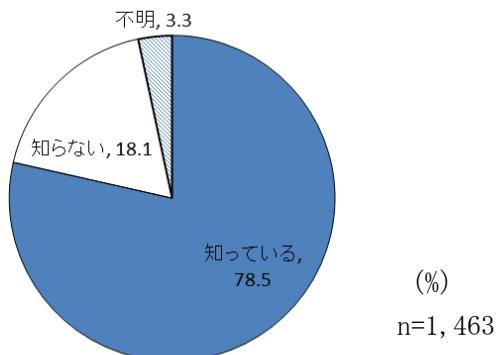
50～54歳は他の年代と比べ、「めんどうだから」(19.2%) が高くなっている。



(16) 避難場所

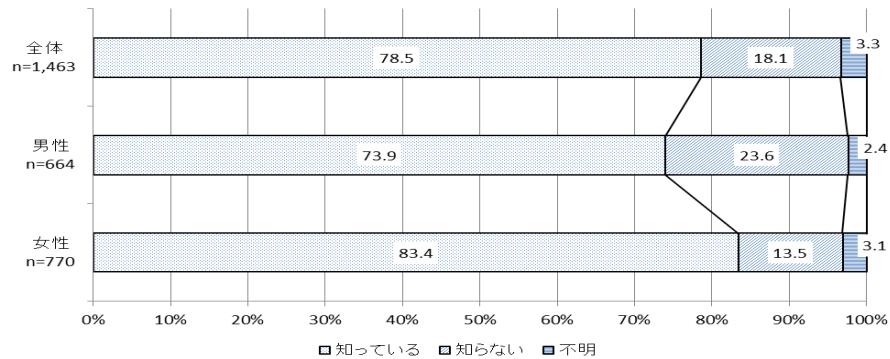
Q12. あなたは、災害などが起こったときに、どこに避難するか知っていますか。(どちらかに○)

「知っている」が78.5%、「知らない」が18.1%となっている。



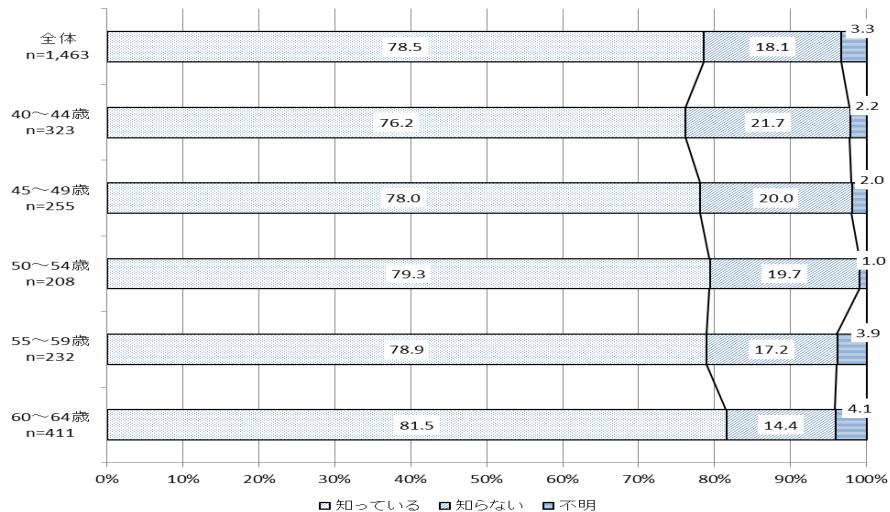
[性別]

「知らない」は男性（23.6%）が女性（13.5%）より10.1ポイント高くなっている。



[年齢]

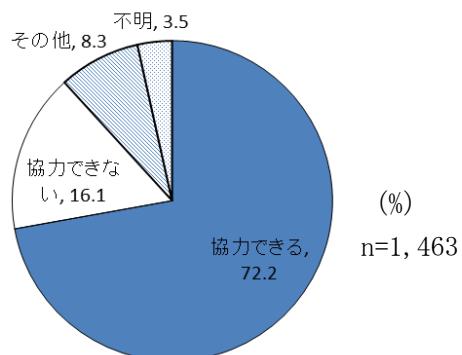
年代が若くなるにつれ、「知らない」が高くなっている。



(17) 避難支援

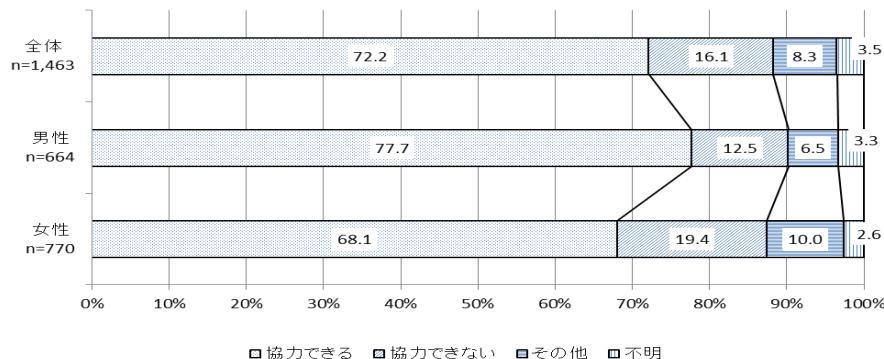
Q13. あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。（1つに○）

「できる」が72.2%、「できない」が16.1%となっている。



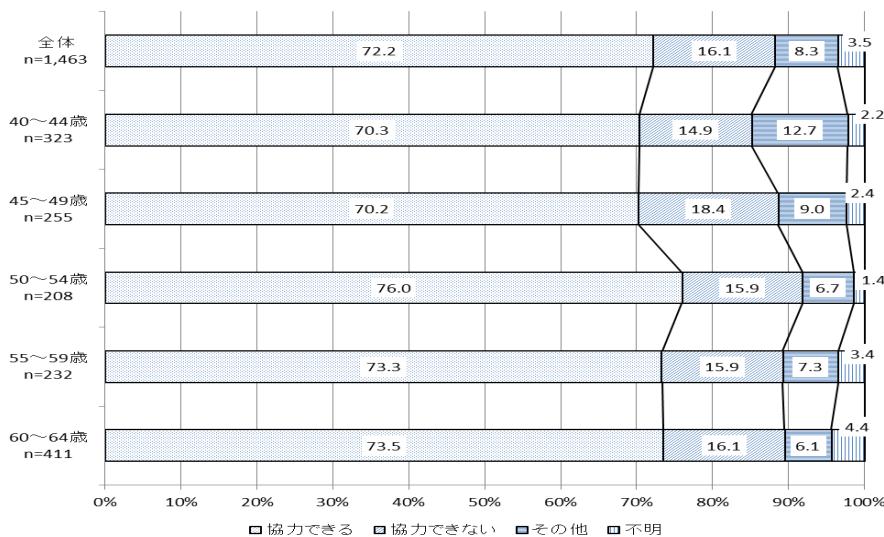
[性別]

「できる」は男性（77.7%）が女性（68.1%）より9.6ポイント高くなっている。



[年齢]

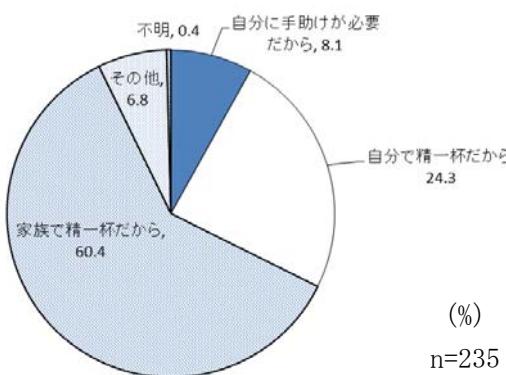
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(18) 非協力理由

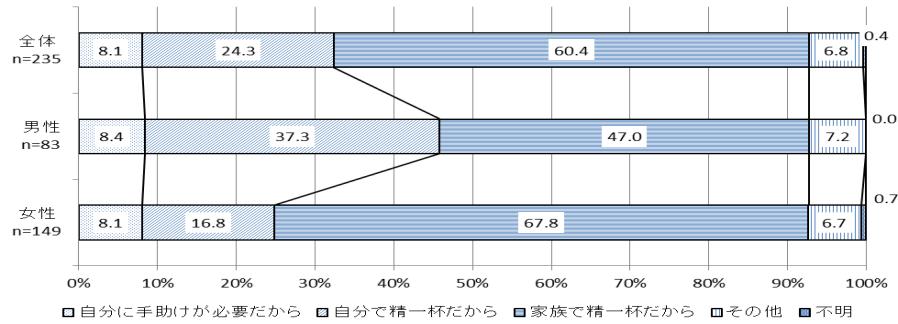
Q13-1. 協力できない理由を教えてください。(1つに○)

「家族で精一杯だから」が60.4%で最も高く、以下、「自分で精一杯だから」が24.3%、「自分に手助けが必要だから」が8.1%となっている。



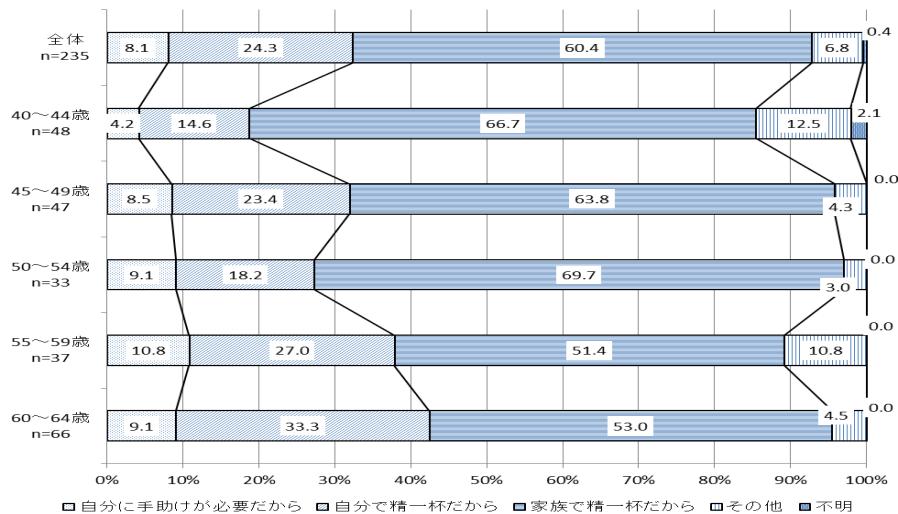
[性別]

男性（37.3%）は「自分で精一杯」が女性（16.8%）より20.5ポイント高くなっている。一方、女性（67.8%）は「家族で精一杯だから」が男性（47.0%）より20.8ポイント高くなっている。



[年齢]

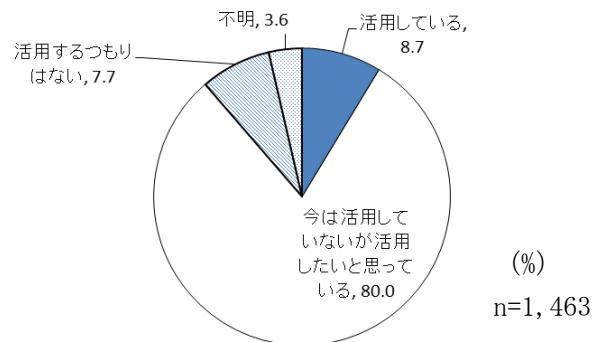
55歳以上になると「自分で精一杯だから」が顕著に高くなっている。



(19) 緊急時情報

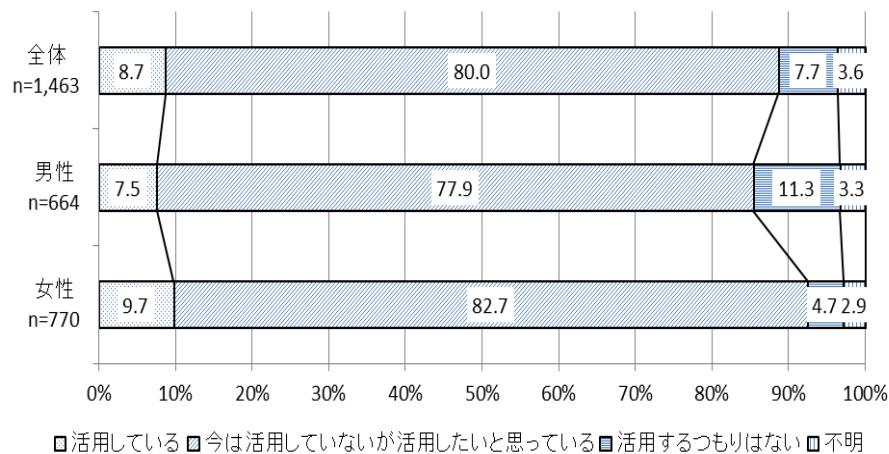
Q14. あなたは緊急時の対応として、家族の連絡先、病気や薬のことなどを記入した救急時情報用紙や安心キットなどを活用していますか。（1つに〇）

「今は活用していないが活用したいと思っている」が80.0%、「活用している」が8.7%、「活用するつもりはない」が7.7%となっている。



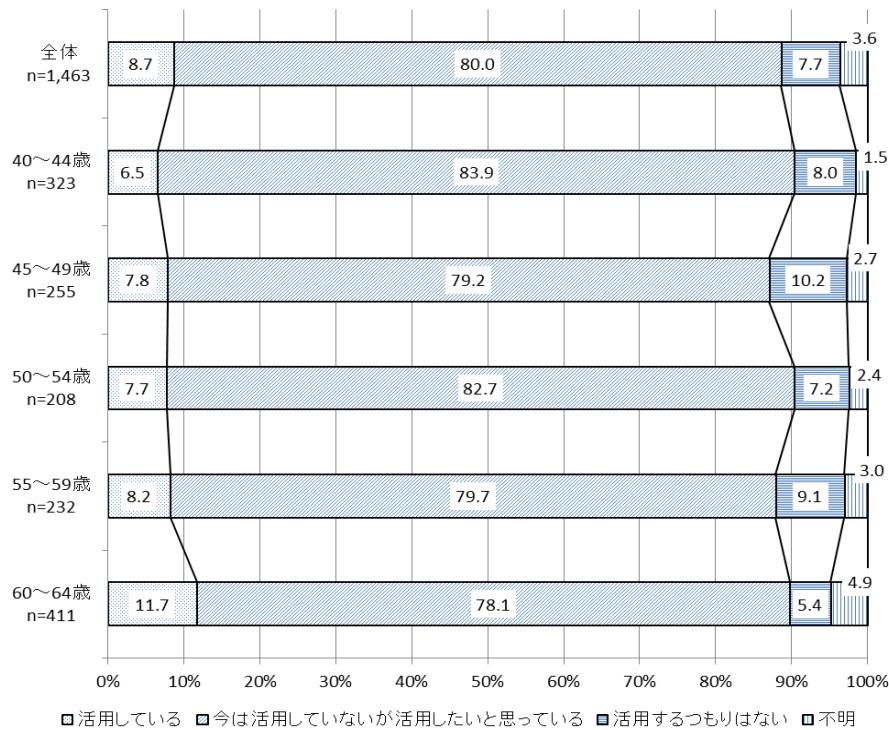
[性別]

「活用するつもりはない」は男性（11.3%）が女性（4.7%）より6.6ポイント高くなっている。



[年齢]

他の年代に比べ、60～64歳は「活用している」（11.7%）が高くなっている。

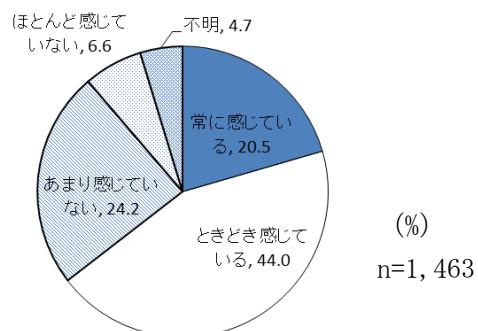


3. 生きがいや心のハリについて

(1) 日常での生きがい

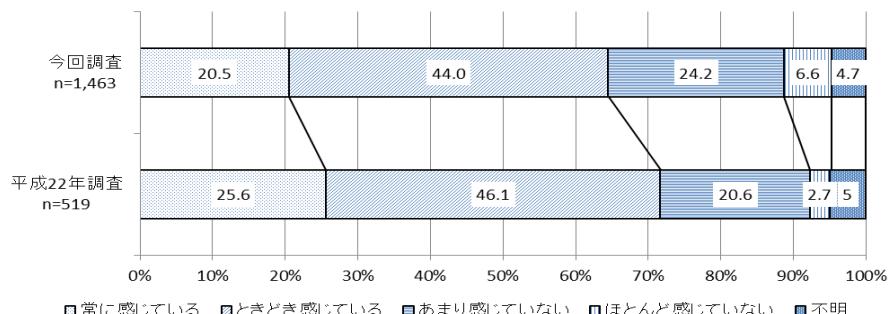
Q15. あなたは、日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。(1つに○)

「常に感じている」(20.5%)と「ときどき感じている」(44.0%)を合わせた『感じている』が64.5%、「あまり感じていない」(24.2%)と「ほとんど感じていない」(6.6%)を合わせた『感じていない』が30.8%となっている。



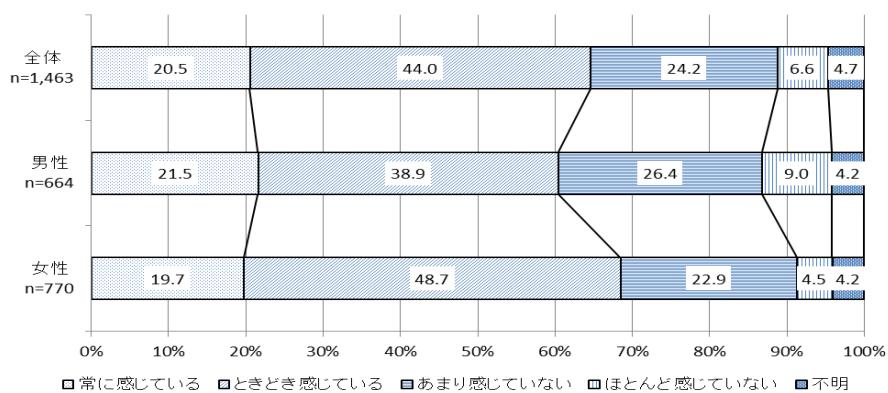
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、「常に感じている」と「ときどき感じている」を合わせた『感じている』が7.2ポイントも低下している。



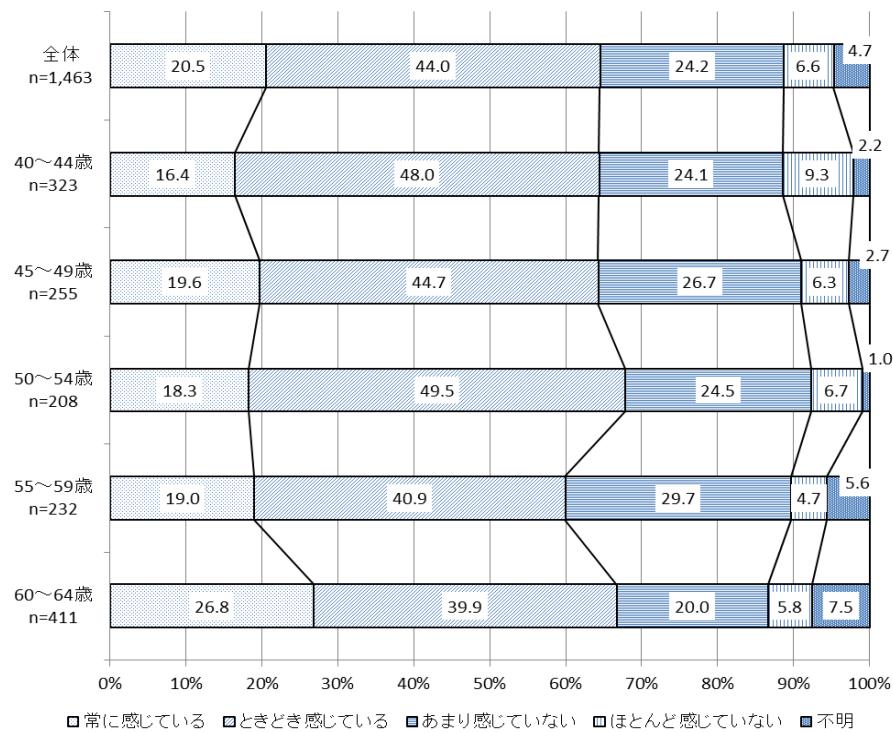
[性別]

「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は女性（68.4%）が男性（60.4%）より8.0ポイント高くなっている。



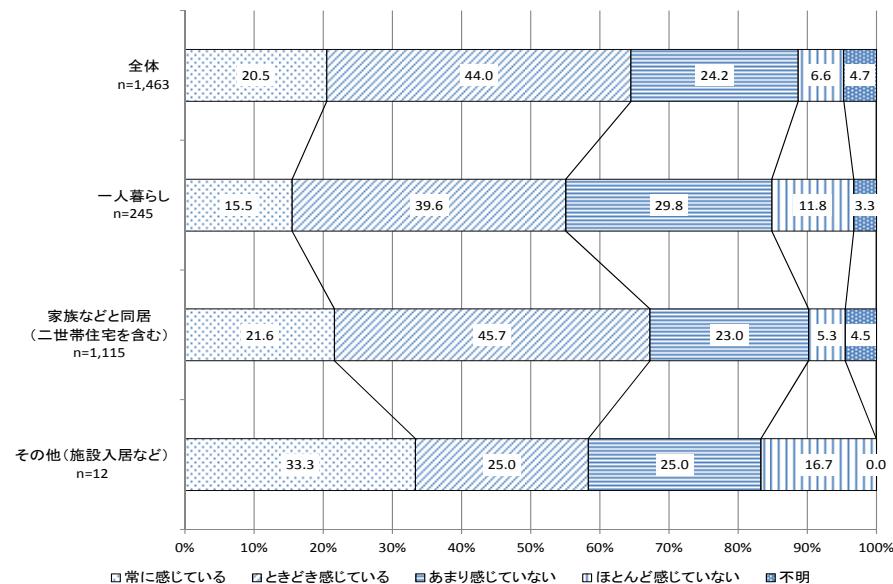
[年齢]

「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は55～59歳が59.9%で他の年代より低くなっている。



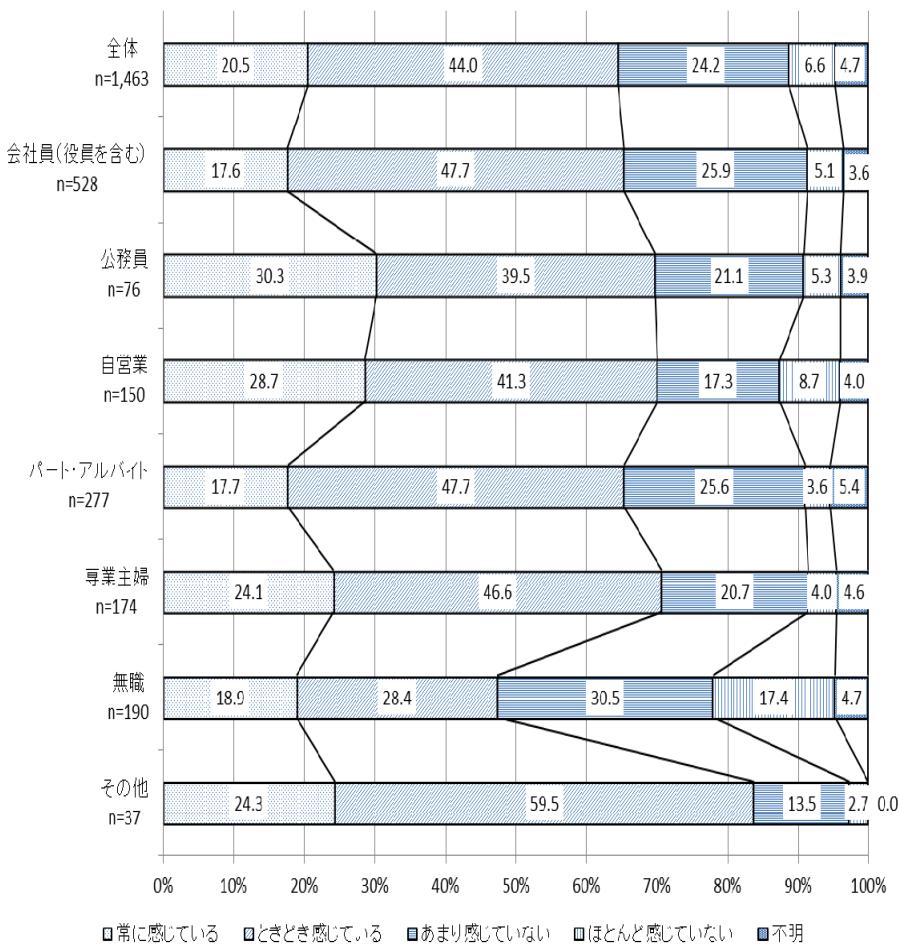
[世帯構成]

「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は家族などと同居が67.3%で最も高く、一人暮らしが55.1%で最も低くなっている。



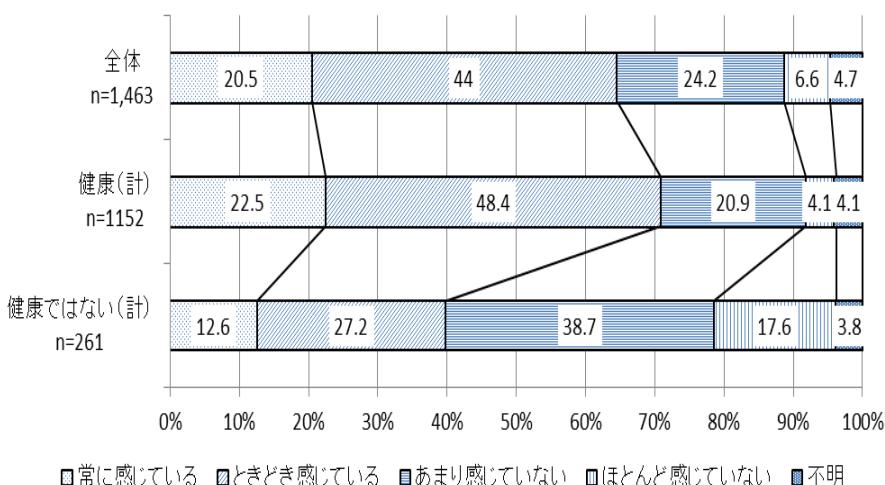
[仕事の有無]

『感じている』は「会社員（役員を含む）」、「公務員」、「自営業」及び「パート・アルバイト」を合わせた“就業している”（66.3%）が「専業主婦」、「無職」を合わせた“就業していない”（58.5%）より7.8ポイント高くなっている。



[健康感]

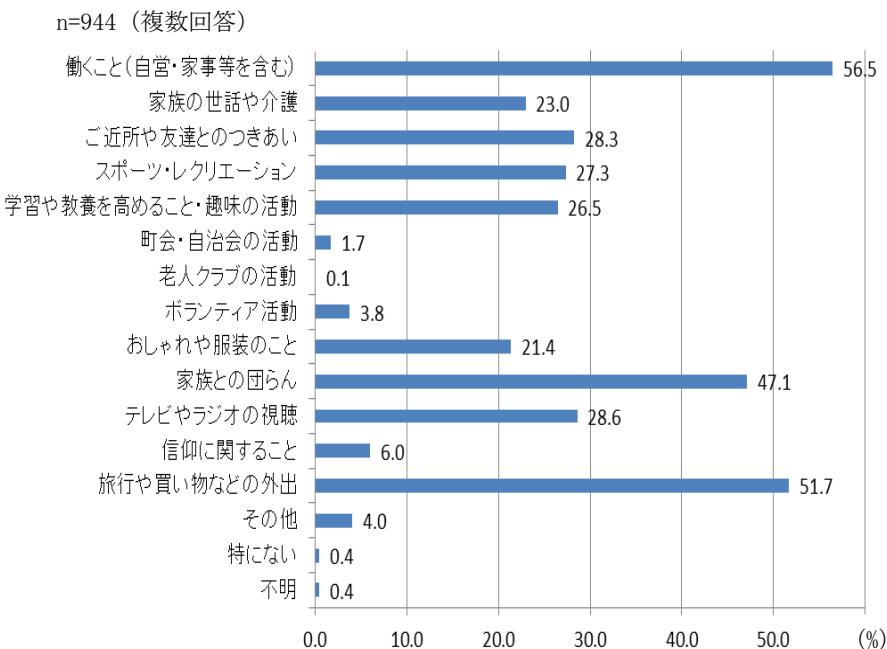
『感じている』は“健康（計）”（70.9%）が“健康ではない（計）”（39.8%）より31.1ポイント高くなっている。



(2) 生きがいを感じること

Q15-1. あなたが、現在「こころのハリ」や「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまる全てに○)

「働くこと(自営・家事等を含む)」が56.5%で最も高く、以下、「旅行や買い物などの外出」が51.7%、「家族との団らん」が47.1%などとなっている。



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、「働くこと（自営・家事等を含む）」は3.2ポイント減少し、「テレビやラジオの視聴」は10.9ポイント増加している。

	回答者数 (人) (複数回答)	働くこと (自営・ 家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・ レクリエーション	学習や教養を高めること・趣	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	旅行や買い物などの外出	その他	特にない	不明
今回調査	944	56.5	23.0	28.3	27.3	26.5	1.7	0.1	3.8	21.4	47.1	28.6	6.0	51.7	4.0	0.4	0.4
平成22年調査	372	59.7	16.1	21.0	22.3	23.9	1.9	0.0	1.6	13.7	39.8	17.7	4.3		5.9	0.0	0.0

[性別]

男性は「働くこと（自営・家事等を含む）」が、女性は「旅行や買い物などの外出」が高くなっている。

(%)

	回答者数（人）（複数回答）	働くこと（自営・家事等を含む）	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	旅行や買い物などの外出	その他	特にない	不明
全体	944	56.5	23.0	28.3	27.3	26.5	1.7	0.1	3.8	21.4	47.1	28.6	6.0	51.7	4.0	0.4	0.4
男性	401	57.9	13.5	18.5	35.7	24.2	2.2	0.2	3.5	10.7	50.9	25.2	4.7	45.6	4.2	0.5	0.2
女性	527	55.2	30.7	35.5	20.7	28.7	1.3	0.0	4.0	30.0	44.8	31.3	7.0	56.7	3.6	0.4	0.6

[年齢]

40～44歳は「家族との団らん」が、45～59歳までは「働くこと（自営・家事等を含む）」が、60歳以上は「旅行や買い物などの外出」が高くなっている。また、「家族との団らん」は年代が若くなるほど高くなっている。

(%)

	回答者数（人）（複数回答）	働くこと（自営・家事等を含む）	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	旅行や買い物などの外出	その他	特にない	不明
全体	944	56.5	23.0	28.3	27.3	26.5	1.7	0.1	3.8	21.4	47.1	28.6	6.0	51.7	4.0	0.4	0.4
40～44歳	208	47.6	24.5	29.8	22.1	19.2	0.5	0.0	1.4	21.6	55.3	24.5	5.3	50.5	4.3	0.0	1.0
45～49歳	164	61.6	20.7	27.4	29.9	30.5	1.8	0.0	1.2	24.4	53.7	29.3	5.5	54.9	5.5	0.6	1.2
50～54歳	141	60.3	24.8	23.4	21.3	24.1	0.0	0.0	3.5	21.3	46.8	24.8	2.8	55.3	4.3	0.7	0.0
55～59歳	139	66.9	19.4	26.6	26.6	23.7	2.9	0.0	3.6	16.5	45.3	27.3	4.3	43.9	5.0	0.0	0.0
60～64歳	274	52.6	25.2	30.3	32.8	33.2	2.9	0.4	7.3	22.6	39.4	33.9	9.5	53.3	1.8	0.7	0.0

[仕事の有無]

“就業している”人は「働くこと（自営・家事等を含む）」にこころのハリや生きがいを感じており、“就業していない”人は「旅行や買い物などの外出」にこころのハリや生きがいを感じている。

	回答者数 （人） （複数）	働くこと （自営・ 家事）	家族の世話や介護	あごい近所や友達とのつき	ショパン・レクリエー	と学習や教養を高めるこ	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	出行や買い物などの外	その他	特にな	不明
全体	944	56.5	23.0	28.3	27.3	26.5	1.7	0.1	3.8	21.4	47.1	28.6	6.0	51.7	4.0	0.4	0.4
会社員（役員を含む）	345	59.4	17.1	21.4	31.0	21.4	1.2	0.3	2.9	18.3	49.9	25.2	4.3	53.3	3.2	0.6	0.9
公務員	53	73.6	34.0	17.0	28.3	30.2	1.9	0.0	1.9	15.1	60.4	22.6	3.8	60.4	3.8	0.0	0.0
自営業	105	80.0	20.0	26.7	36.2	33.3	2.9	0.0	3.8	18.1	45.7	25.7	8.6	42.9	4.8	0.0	0.0
パート・アルバイト	181	67.4	15.5	36.5	17.1	24.9	1.1	0.0	3.9	23.8	48.1	35.4	7.7	53.6	4.4	0.6	0.6
専業主婦	123	30.1	56.1	39.8	26.8	27.6	2.4	0.0	7.3	34.1	55.3	35.0	8.1	59.3	0.8	0.0	0.0
無職	90	15.6	21.1	27.8	26.7	38.9	2.2	0.0	2.2	20.0	22.2	31.1	3.3	41.1	3.3	1.1	0.0
その他	31	71.0	6.5	32.3	12.9	29.0	3.2	0.0	6.5	25.8	41.9	16.1	9.7	45.2	19.4	0.0	0.0

[健康感]

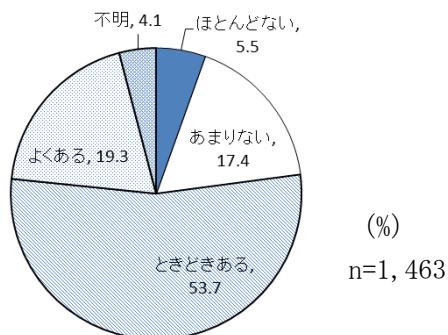
“健康（計）”な人は「働くこと（自営・家事等を含む）」、「家族との団らん」、「旅行や買い物などの外出」にこころのハリや生きがいを感じており、“健康ではない（計）”人は「家族の世話や介護」や「テレビやラジオの視聴」が“健康（計）”な人より高くなっている。

	回答者数 （人） （複数）	働くこと （自営・ 家事）	家族の世話や介護	あごい近所や友達とのつき	ショパン・レクリエー	と学習や教養を高めるこ	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	出行や買い物などの外	その他	特にな	不明
全体	944	56.5	23.0	28.3	27.3	26.5	1.7	0.1	3.8	21.4	47.1	28.6	6.0	51.7	4.0	0.4	0.4
健康（計）	817	58.1	22.5	28.2	28.2	27.1	2.0	0.1	3.8	22.4	48.5	27.4	5.1	53.7	3.9	0.2	0.5
健康ではない（計）	104	44.2	29.8	28.8	17.3	24.0	0.0	0.0	3.8	16.3	41.3	38.5	13.5	37.5	3.8	1.9	0.0

(3) 生活での不安・心配

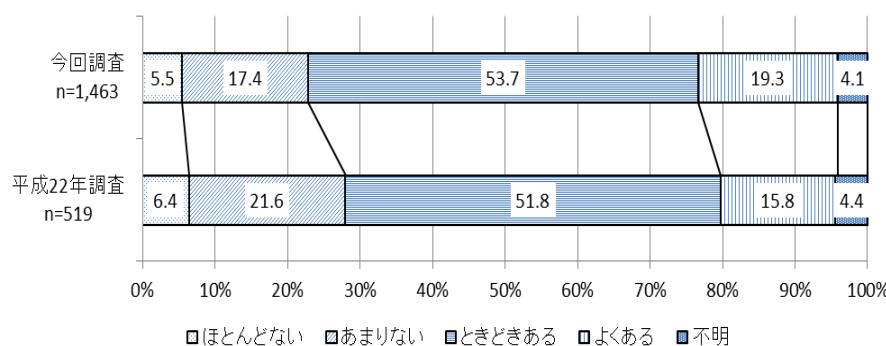
Q16. あなたは、現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありませんか。(1つに○)

「ほとんどない」(5.5%)と「あまりない」(17.4%)を合わせた『ない』は22.9%、「ときどきある」(53.7%)と「よくある」(19.3%)を合わせた『ある』は73.0%となっている。



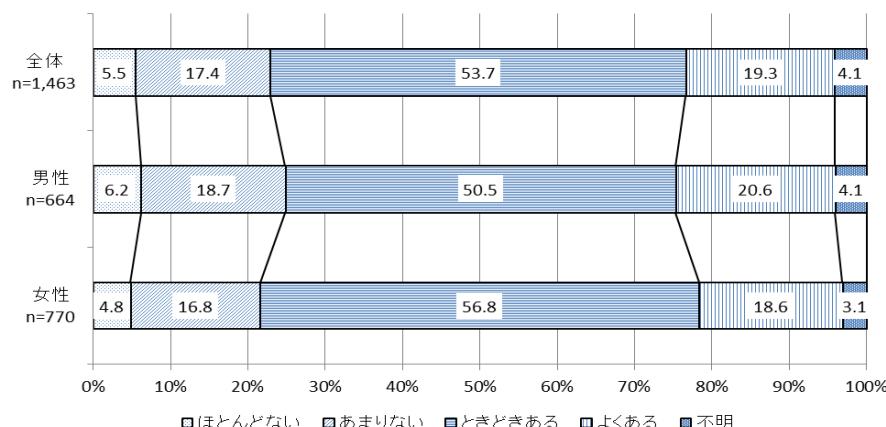
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、『ある』が5.4ポイント増加している。
性別及び年齢による大きな特徴の差はみられない。



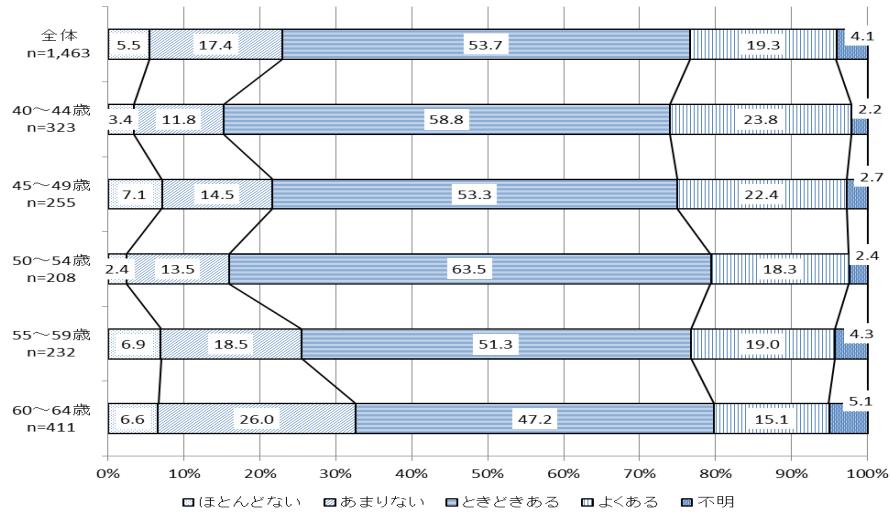
[性別]

男性は女性より『ない』が高い一方で、「よくある」も高くなっている。



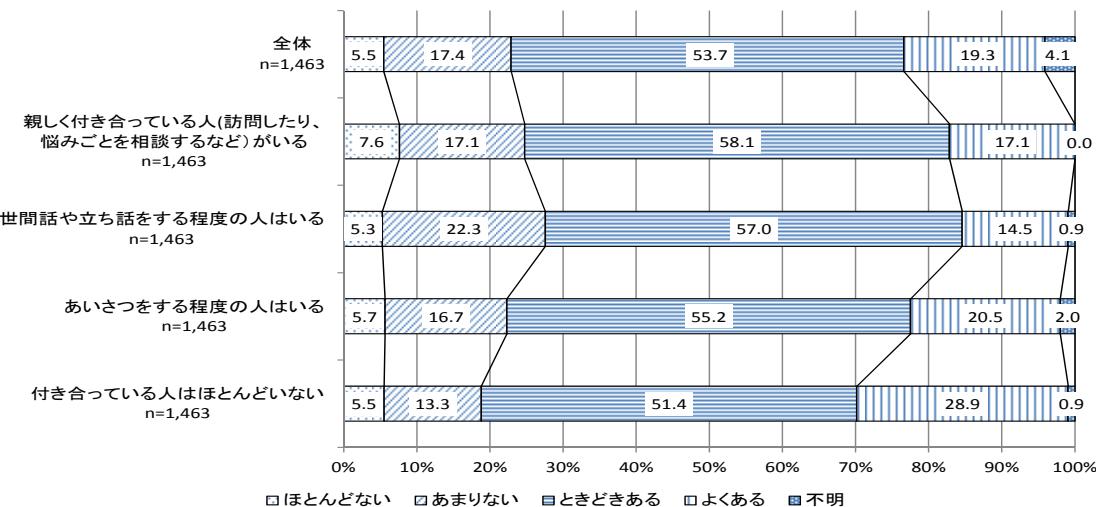
[年齢]

55歳以上になると不安や心配は低下している。



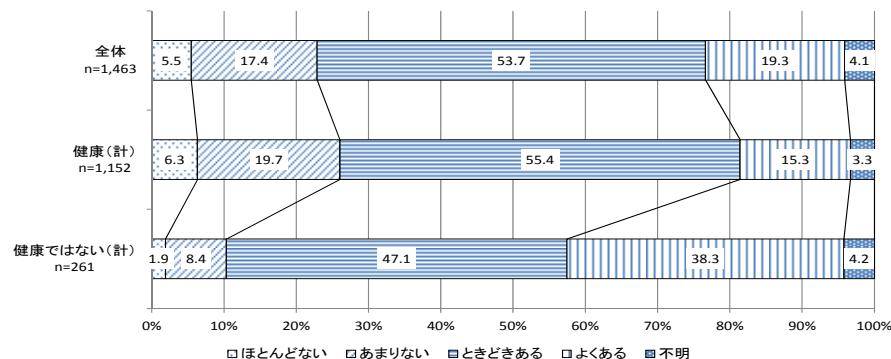
[隣近所とのつきあい]

「付き合っている人はほとんどいない」は他に比べ、『(不安や心配が) ある』が高くなっている。



[健康感]

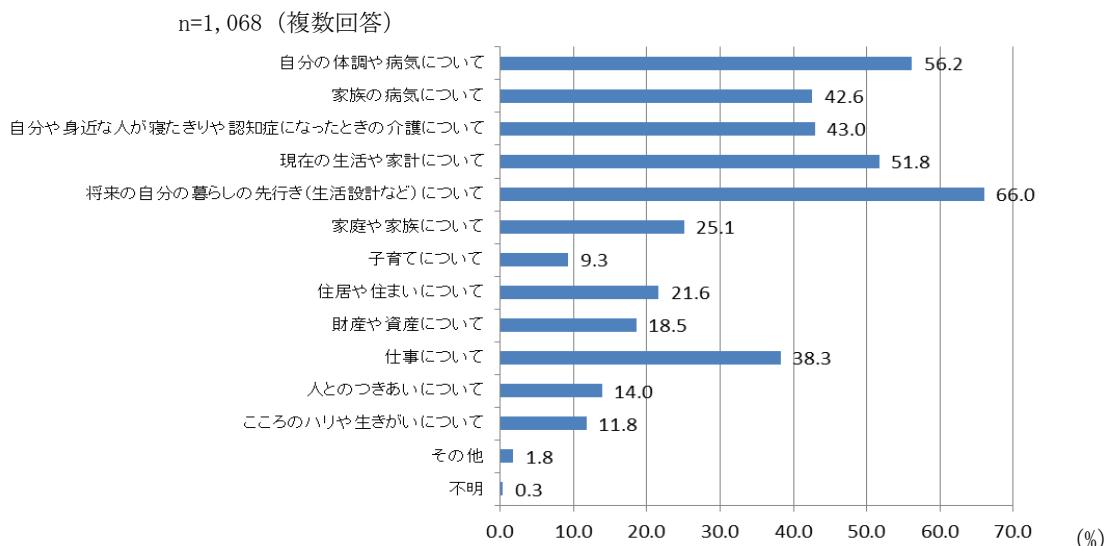
『(不安や心配は) ない』は“健康(計)”(26.0%)が“健康ではない(計)”(10.3%)より15.7ポイント高くなっている。



(4) 不安・心配の内容

Q16-1. あなたが、不安になったり、心配になったりするのはどのようなことですか。(あてはまる全てに○)

「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が66.0%で最も高く、以下、「自分の体調や病気について」が56.2%、「現在の生活や家計について」が51.8%、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が43.0%などとなっている。



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、「家族の病気について」が14.1ポイント、「現在の生活や家計について」が8.5ポイント、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が7.4ポイント増加している。

	回答者数 (人) (複数回答)	自分の体調や病気について	家族の病気について	つらい知識や近づいた人が寝たきりの介護にや	自分や身近な人が寝たきりの介護にや	現在の生活や家計について	将来の生活や家計について	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	いこころのハリや生きがいにつ	その他	不明
今回調査	1,068	56.2	42.6	43.0	51.8	66.0	25.1	9.3	21.6	18.5	38.3	14.0	11.8	1.8	0.3	
平成22年調査	351	51.3	28.5	35.6	43.3	62.1	28.8	9.4	24.2	16.8	33	11.7	13.1	1.4	0.3	

[性別]

男性（68.0%）、女性（64.7%）とともに「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が最も高くなっている。

																(%)
回答者数（人）（複数回）	自分の体調や病気について	家族の病気について	護や認知症についてになつたときの介り	自分や身近な人が寝たきりについて	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいについて	その他	不明	
全体	1,068	56.2	42.6	43.0	51.8	66.0	25.1	9.3	21.6	18.5	38.3	14.0	11.8	1.8	0.3	
男性	472	61.2	40.3	39.0	53.8	68.0	26.9	9.5	20.6	22.2	48.3	12.1	11.9	1.7	0.2	
女性	580	52.1	44.7	46.7	50.5	64.7	24.0	9.3	22.4	15.3	30.3	15.7	11.6	1.7	0.3	

[年齢]

定年退職を迎える55～59歳は「仕事について」の著しい低下に対し、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が高くなっている。

																(%)
回答者数（人）（複数回答）	自分の体調や病気について	家族の病気について	症になつたときの介護について認知	自分や身近な人が寝たきりについて	現在の生活や家計について	活設計などについての先行き（生	将来の自分の暮らしの先行き（生	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいについて	その他	不明
全体	1,068	56.2	42.6	43.0	51.8	66.0	25.1	9.3	21.6	18.5	38.3	14.0	11.8	1.8	0.3	
40～44歳	267	46.1	39.0	41.6	54.7	67.0	30.7	20.2	22.1	26.2	51.7	19.1	10.1	1.1	0.4	
45～49歳	193	56.5	50.3	48.2	56.5	72.5	30.1	13.0	24.9	19.2	50.3	14.5	14.0	2.1	0.0	
50～54歳	170	65.3	45.9	46.5	51.2	64.7	23.5	7.1	20.0	14.7	50.0	16.5	10.6	2.4	0.0	
55～59歳	163	55.2	36.8	43.6	51.5	70.6	22.1	3.7	19.6	22.1	26.4	10.4	12.9	2.5	0.0	
60～64歳	256	60.9	42.6	39.1	46.5	58.6	19.5	0.4	21.1	10.2	16.0	9.0	11.7	1.2	0.8	

[仕事の有無]

“仕事をしている”人の不安や心配ごとは「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」、「仕事について」が高く、一方、“仕事はしていない”人は「自分の体調や病気について」が高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	自分の体調や病気について	家族の病気について	つらい知り症や身近な人が寝たきりの介護りにや	現在の生活や家計について	将来の生活設計などの暮らしの先行き	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいにつ	その他	不明
全体	1,068	56.2	42.6	43.0	51.8	66.0	25.1	9.3	21.6	18.5	38.3	14.0	11.8	1.8	0.3
会社員(役員を含む)	390	51.5	39.7	44.6	49.0	72.1	27.7	10.5	23.1	22.1	47.4	12.1	9.7	1.3	0.3
公務員	54	63.0	57.4	59.3	38.9	61.1	38.9	18.5	18.5	29.6	37.0	18.5	13.0	1.9	0.0
自営業	109	55.0	36.7	33.9	46.8	58.7	22.0	7.3	11.9	17.4	51.4	9.2	8.3	1.8	0.0
パート・アルバイト	211	54.0	41.7	38.9	61.1	67.3	20.4	8.1	22.3	10.9	36.5	14.7	10.4	2.8	0.9
専業主婦	114	50.0	52.6	50.9	42.1	53.5	31.6	15.8	21.1	20.2	8.8	17.5	12.3	0.9	0.0
無職	143	76.9	41.3	39.2	62.9	67.1	20.3	2.1	24.5	14.7	31.5	18.2	18.9	0.0	0.0
その他	30	46.7	50.0	53.3	56.7	60.0	16.7	6.7	26.7	20.0	33.3	13.3	20.0	10.0	0.0

[健康感]

“健康ではない（計）”人の不安や心配ごとは“健康（計）”な人に比べ、「自分の体調や病気について」が41.4ポイントも高くなっている。

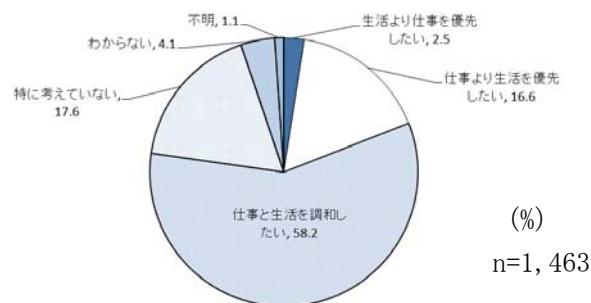
一方、“健康（計）”人の不安や心配ごとは“健康ではない（計）”人に比べ、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が5.0ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	自分の体調や病気について	家族の病気について	つらい知り症や身近な人が寝たきりの介護りにや	現在の生活や家計について	将来の生活設計などの暮らしの先行き	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいにつ	その他	不明
全体	1,068	56.2	42.6	43.0	51.8	66.0	25.1	9.3	21.6	18.5	38.3	14.0	11.8	1.8	0.3
健康(計)	814	46.9	41.5	44.2	50.1	67.3	25.1	10.1	20.4	18.3	37.5	11.9	10.0	1.6	0.4
健康ではない(計)	223	88.3	48.0	40.4	58.3	62.3	26.0	6.7	26.0	18.4	42.2	22.0	17.9	2.2	0.0

(5) ワークライフバランス

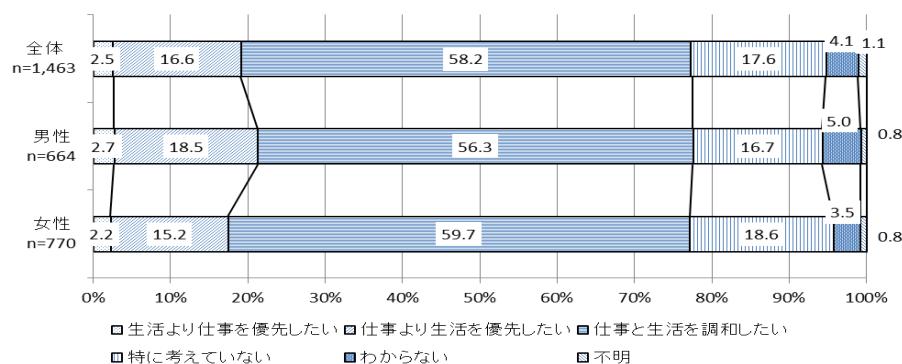
Q17. あなたは、ワークライフ（仕事と生活の）バランスについてどのように考えていますか。
(1つに○)

「仕事と生活を調和したい」が58.2%と突出して高く、「特に考えていない」17.6%、「仕事より生活を優先したい」16.6%となっている。



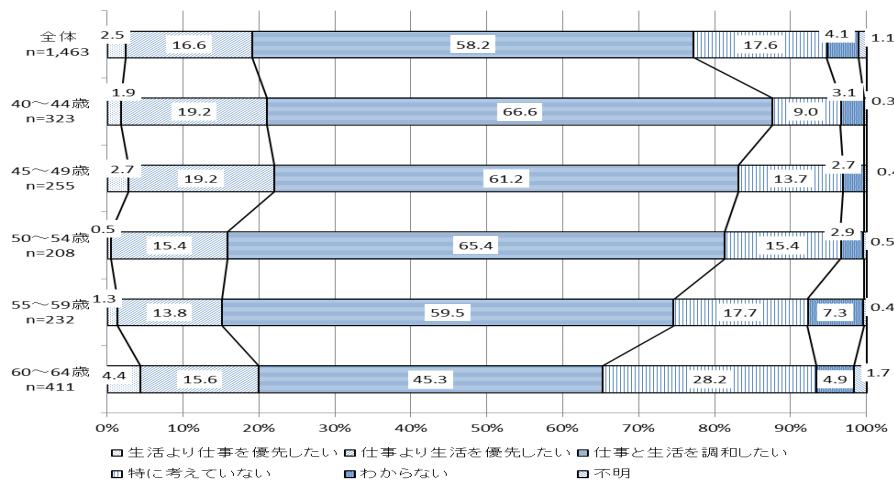
[性別]

「仕事より生活を優先したい」は男性（18.5%）が女性（15.2%）より3.3ポイント高くなっている。



[年齢]

60～64歳になると「特に考えていない」の増加割合が高くなっています。定年退職による生活形態の変化が伺える。

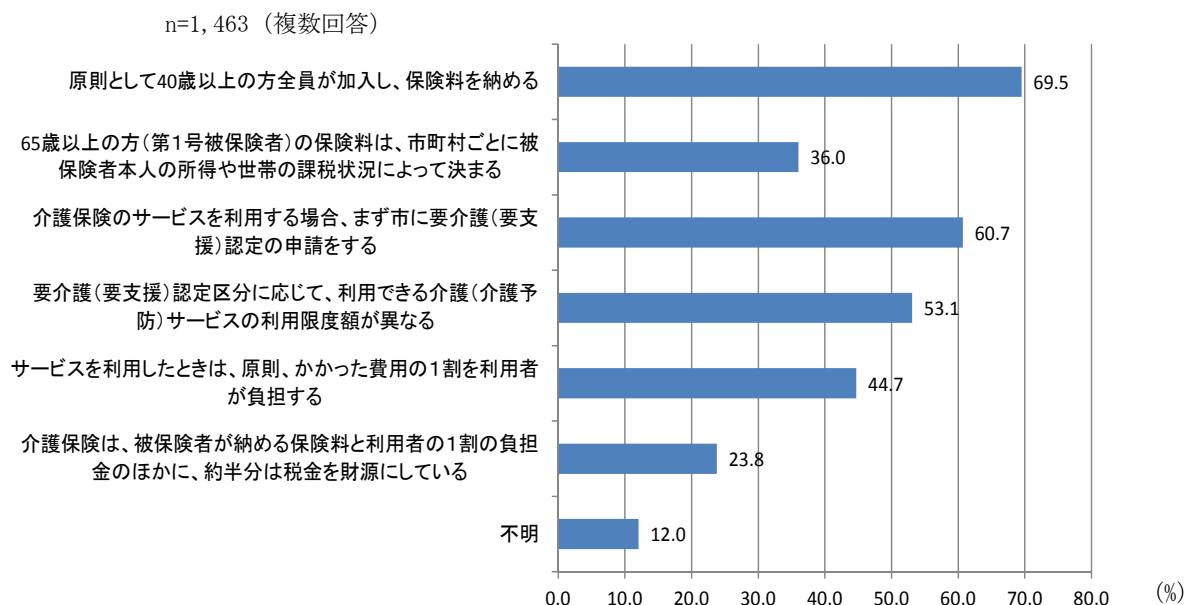


4. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度について

Q18. あなたは、次の介護保険制度について、知っているものにはありますか。(知っているもの全てに○)

「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が69.5%で最も高く、以下、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」が60.7%、「要介護（要支援）認定区分に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」が53.1%、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」が44.7%、「65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決まる」が36.0%などとなっている。



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」が10.4ポイント増加している。

	回答者数 (人) (複数回答)	が原則として保険料を以納める方全員	が保険状況の歳に保以上つ人料のてのは方決所、ま得市第るや町1世村号帶ご被のと保課に保	税被者6状保～5況陰の歳に者保以上本陰上つ人料のてのは方決所、ま得市第るや町1世村号帶ご被のと保課に保	援場介～合護認、保定まの申市サ～要ビスをす介護を用支する	な防じる～て介サ、護～利～ビスで支援のき～利～用要～用認限護定度へ区額介分が護に異予応	者則サが、～負かビスすつを～利～用使～用したと～割をは、用原	にの保介しほ陰護てか料保いにとと～用、被半者分は1～税割者金のが負納財担め源金る	不明
今回調査	1,463	69.5	36.0	60.7	53.1	44.7	23.8	12.0	
平成22年調査	519	68.6	31.4	61.5	51.1	34.3	17.3	1.9	

[性別]

すべての項目で、女性の認知度が高くなっている。

回答者数（人）（複数回答）	が原則として保険料を納める方全員	税被者6状保～5況險の歳によつ本人料のてのは方決所、～ま得市第1や町世村号帶ごと被のと保課に険	援場介～合護認定まの申請に要介スる護を利～用支する	な防じる～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	要介～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	則サ～が負担する～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	にの保介～し～ほ～保～約用半者被分は1～税割者金のが負納財擔め源金の	(%)	
								不明	
全体	1,463	69.5	36.0	60.7	53.1	44.7	23.8	12.0	
男性	664	65.1	31.8	51.7	43.2	40.8	22.0	14.9	
女性	770	73.4	39.7	68.7	61.7	47.9	25.2	9.2	

[年齢]

40～54歳までは「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が、55歳以上になると「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」が高くなっている。

回答者数（人）（複数回答）	が原則として保険料を納める方全員	税被者6状保～5況險の歳によつ本人料のてのは方決所、～ま得市第1や町世村号帶ごと被のと保課に険	援場介～合護認定まの申請に要介スる護を利～用支する	な防じる～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	要介～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	則サ～が負担する～サ～利～ビスの利～用～認定区～限度～額が護に異予応	にの保介～し～ほ～保～約用半者被分は1～税割者金のが負納財擔め源金の	(%)	
								不明	
全体	1,463	69.5	36.0	60.7	53.1	44.7	23.8	12.0	
40～44歳	323	67.8	25.7	43.7	39.9	28.5	18.0	18.6	
45～49歳	255	75.7	32.5	54.9	49.4	39.6	20.4	12.2	
50～54歳	208	76.4	33.2	63.0	52.9	50.0	21.6	9.1	
55～59歳	232	67.2	40.5	71.6	65.5	49.6	27.6	7.8	
60～64歳	411	65.0	45.0	71.0	59.4	55.0	29.4	9.7	

[世帯構成]

一人暮らしと家族などと同居は「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が、その他（施設入居など）は「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」が高くなっている。

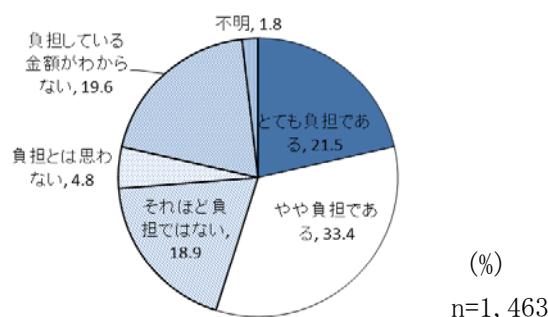
	回答者数（人）（複数回答）	が原則として保険状況に保険料を納める方全員	税被者65歳以上本険によつ人料のてのは方決所、～ま得市第1や町世村号帯ご被のと保課に険	援場介合護認定までの申市サ～ビスを要介する護～利用支する	な防じる～介サ～ビスの利～用介～認限護定度～額介分が護に異予応	要則サ～が負かビ～スすつを利～用したと割は利～用原	にの保介しほ保付にと約用半者被分の保1險税割者金のがを負納財担め源金	不明
全体	1,463	69.5	36.0	60.7	53.1	44.7	23.8	12.0
一人暮らし	245	65.3	33.5	59.2	55.1	49.8	26.9	12.7
家族などと同居（二世帯住宅を含む）	1,115	70.9	36.7	61.1	52.6	43.5	23.0	11.4
その他（施設入居など）	12	50.0	33.3	66.7	58.3	58.3	41.7	25.0

(2) 保険料

Q19. 今後、65歳以上の方が増加し、要介護の認定対象者が増加する一方、それを支える40歳から64歳までの方は減少していきます。あなたは、負担する費用と受けられるサービスについて最も近い考え方はどれですか。（それぞれ1つに○）

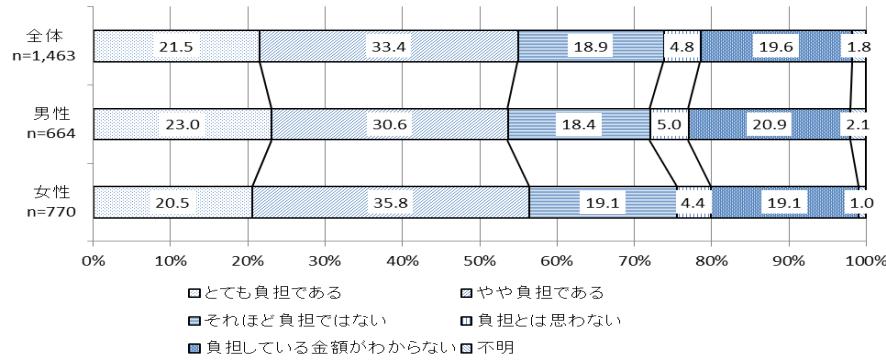
● 負担している保険料

「とても負担である」21.5%と「やや負担である」33.4%を合わせた『負担である』は54.9%、「負担とは思わない」4.8%と「それほど負担ではない」18.9%を合わせた『負担ではない』は23.7%となっている。



[性別]

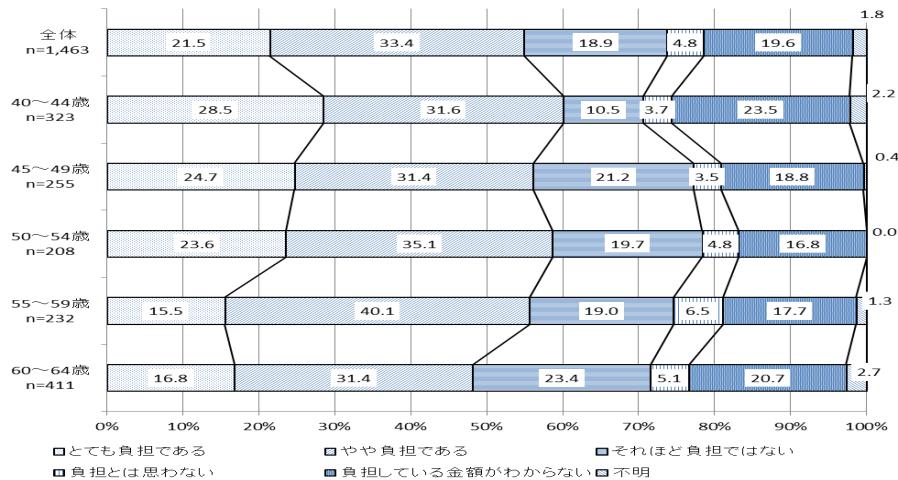
『負担である』は女性（56.3%）が男性（53.6%）より2.7ポイント高くなっている。



[年齢]

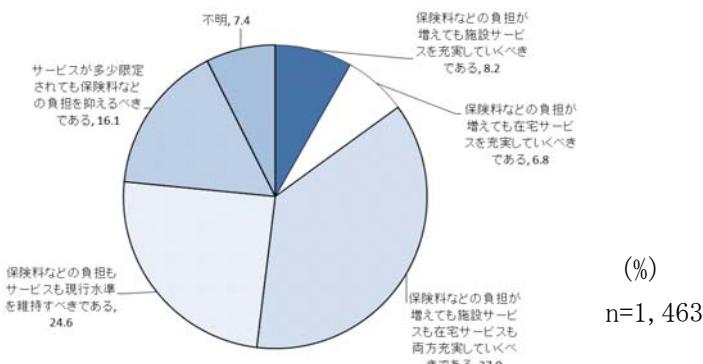
年齢が若くなるにつれ、『負担ではない』が概ね低くなっている。

一方、他の年代と比べ、40～44歳は「負担している金額がわからない」（23.5%）が高く、給与天引きによる納付意識の低さと推察する。



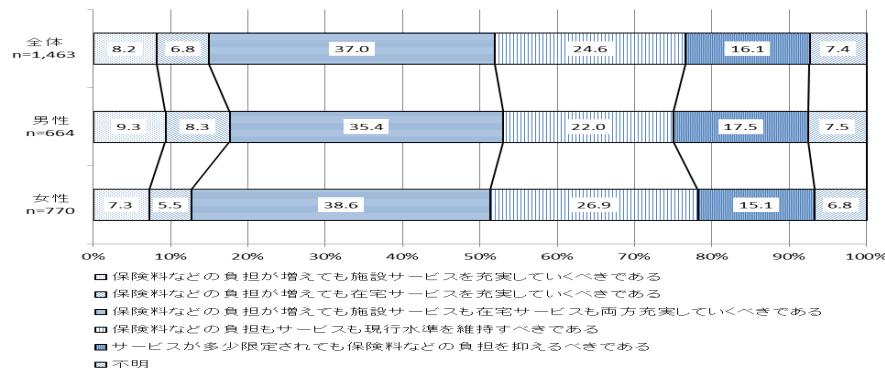
● 受けられるサービス

「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」（37.0%）が最も高い一方、「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」（24.6%）が続いて高くなっている。



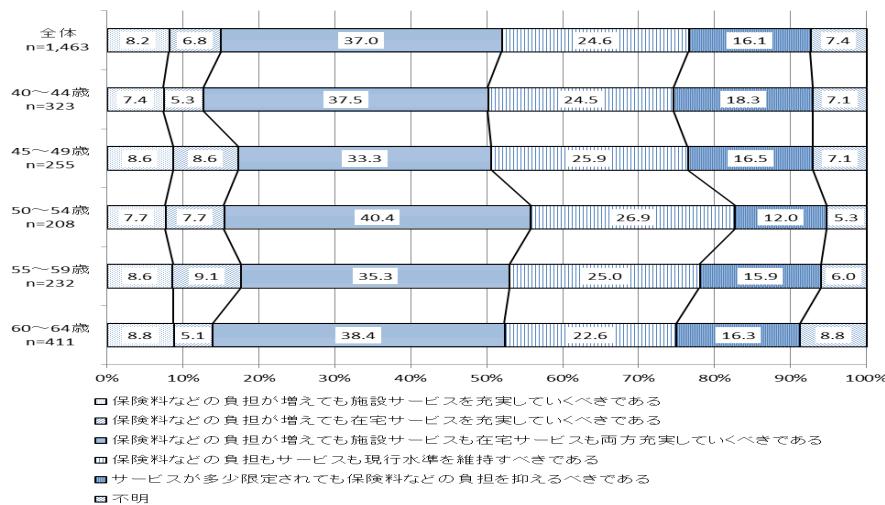
[性別]

女性は男性より「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」(38.6%)、「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」(26.9%)が男性よりも高くなっている。



[年齢]

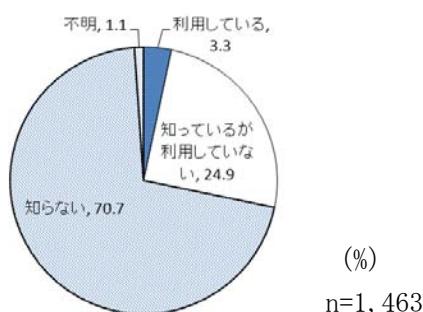
他の年代と比べ、50～54歳は「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」(40.4%)が高くなっている。



(3) 地域包括支援センター

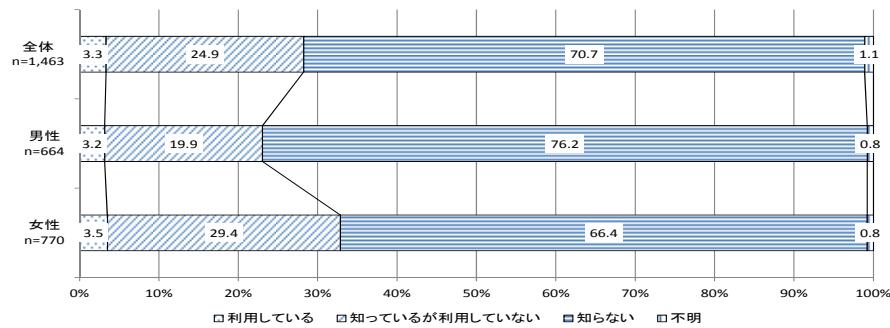
Q20. 地域包括支援センターを利用していますか。(1つに○)

「利用している」(3.3%)と「知っているが利用していない」(24.9%)に比べ、「知らない」(70.7%)となっており、認知度の低さを表している。



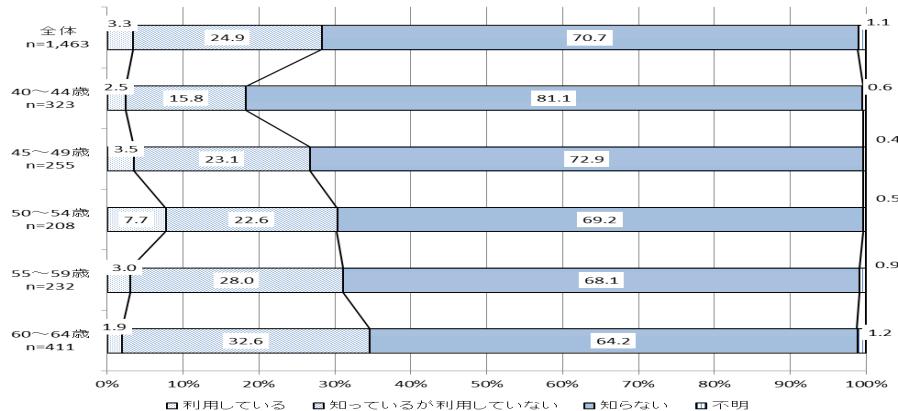
[性別]

「知らない（地域包括支援センター認知度）」は男性（76.2%）が女性（66.4%）より9.8ポイント高くなっている。



[年齢]

年代が上がるにつれ、「知らない」が低くなっている。

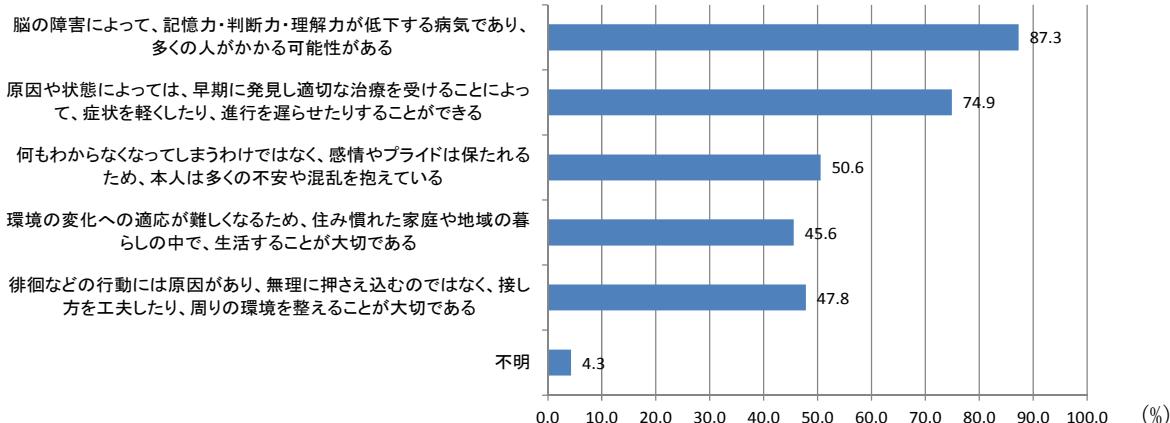


(4) 認知症に関する理解

Q21. あなたは認知症に関する次の内容を知っていますか。（知っているもの全てに○）

「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」（87.3%）と「原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることができる」（74.9%）が特に高くなっている。

n=1,463 (複数回答)



[性別]

「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」を除くすべての項目で、「知っていた」は女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

(%)

答 回 一 答 者 数 (人) (複 数 回)	るの下力脳 人す・の がる判障 か病断害 か気力に るで・よ 可あ理つ 能り解て 性、力、 が多が記 あく低憶	でを症を早原 き遅状受期因 るらをけにや せ軽る発状 たくこ見態 たりしとしに すたに適よ るりよ切つ こ、つなて と進て治は が行、療、	混めやま何 乱、普うも を本ラわわ 抱人イケか えはドでら て多ははな いく保なくな るのたくな 不れ、つ 安る感て やた情し	切中たし環 境でで家く境 あ、庭なの る生やる変 活地た化 す域めへ るの、の こ暮住適 とらみ応 がし慣が 大のれ難	るを工むが徘 整夫のあ徊 えしでりな るたは、ど こりな無の と、く理行 が周、に動 大り接押に 切のしさは で環方え原 あ境を込因	不 明	
全体	1,463	87.3	74.9	50.6	45.6	47.8	4.3
男性	664	85.8	68.5	41.6	37.3	41.1	5.4
女性	770	88.7	80.8	58.7	53.1	54.2	3.0

[年齢]

他の年代と比べ、40～44歳はすべての項目において低くなっている。

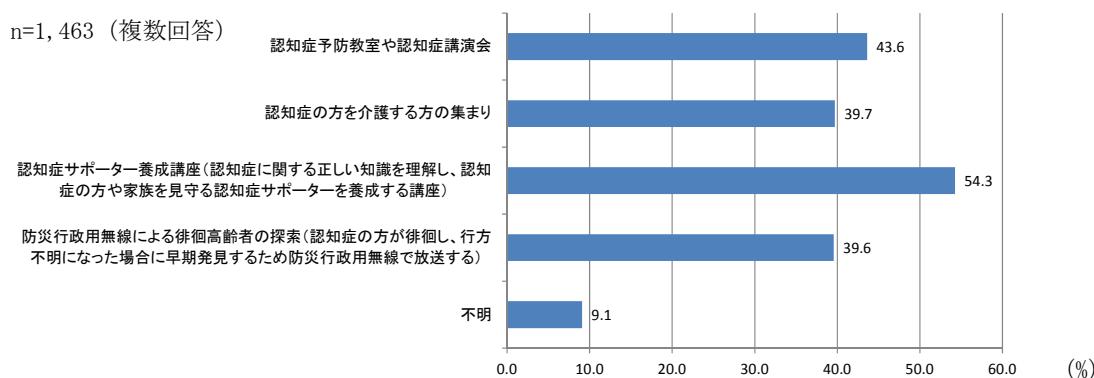
(%)

答 回 一 答 者 数 (人) (複 数 回)	るの下力脳 人す・の がる判障 か病断害 か気力に るで・よ 可あ理つ 能り解て 性、力、 が多が記 あく低憶	でを症を早原 き遅状受期因 るらをけにや せ軽る発状 たくこ見態 たりしとしに すたに適よ るりよ切つ こ、つなて と進て治は が行、療、	混めやま何 乱、普うも を本ラわわ 抱人イケか えはドでら て多ははな いく保なくな るのたくな 不れ、つ 安る感て やた情し	切中たし環 境でで家く境 あ、庭なの る生やる変 活地た化 す域めへ るの、の こ暮住適 とらみ応 がし慣が 大のれ難	るを工むが徘 整夫のあ徊 えしでりな るたは、ど こりな無の と、く理行 が周、に動 大り接押に 切のしさは で環方え原 あ境を込因	不 明	
全体	1,463	87.3	74.9	50.6	45.6	47.8	4.3
40～44歳	323	83.9	66.6	43.7	38.4	35.9	7.7
45～49歳	255	90.2	75.7	50.6	44.3	49.0	2.7
50～54歳	208	88.0	78.4	47.1	39.4	47.6	1.9
55～59歳	232	87.9	77.6	56.9	52.2	53.0	1.3
60～64歳	411	87.8	78.3	55.2	52.6	55.0	4.6

(5) 認知症対策

Q22. 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。(あてはまる全てに○)

「認知症サポーター養成講座（認知症に関する正しい知識を理解し、認知症の方や家族を見守る認知症サポーターを養成する講座）」が54.3%で最も高くなっている。



[性別]

「認知症サポーター養成講座（認知症に関する正しい知識を理解し、認知症の方や家族を見守る認知症サポーターを養成する講座）」は女性（59.5%）が男性（48.6%）より10.9ポイント高くなっている。

	回 複答 数者 回数 答(一 人)	や認 認知 知症 症予 講防 演教 会室	り護認 す知 る症 方の の方 集を ま介	すボ守の理るへタ認 るる方解正認 知 講タ認やしし知養症 座 知家、い症成サ ーを症族認知に講ボ 養サを知識関座 成見症をす	で防期なし症者に防 放災発つ、のよ災 送行見た行方探る行 す政す場方が索徘徊 用る合不徘へ徊用 ー無たに明徊認高無 線め早に 知齡線	不 明
全体	1,463	43.6	39.7	54.3	39.6	9.1
男性	664	41.9	35.2	48.6	39.8	11.6
女性	770	45.7	44.0	59.5	39.5	6.5

[年齢]

年齢による大きな特徴の差はみられない。

	回 複答 数者 回数 答(一 人)	や認 認知 知症 症予 講防 演教 会室	り護認 す知 る症 方の の方 集を ま介	すボ守の理るへタ認 るる方解正認 知 講タ認やしし知養症 座 知家、い症成サ ーを症族認知に講ボ 養サを知識関座 成見症をす	で防期なし症者に防 放災発つ、のよ災 送行見た行方探る行 す政す場方が索徘徊 用る合不徘へ徊用 ー無たに明徊認高無 線め早に 知齡線	不 明
全体	1,463	43.6	39.7	54.3	39.6	9.1
40~44歳	323	38.7	45.2	52.9	36.8	11.5
45~49歳	255	41.6	40.4	55.3	40.8	8.2
50~54歳	208	46.6	42.3	57.7	36.1	9.1
55~59歳	232	48.3	37.1	54.7	39.2	6.9
60~64歳	411	46.0	36.3	53.5	42.6	8.3

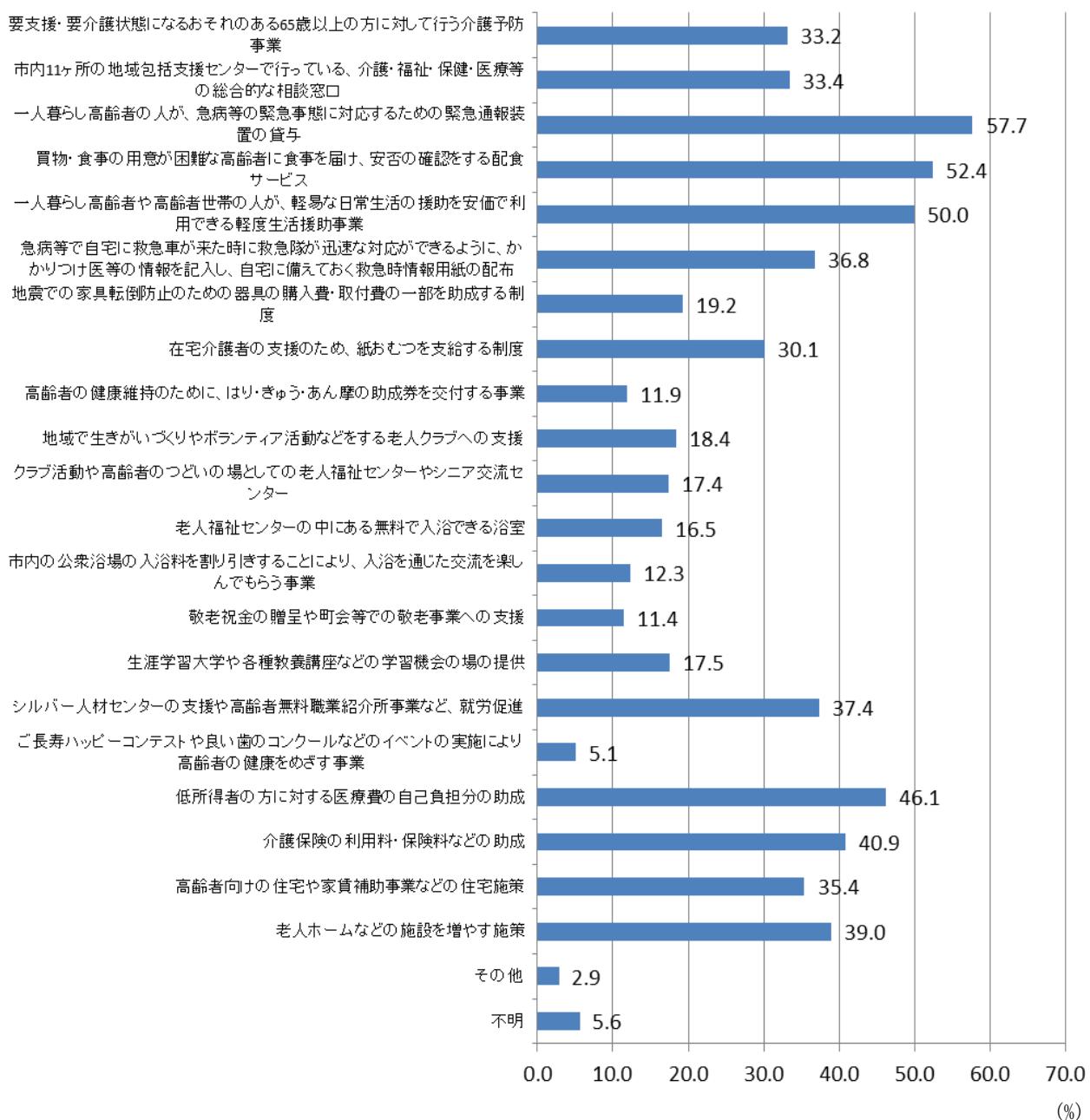
5. 介護保険制度以外のサービスについて

(1) 充実すべき高齢者施策

Q23. 松戸市では、介護保険制度以外にも高齢者施策を実施していますが、その施策の必要性についてうかがいます。より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまる全てに○）

「一人暮らし高齢者が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」が57.7%で最も高く、以下、「買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス」が52.4%、「一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」が50.0%、「低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成」が46.1%、「介護保険の利用料・保険料などの助成」が40.9%などとなっている。

n=1,463 (複数回答)



[性別]

男性、女性ともに「一人暮らし高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」、「買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス」、「一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」が上位3項目となっている。

		(%)																							
		その他	老人ホームなどの施設を増やす施策	介護保険の利用料・保険料などの助成	低所得の方に対する医療費の自己負担分の助成	ご長寿ハッピー・コンテストや良い歯のコンクールなどのイベントの実施により高齢者の健康をめざす事業	シルバー人材センターの支援や高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進	生涯学習大学や各種教養講座などの学習機会の場の提供	敬老祝金の贈呈や町会等での敬老事業への支援	老人福祉センターの中にある無料で入浴できる浴室	市内の公衆浴場の入浴料を割り引きすることにより、入浴を通じた交流を楽しんでもらう	事業	クラブ活動や高齢者のつどいの場としての老人福祉センター・シニア交流センター	地域で生きがいづくりやボランティア活動などをする老人クラブへの支援	高齢者の健康維持のために、はり・きゅう・あん摩の助成券を交付する事業	在宅介護者の支援のため、紙おむつを支給する制度	地震での家具転倒防止のための器具の購入費・取付費の一部を助成する制度	急病等で自宅に救急車が来た時に救急隊が迅速な対応ができるよう、かかりつけ医等の情報を記入し、自宅に備えておく救急時情報用紙の配布	一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業	買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス	一人暮らし高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与	市内11ヶ所の地域包括支援センターで行っている、介護・福祉・保健・医療等の総合的な相談窓口	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対して行う介護予防事業	回答者数（人）（複数回答）	不明
全体	1,463	33.2	33.4	57.7	52.4	50.0	36.8	19.2	30.1	11.9	18.4	17.4	16.5	12.3	11.4	17.5	37.4	5.1	46.1	40.9	35.4	39.0	2.9	5.6	
男性	664	36.4	32.8	56.0	52.7	45.5	37.3	18.4	25.8	12.8	18.5	18.2	17.8	15.2	11.9	18.1	38.7	5.6	47.0	39.5	34.9	35.1	2.9	7.2	
女性	770	30.9	34.4	59.4	52.6	53.9	36.9	19.7	34.0	11.2	18.2	16.9	15.3	10.0	10.8	16.9	35.7	4.7	45.2	42.1	35.6	42.5	2.9	3.6	

[年齢]

いずれの年代においても「一人暮らし高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」、「買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス」、「一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」が上位3項目となっている。また、年代が上がるにつれ、「老人ホームなどの施設を増やす施策」が高くなっている。

回答者数 (人) (複数回答)	(%)																							
	不明	その他	老人ホームなどの施設を増やす施策	高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策	介護保険の利用料・保険料などの助成	低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成	ご長寿ハッピーコンテストや良い歯のコンクールなどのイベントの実施により高齢者の健康をめざす事業	シルバー人材センターの支援や高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進	生涯学習大学や各種教養講座などの学習機会の場の提供	敬老祝金の贈呈や町会等での敬老事業への支援	市内の公衆浴場の入浴料を割り引きすることにより、入浴を通じた交流を楽しんでもらう事業	老人福祉センターの中にある無料で入浴できる浴室	高齢者の健康維持のために、はり・きゅう・あん摩の助成券を交付する事業	クラブ活動や高齢者のつどいの場としての老人福祉センター・シニア交流センター	地域で生きがいづくりやボランティア活動などをする老人クラブへの支援	在宅介護者の支援のため、紙おむつを支給する制度	地震での家具転倒防止のための器具の購入費・取付費の一部を助成する制度	一度生活援助事業で自宅に救急車が来た時に救急隊が迅速な対応ができるよう、かかりつけ医等の情報を記入し、自宅に備えておく救急時情報用紙の配布	一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業	買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス	一人暮らし高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与			
要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対して行う介護予防事業	1,463	33.2	33.4	57.7	52.4	50.0	36.8	19.2	30.1	11.9	18.4	17.4	16.5	12.3	11.4	17.5	37.4	5.1	46.1	40.9	35.4	39.0	2.9	5.6
市内11ヶ所の地域包括支援センターで行っている、介護・福祉・保健・医療等の総合的な相談窓口	323	28.2	30.0	55.7	52.9	49.8	37.2	22.0	29.7	12.1	19.2	19.2	15.8	11.5	6.8	11.5	35.6	4.0	48.0	44.9	36.5	32.2	4.0	7.1
40~44歳	255	34.5	32.9	60.0	52.5	52.2	38.0	18.4	31.8	12.9	22.0	16.9	15.7	16.5	14.5	16.9	38.0	7.8	43.1	38.4	38.0	37.6	3.9	3.9
45~49歳	208	37.0	38.0	65.9	59.1	47.1	38.9	23.6	33.2	9.6	16.3	20.2	19.7	13.9	13.0	17.8	40.9	5.8	49.0	43.3	39.9	39.9	3.8	3.8
50~54歳	232	33.2	37.5	59.1	51.7	48.7	37.5	15.5	26.7	12.1	14.2	15.5	18.5	14.2	11.6	18.1	38.8	4.3	49.6	41.4	33.6	41.4	1.7	3.9
55~59歳	411	35.3	32.8	53.8	50.1	51.1	35.5	17.0	29.9	12.2	18.7	16.5	14.4	8.8	11.9	21.9	35.0	4.4	42.8	37.7	31.1	43.6	1.5	6.3
60~64歳																								

[世帯構成]

その他(施設入居など)は「急病等で自宅に救急車が来た時に救急隊が迅速な対応ができるように、かかりつけ医等の情報を記入し、自宅に備えておく救急時情報用紙の配布」(58.3%)、「シルバーパートナーセンターの支援や高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進」(50.0%)が高くなっている。

なお、回答者(対象母数)が少數のため参考として掲載する。

回答者数 (人)	防事業 要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対する行う介護予	(%)																						
		老人ホームなどの施設を増やす施策	その他	高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策	介護保険の利用料・保険料などの助成	低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成	ご長寿ハッピーコンクールなどのイベントの実施により高齢者の健康をめざす事業	シルバーパートナーセンターの支援や高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進	生涯学習大学や各種教養講座などの学習機会の場の提供	敬老祝金の贈呈や町会等での敬老事業への支援	市内の公衆浴場の入浴料を割り引きすることにより、入浴を通じた交流を楽しんでもらう事業	老人福祉センターの中にある無料で入浴できる浴室	クラブ活動や高齢者のつどいの場としての老人福祉センター・シニア交流センター	地域で生きがいづくりやボランティア活動などをする老人クラブへの支援	高齢者の健康維持のために、はり・きゅう・あん摩の助成券を交付する事業	在宅介護者の支援のため、紙おむつを支給する制度	地震での家具転倒防止のための器具の購入費・取付費の一部を助成する制度	急病等で自宅に救急車が来た時に救急隊が迅速な対応ができるように、かかりつけ医等の情報を記入し、自宅に備えておく救急時情報用紙の配布	一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、気軽な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業	買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス	一人暮らし高齢者が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与	市内1ヶ所の総合的な相談窓口	市内11ヶ所の地域包括支援センターで行っている、介護・福祉・保健・医療等の総合的な相談窓口	その他
全体	1,463	33.2	33.4	57.7	52.4	50.0	36.8	19.2	30.1	11.9	18.4	17.4	16.5	12.3	11.4	17.5	37.4	5.1	46.1	40.9	35.4	39.0	2.9	5.6
一人暮らし	245	36.3	37.1	62.9	55.5	56.3	36.3	21.6	33.5	20.4	19.6	22.0	22.9	18.8	16.7	22.0	39.2	10.2	55.1	44.5	47.8	36.3	5.7	2.9
(一 家族などと同居 する 二 世帯住宅 を含む)	1,115	33.1	32.0	56.6	52.5	48.3	36.9	18.3	29.5	10.0	17.7	16.3	14.5	10.9	9.7	16.1	36.6	3.9	44.2	39.9	32.6	39.2	2.0	5.6
(施設 入居など) その他	12	25.0	33.3	25.0	16.7	41.7	58.3	16.7	16.7	8.3	25.0	33.3	33.3	16.7	0.0	8.3	50.0	0.0	33.3	25.0	25.0	33.3	8.3	16.7

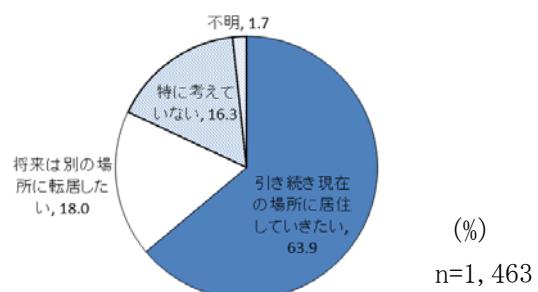
6. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

Q24. 今後の生活についてどのように考えていますか。(それぞれ1つに○)

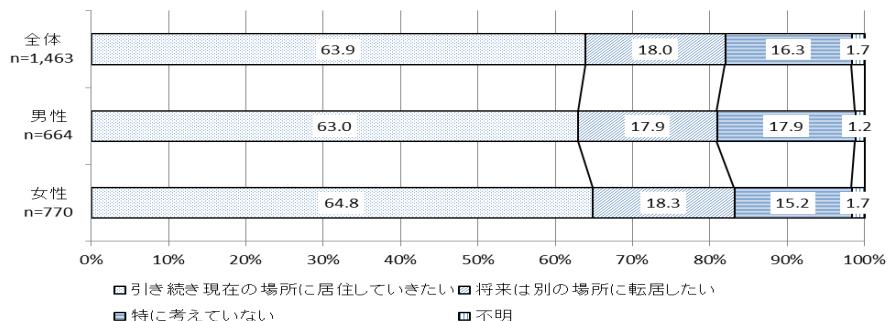
① 生活

「引き続き現在の場所に居住していきたい」(63.9%) がほとんどであり、次いで「将来は別の場所に転居したい」(18.0%) となっている。



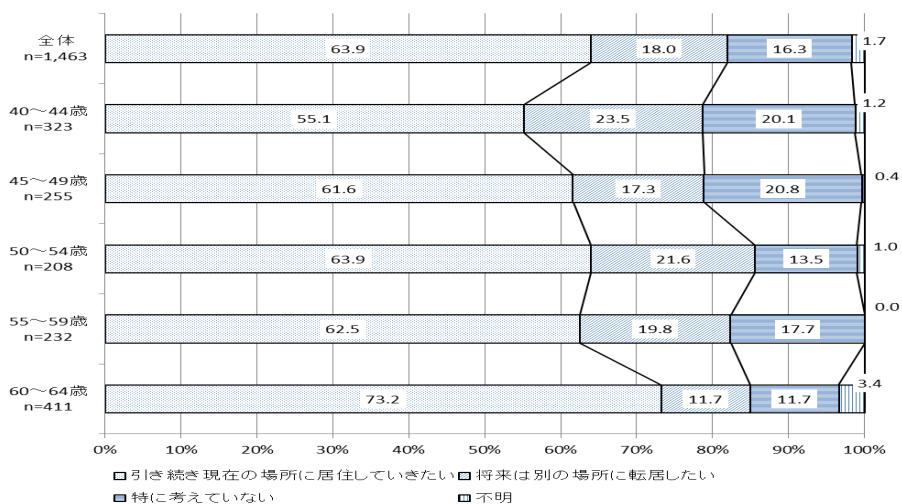
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



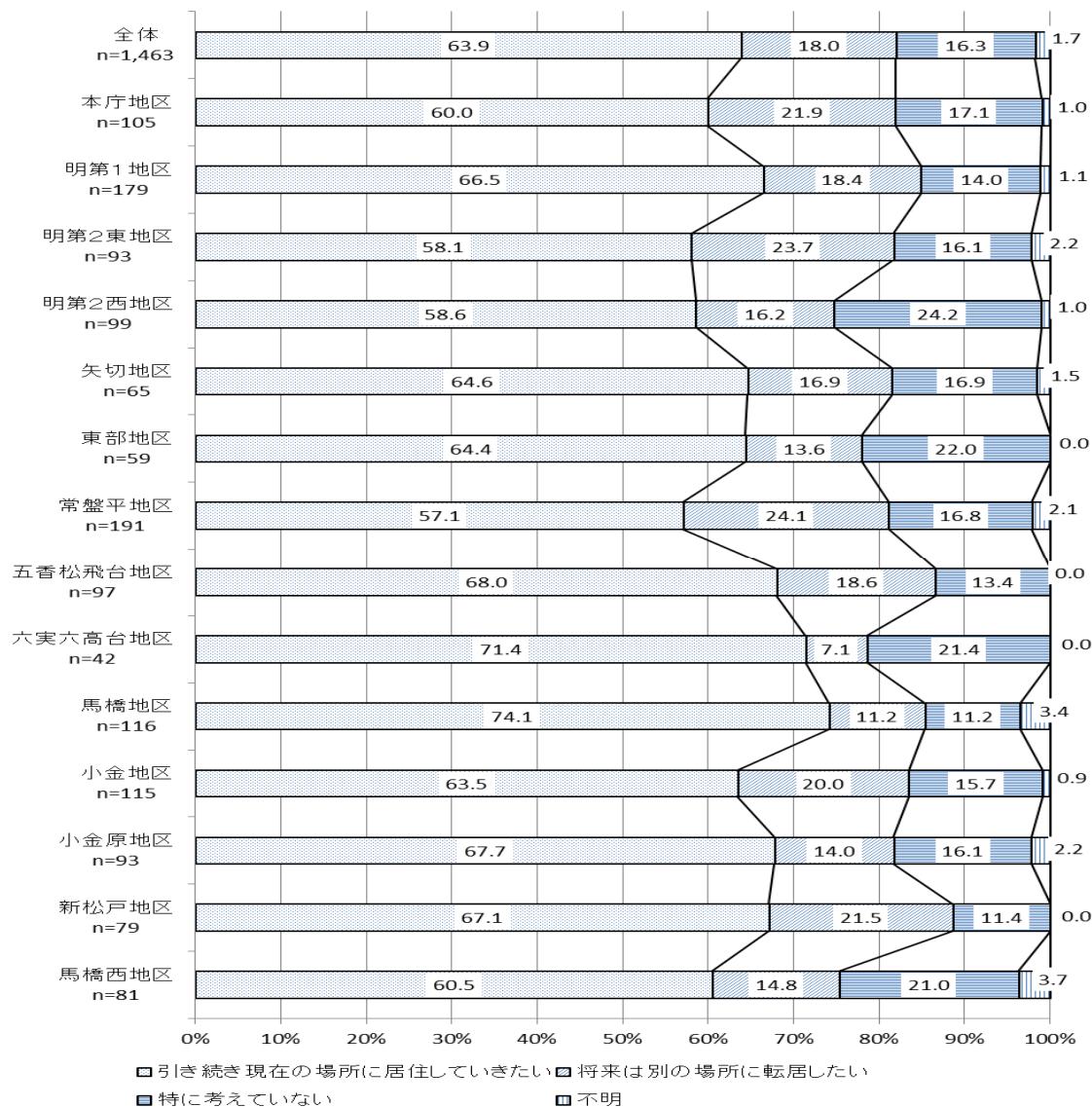
[年齢]

60～64歳になると「引き続き現在の場所に居住していきたい」(73.2%) が顕著に高くなっている。



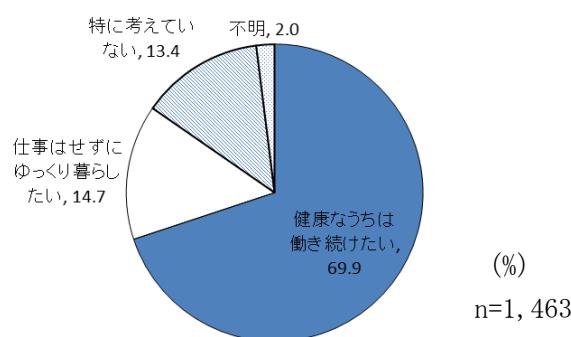
[日常生活圏域]

他地区に比べ、「引き続き現在の場所に居住していきたい」は馬橋地区74.1%が、「将来は別の場所に転居したい」は常盤平地区24.1%が高くなっている。



② 就労

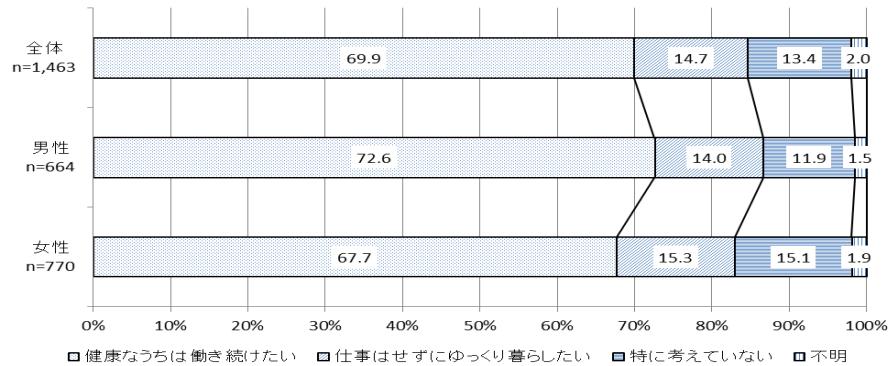
「健康なうちは働き続けたい」が69.9%でほとんどであり、「仕事はせずにゆっくり暮らしたい」が14.7%となっている。



第1章 若年者調査

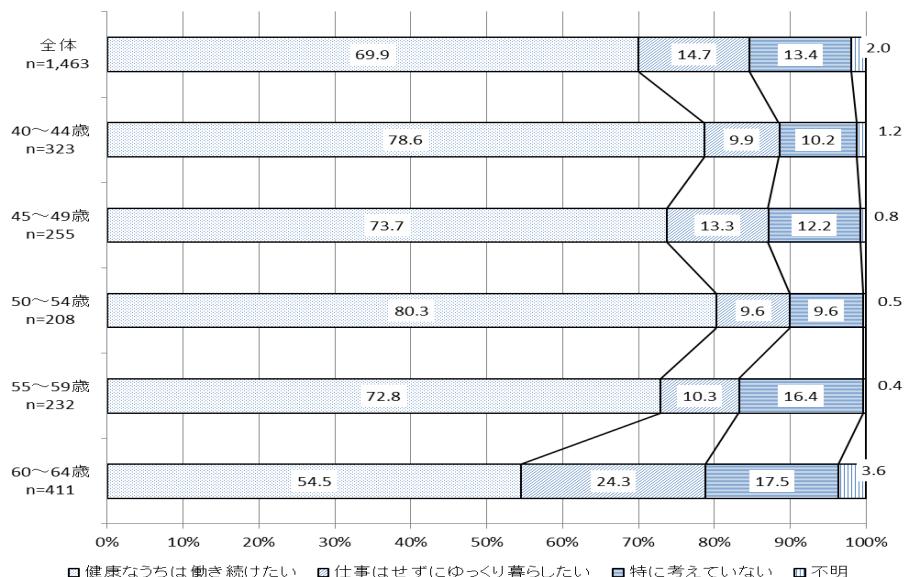
[性別]

「健康なうちは働き続けたい」は男性（72.6%）が女性（67.7%）より4.9ポイント高くなっている。



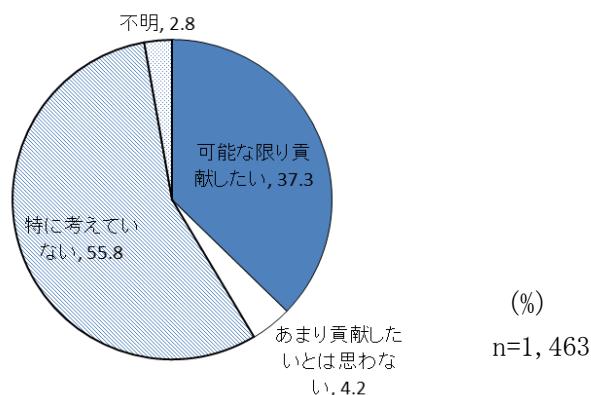
[年齢]

50～54歳の「健康なうちは働き続けたい」（80.3%）が他の年代と比べ、高くなっています。60～64歳の「仕事はせずにゆっくり暮らしたい」（24.3%）が他の年代と比べ、高くなっています。



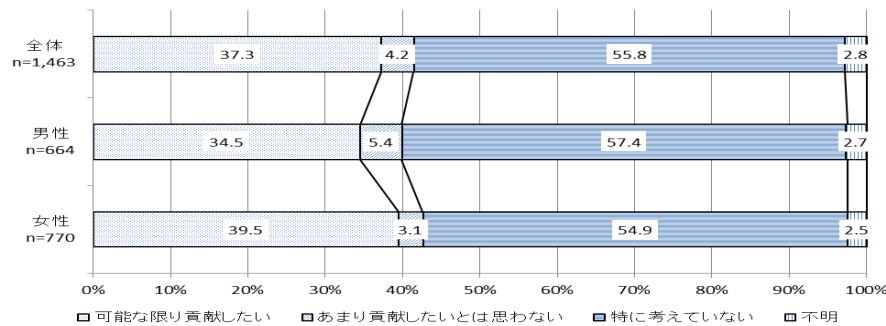
③ 地域貢献

「特に考えていない」（55.8%）が最も高いが、「可能な限り貢献したい」（37.3%）も存在する。



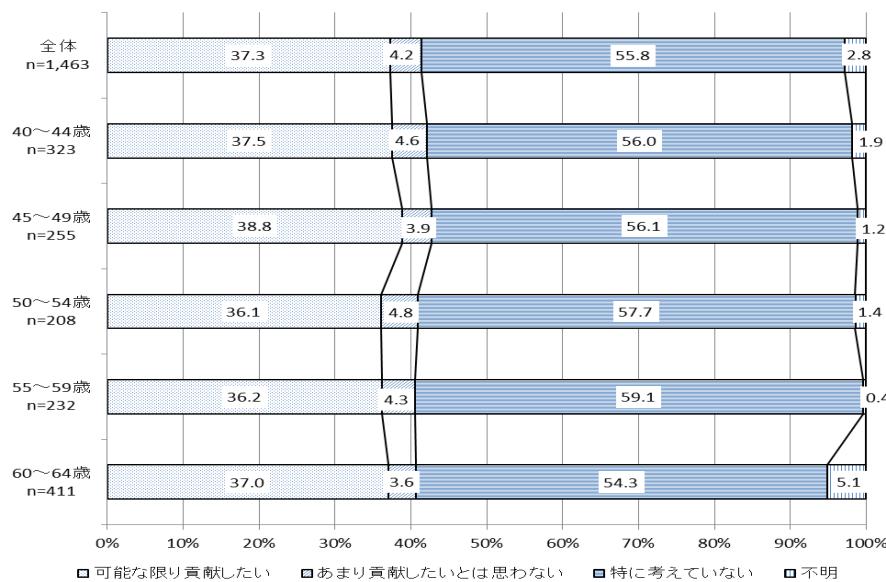
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

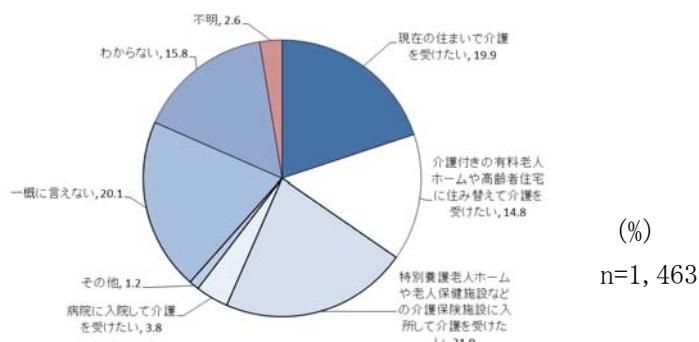
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(2) 希望介護場所

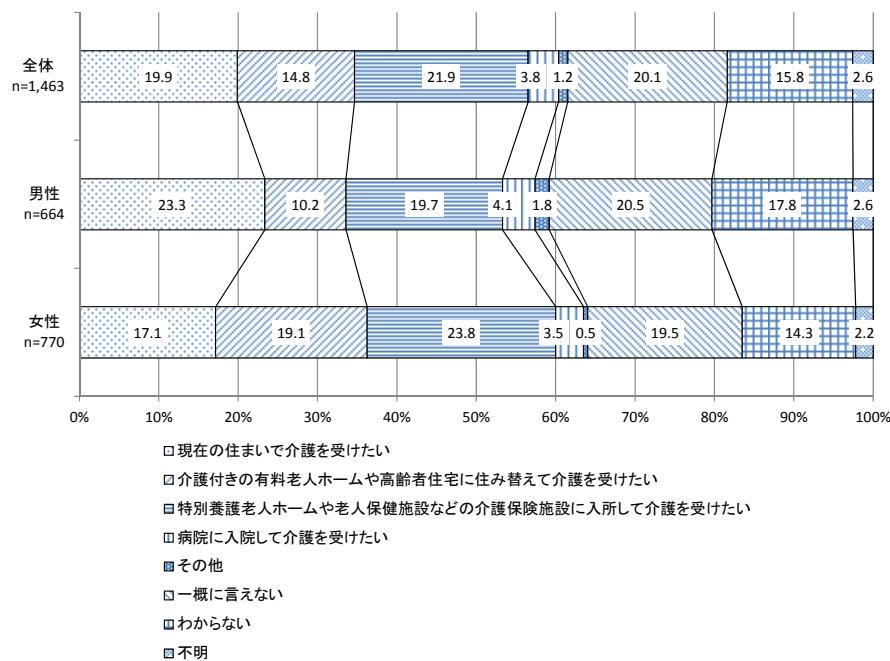
Q25. 仮に、あなたご自身が老後に寝たきりや認知症になり、介護が必要となった場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。(1つに○)

「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」(21.9%)、「一概に言えない」(20.1%)と「現在の住まいでの介護を受けたい」(19.9%)が、ほぼ同様の割合となっている。



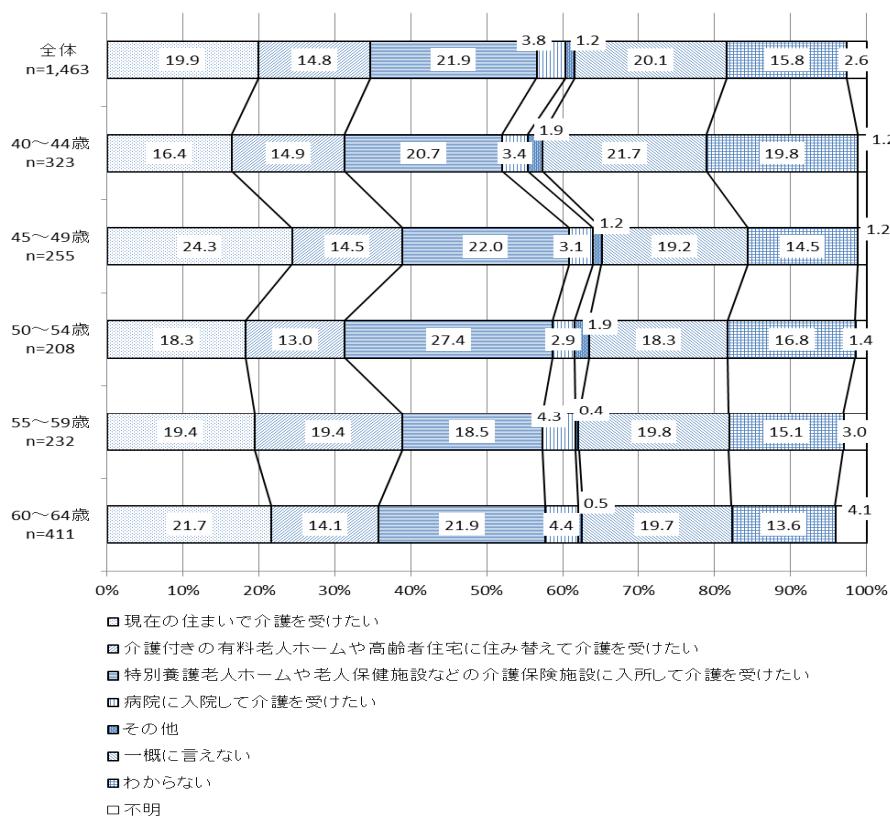
[性別]

男性の「現在の住まいで介護を受けたい」が高いが、女性は「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」や「介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい」が高くなっている。



[年齢]

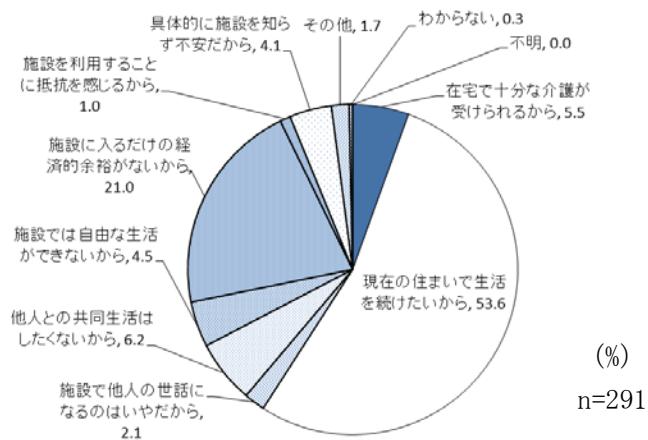
50～54歳は「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」(27.4%) が他の年代と比べ、高くなっている。



(3) 在宅理由

Q25-1. あなたが、在宅を選択する理由を教えてください。(1つに○)

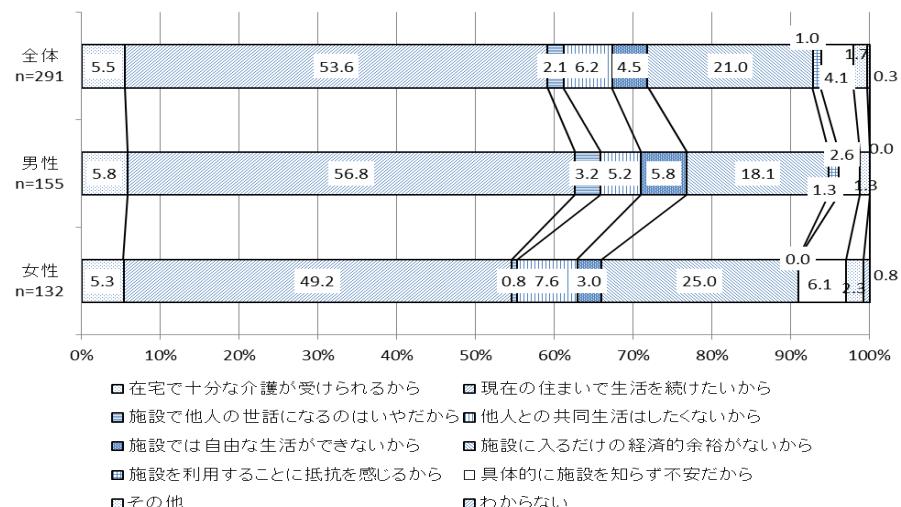
「現在の住まいでの生活を続けたいから」(53.6%)と「施設に入るだけの経済的余裕がないから」(21.0%)で、ほぼ高い理由を占めている。



[性別]

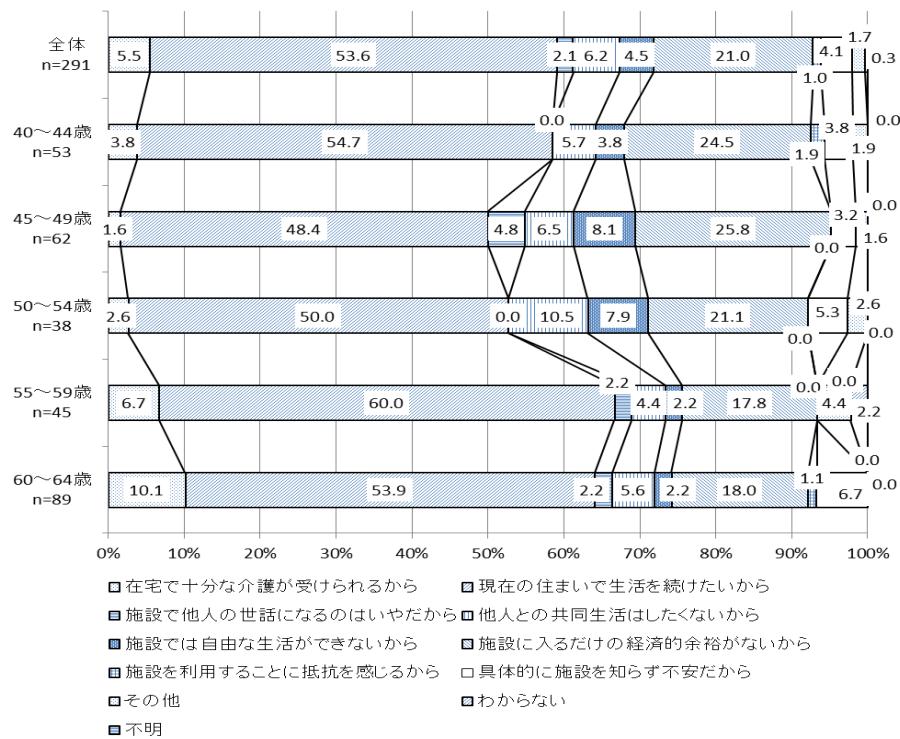
「現在の住まいでの生活を続けたいから」は男性(56.8%)が女性(49.2%)より7.6ポイント高くなっている。

また、「施設に入るだけの経済的余裕がないから」は女性(25.0%)が男性(18.1%)より6.9ポイント高くなっている。



[年齢]

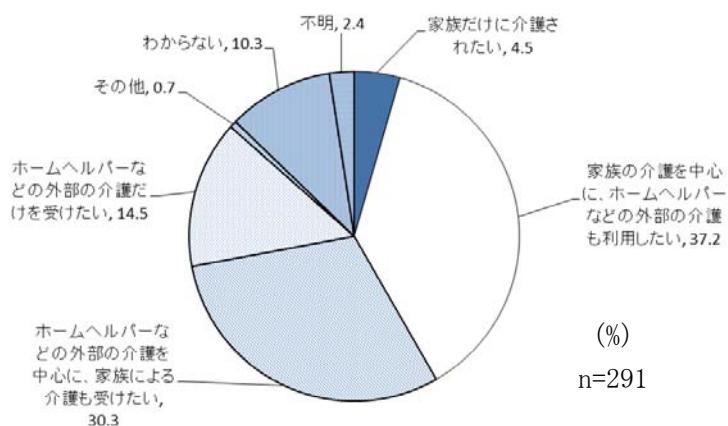
55～59歳の「現在の住まいでの生活を続けたいから」(60.0%)が他の年代と比べ、高くなっている。



(4) 希望介護形態

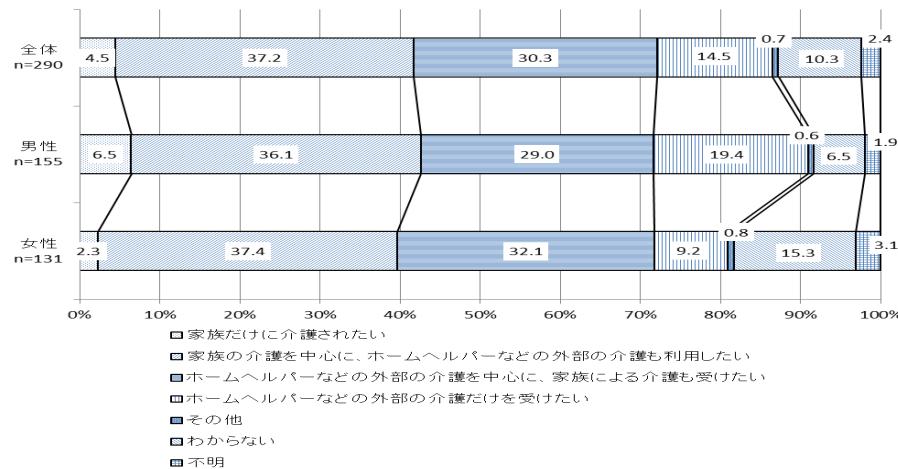
Q25-2. その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つに○)

「家族の介護を中心、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」(37.2%)、「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」(30.3%)が近い割合で続き、「ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい」(14.5%)、「家族だけに介護されたい」(4.5%)は低くなっている。



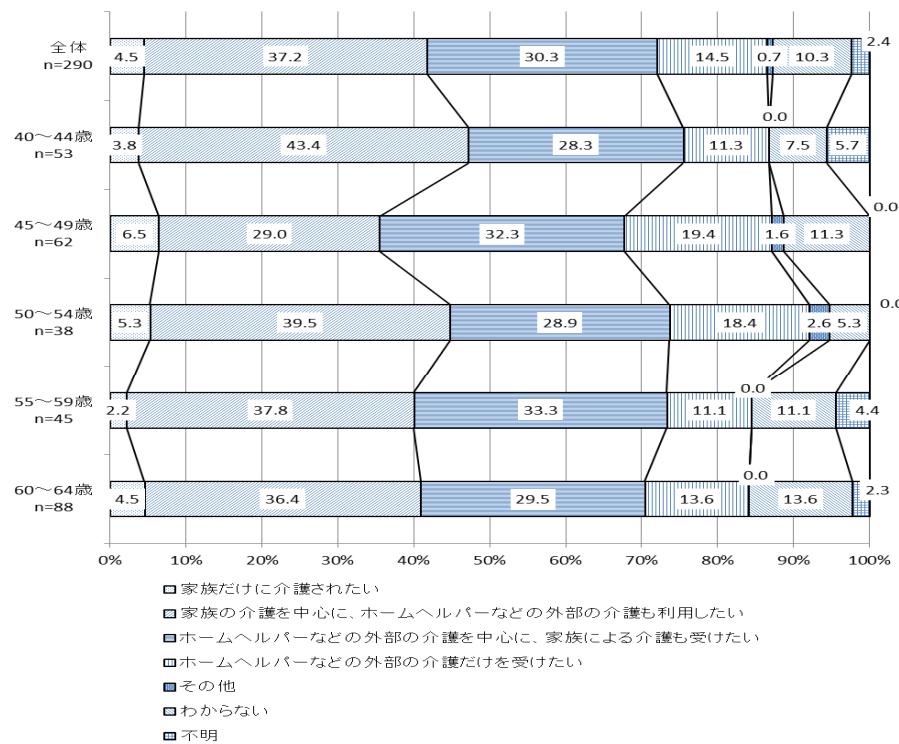
[性別]

「家族だけに介護されたい」は男性（6.5%）が女性（2.3%）より4.2ポイント高い一方で、「ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい」が男性（19.4%）より女性（9.2%）より10.2ポイント高くなっている。



[年齢]

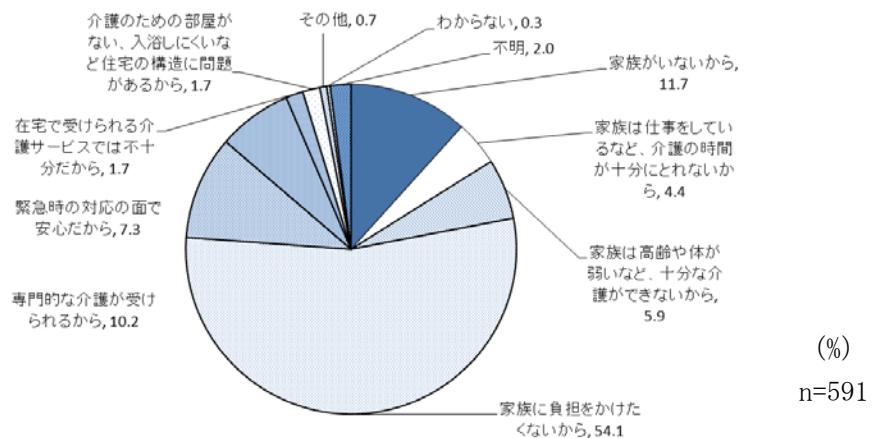
45～49歳は「家族の介護を中心」より「外部の介護を中心」が高くなっている。



(5) 施設希望の理由

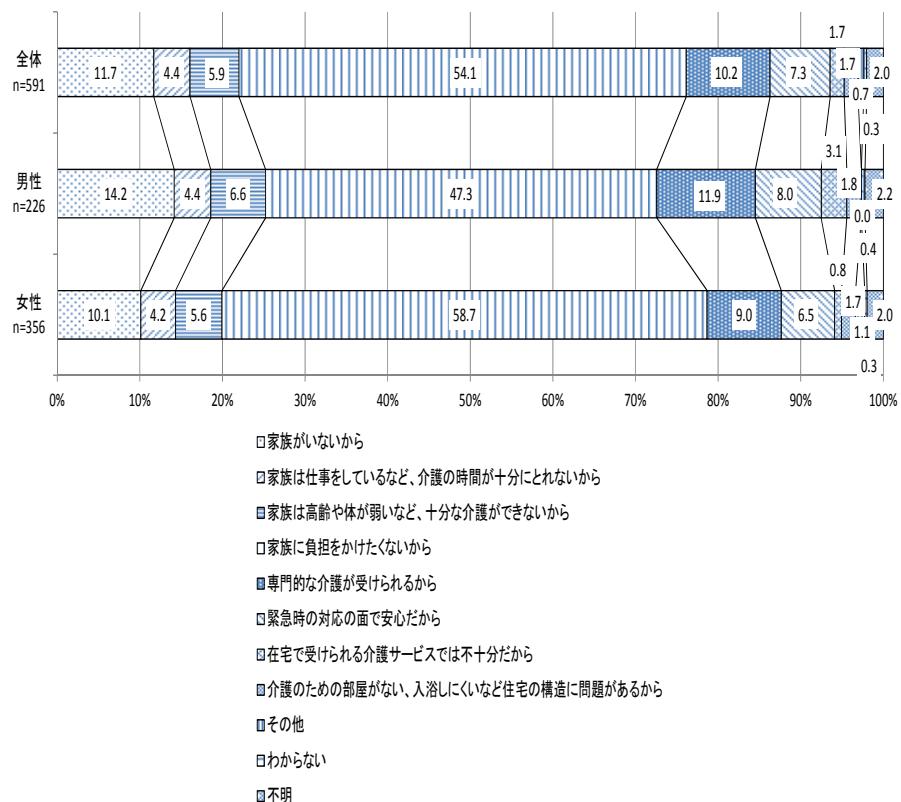
Q25-3. あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つに○)

「家族に負担をかけたくないから」が54.1%で最も高く、以下、「家族がいないから」が11.7%、「専門的な介護が受けられるから」が10.2%、「家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから」が5.9%と続いている。



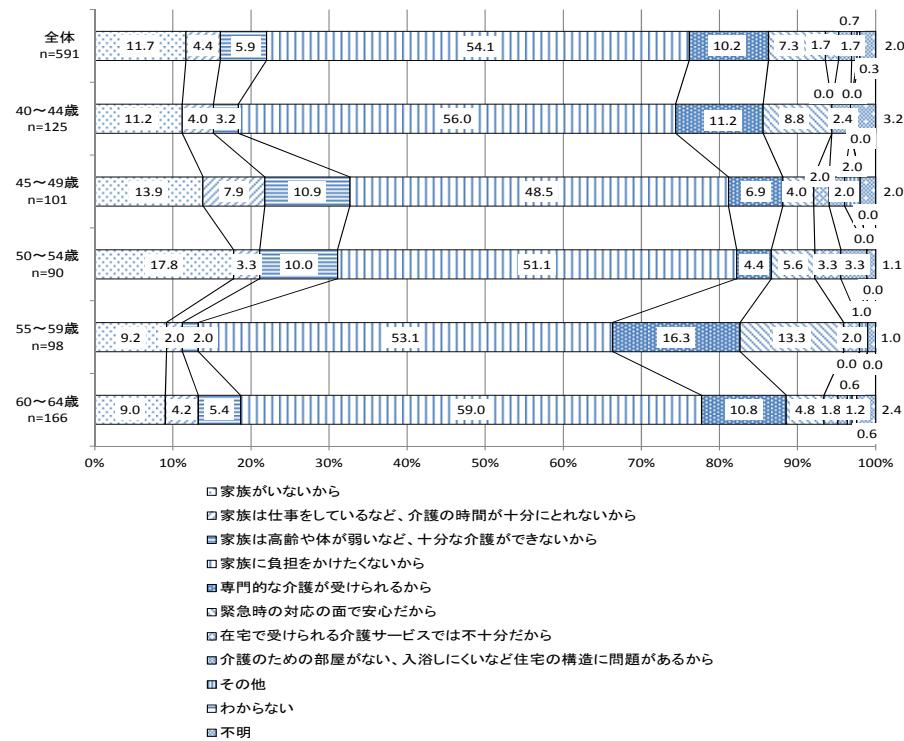
[性別]

「家族に負担をかけたくないから」が男性（47.3%）、女性（58.7%）とともに最も高い。



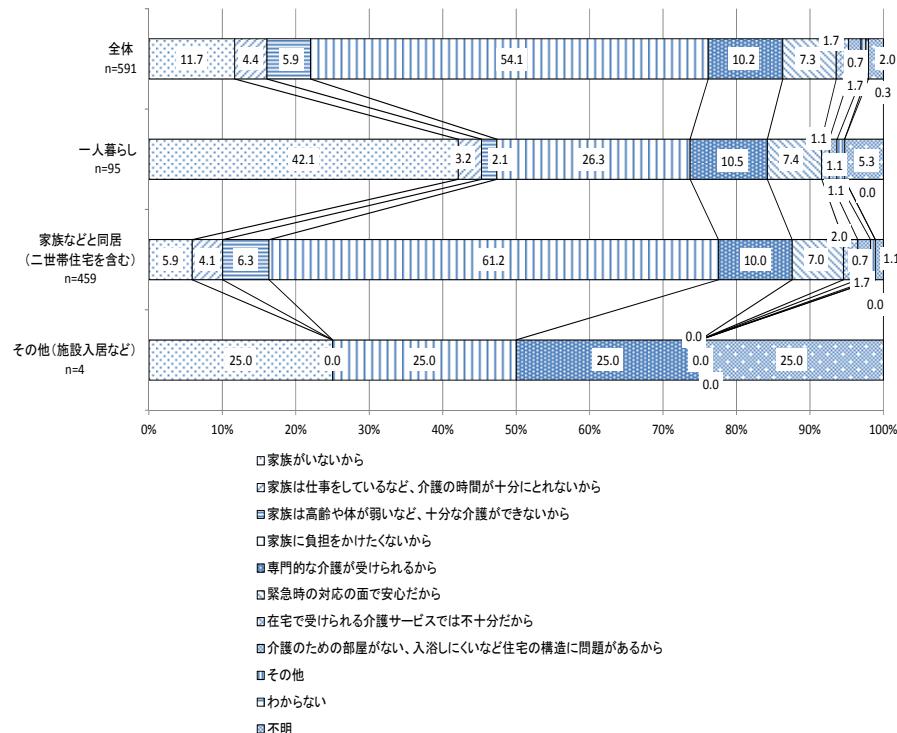
[年齢]

いずれの年代においても、「家族に負担をかけたくないから」が高くなっている。
50～54歳の「家族がいないから」(17.8%)が他の世代と比べ、高くなっている。



[世帯構成]

一人暮らしでは「家族がいないから」(42.1%)、家族などと同居（二世帯住宅を含む）では「家族に負担をかけたくないから」(61.2%)が最も高くなっている。

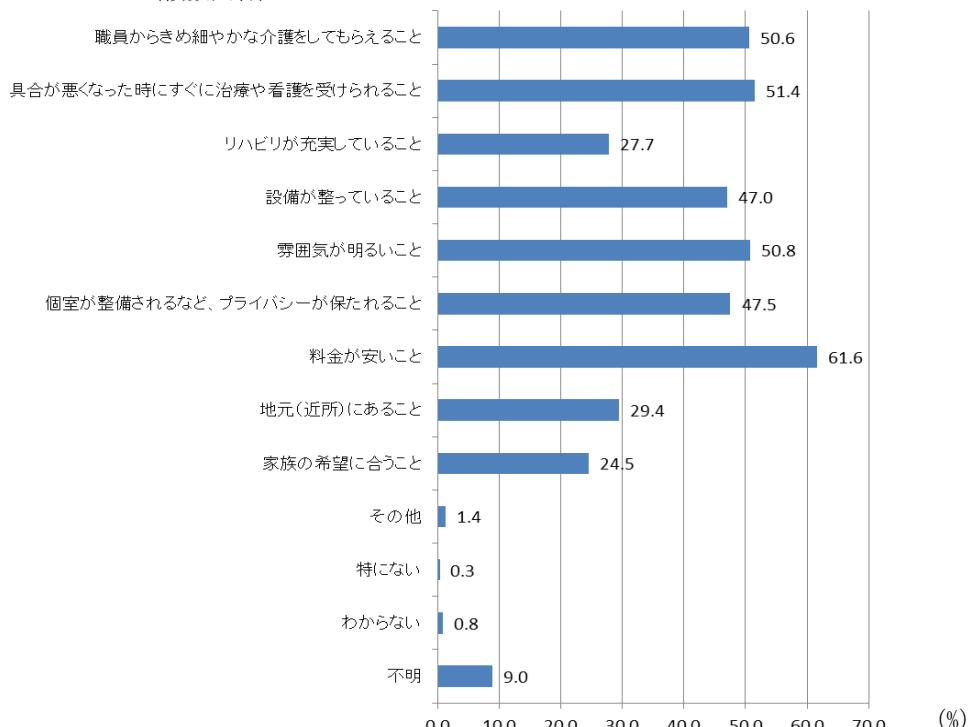


(6) 施設選択時重視

Q25-4. あなたが施設を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。(あてはまる全てに○)

「料金が安いこと」が61.6%で最も高く、以下、「具合が悪くなった時にすぐに治療や看護を受けられること」が51.4%、「雰囲気が明るいこと」が50.8%、「職員からきめ細やかな介護をしてもらえること」が50.6%となっている。

n=591 (複数回答)



[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。

	回答者数(人)(複数回答)	職員からきめ細やかな介護をしてもらえること	や具合が悪くなつた時にすぐに治療を受けられるること	リハビリが充実していること	設備が整っていること	雰囲気が明るいこと	個室が整備されるなど、プライバシーが保たれるなど、プライバシーが保たれること	料金が安いこと	地元(近所)にあること	家族の希望に合うこと	その他	特になし	わからない	不明
全体	591	50.6	51.4	27.7	47.0	50.8	47.5	61.6	29.4	24.5	1.4	0.3	0.8	9.0
男性	226	46.5	46.9	25.2	42.5	43.4	39.4	58.4	26.5	22.6	0.0	0.0	1.3	8.8
女性	356	53.7	54.5	29.5	50.0	55.3	52.5	63.8	30.9	25.0	2.2	0.6	0.6	9.0

[年齢]

55～59歳は「個室が整備されるなど、プライバシーが保たれること」が最も高くなっている。

(%)

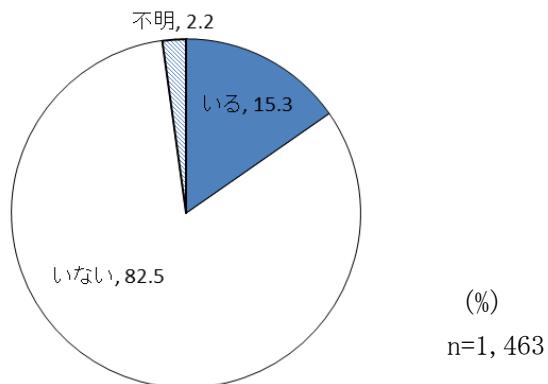
	回答者数 (人) (複数回答)	職員からきめ細やかな介護をしてもらえること	具合が悪くなつた時にすぐ治療や看護を受けられることが出来ること	リハビリが充実していること	設備が整っていること	雰囲気が明るいこと	個室が整備されるなど、プライバシーが保たれるること	料金が安いこと	地元（近所）にあること	家族の希望に合うこと	その他	特になし	わからない	不明
全体	591	50.6	51.4	27.7	47.0	50.8	47.5	61.6	29.4	24.5	1.4	0.3	0.8	9.0
40～44歳	125	40.8	47.2	18.4	41.6	46.4	38.4	64.0	25.6	26.4	2.4	0.0	1.6	13.6
45～49歳	101	50.5	40.6	24.8	47.5	51.5	43.6	61.4	27.7	26.7	0.0	1.0	0.0	8.9
50～54歳	90	64.4	58.9	32.2	53.3	52.2	55.6	74.4	31.1	21.1	1.1	1.1	0.0	5.6
55～59歳	98	49.0	51.0	24.5	40.8	42.9	53.1	49.0	25.5	25.5	2.0	0.0	1.0	7.1
60～64歳	166	52.4	58.4	36.7	51.8	57.8	49.4	61.4	34.3	21.7	1.2	0.0	1.2	7.8

7. 介護者としての状況について

(1) 世話をすべき家族

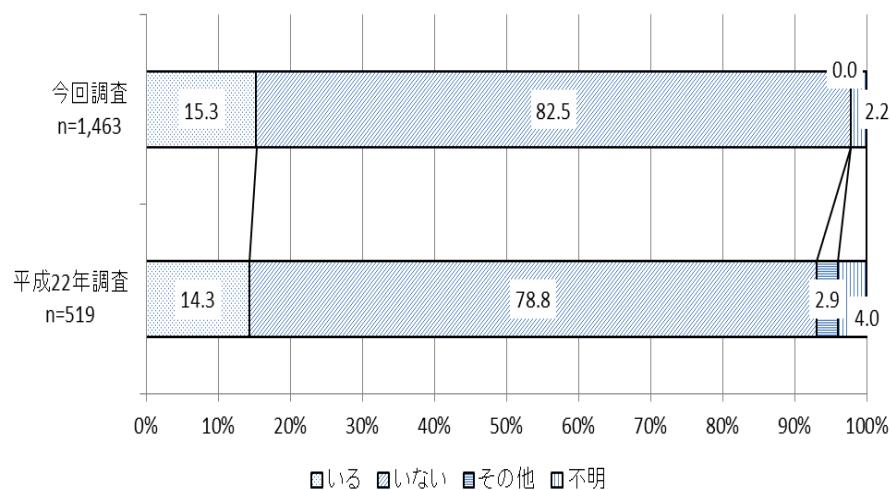
Q26. ご家族の中に、あなたが現に介護をしている方はいますか。(どちらかに○)

「いる」が15.3%、「いない」が82.5%となっている。



[経年比較]

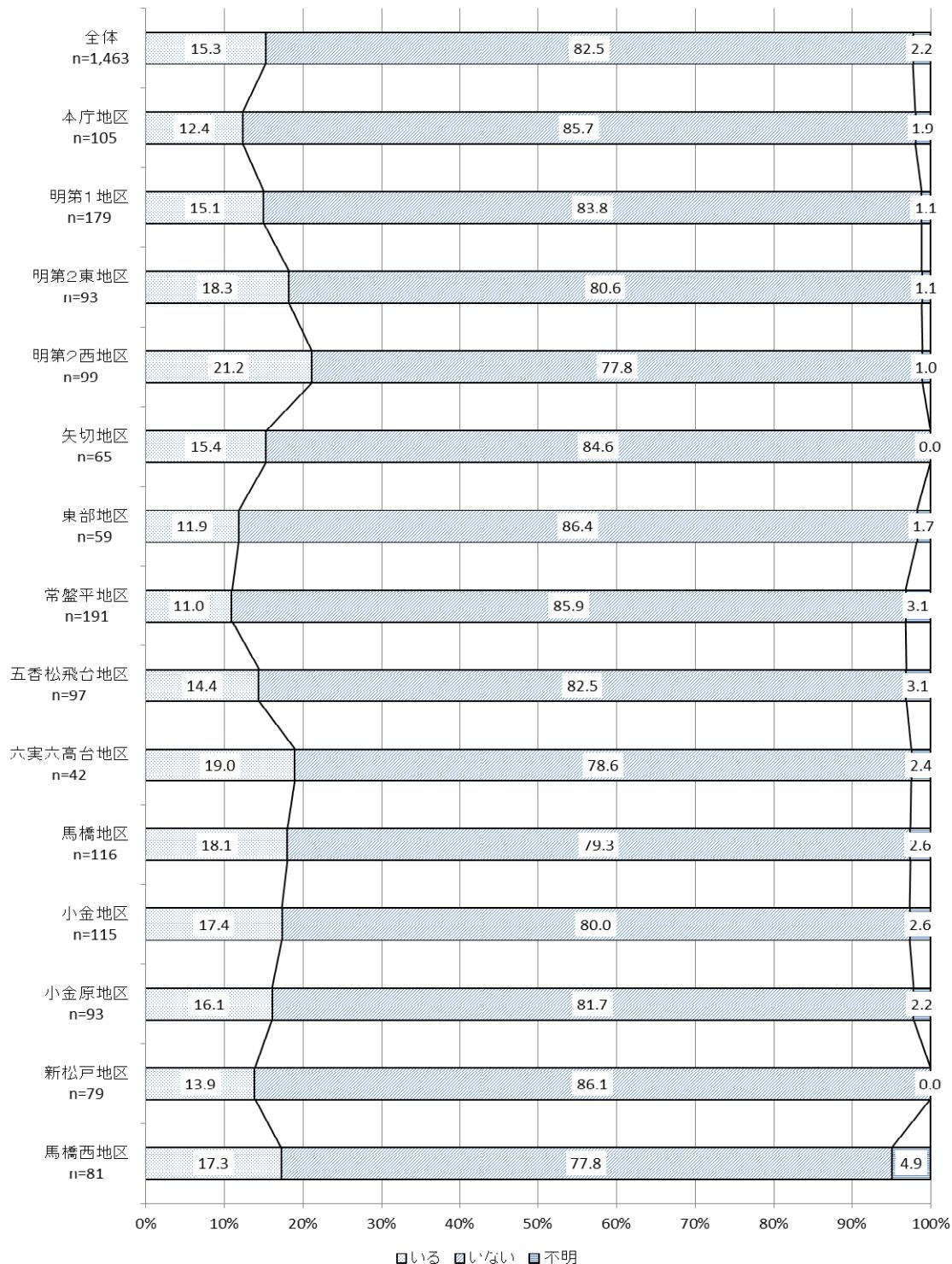
前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、参考として掲載する。



※平成22年調査の選択肢は「すでに世話をしている家族がいる」、「将来世話をしなければならないと思っている家族がいる」、「家族などはいるが、自分が主に世話をしなければならないかどうかはわからない」、「自分が主に世話をしなければならない家族はない」、「その他」、「無回答」

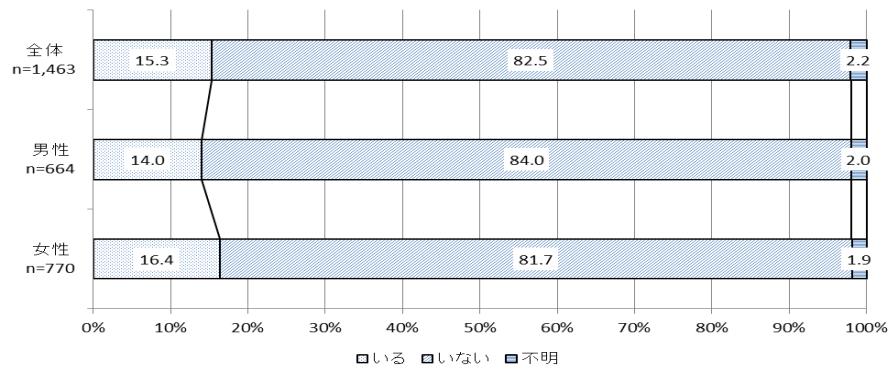
[日常生活圏域]

「いる」は明第2西地区（21.2%）が最も高く、常盤平地区（11.0%）が最も低くなっている。



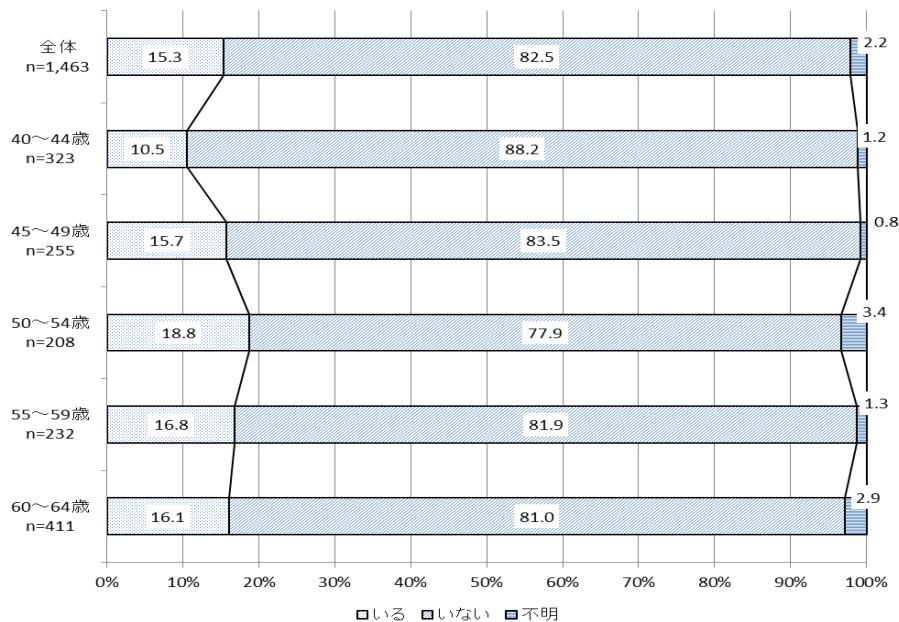
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



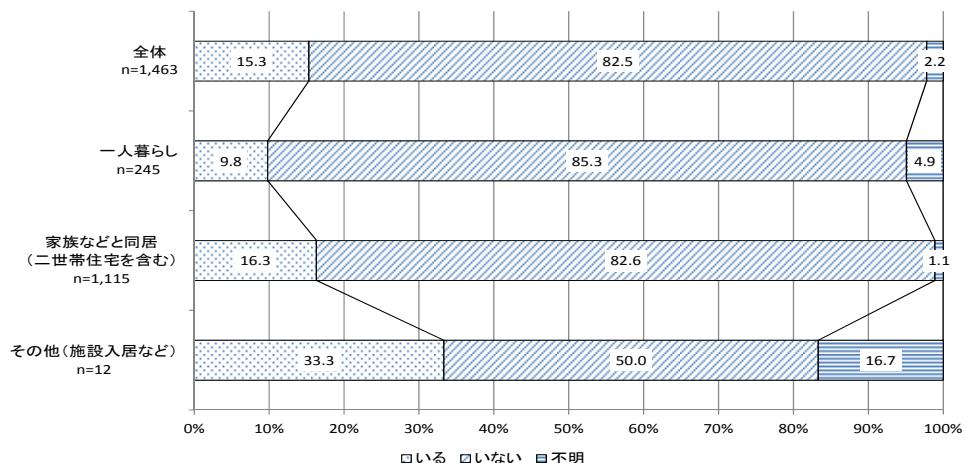
[年齢]

50～54歳は「いる（被介護者）」(18.8%) が高くなっている。



[世帯構成]

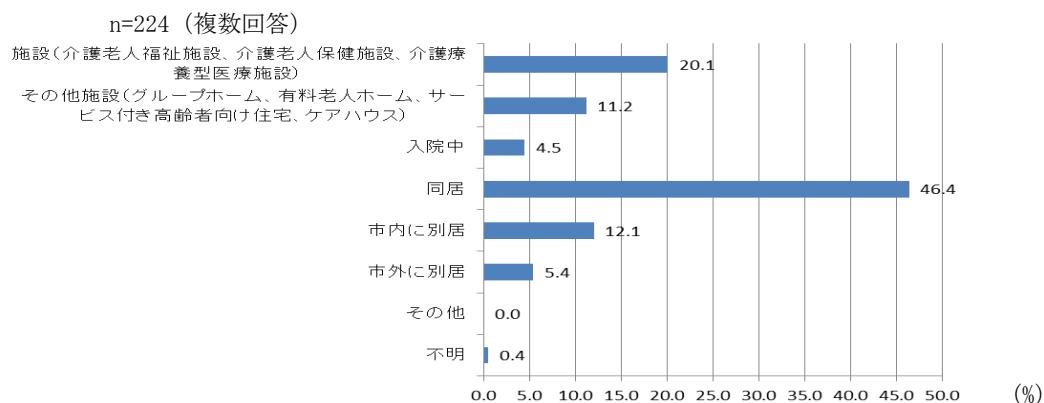
その他（施設入居など）は「いる（被介護者）」(33.3%) が高くなっている。



(2) 被介護者の所在

Q27. その方は、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまる全てに○)

「同居」が46.4%で最も高く、以下、「施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）」が20.1%、「市内に別居」が12.1%などとなっている。



[性別]

「その他施設（グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス）」は男性（17.2%）が女性（7.1%）より10.1ポイント高くなっている。

年齢による大きな特徴の差はみられない。

	回答 複数 回答 数 回数 (人)	施介老福施 設護人祉設 ～療保施～ ～養健設介 ～型施～護 ～医設介老 ～療～護人	ス宅きム有ルそ ～、高、料～の ケ齡サ老～他 ア者～人木施 ハ向ビホ～設 ウけス～ム～ 住付～グ	入院 中	同居	市内 に別居	市外 に別居	その 他	不 明
全体	224	20.1	11.2	4.5	46.4	12.1	5.4	0.0	0.4
男性	93	21.5	17.2	2.2	46.2	8.6	3.2	0.0	1.1
女性	126	19.8	7.1	5.6	47.6	14.3	5.6	0.0	0.0

[年齢]

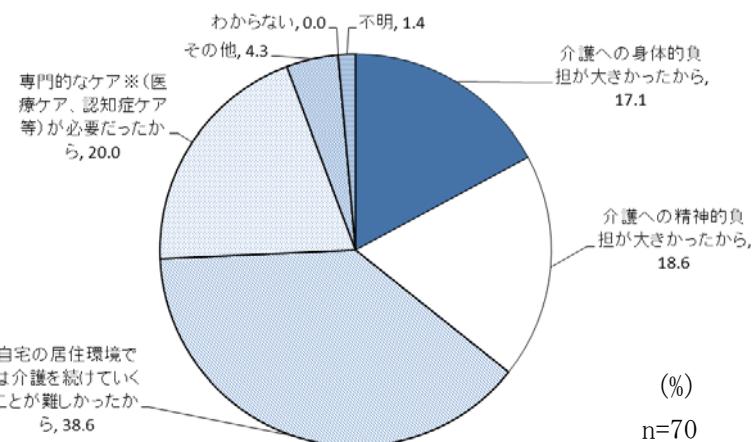
年齢による大きな特徴の差はみられない。

	回答 複数 回答 数 回数 (人)	施介老福施 設護人祉設 ～療保施～ ～養健設介 ～型施～護 ～医設介老 ～療～護人	ス宅きム有ルそ ～、高、料～の ケ齡サ老～他 ア者～人木施 ハ向ビホ～設 ウけス～ム～ 住付～グ	入院 中	同居	市内 に別居	市外 に別居	その 他	不 明
全体	224	20.1	11.2	4.5	46.4	12.1	5.4	0.0	0.4
40～44歳	34	17.6	5.9	8.8	50.0	17.6	0.0	0.0	0.0
45～49歳	40	17.5	7.5	5.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
50～54歳	39	25.6	12.8	2.6	43.6	10.3	2.6	0.0	2.6
55～59歳	39	15.4	15.4	2.6	56.4	5.1	5.1	0.0	0.0
60～64歳	66	24.2	13.6	3.0	39.4	9.1	10.6	0.0	0.0

(3) 施設希望の理由

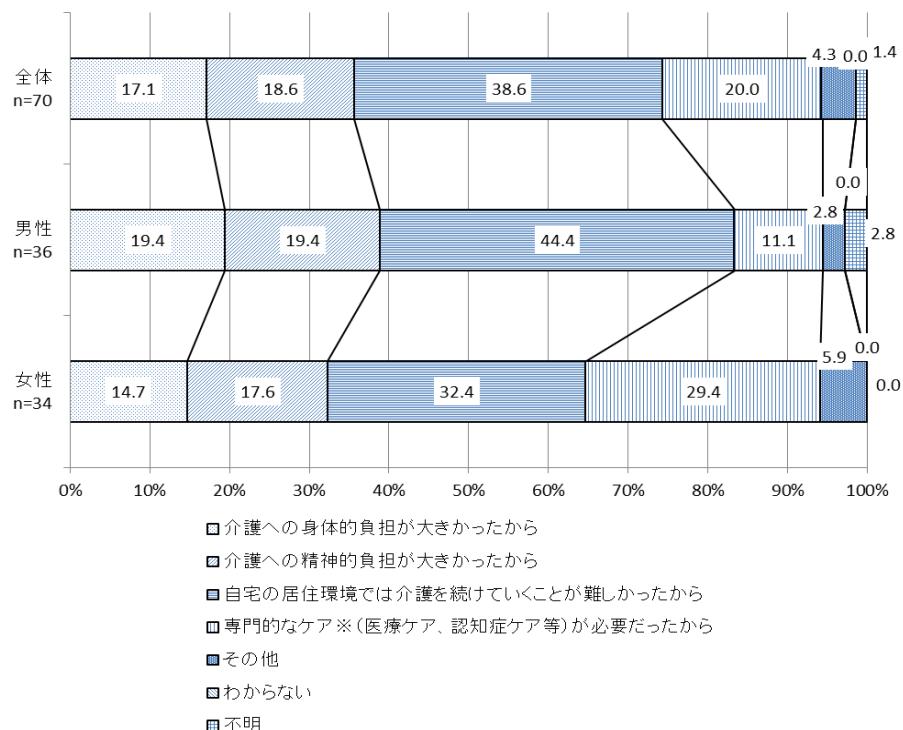
Q27-1. 施設への入所を選んだ主な理由を教えてください。(1つに○)

「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が38.6%で最も高く、以下、「専門的なケア（医療ケア、認知症ケア等）が必要だったから」が20.0%、「介護への精神的負担が大きかったから」が18.6%、「介護への身体的負担が大きかったから」が17.1%と概ね同様の割合となっている。



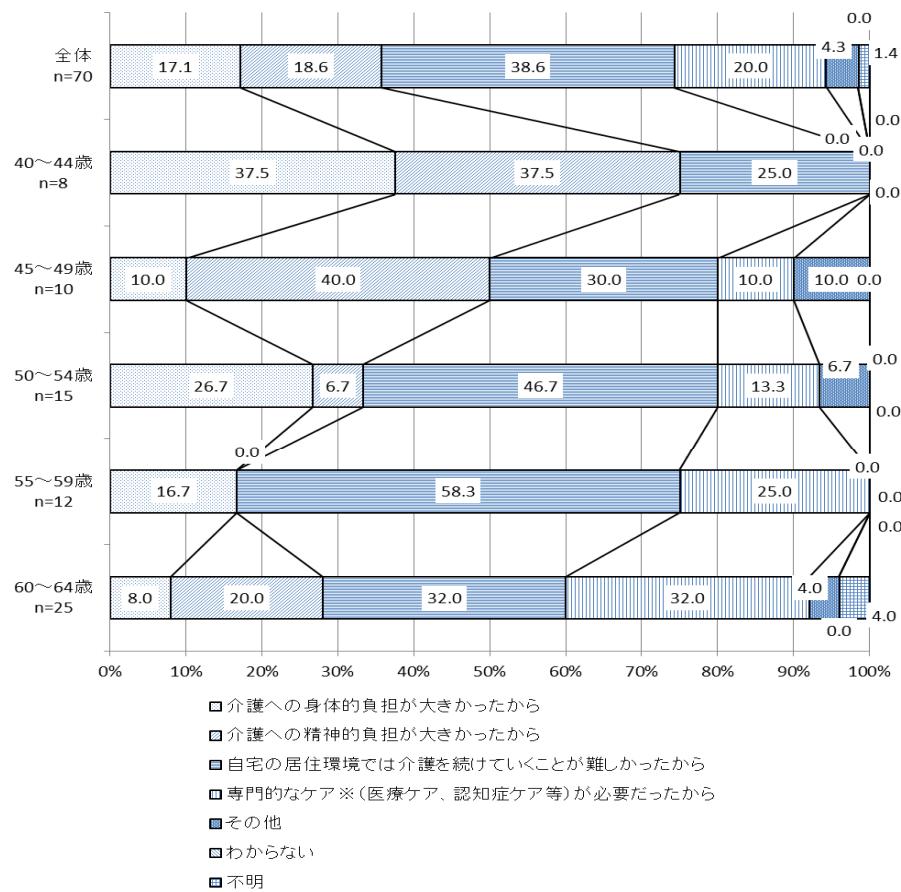
[性別]

「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」は男性（44.4%）が女性（32.4%）より12.0ポイント高くなっている。



[年齢]

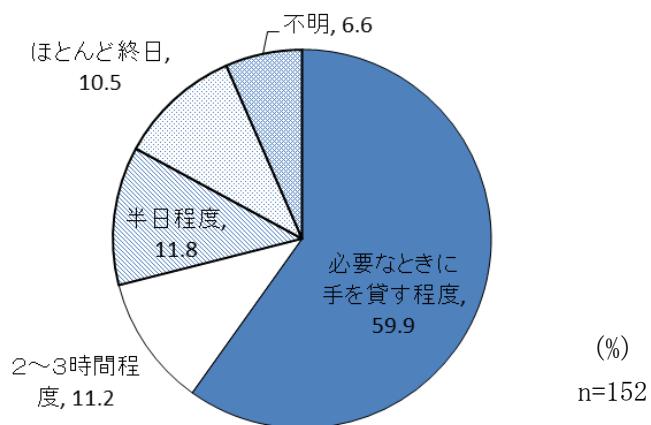
「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」は55～59歳（58.3%）で高くなっている。



(4) 介護をしている時間

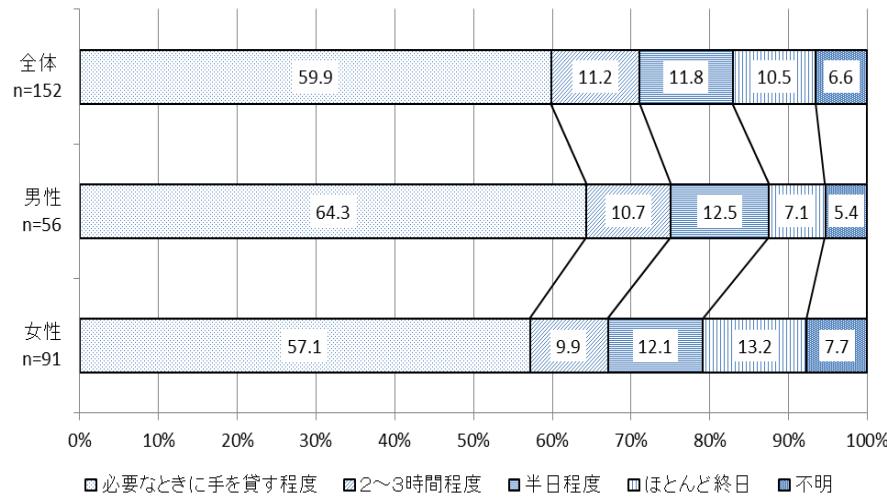
Q27-2. その方へ見守りを含め介護する時間は一日どのくらいですか。（1つに○）

「必要なときに手を貸す程度」が59.9%で最も高く、以下、「半日程度」が11.8%、「2～3時間程度」が11.2%、「ほとんど終日」が10.5%となっている。



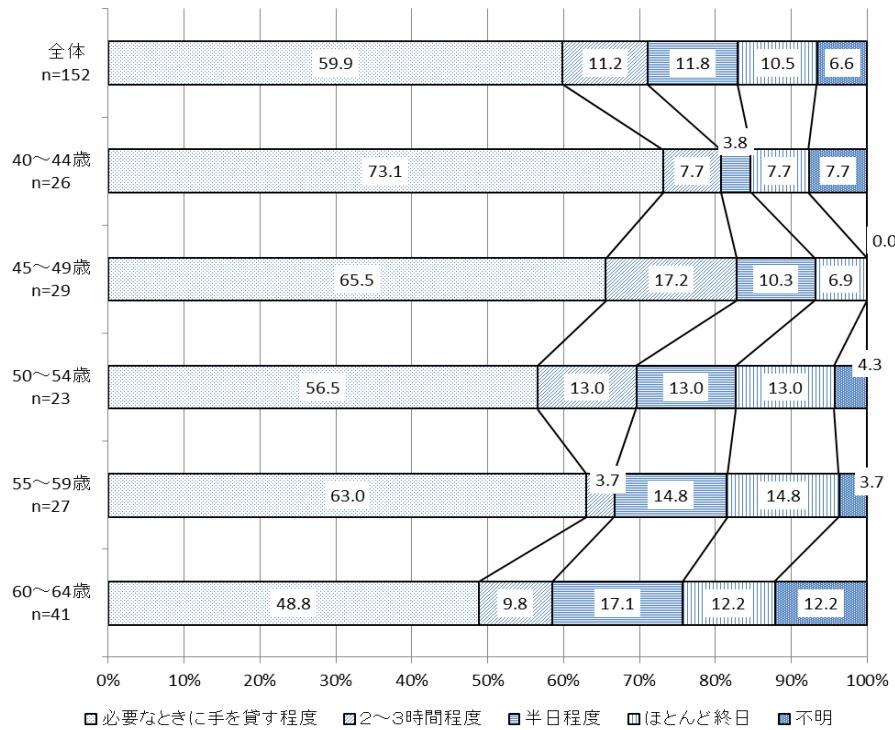
[性別]

「必要なときに手を貸す程度」は男性（64.3%）が女性（57.1%）より7.2ポイント高くなっている。一方、「ほとんど毎日」は女性（13.2%）が男性（7.1%）より6.1ポイント高く、逆転している。



[年齢]

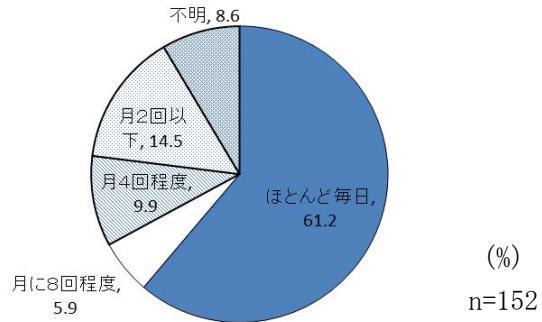
他の年代と比べ、50～54歳は「必要なときに手を貸す程度」（56.5%）が低くなっている。



(5) 介護日数

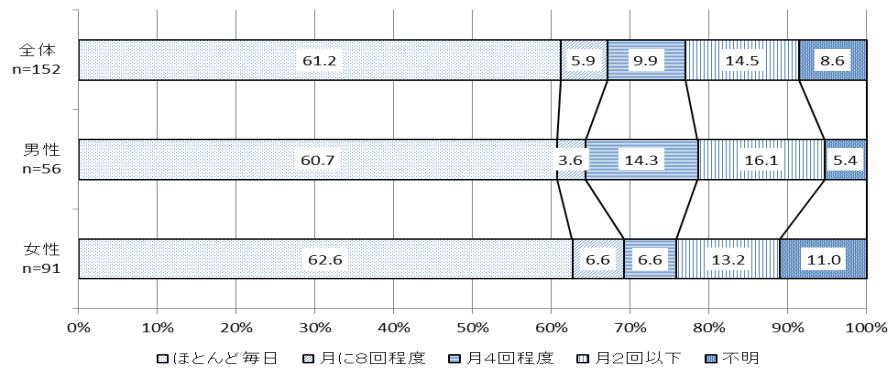
Q27-3. その方を一か月にどのくらい介護していますか。(1つに○)

「ほとんど毎日」が61.2%だが、次は「月2回以下」の14.5%となっており、頻度は両極端となっている。



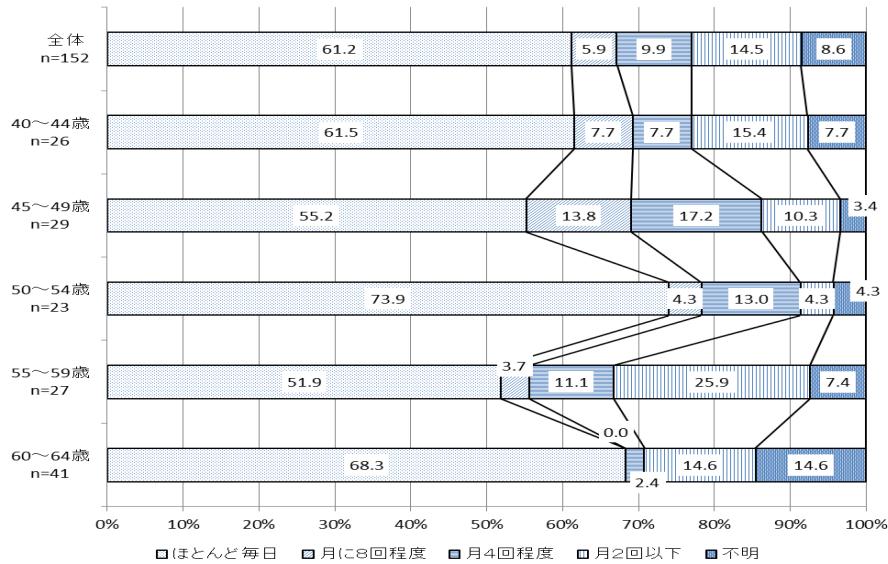
[性別]

「月4回程度」は男性（14.3%）が女性（6.6%）より7.7ポイント高くなっている。



[年齢]

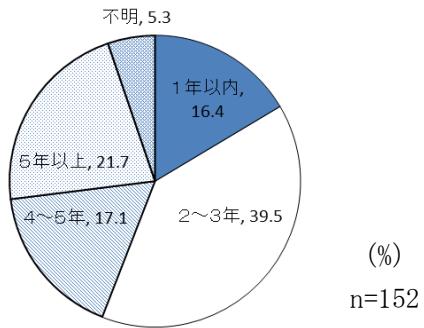
50～54歳は「ほとんどの毎日」が73.9%と高くなっている。



(6) 介護期間

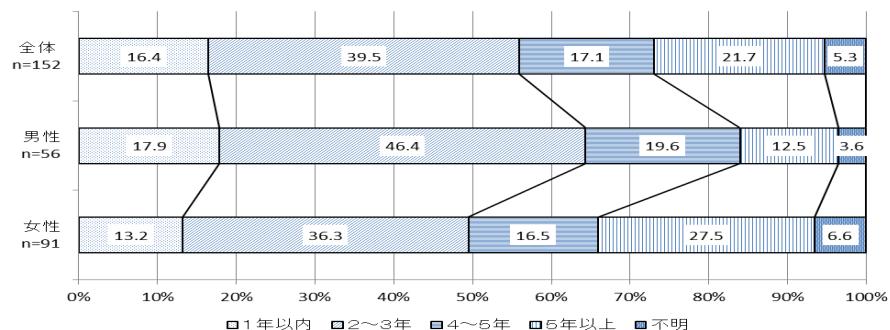
Q27-4. これまでの介護期間はどのくらいですか。(1つに○)

「2～3年」が39.5%、「5年以上」が21.7%、「4～5年」が17.1%、「1年以内」が16.4%となっている。



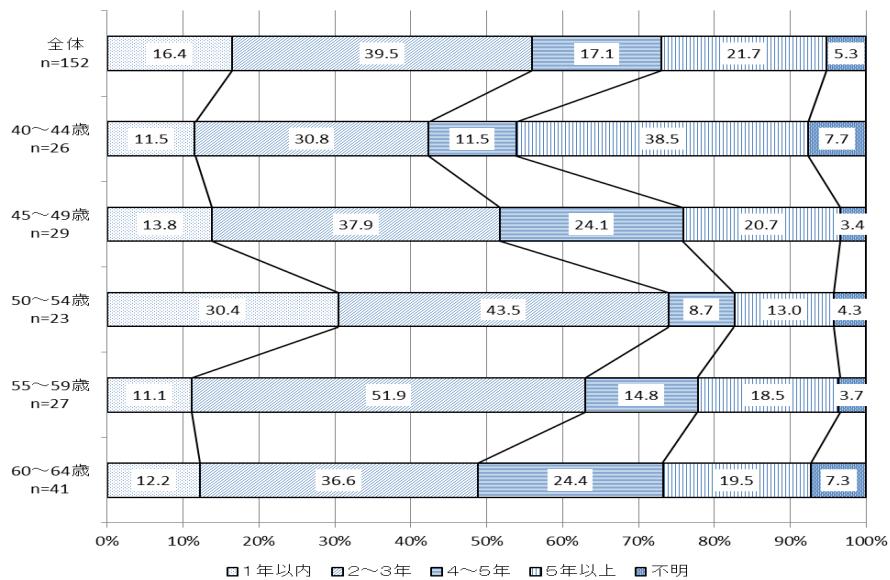
[性別]

「2～3年」は男性(46.4%)が女性(36.3%)より10.1ポイント高くなっている。



[年齢]

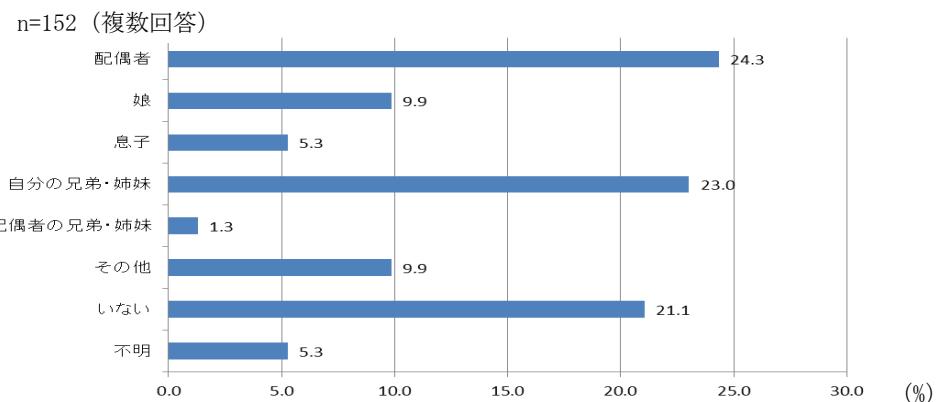
他の年代と比べ、50～54歳は「1年以内」(30.4%)が突出して高くなっている。



(7) 協力者

Q27-5. その方の介護にあたり協力者はいますか。(あてはまる全てに○)

「配偶者」が24.3%、「自分の兄弟・姉妹」が23.0%に次いで、「いない」が21.1%となっている。



[性別]

男性は「配偶者」の32.1%が、女性は「いない」の24.2%が最も高くなっている。

	(回 複答 数 者 回 数 答 (～人 ～))	配偶者	娘	息子	自分 の 兄 弟 ・ 姉 妹	妹 配 偶 者 の 兄 弟 ・ 姉 妹	そ の 他	い な い	不 明
全体	152	24.3	9.9	5.3	23.0	1.3	9.9	21.1	5.3
男性	56	32.1	8.9	1.8	21.4	1.8	12.5	17.9	3.6
女性	91	20.9	9.9	7.7	20.9	1.1	8.8	24.2	6.6

[年齢]

年齢による大きな特徴の差はみられない。

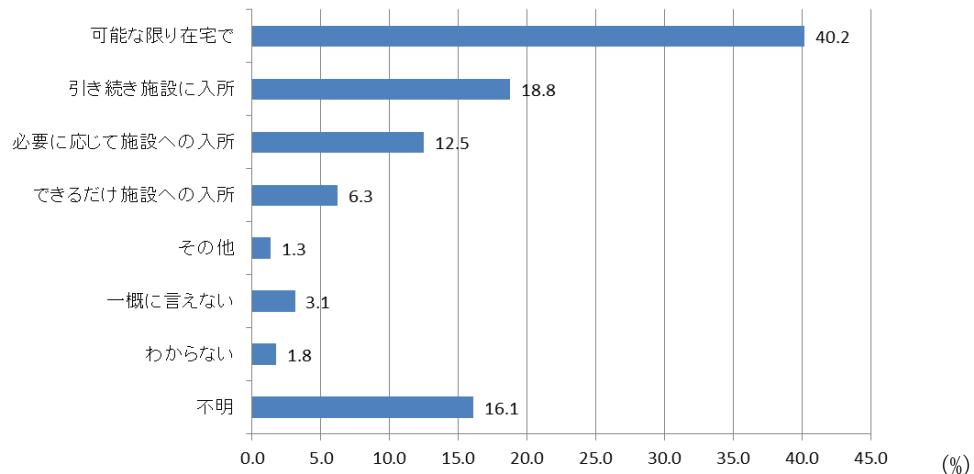
	(回 複答 数 者 回 数 答 (～人 ～))	配偶者	娘	息子	自分 の 兄 弟 ・ 姉 妹	妹 配 偶 者 の 兄 弟 ・ 姉 妹	そ の 他	い な い	不 明
全体	152	24.3	9.9	5.3	23.0	1.3	9.9	21.1	5.3
40～44歳	26	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0	19.2	19.2	7.7
45～49歳	29	10.3	10.3	10.3	24.1	3.4	13.8	27.6	0.0
50～54歳	23	39.1	8.7	0.0	17.4	4.3	4.3	21.7	4.3
55～59歳	27	25.9	11.1	7.4	25.9	0.0	14.8	11.1	3.7
60～64歳	41	24.4	9.8	7.3	22.0	0.0	2.4	26.8	7.3

(8) 介護方法

Q28. 今後の介護の方法はどのように考えていますか。(1つに○)

「可能な限り在宅で」が40.2%、「引き続き施設に入所」、「必要に応じて施設への入所」及び「できるだけ施設への入所」を合わせた37.6%より多くなっている。

n=224

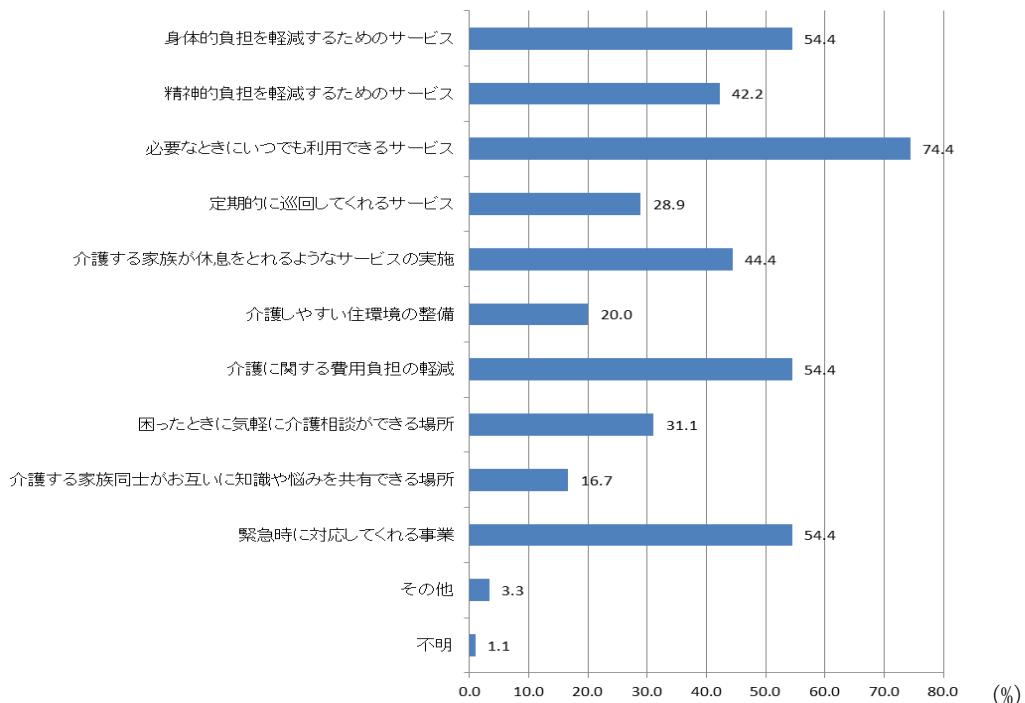


(9) 在宅介護に必要

Q28-1. 可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。(あてはまる全てに○)

「必要なときにいつでも利用できるサービス」が74.4%、「身体的負担を軽減するためのサービス」、「介護に関する費用負担の軽減」及び「緊急時に対応してくれる事業」がいずれも54.4%で、続いている。

n=90 (複数回答)



[性別]

「緊急時に対応してくれる事業」は女性（69.8%）が男性（32.4%）より37.4ポイント高くなっている。

	回答者数 （人） （複数回）	身体的負担を 精神的負担を サーサー ^{ビス} を軽減す る	身体的負 精神的負 サーサー ^{ビス} を軽減す る	スも必 利利用な どきにサ ー ^{ビス} で くる	定期的 サーサー ^{ビス} に巡 回してく る	介護する 家族が休 息	の介 護備 整しや すい住 環境	担介 護に軽 減する 費用負 担	所介 困つ相 談とがで きに氣 かる場 に	お介 共互護有 する家 族や同 士みが できる知 識場所	緊急時 に對 事業 に對 してく れ	その 他
全体	90	54.4	42.2	74.4	28.9	44.4	20.0	54.4	31.1	16.7	54.4	3.3
男性	34	61.8	44.1	70.6	20.6	44.1	11.8	50.0	23.5	8.8	32.4	2.9
女性	53	50.9	41.5	79.2	34.0	45.3	26.4	60.4	35.8	20.8	69.8	1.9

[年齢]

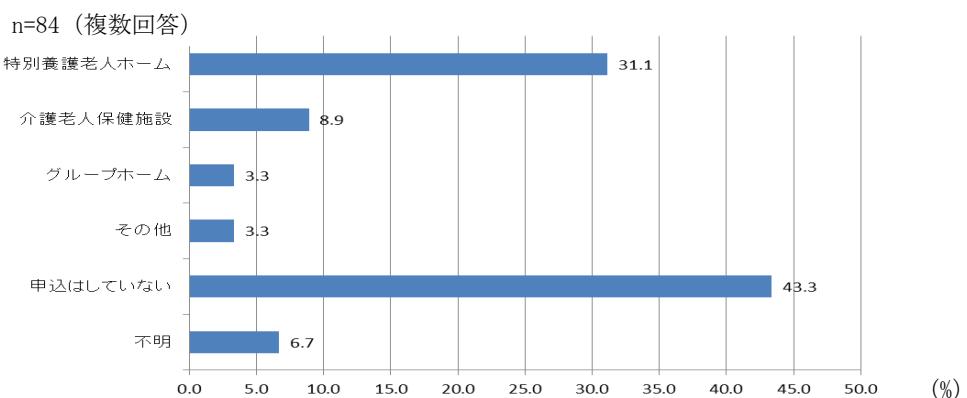
回答者数が少ないため、結果は参考として掲載する。

	回答者数 （人） （複数回）	身体的負 精神的負 サーサー ^{ビス} を軽減す るた	身 の 体 的 負 担 を 軽 減 す る た	精 神 的 負 担 を 軽 減 す る た	用 能 性 を 利 用 可 能 な と き に サ ー ^ビ ス で も 可 能 な と き に サ ー ^ビ ス で も 利	定 期 的 サ ー ^ビ ス に 巡 回 す れ る	施 行 す る サ ー ^ビ ス の 実 施	介 護 す る よ う な サ ー ^ビ ス が 休 息 を と る	備 考 の 整 理 の 整 理	介 護 す る よ う な サ ー ^ビ ス の 実 施	軽 減 す る よ う な サ ー ^ビ ス の 負 担	相 談 す る よ う な サ ー ^ビ ス の 場 所	困 難 す る よ う な サ ー ^ビ ス の 場 所	介 護 す る よ う な サ ー ^ビ ス の 場 所	緊 急 時 に 對 事 業 に 對 して く れ	その 他	不 明
全体	90	54.4	42.2	74.4	28.9	44.4	20.0	54.4	31.1	16.7	54.4	3.3	1.1				
40~44歳	12	75.0	50.0	66.7	16.7	66.7	25.0	83.3	41.7	33.3	66.7	8.3	0.0				
45~49歳	18	61.1	50.0	94.4	27.8	33.3	5.6	44.4	44.4	5.6	50.0	0.0	0.0				
50~54歳	16	62.5	62.5	81.3	25.0	68.8	25.0	68.8	25.0	12.5	56.3	0.0	6.3				
55~59歳	14	64.3	42.9	71.4	35.7	42.9	42.9	78.6	35.7	14.3	57.1	0.0	0.0				
60~64歳	26	34.6	23.1	65.4	34.6	26.9	11.5	34.6	19.2	19.2	53.8	3.8	0.0				

(10) 申込施設

Q28-2. 既に申込みをしている施設はありますか。(あてはまる全てに○)

「申込はしていない」が43.3%で、申込をしている施設は「特別養護老人ホーム」が31.1%となっている。



[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。

	回答 複数回答 (人)	特別 養 護 老 人	介 護 老 人 保 健 施	グ ル ー プ ホ ー ム	その 他	申 込 は し て い な い	不 明
全体	84	33.3	9.5	3.6	3.6	46.4	7.1
男性	39	33.3	10.3	7.7	5.1	46.2	2.6
女性	45	33.3	8.9	0.0	2.2	46.7	11.1

[年齢]

45～49歳は「特別養護老人ホーム」～58.3%が申し込んでいる。

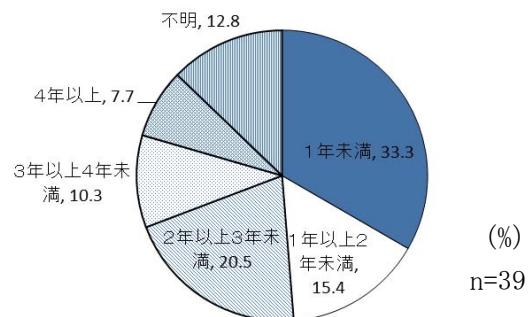
回答者（対象母数）が少数のため参考として掲載する。

	回答 複数回答 (人)	特別 養 護 老 人	介 護 老 人 保 健 施	グ ル ー プ ホ ー ム	その 他	申 込 は し て い な い	不 明
全体	84	33.3	9.5	3.6	3.6	46.4	7.1
40～44歳	15	33.3	6.7	0.0	6.7	46.7	6.7
45～49歳	12	58.3	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3
50～54歳	16	25.0	0.0	0.0	6.3	56.3	12.5
55～59歳	14	28.6	21.4	7.1	7.1	42.9	0.0
60～64歳	27	29.6	14.8	3.7	0.0	51.9	7.4

(11) 申込期間

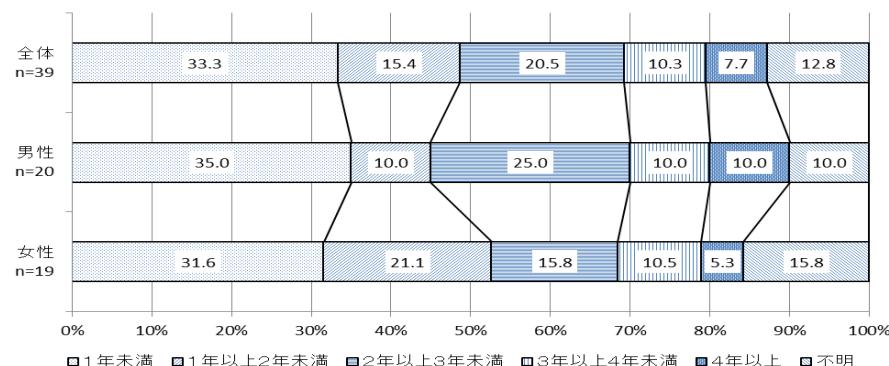
Q28-3. 最初に施設の申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。(1つに○)

「1年未満」が33.3%、「2年以上3年未満」が20.5%、次いで「1年以上2年未満」が15.4%となっている。



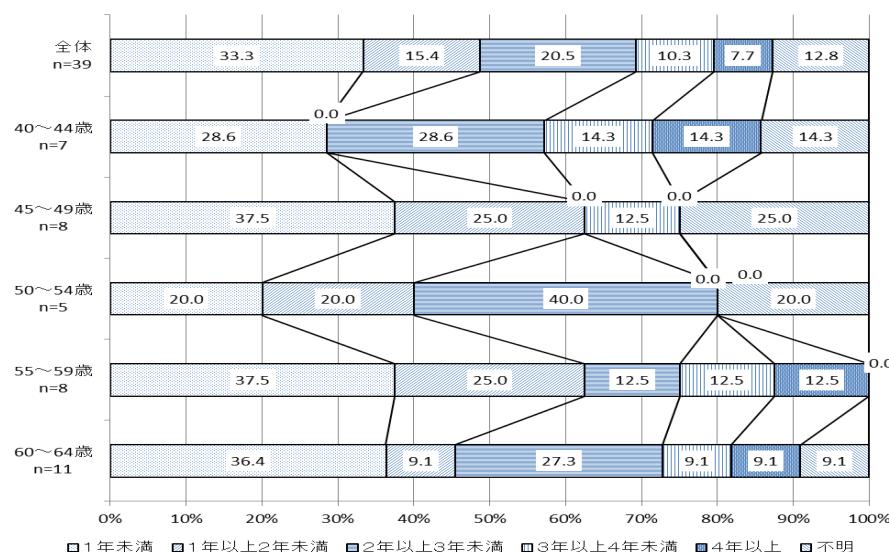
[性別]

「1年以上2年未満」は女性(21.1%)が男性(10.0%)より11.1ポイント、「2年以上3年未満」は男性(25.0%)が女性(15.8%)より9.2ポイント高くなっている。



[年齢]

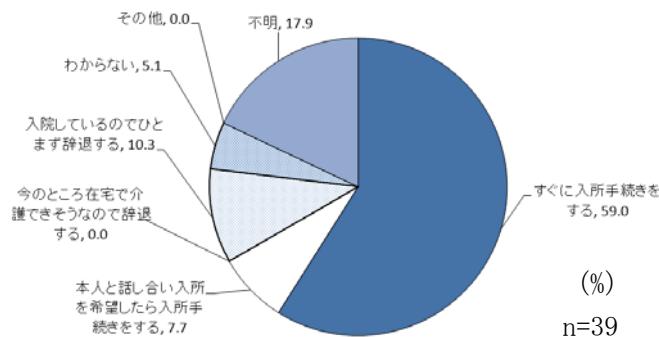
回答者(対象母数)が少數のため参考として掲載する。



(12) 入所許可時の対応

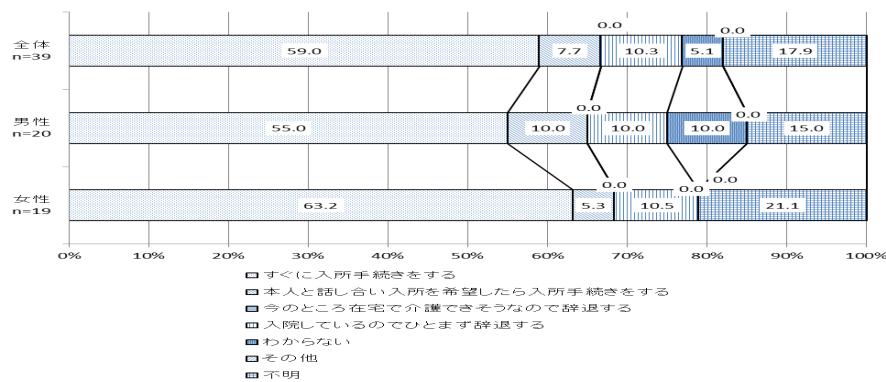
Q28-4. 施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。(1つに○)

「すぐに入所手続きをする」が59.0%、「入院しているのでひとまず辞退する」が10.3%、「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」が7.7%となっている。



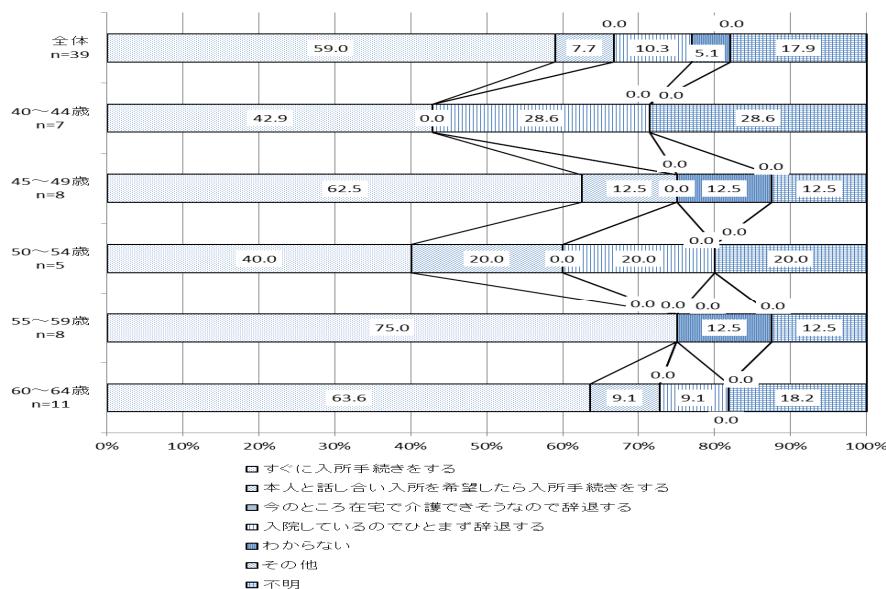
[性別]

「すぐに入所手続きをする」は女性 (63.2%) が男性 (55.0%) より8.2ポイント高くなっている。



[年齢]

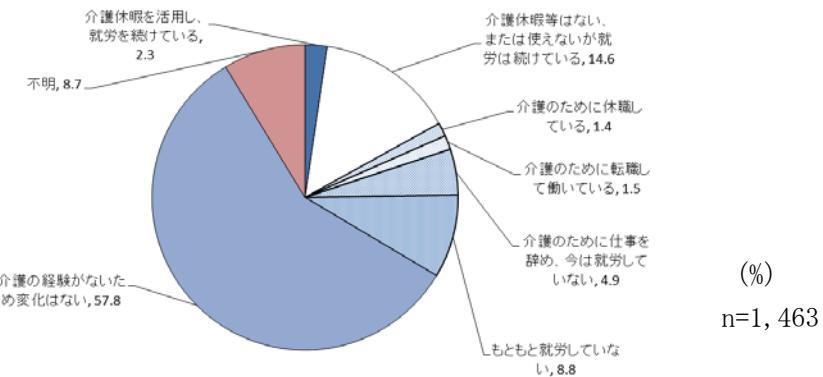
回答者（対象母数）が少數のため参考として掲載する。



(13) 就労状況

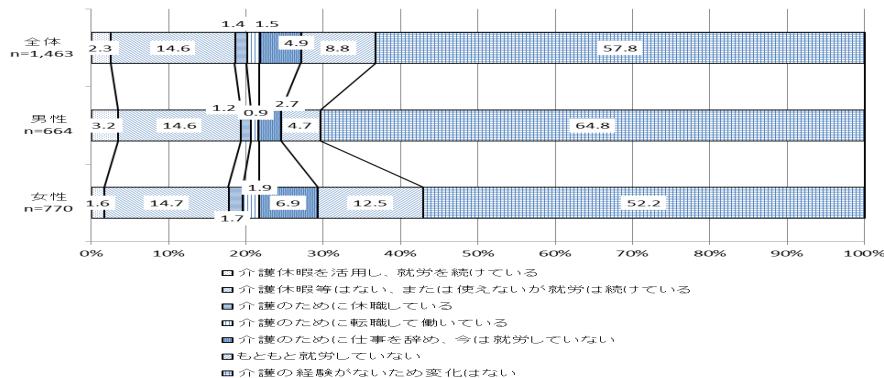
Q29. あなたは、これまで介護をすることによって就労状況に変化がありましたか。(1つに○)

「介護の経験がないため変化はない」及び「もともと就労していない」以外では、「介護休暇等はない、または使えないが就労は続いている」が14.6%となっている。



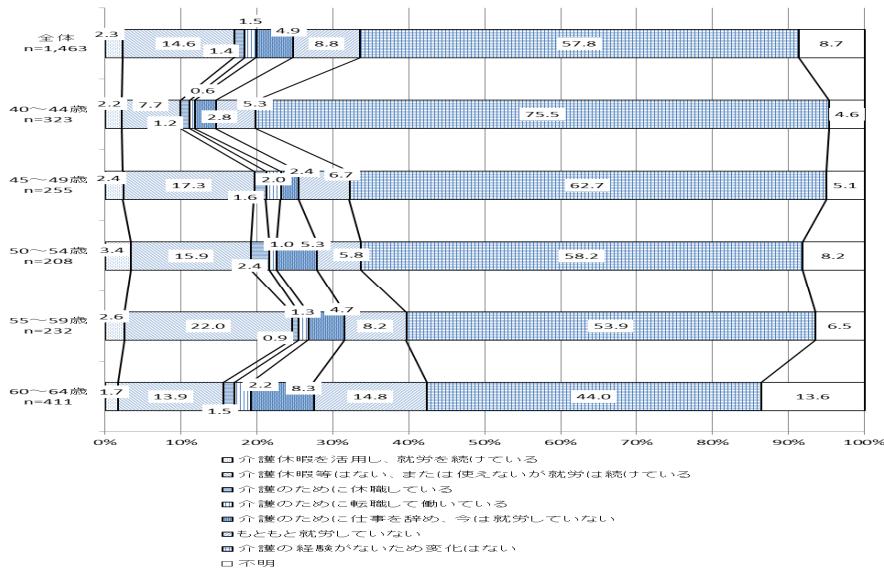
[性別]

「もともと就労していない」は女性(12.5%)が男性(4.7%)より7.8ポイント、「介護の経験がないため変化はない」は男性(64.8%)が女性(52.2%)より12.6ポイント高くなっている。



[年齢]

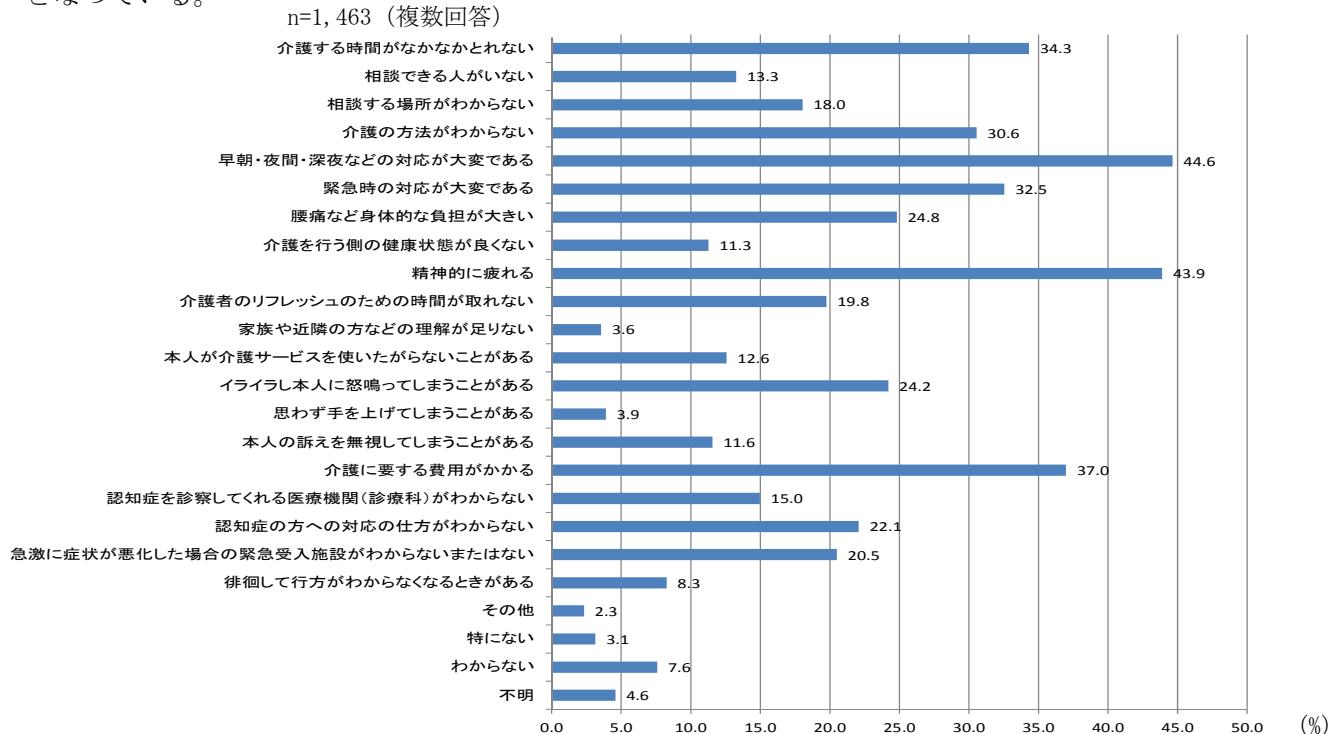
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(14) 介護上の困りごと等

Q30. あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまる全てに○）

「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」が44.6%で最も高く、以下、「精神的に疲れる」が43.9%、「介護に要する費用がかかる」が37.0%、「介護する時間がなかなかとれない」が34.3%などとなっている。



[性別]

男性は「相談する場所がわからない」、「介護の方法がわからない」、「認知症の方への対応の仕方がわからない」など、知識や情報面における理由が高く、女性は「腰痛など身体的な負担が大きい」、「介護を行う側の健康状態が良くない」などの身体面における理由が高くなっている。

回答者数（人）（複数回答）	介護する時間がなかなかとれない	相談できる人がいない	相談する場所がわからない	介護の方法がわからない	早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	緊急時の対応が大変である	腰痛など身体的な負担が大きい	介護を行う側の健康状態が良くない	精神的に疲れる	介護者のリフレッシュのための時間が取れない	家族や近隣の方などの理解が足りない	本人がある介護サービスを使いたがらないことがある	イライラし本人に怒鳴ってしまうことがある	思わず手を上げてしまうことがある	本人の訴えを無視してしまうことがある	介護に要する費用がかかる	認知症を診察してくれる医療機関（診療科）がわからない	認知症の方への対応の仕方がわからない	徘徊して行方がわからなくなるときがある	その他	特になし	わからない	不明		
全体	1463	34.3	13.3	18.0	30.6	44.6	32.5	24.8	11.3	43.9	19.8	3.6	12.6	24.2	3.9	11.6	37.0	15.0	22.1	20.5	8.3	2.3	3.1	7.6	4.6
男性	664	41.1	16.7	20.5	34.3	43.2	33.7	18.4	8.1	39.3	16.1	3.8	9.5	22.9	4.2	9.9	36.4	12.8	23.9	19.9	7.5	2.3	3.3	9.5	4.5
女性	770	28.8	10.5	16.4	27.4	45.8	31.4	30.3	13.9	47.9	22.9	3.4	15.5	25.6	3.6	13.2	37.9	16.6	20.5	21.2	9.0	2.3	3.0	6.1	4.0

[年齢]

性別による大きな特徴の差はみられない。

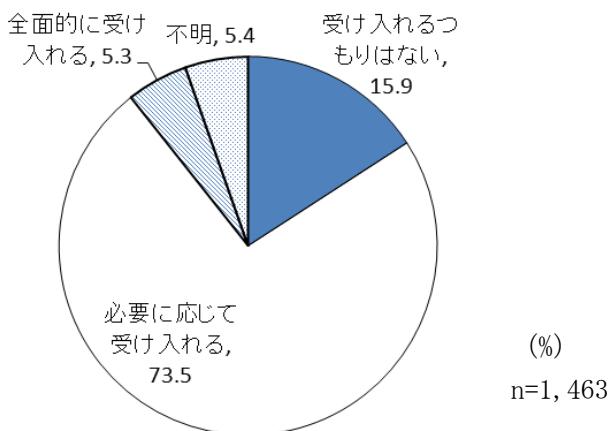
いずれの年代においても、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」、「精神的に疲れる」が上位項目となっている。

回答者数 (人) (複数回答)	(%)																								
	介護する時間がなかなかとれない	相談できる人がいない	相談する場所がわからない	介護の方法がわからない	早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	緊急時の対応が大変である	腰痛など身体的な負担が大きい	介護を行う側の健康状態が良くない	精神的に疲れる	介護者のリフレッシュのための時間が取れない	家族や近隣の方などの理解が足りない	本人が介護サービスを使いたがらない	思わず手を上げてしまうことがある	思わず本人に怒鳴ってしまうことがある	本人の訴えを無視してしまうことがある	介護に要する費用がかかる	科(科)がわからない医療機関(診療)	認知症を診察してくれる医療機関(診療)	認知症の方への対応の仕方がわからない	徘徊して行方がわからなくなるときがある	その他	わからない	不明		
全体	1,463	34.3	13.3	18.0	30.6	44.6	32.5	24.8	11.3	43.9	19.8	3.6	12.6	24.2	3.9	11.6	37.0	15.0	22.1	20.5	8.3	2.3	3.1	7.6	4.6
40～44歳	323	45.5	16.4	26.3	47.4	47.7	36.2	26.3	9.6	52.0	25.1	5.0	12.1	31.0	5.9	15.2	48.6	20.1	31.3	25.1	11.5	1.9	1.2	6.5	2.2
45～49歳	255	50.2	15.3	18.4	31.4	46.3	34.9	22.7	9.8	46.7	21.2	5.9	13.7	25.5	4.7	14.5	40.4	18.0	21.6	20.4	8.6	0.8	1.6	7.8	3.5
50～54歳	208	39.9	15.9	22.1	32.2	42.3	33.7	22.6	11.5	44.7	17.3	4.8	15.4	23.6	4.8	9.1	37.0	12.0	25.0	23.6	8.7	2.4	2.4	7.7	3.8
55～59歳	232	28.4	12.1	12.9	22.0	45.3	31.9	24.6	11.6	39.2	18.1	2.6	12.9	24.6	2.6	9.1	34.5	10.3	17.2	14.7	7.3	4.3	6.5	5.6	3.0
60～64歳	411	17.0	9.5	13.1	21.4	42.1	28.0	26.0	13.1	38.2	16.5	0.7	10.9	18.5	2.2	10.0	28.0	12.9	16.3	19.2	5.8	2.4	4.1	9.7	6.8

(15) 地域ボランティア

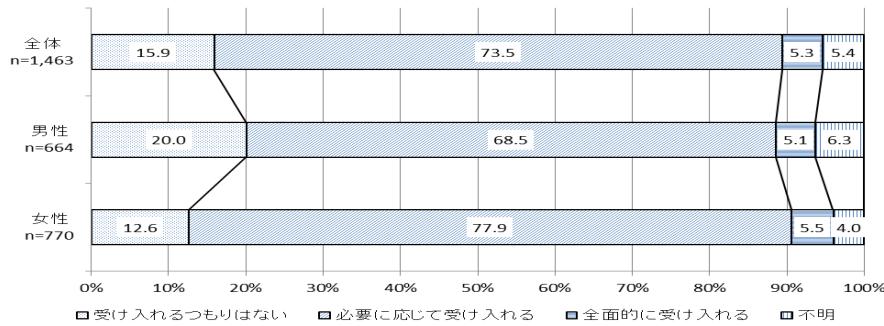
Q31. ご自身もしくはご家族の介護のために、地域のボランティアを受け入れてもよいと思いませんか。(1つに○)

「必要に応じて受け入れる」が73.5%、「受け入れるつもりはない」が15.9%、「全面的に受け入れる」が5.3%である。



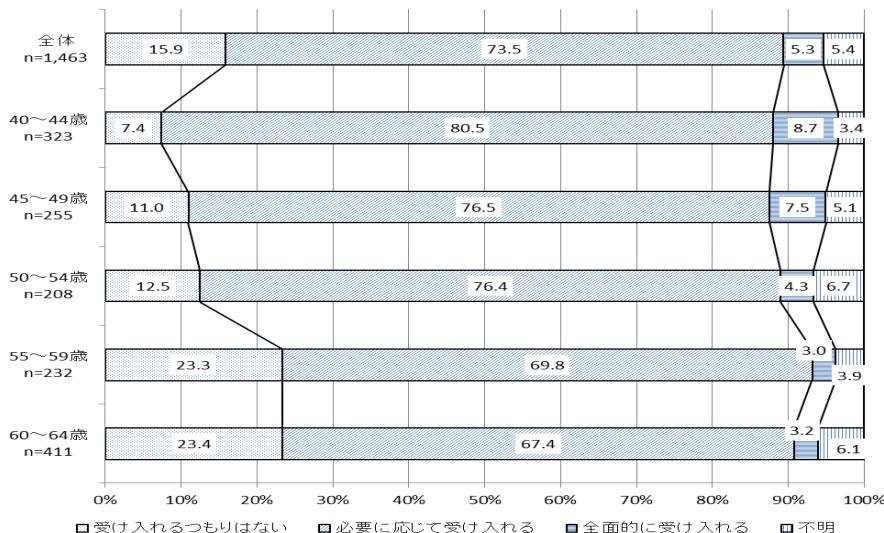
[性別]

男性、女性ともに「必要に応じて受け入れる」が68.5%、77.9%で最も高いが、「受け入れるつもりはない」は男性（20.0%）が女性（12.6%）より7.4ポイント高くなっている。



[年齢]

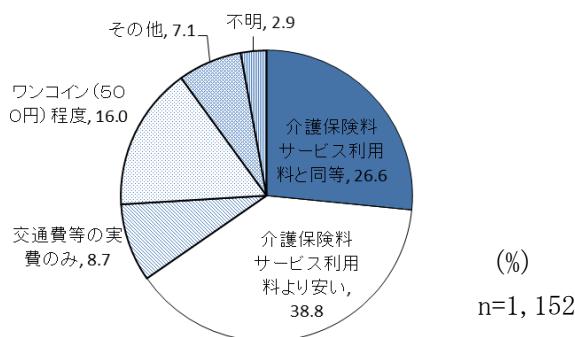
いずれの年代も「必要に応じて受け入れる」が最も高いが、55歳以上の年代は「受け入れるつもりはない」の割合が高くなっている。



(16) 費用

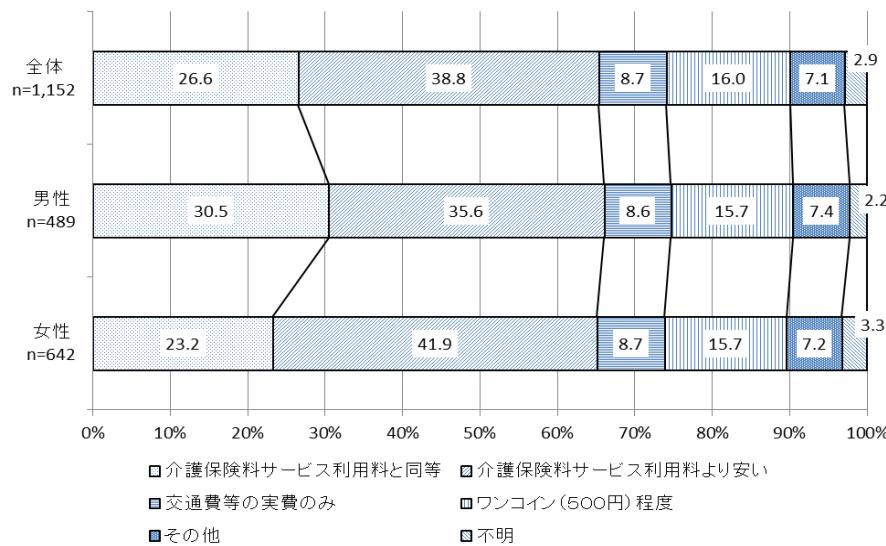
Q31-1. その際の費用はどれくらいが適切だと思いますか。(1つに○)

「介護保険料サービス利用料より安い」が38.8%、「介護保険料サービス利用料と同等」が26.6%、「ワンコイン（500円）程度」が16.0%、「交通費等の実費のみ」が8.7%である。



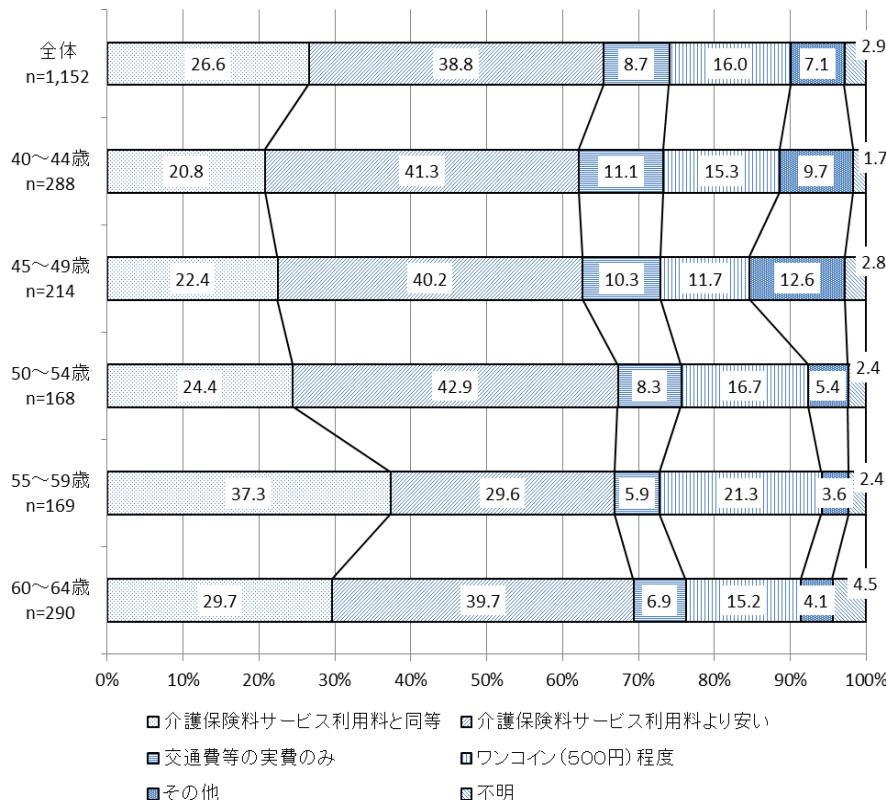
[性別]

男性、女性ともに「介護保険料サービス利用料より安い」が35.6%、41.9%で最も高いが、女性23.2%に比べ、男性の「介護保険料サービス利用料と同等」が30.5%と割合が高くなっている。



[年齢]

55～59歳のみ、ほかの年代と異なり「介護保険料サービス利用料より安い」(29.6%)を「介護保険料サービス利用料と同等」(37.3%)が上回り、以下、いずれの年代も「ワンコイン(500円)程度」、「交通費等の実費のみ」となっている。



8. まとめと考察

●身体状態や日常の生活状況について

地域活動等への参加状況については、「参加していない」が80%を超えており、前期計画時の調査（平成22年度）の約60%に比べ、20ポイントも参加者が減っている状況にある。

参加している活動については、「地域行事（祭りなどの地域の催しもの）」の12%といった一過性の参加に留まっている。

また、参加していない理由については、55～59歳の「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」以外は、性別や年代に関わらず「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」が最も高い回答となっており、今後、参加してみたい活動についても、「特にない」が約60%と突出して高く、生活の営みにおける優先順位の低さが伺える。

地域包括ケアシステムの構築にあたっては、地域コミュニティや地域ネットワークの整備が重要となるため、互助機能の再生に対する関心、意識の向上を図らなければならず、「どんな団体や活動があるのか知らないから」という回答者に対し、きめ細かな情報の提供、気軽に参加することができるような魅力ある地域活動、環境づくり、支援、周知活動を行っていく必要がある。

隣近所との付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人はいる」が約45%、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が約30%、「つきあっている人はほとんどいない」が約15%を占め、「親しく述べている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」については、10%にも満たない状況であり、人間関係の希薄さを露呈している。

特に男性は、「付き合っている人はほとんどいない」や「あいさつをする程度の人はいる」が女性に比べ高く、付き合いの浅さが伺え、さらに、年代が上がるにつれ、「親しく述べている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が低くなる傾向を鑑みるに、定年退職後、社会との接点が減った際、孤立感や疎外感などに陥らないよう、隣近所を始め地域などの付き合いを通した本人の健康維持（介護予防）、生きがい対策を推進するとともに、地域コミュニティにおける有効な人材資源として、大いに活躍を期待するところである。

健康感については、『健康』が約80%と、前期計画時の調査（平成22年度）の結果と比べても大きな変化はない。

●こころのハリと生きがい等について

日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』人は全体の65%、『感じていない』人は全体の30%であり、前期計画時の調査（平成22年度）の結果（72%、23%）に比べ、7ポイント、生きがい感を失っている。

「こころのハリ」や「生きがい」を感じることは、男性は「働くこと（自営・家事等を含む）」が、女性は「旅行や買い物などの外出」が高くなっています。年代では、40～44歳は「家族との団らん」が、45～59歳までは「働くこと（自営・家事等を含む）」が、60歳以上は「旅行や買い物などの外出」が高くなっている。

また、「家族との団らん」は年代が若いほど高い傾向がある。

男性は、定年退職により、「働くこと」から得られる生きがい感が低下することが見込まれ、「家族との団らん」も少なく、「近所付き合い」も希薄な傾向から、人と接する機会の減少が推察される。

このため、社会参加を促す情報の提供、機会の創出及び知識・技能の付与などの支援が重要になるものと考える。

生活の中で不安や心配が『ある』人は全体の73%と、不安や心配が『ある』人がかなり多い。

また、健康ではない人のうち85%の人が不安や心配が『ある』と回答し、その約90%が「自分の体調や病気について」である。

全体としては、どのようなことに不安・心配に感じているかは「将来の自分の暮らしの先行き（生

活設計など)について」が突出しており、特に40~49歳で73%と高くなっている。「こころのハリ」や「生きがい」を感じるためには、健康維持の重要性が伺える。

●保険料について

介護保険制度の認知度については、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が約70%で最も高く、「介護保険は、被保険者が納める保険料と利用者の1割の負担金のほかに、約半分は税金を財源にしている」は24%と低い。

前期計画時の調査(平成22年度)結果と比較して、高齢社会の進展に伴う関心の高まりにより、認知度が上昇している項目もあるため、今後もさらに情報提供と広報活動を推進する必要がある。

また、地域包括支援センターの認知度については、70%以上が「知らない」状況である。

地域包括ケアシステムの構築及び介護保険事業の健全運営を推進する上で、中心的な役割を担う機関であるため、さらなる周知を図り、地域に根ざしていく必要がある。

介護保険料については、『負担である』が約55%で、『負担ではない』が約24%である。

受けられるサービスについては、「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方を充実していくべきである」が37%で最も高いが、次いで「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」が約25%となっており、この受益と負担に対する意識の相関には留意が必要である。

当該調査対象である若年者層は40~64歳の第2号被保険者であるため、保険料の負担増を実施した結果、万が一滞納につながった場合、加入している医療保険の保険者の事業運営に影響が及ぶことになる。

●認知症について

認知症の認知度については、「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」と「原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることができる」は高いが、「徘徊などの行動には原因があり、無理に押さえ込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である」と「環境の変化への適応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である」が他と比べて低かった。

また、ほとんどの項目で、男性は女性より10ポイント以上、認知度が低い傾向が伺えるため、特に男性に対する情報の提供、啓発の促進が必要であると考える。

●今後の生活について

今後の生活については「引き続き現在の場所に居住していきたい」が約64%で、年代別には60~64歳が73.2%で特に高く、施設介護サービスの必要性も感じつつも、永住・在宅を志向していることが伺える。

また、「健康なうちは働き続けたい」という生涯現役志向が70%であるが、地域貢献については、「特に考えていない」が56%で、ここでの就労意欲は、収入及び自身の生きがい目的による回答であることが推察される。

●充実すべき高齢者施策について

充実すべき高齢者施策については、「一人暮らしの高齢者が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」、「買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否の確認をする配食サービス」、「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」といった在宅介護サービスの充実が望まれているが、「老人ホームなどの施設を増やす施策」といった施設介護サービスの充実については、男性より女性が、また、年齢が上がるにつ

れ、割合が高まっていることから、ここでも平均寿命の差が影響しているものと推察される。

●介護者としての状況について

被介護者の存在については、「同居」が46%で、「介護保険施設へ入所」が20%となっており、施設への入所理由については、「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が約40%で最も高いため、軽易な住宅改修などで対応できる居住環境整備であるならば、それらにかかる支援、助成の推進により、在宅介護の限界点が高まる可能性を見出すことができる。

介護を要する時間については、「毎日」であるが「必要なときに手を貸す程度」を「配偶者」や「兄弟・姉妹」とともに「2~3年」続けている割合が最も高い。

今後の介護方法については、「可能な限り在宅で」が40%で、「引き続き施設に入所」、「必要に応じて施設への入所」及び「できるだけ施設への入所」を合わせた38%より高くなっているため、在宅介護サービスとして望まれている「必要なときにいつでも利用できるサービス」、「身体的負担を軽減するためのサービス」、「介護に関する費用負担の軽減」及び「緊急時に対応してくれる事業」について、拡充を図る必要があると推察される。

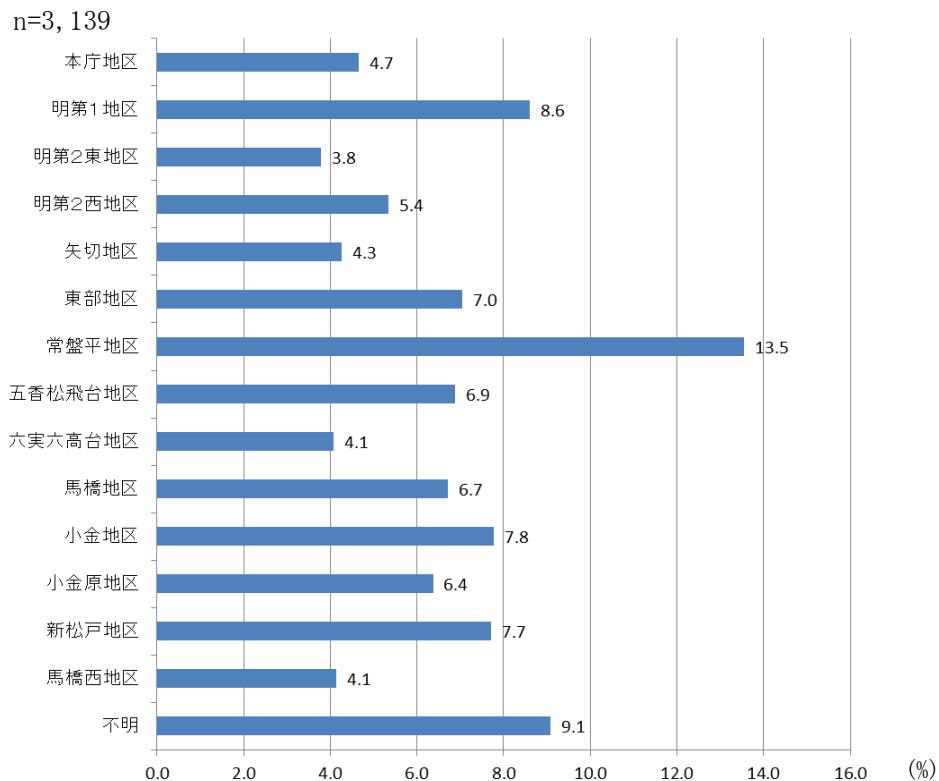
第2章 一般高齡者調査

1. ご自身や家族の状況について

(1) 地域

F1. お住まいの地域を教えて下さい。(1つに○)

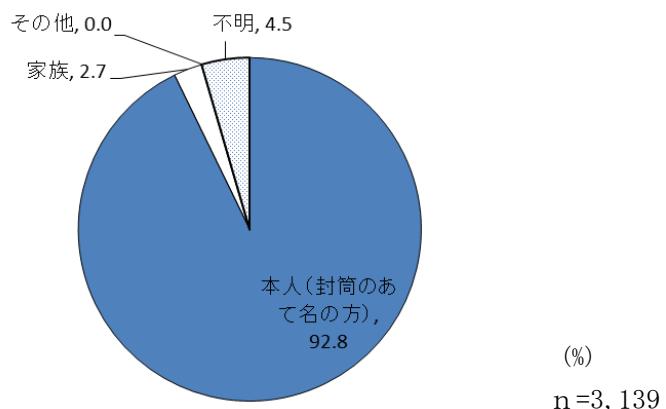
「常盤平地区」が13.5%、「明第1地区」が8.6%となっている。



(2) 回答者

F2. 今回の調査の回答者を記入してください。

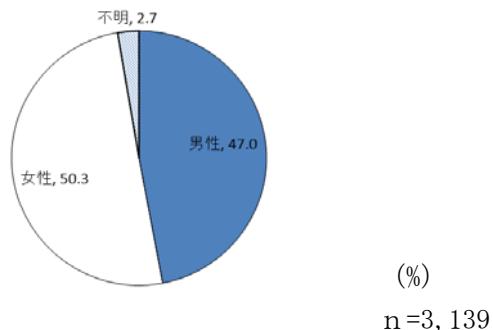
「本人（封筒のあて名の方）」が92.8%、「家族」が2.7%となっている。



(3) 性別

F3. あなたの性別についてお伺いします。(どちらかに○)

「男性」が47.0%、「女性」が50.3%となっている。

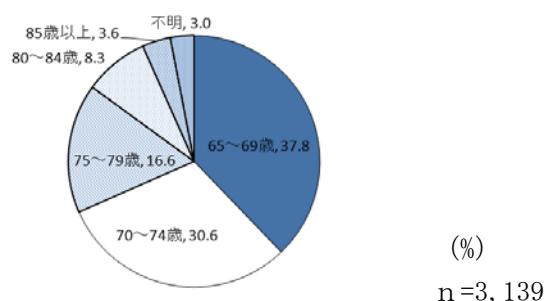


(4) 年齢

F4. あなたの現在の満年齢をご記入ください。(平成26年1月17日現在)

「65～69歳」が37.8%、「70～74歳」が30.6%で、これらを合わせた『65～74歳（前期高齢者）』は68.4%である。

「75～79歳」が16.6%、「80～84歳」が8.3%、「85歳以上」が3.6%で、これらを合わせた『75歳以上（後期高齢者）』は28.5%である。

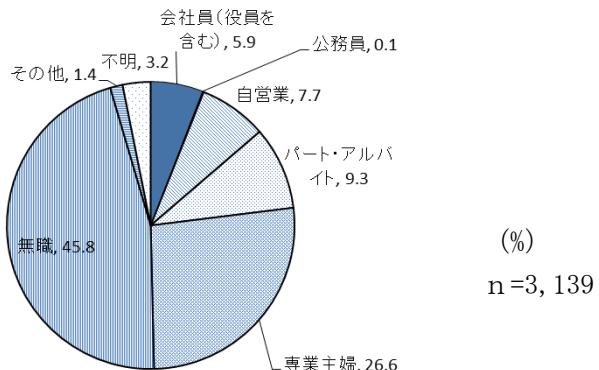


	回答者数 (人)	年齢						高齢者区分	
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不明	65～74歳	75歳以上
全体	3,139	37.8	30.6	16.6	8.3	3.6	3.0	68.4	28.6
性別									
男性	1,476	39.8	29.3	18.6	8.0	3.9	0.5	69.0	30.4
女性	1,578	37.9	33.5	15.6	9.1	3.5	0.4	71.4	28.2

(5) 職業

F5. あなたの職業についてお伺いします。(1つに○)

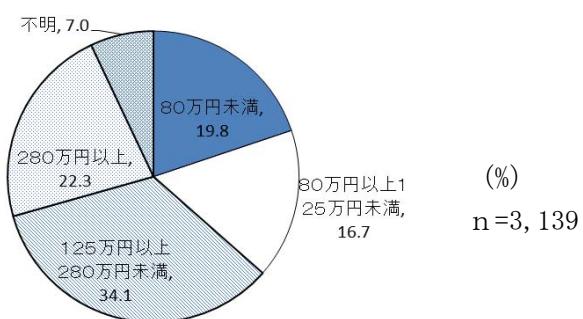
「無職」が45.8%で最も高く、以下、「専業主婦」が26.6%、「パート・アルバイト」が9.3%、「自営業」が7.7%などとなっている。



(6) 収入

F6. あなたの年金を含めた年収は以下のどれに該当しますか。(1つに○)

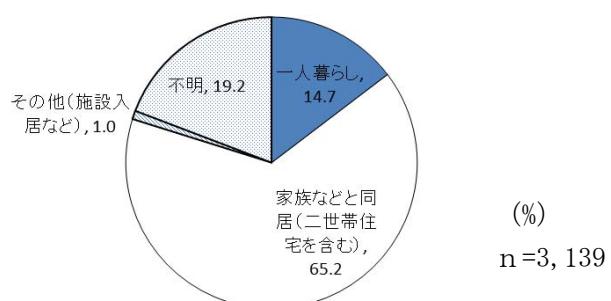
「125万円以上280万円未満」が34.1%で最も高く、以下、「280万円以上」が22.3%、「80万円未満」が19.8%、「80万円以上125万円未満」が16.7%となっている。



(7) 家族構成

F7. あなたの家族構成についてお伺いします。(1つに○)

「家族などと同居(二世帯住宅を含む)」が65.2%で最も高く、「一人暮らし」が14.7%、「その他(施設入居など)」が1.0%となっている。

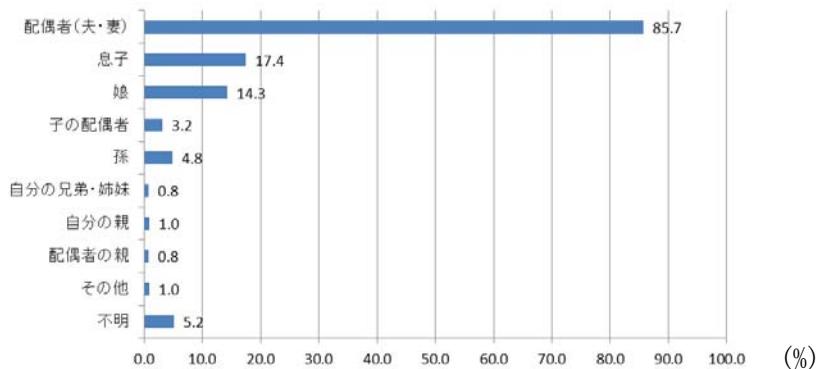


(8) 同居家族

F7-1. あなたと同居されている方についてお伺いします。(あてはまる全てに○)あわせて()内に人数をご記入ください。

「配偶者（夫・妻）」が85.7%で最も高く、以下、「息子」が17.4%、「娘」が14.3%、「孫」が4.8%などとなっている。

n=2,046 (複数回答)

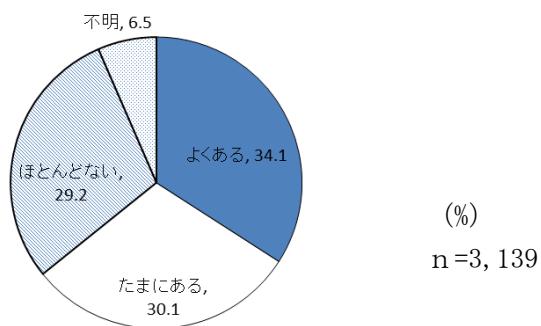


(9) 日中独居

F8. あなたは日中や夜間、一人になることがありますか。(それぞれ1つに○)

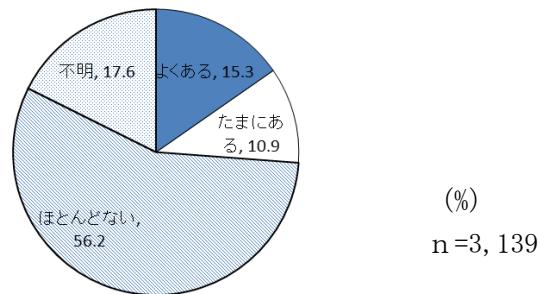
<日中独居>

「よくある」が34.1%、「たまにある」が30.1%、「ほとんどない」が29.2%となっている。



<夜間独居>

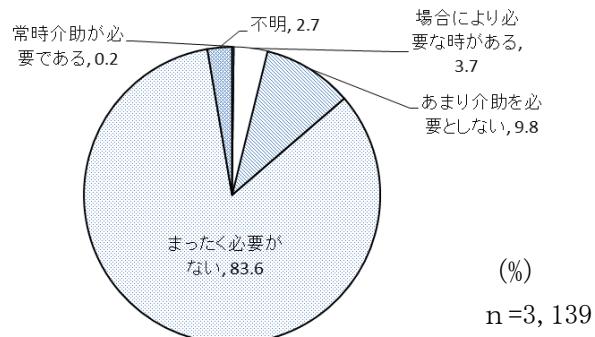
「ほとんどない」が56.2%、「よくある」が15.3%、「たまにある」が10.9%となっている。



(10) 介護・介助の必要性

F9. あなたが、日常生活を送るために介助は必要ですか。(1つに○)

「まったく必要がない」が83.6%で最も高く、以下、「あまり介助を必要としない」が9.8%、「常時介助が必要である」が0.2%となっている。

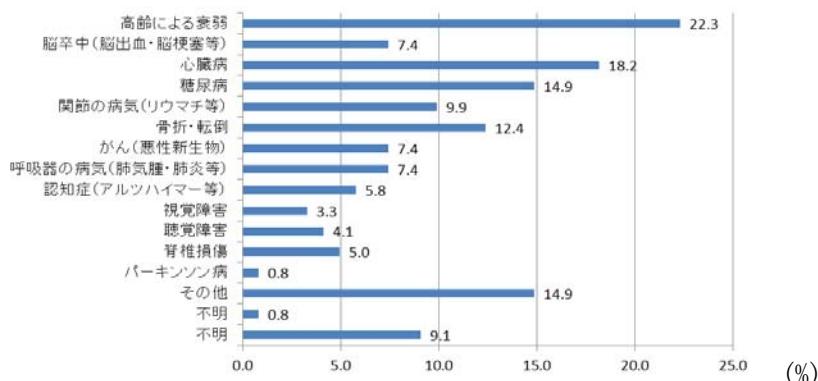


(11) 介護・介助が必要になった主な原因

F9-1. 介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまる全てに○)

「高齢による衰弱」が22.3%、「心臓病」が18.2%、「糖尿病」が14.9%、「骨折・転倒」が12.4%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)

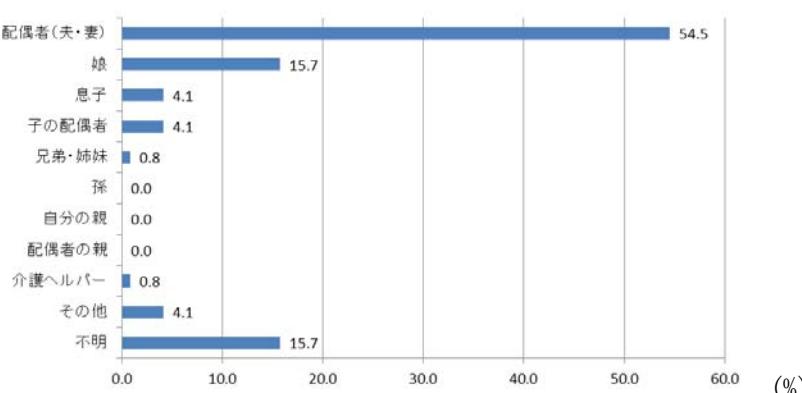


(12) 主な介護・介助者

F9-2. 主にどなたの介助を受けていますか。(1つに○)

「配偶者(夫・妻)」が54.5%、「娘」が15.7%などとなっている。

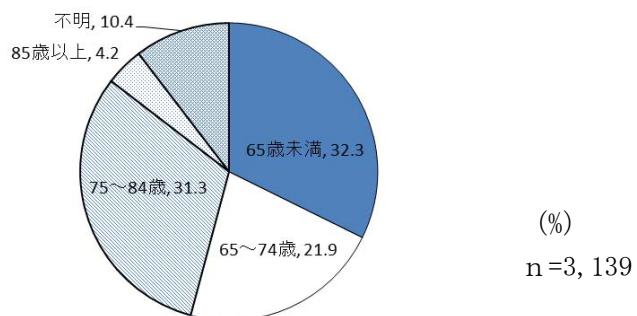
n=3,139



(13) 介護・介助者の年齢

F9-2-1. 主に介助している方の年齢は次のどれですか。(1つに○)

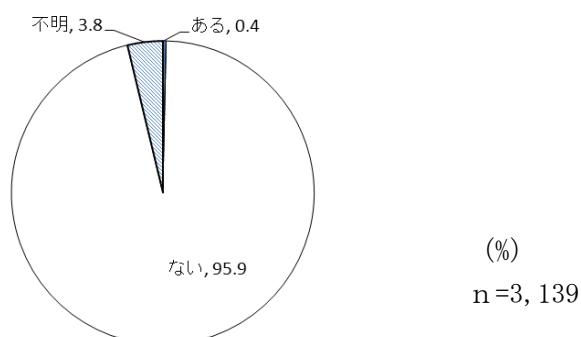
「65歳未満」が32.3%、「75～84歳」が31.3%、「65～74歳」が21.9%、「85歳以上」が4.2%となっている。



(14) 介護認定の有無

F10. あなたはこれまでに介護認定を受けたことがありますか。(どちらかに○)

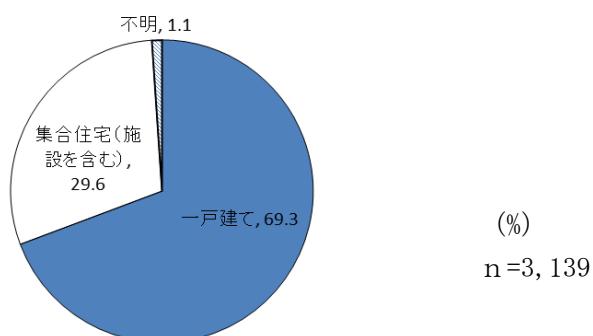
「ない」が95.9%、「ある」が0.4%となっている。



(15) 住まいの形態

F11. あなたの住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(どちらかに○)

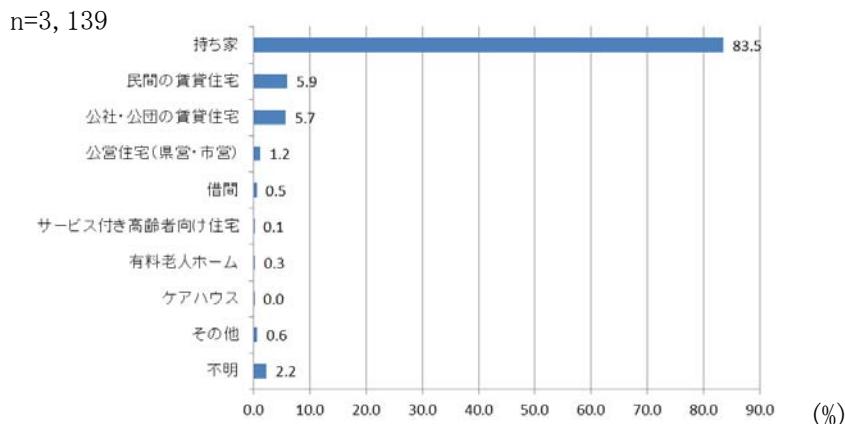
「一戸建て」が69.3%、「集合住宅」が29.6%となっている。



(16) 住まいの所有形態

F12. あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

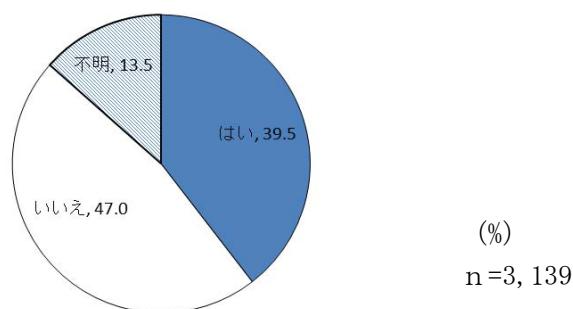
「持ち家」が83.5%、「民間の賃貸住宅」が5.9%、「公社・公団の賃貸住宅」が5.7%などとなっている。



(17) 生活する部屋は2階以上にあるか

F12-1. お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。(どちらかに○)

「いいえ」が47.0%、「はい」が39.5%となっている。



(18) エレベーターは設置されているか

F12-1-1. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか。(どちらかに○)

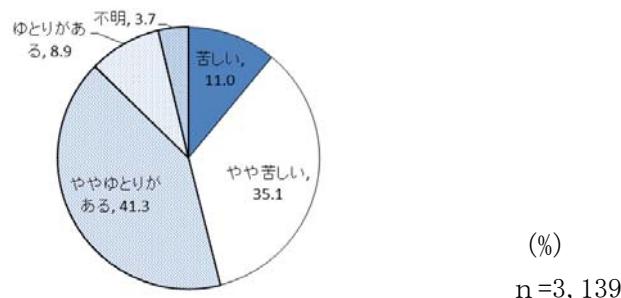
「ない」が62.4%、「ある」が36.0%となっている。



(19) 現在の経済的な暮らしの状況

F13. あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(1つに○)

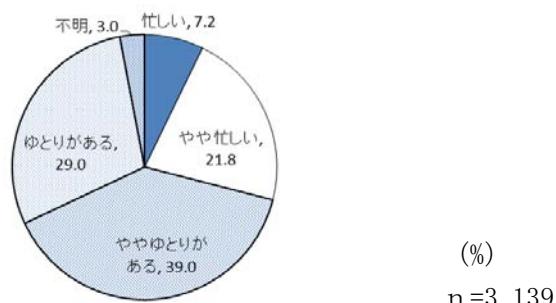
「苦しい」(11.0%)と「やや苦しい」(35.1%)を合わせた『苦しい』が46.1%、「ややゆとりがある」(41.3%)と「ゆとりがある」(8.9%)を合わせた『ゆとりがある』が50.2%となっている。



(20) 現在の時間的な暮らしの状況

F14. あなたは、現在の暮らしの状況を時間的にみて、どう感じていますか。(1つに○)

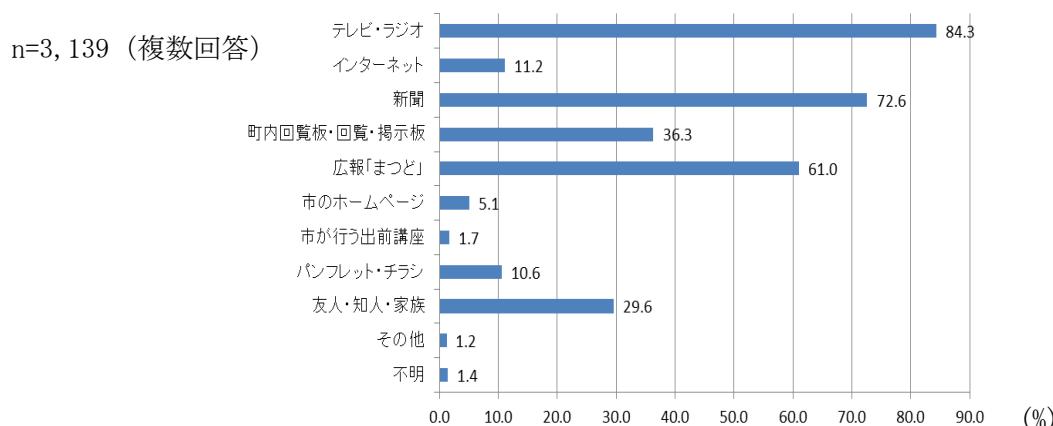
「忙しい」(7.2%)と「やや忙しい」(21.8%)を合わせた『忙しい』が29.0%、「ややゆとりがある」(39.0%)と「ゆとりがある」(29.0%)を合わせた『ゆとりがある』が68.0%となっている。



(21) 情報入手

F15. あなたは普段から社会保障や行政などの情報を何によって入手していますか。(あてはまる全てに○)

「テレビ・ラジオ」が84.3%で最も高く、以下、「新聞」が72.6%、「広報まつど」が61.0%、「町内回覧板・回覧・掲示板」が36.3%、「友人・知人・家族」が29.6%となっている。

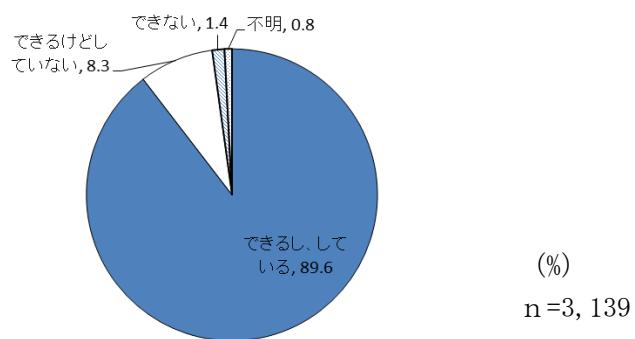


2. 身体状態や日常の生活状況について

(1) 買物

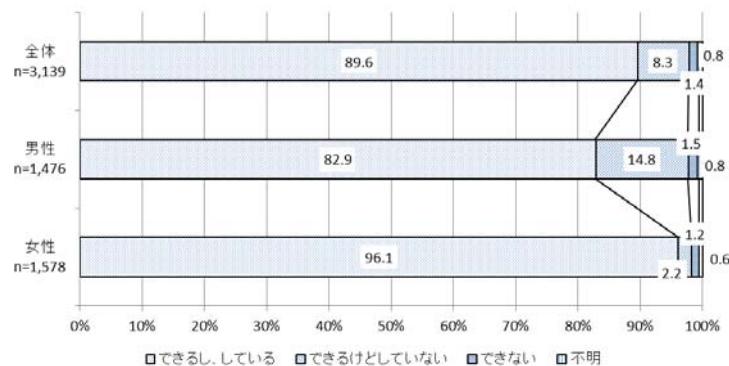
Q1. 日用品の買物をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が89.6%、「できるけどしていない」が8.3%、「できない」が1.4%となって いる。



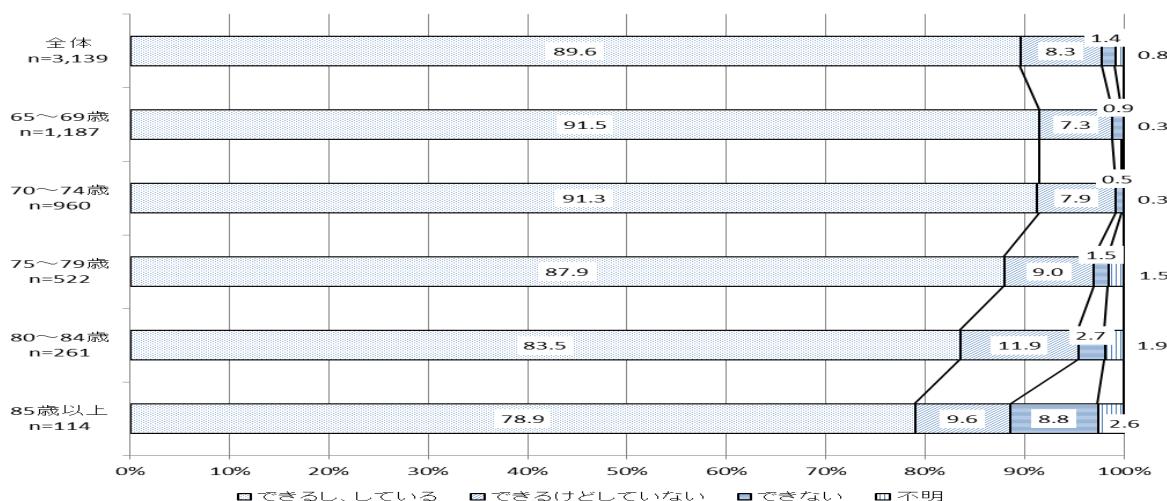
[性別]

「できるし、している」は女性（96.1%）が男性（82.9%）より13.2ポイント高くなっている。一方、「できるけどしていない」と「できない」を合わせた「していない」は男性（16.3%）が女性（3.4%）より12.9ポイント高くなっている。



[年齢]

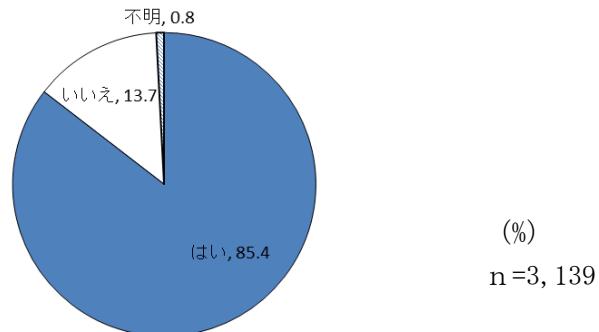
「できるけどしていない」と「できない」を合わせた『買物をしない』は、年代が上がるにつれ、高くなっている。



(2) 預貯金

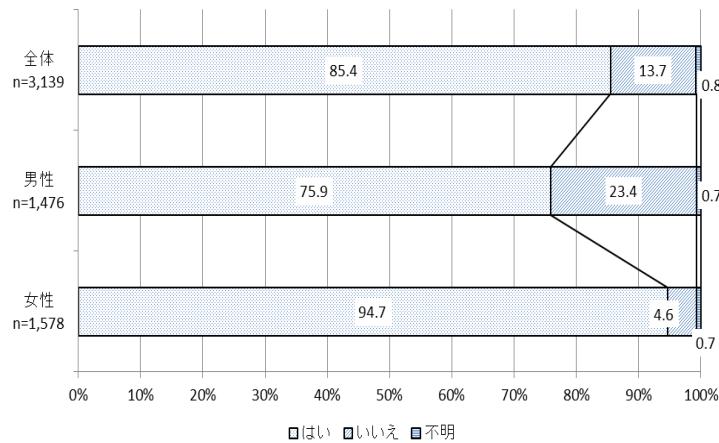
Q2. 預貯金の出し入れをしていますか。(どちらかに○)

「はい」が85.4%、「いいえ」が13.7%となっている。



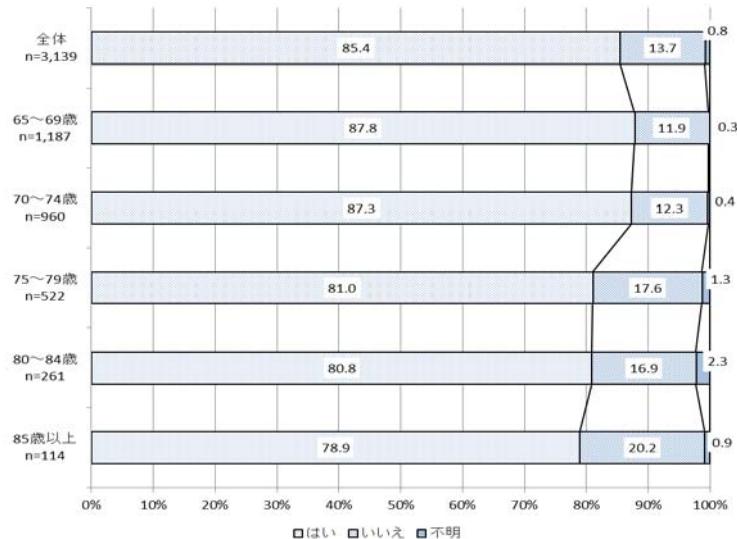
[性別]

「はい」は女性（94.7%）が男性（75.9%）より18.8ポイント高くなっている。



[年齢]

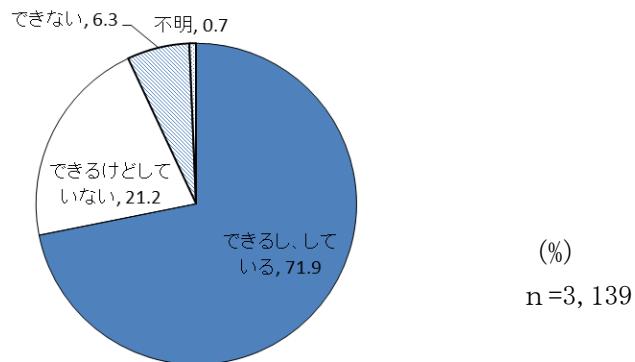
「いいえ」は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”（17.7%）が65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”（12.1%）より5.6ポイント高くなっている。



(3) 食事用意

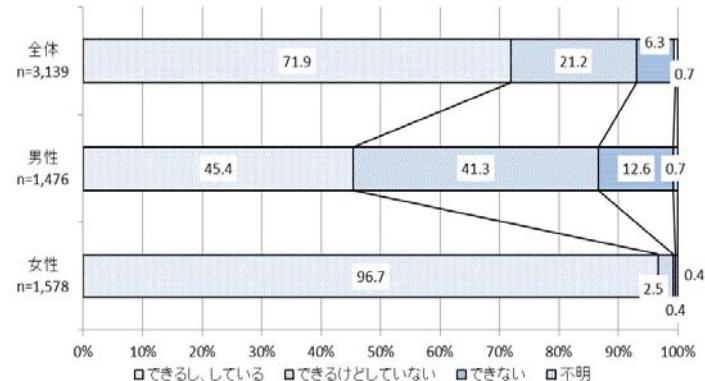
Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が71.9%、「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が6.3%となっている。



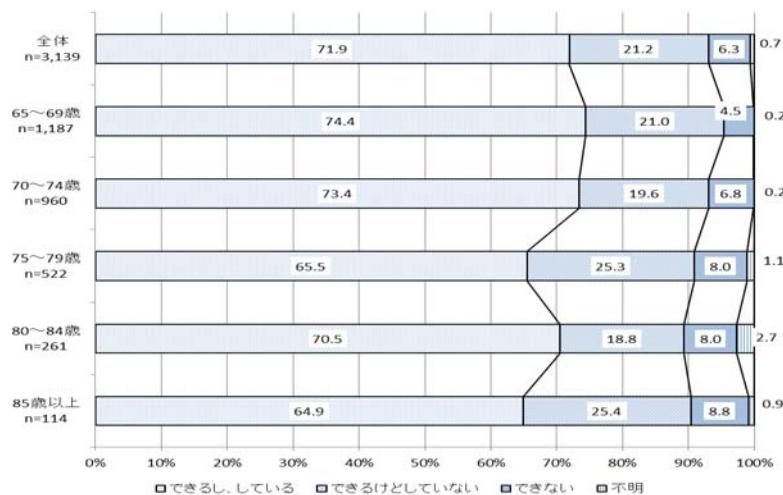
[性別]

「できるし、している」は女性（96.7%）が男性（45.4%）より51.3ポイント高くなっている。一方、「できるけどしていない」と「できない」を合わせた「していない」は男性（53.9%）が女性（2.9%）より51.0ポイント高くなっている。



[年齢]

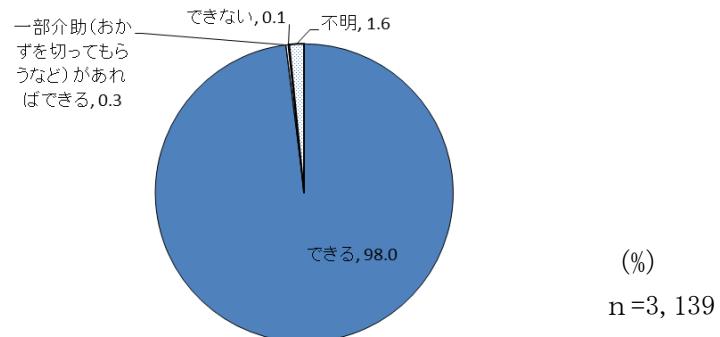
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(4) 食事

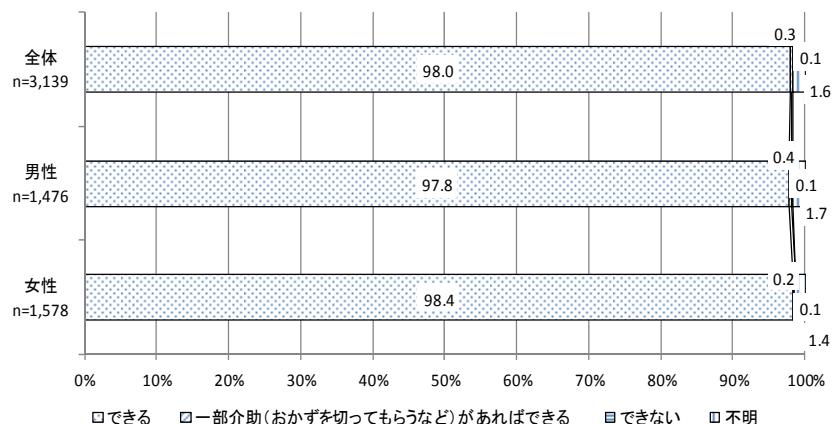
Q4. 食事は自分で食べられますか。(1つに○)

「できる」が98.0%、「一部介助があればできる」が0.3%、「できない」が0.1%となっている。



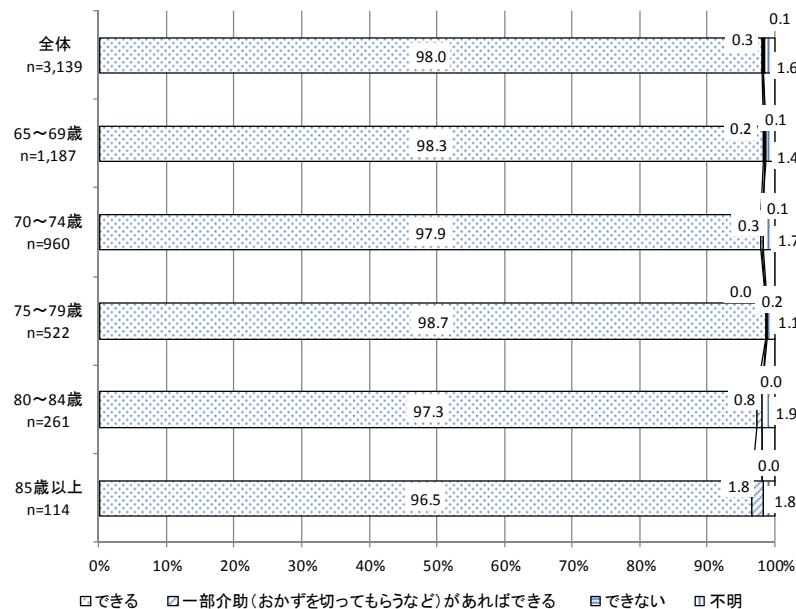
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

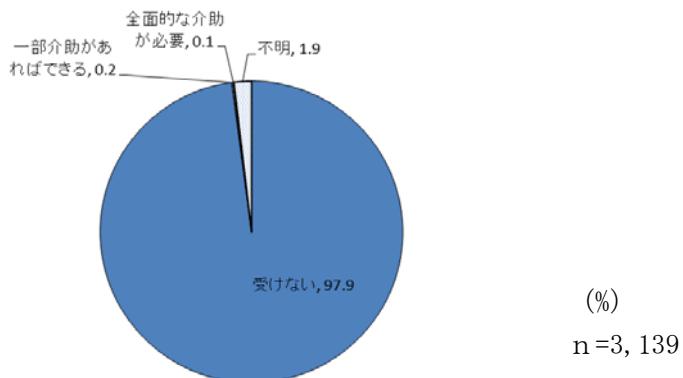
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(5) 寝床

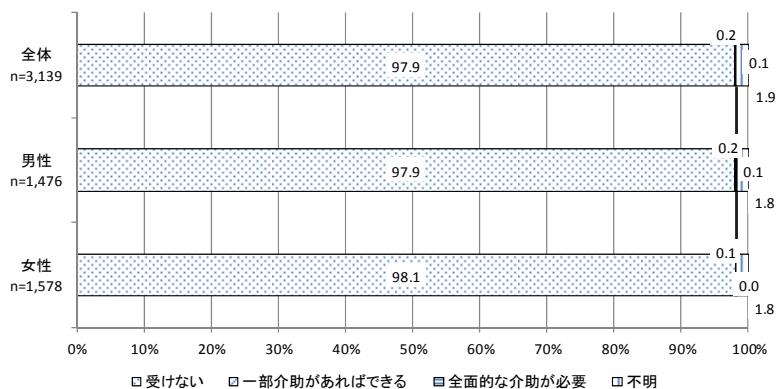
Q5. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。(1つに○)

「受けない」が97.9%、「一部介助があればできる」が0.2%、「全面的な介助が必要」が0.1%となっている。



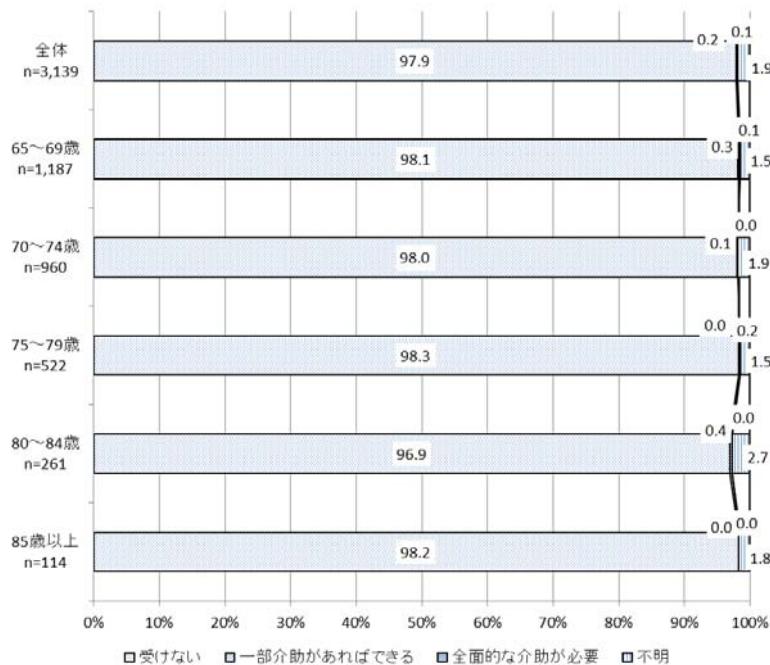
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

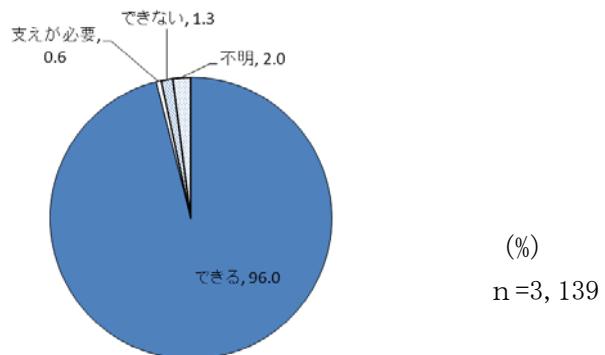
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(6) 座位

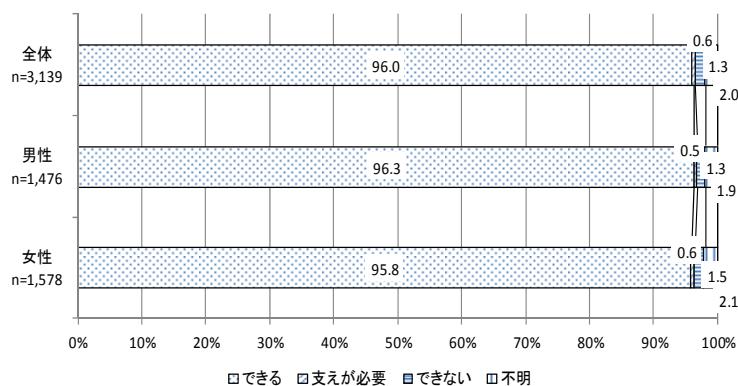
Q6. 座っていることができますか。(1つに○)

「できる」が96.0%、「支えが必要」が0.6%、「できない」が1.3%となっている。



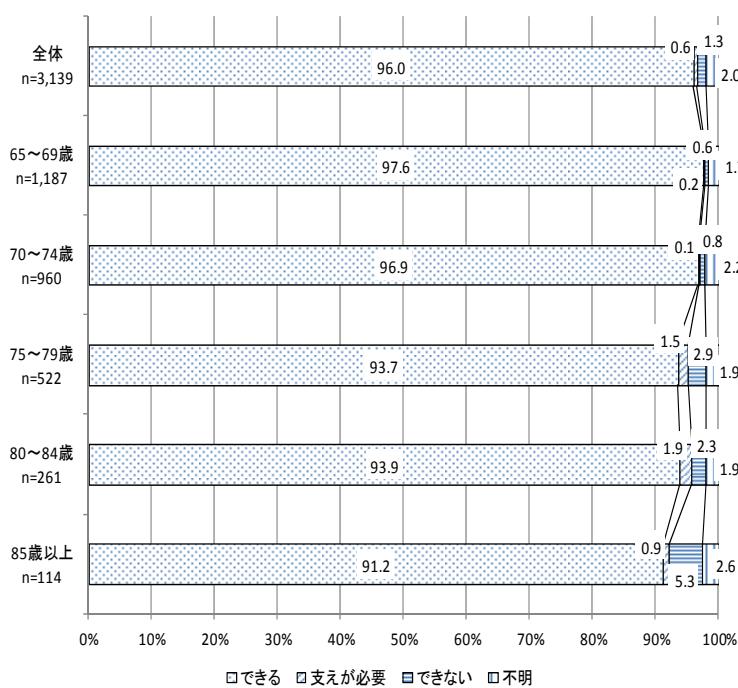
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

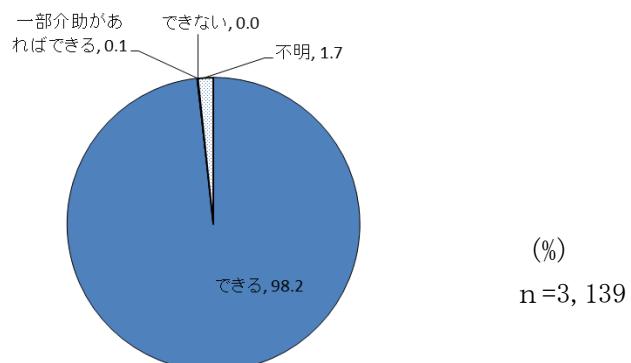
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(7) 洗面・歯磨き

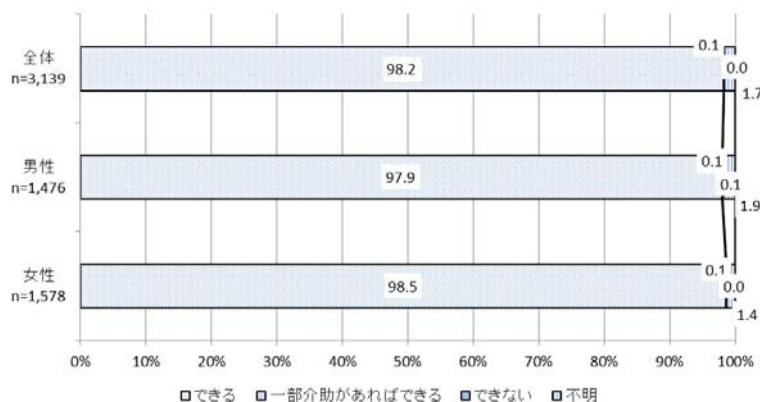
Q7. 自分で洗面や歯磨きができますか。(1つに○)

「できる」が98.2%、「一部介助があればできる」が0.1%、「できない」が0.0%となっている。



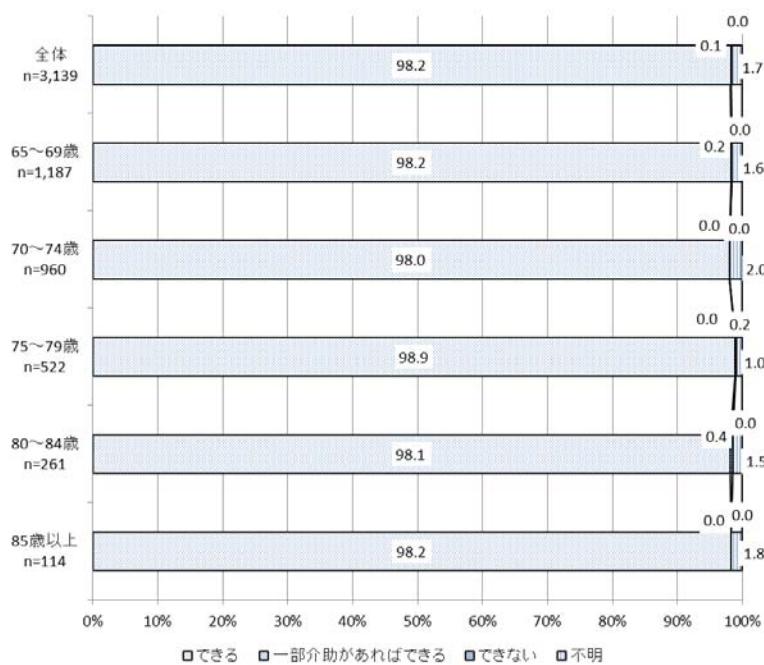
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

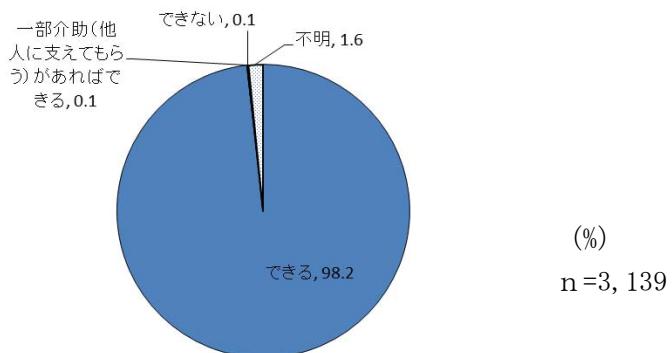
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(8) 入浴

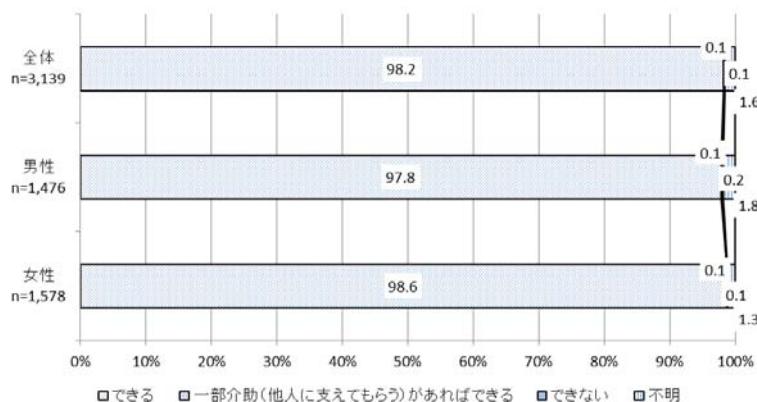
Q8. 自分で入浴ができますか。(1つに○)

「できる」が98.2%、「一部介助があればできる」が0.1%、「できない」が0.1%となっている。



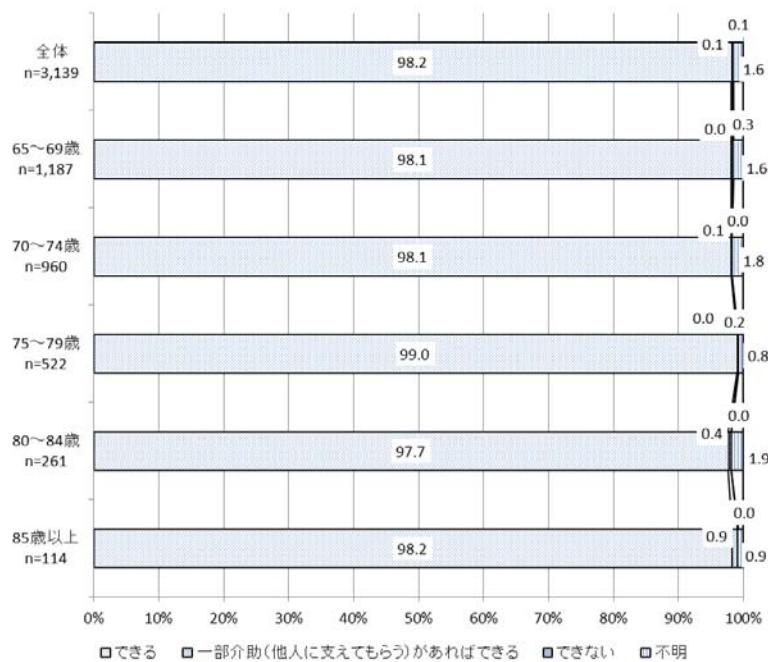
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

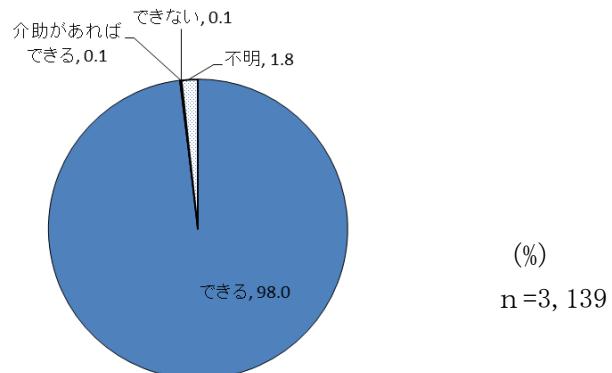
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(9) 着替え

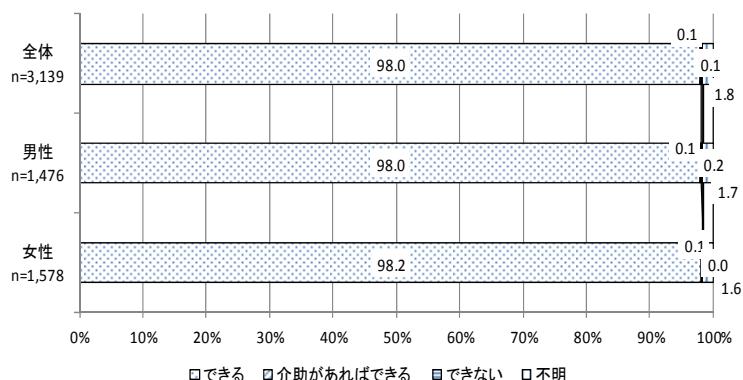
Q9. 自分で着替えができますか。(1つに○)

「できる」が98.0%、「介助があればできる」が0.1%、「できない」が0.1%となっている。



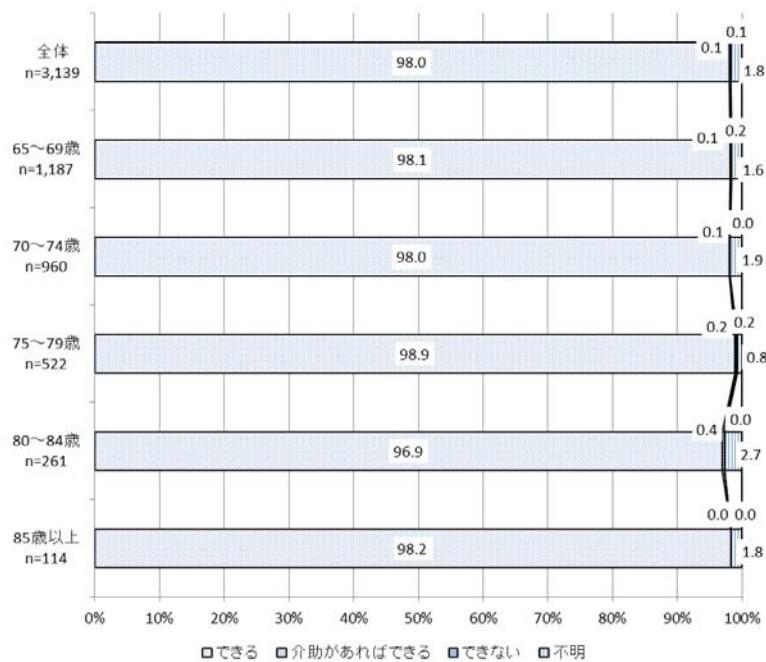
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

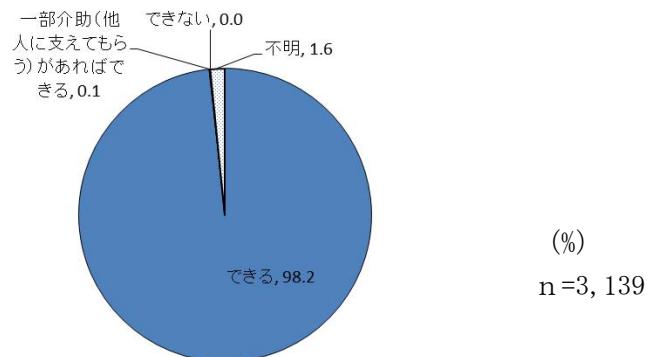
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(10) トイレ

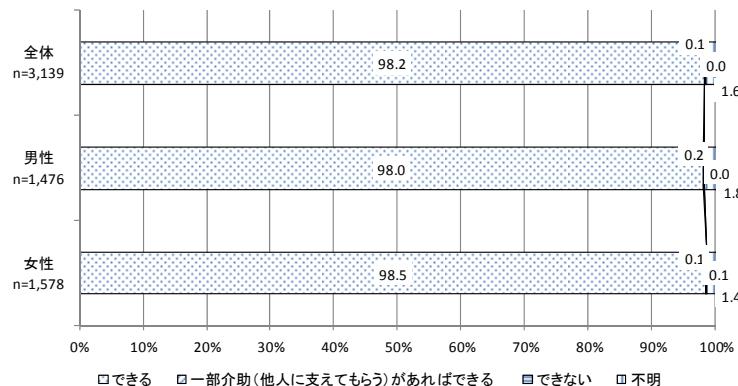
Q10. 自分でトイレができますか。(1つに○)

「できる」が98.2%、「一部介助があればできる」が0.1%、「できない」が0.0%となっている。



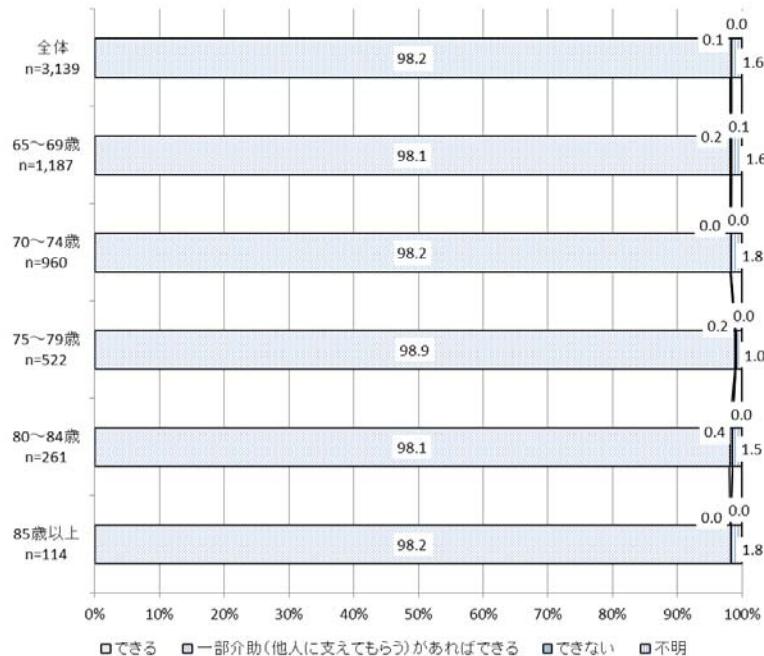
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

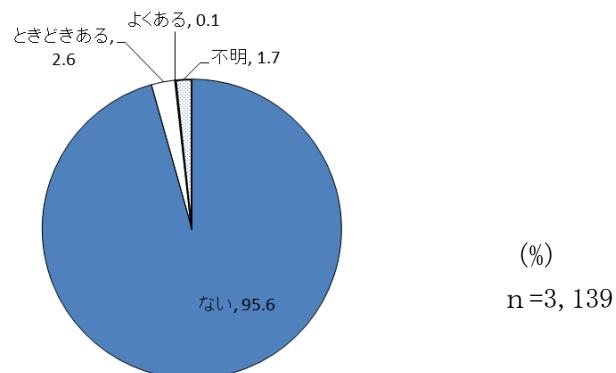
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(11) 大便

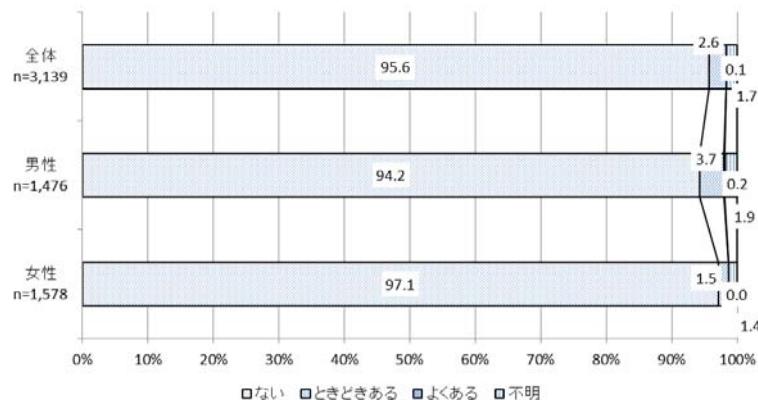
Q11. 大便の失敗がありますか。(1つに○)

「ない」が95.6%、「ときどきある」が2.6%、「よくある」が0.1%となっている。



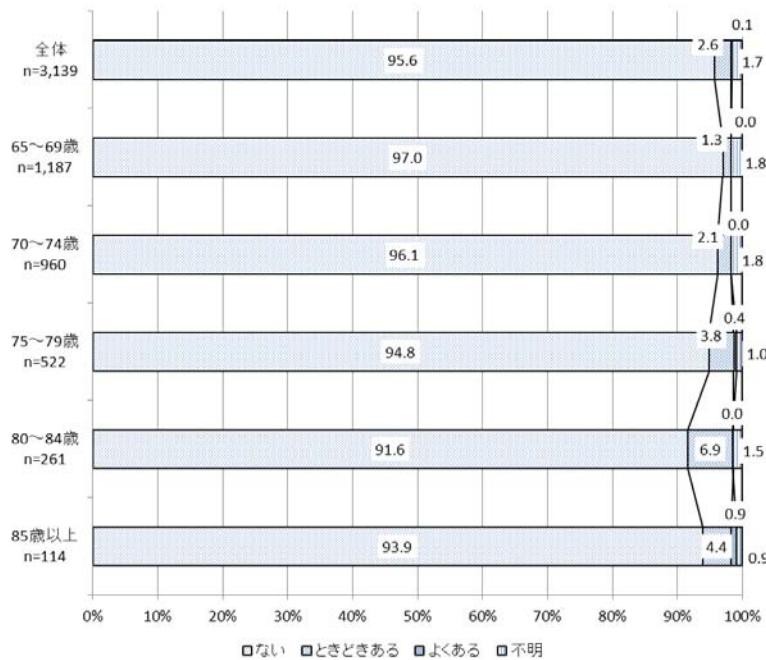
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

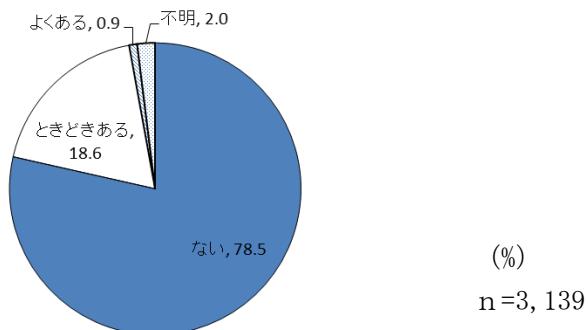
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(12) 尿漏れ

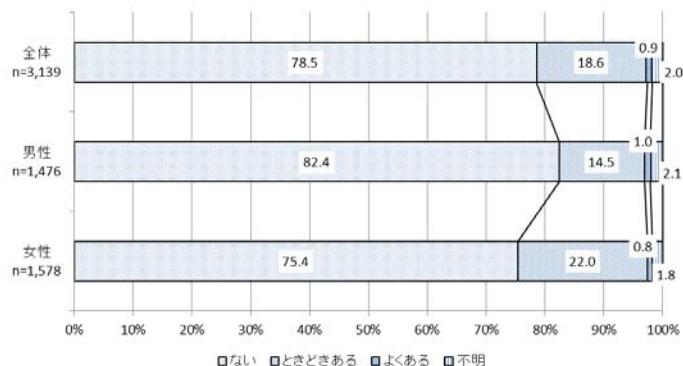
Q12. 尿もれや尿失禁がありますか。(1つに○)

「ない」が78.5%、「ときどきある」が18.6%、「よくある」が0.9%となっている。



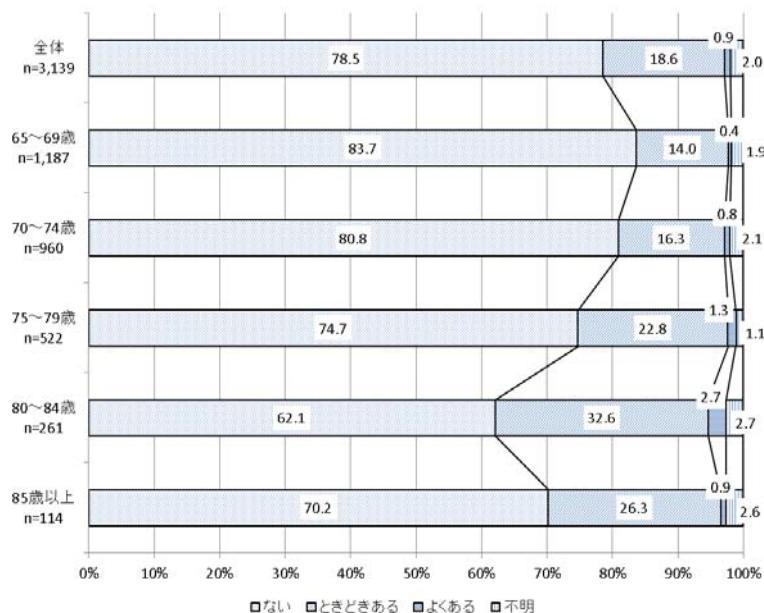
[性別]

「ときどきある」と「よくある」を合わせた『ある（尿もれ）』は女性（22.8%）が男性（15.5%）より7.3ポイント高くなっている。



[年齢]

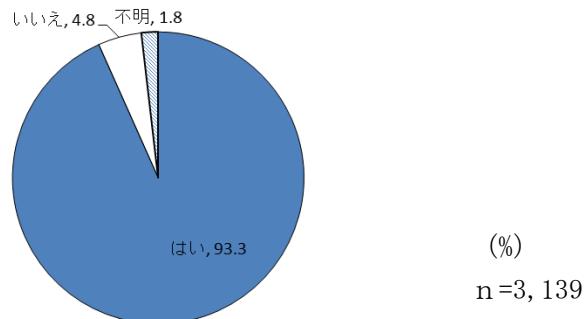
「ときどきある」と「よくある」を合わせた『ある』は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”（27.8%）が65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”（15.6%）より12.2ポイント高くなっている。



(13) 書類

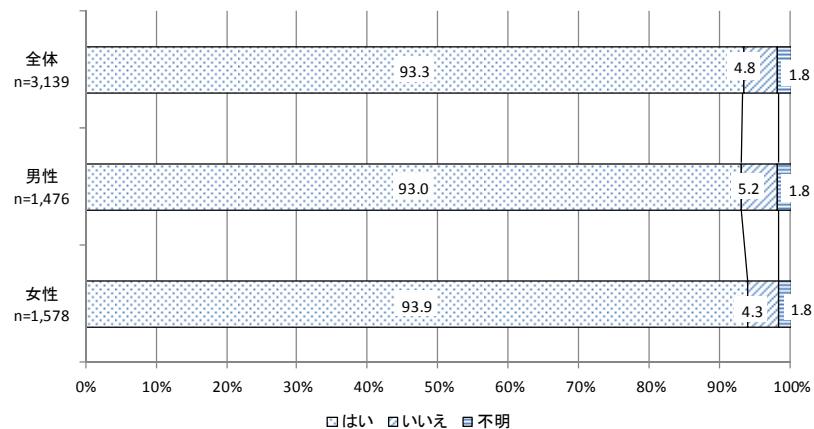
Q13. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかに○）

「はい」が93.3%で、「いいえ」が4.8%となっている。



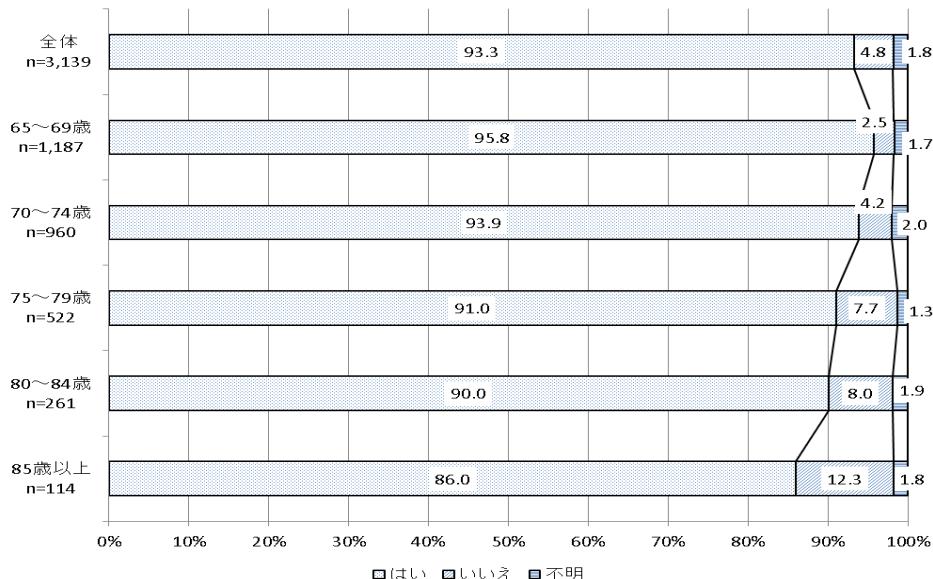
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

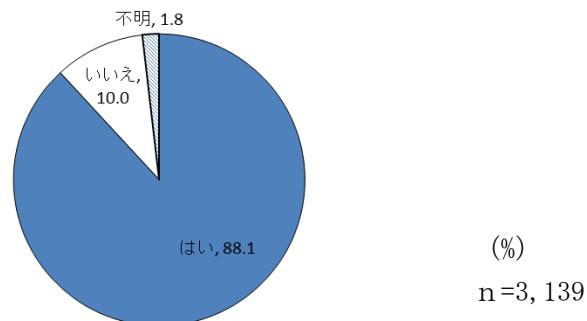
年代が上がるにつれ、「いいえ」が高くなっている。



(14) 新聞

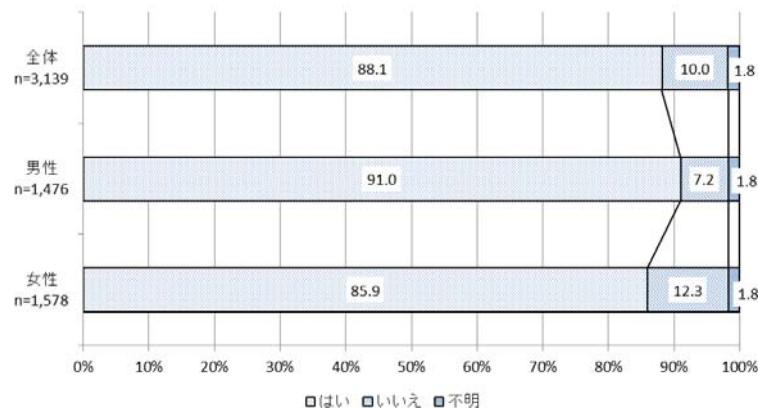
Q14. 新聞を読んでいますか。(どちらかに○)

「はい」が88.1%、「いいえ」が10.0%となっている。



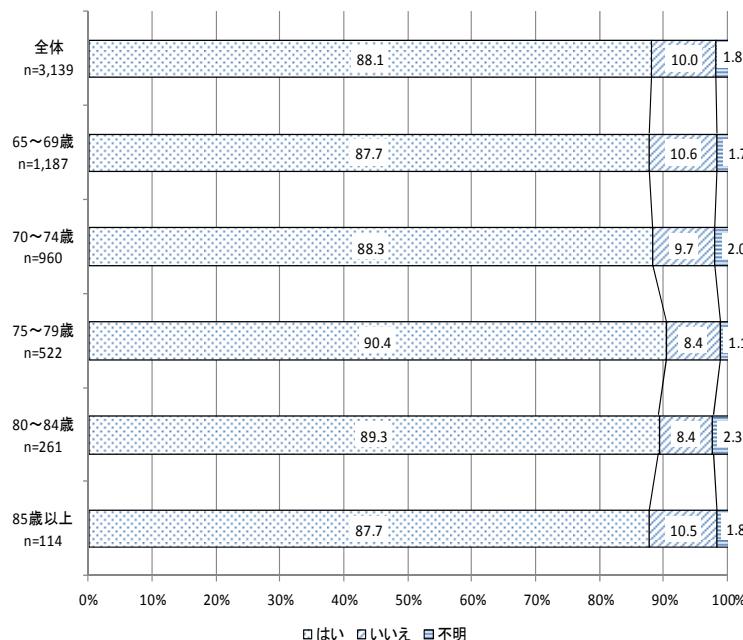
[性別]

「はい」は男性(91.0%)が女性(85.9%)より5.1ポイント高くなっている。



[年齢]

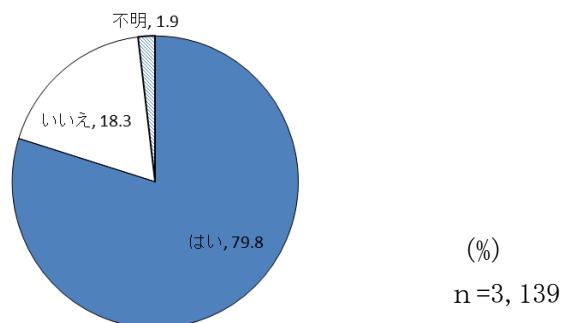
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(15) 本・雑誌

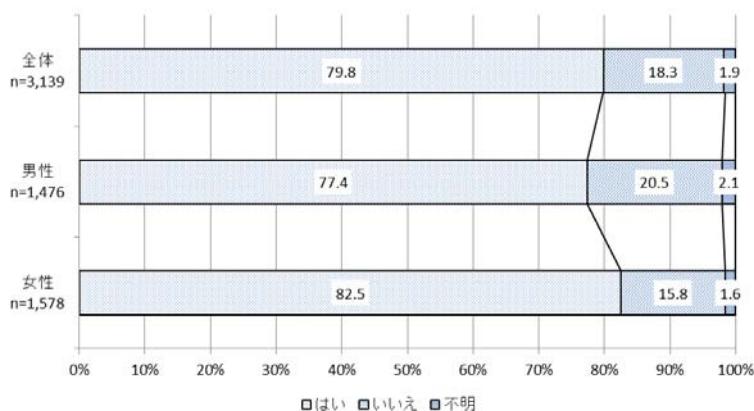
Q15. 本や雑誌を読んでいますか。(どちらかに○)

「はい」が79.8%で、「いいえ」が18.3%となっている。



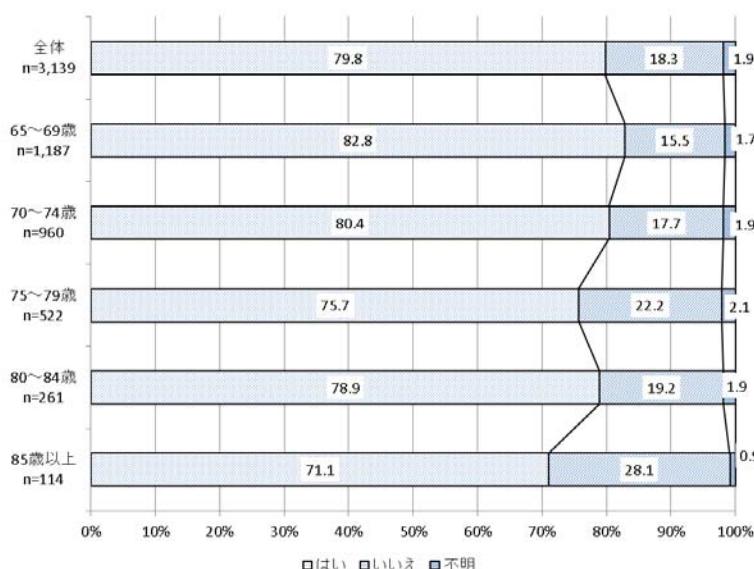
[性別]

「はい」は女性(82.5%)が男性(77.4%)より5.1ポイント高くなっている。



[年齢]

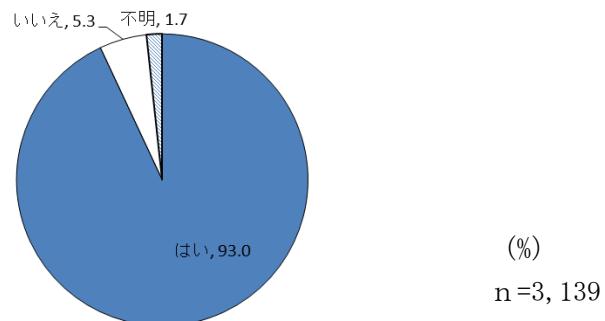
「いいえ」は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”(22.1%)が65~74歳の割合を算出した“前期高齢者”(16.5%)より5.6ポイント高くなっている。



(16) 健康番組の関心

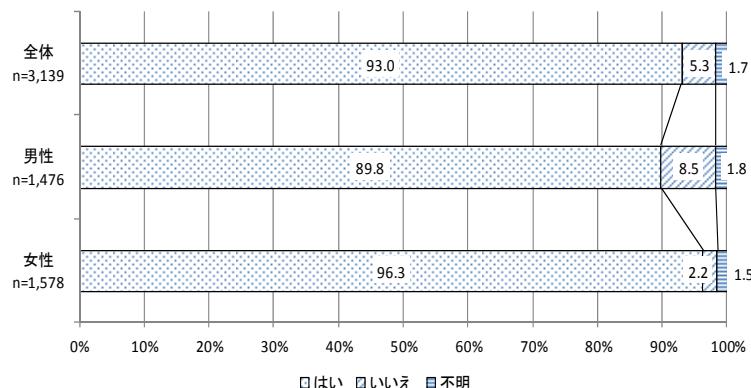
Q16. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(どちらかに○)

「はい」が93.0%で、「いいえ」が5.3%となっている。



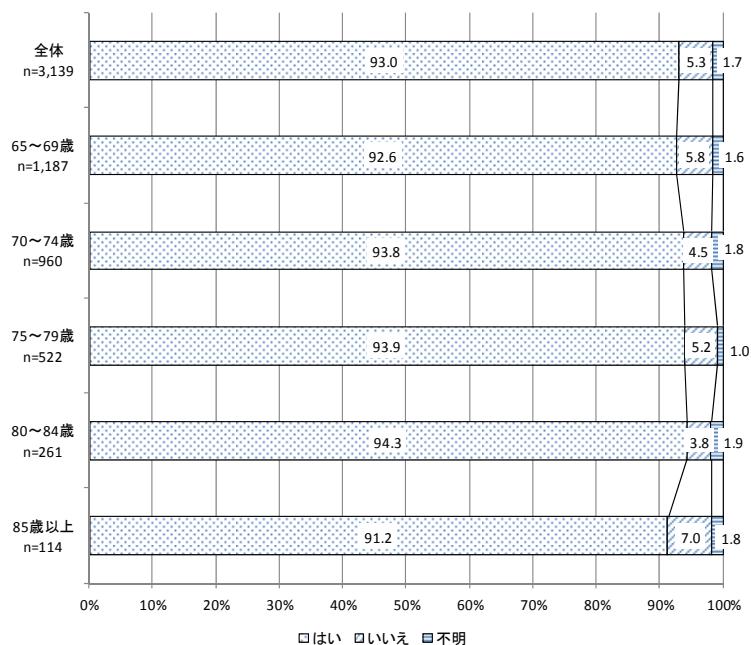
[性別]

「はい」は女性(96.3%)が男性(89.8%)より6.5ポイント高くなっている。



[年齢]

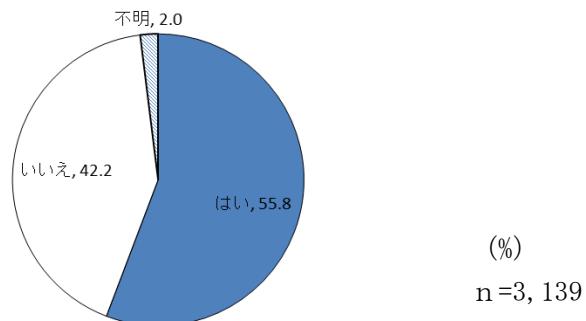
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(17) 友人宅訪問

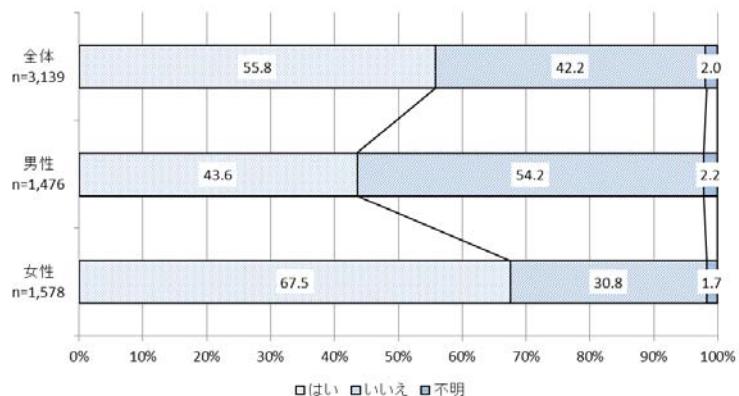
Q17. 友人の家を訪ねていますか。(どちらかに○)

「はい」が55.8%、「いいえ」が42.2%となっている。



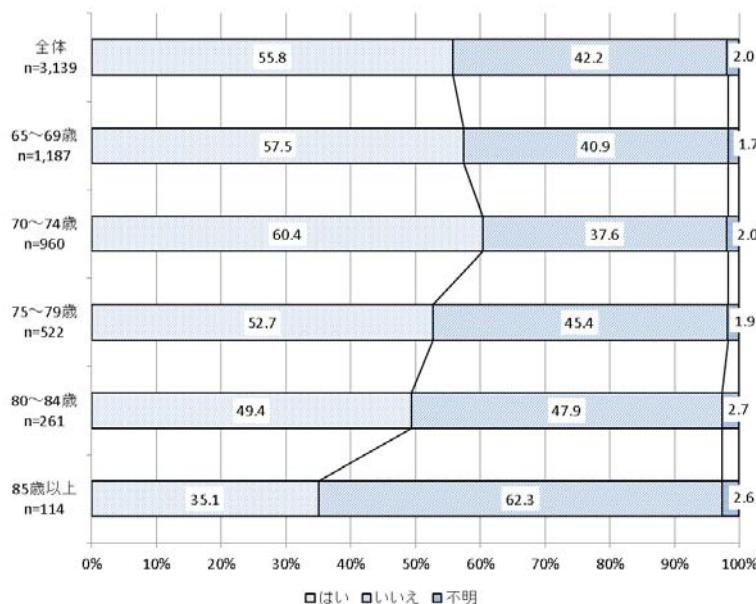
[性別]

「はい」は女性（67.5%）が男性（43.6%）より23.9ポイント高くなっている。



[年齢]

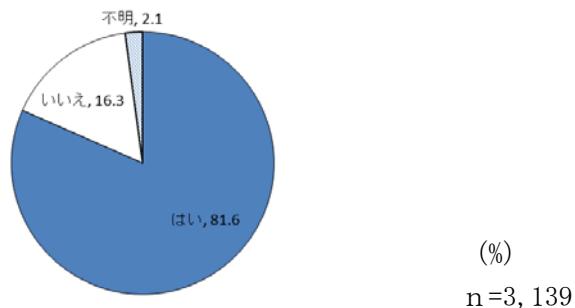
「いいえ」は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”（48.3%）が65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”（39.5%）より8.8ポイント高くなっている。



(18) 相談にのる

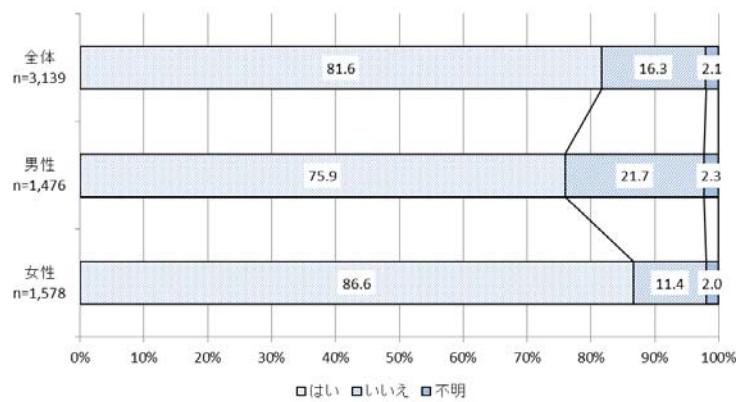
Q18. 家族や友人の相談にのっていますか。(どちらかに○)

「はい」が81.6%、「いいえ」が16.3%となっている。



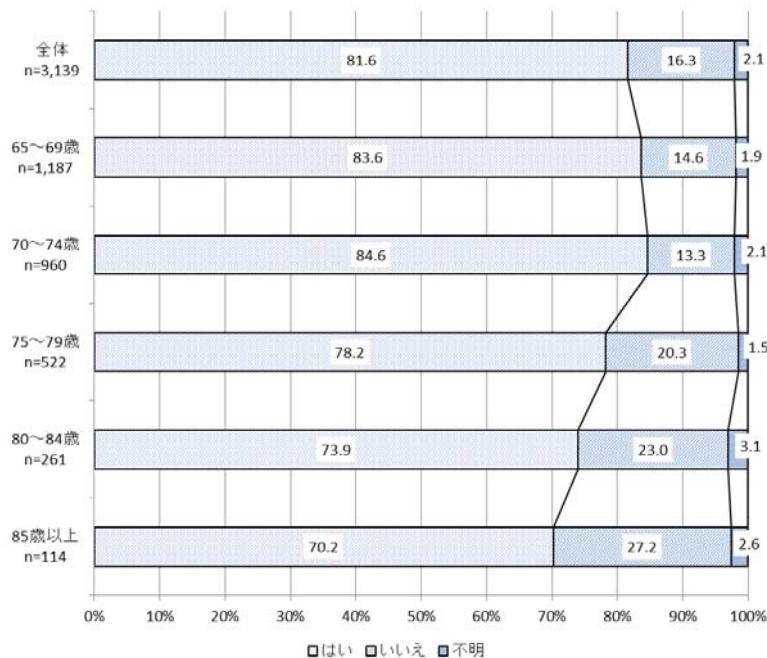
[性別]

「はい」は女性(86.6%)が男性(75.9%)より10.7ポイント高くなっている。



[年齢]

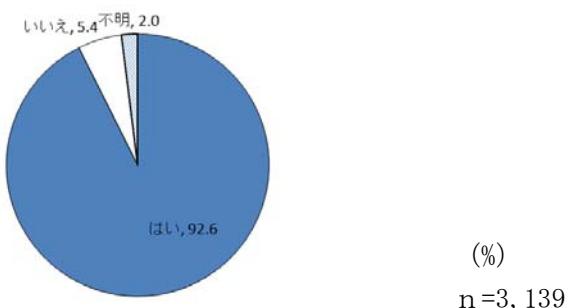
「いいえ」は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”(22.0%)が65~74歳の割合を算出した“前期高齢者”(14.0%)より8.0ポイント高くなっている。



(19) 見舞い

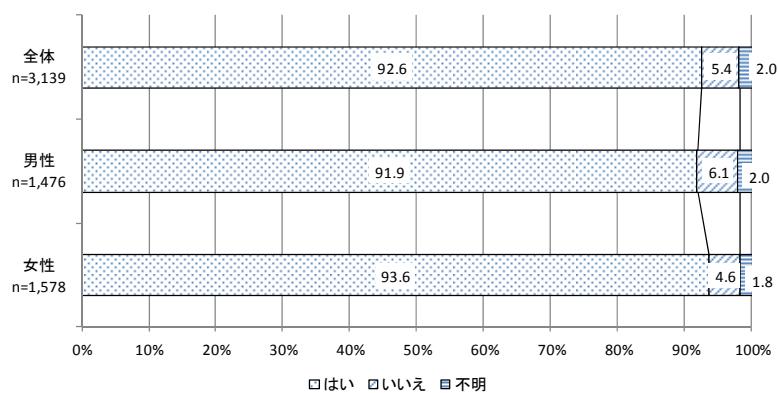
Q19. 病人を見舞うことができますか。(どちらかに○)

「はい」が92.6%で、「いいえ」が5.4%となっている。



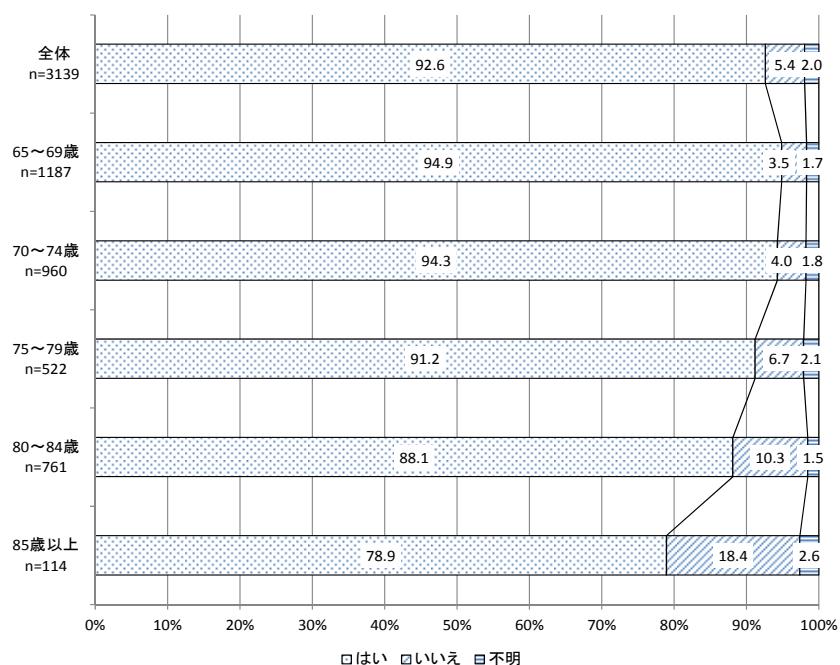
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

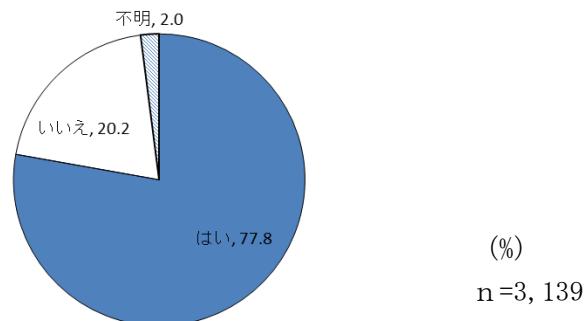
年代が上がるにつれ、「いいえ」が高くなっている。



(20) 若者への話しかけ

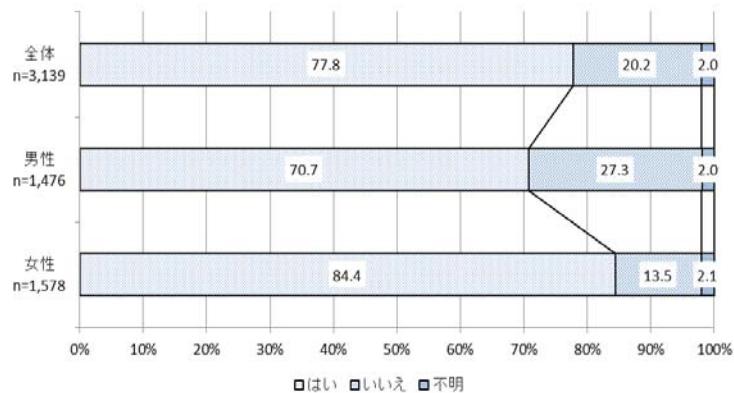
Q20.若い人に自分から話しかけることがありますか。(どちらかに○)

「はい」が77.8%で、「いいえ」が20.2%となっている。



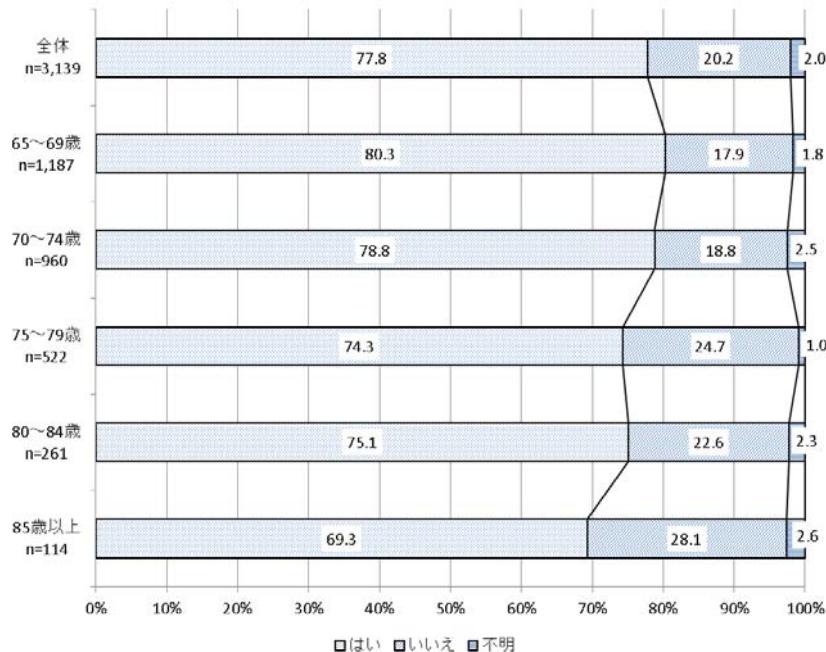
[性別]

「はい」は女性(84.4%)が男性(70.7%)より13.7ポイント高くなっている。



[年齢]

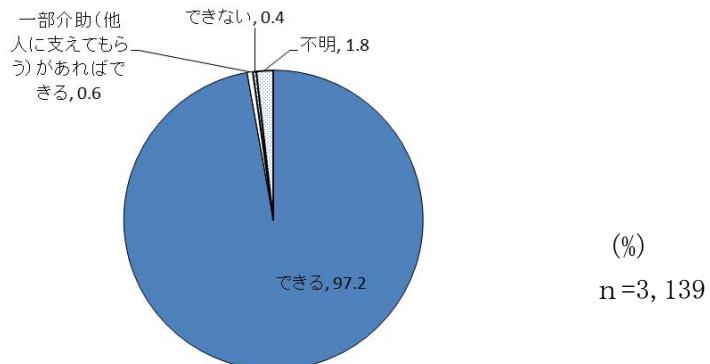
85歳以上になると、「はい」が著しく減少している。



(21) 50m歩行

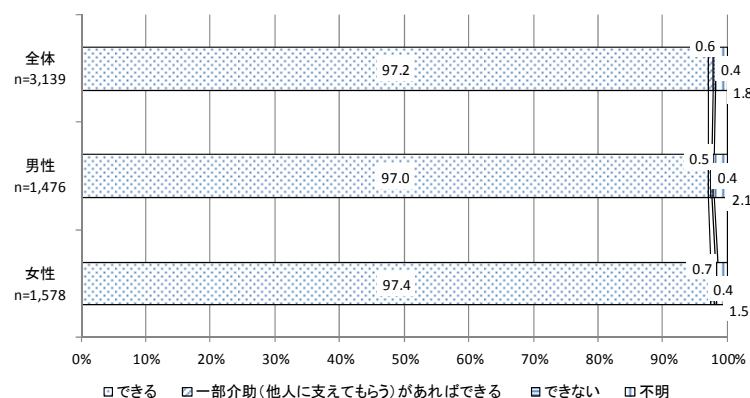
Q21. 50m以上歩けますか。(1つに○)

「できる」が97.2%、「一部介助があればできる」、 「できない」が1.0%となっている。



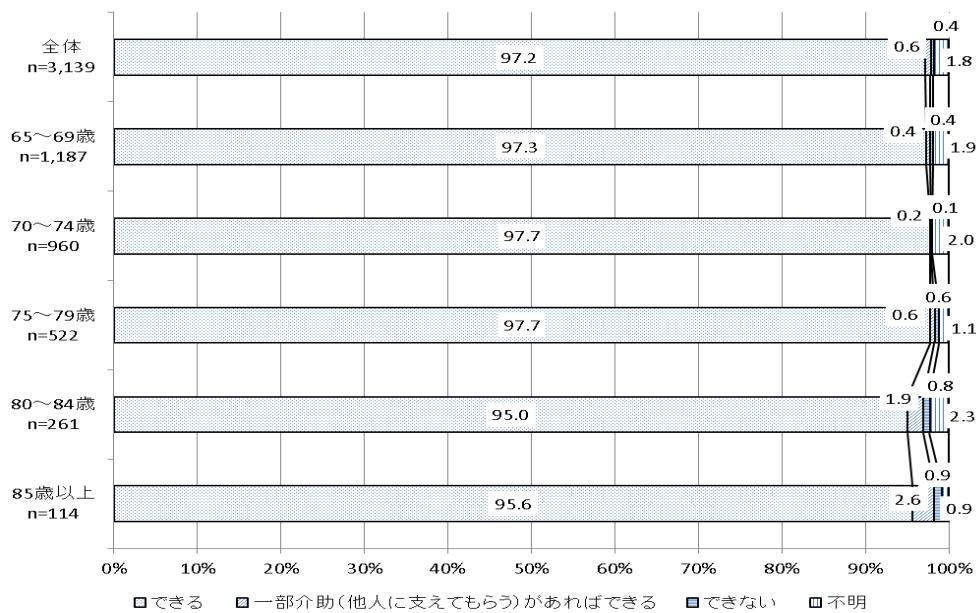
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

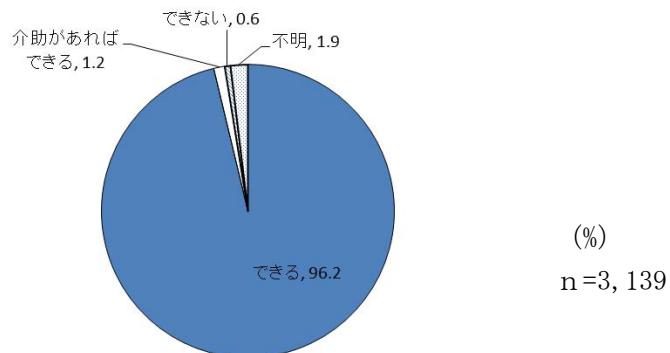
80歳以上になると、若干「できる」が低下している。



(22) 階段昇降

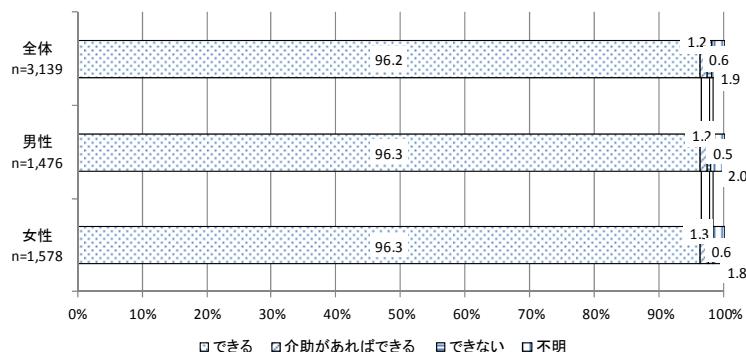
Q22. 階段を昇り降りできますか。(1つに○)

「できる」が96.2%、「介助があればできる」が1.2%、「できない」が0.6%となっている。



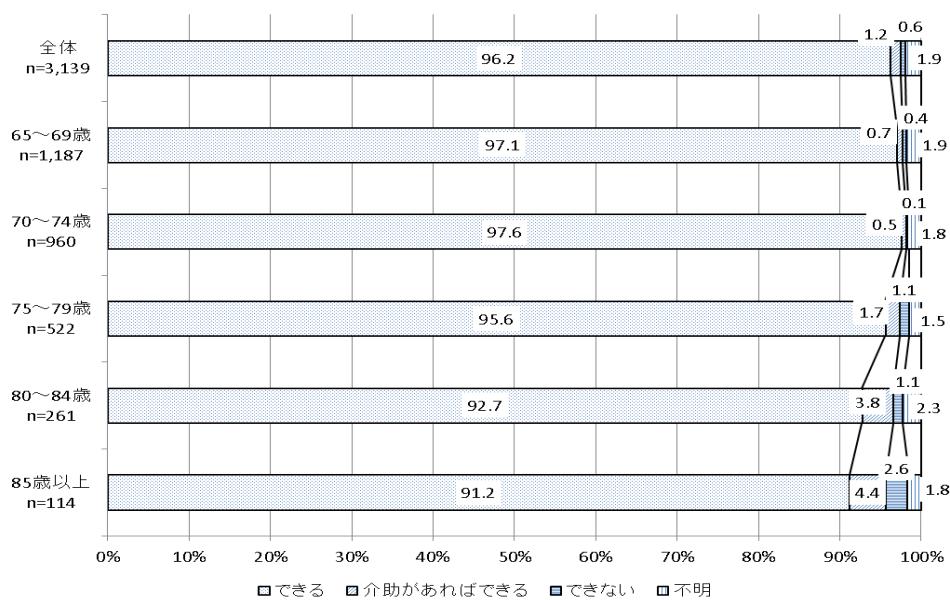
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

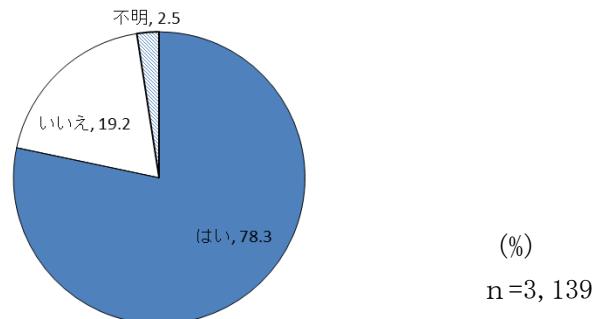
75歳以上になると、若干「できる」が減少している。



(23) 手すりの使用

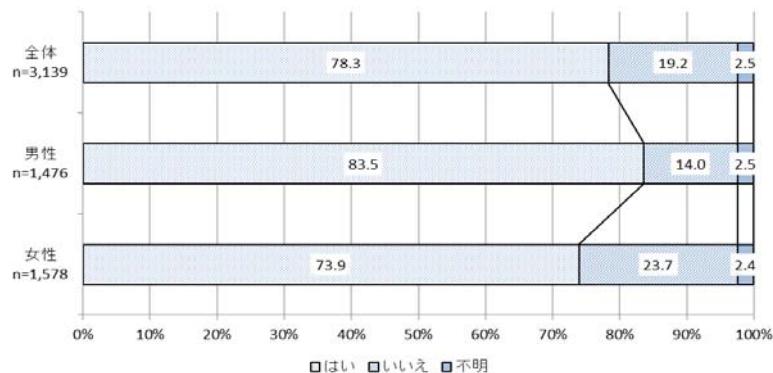
Q23. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(どちらかに○)

「はい」が78.3%で、「いいえ」が19.2%となっている。



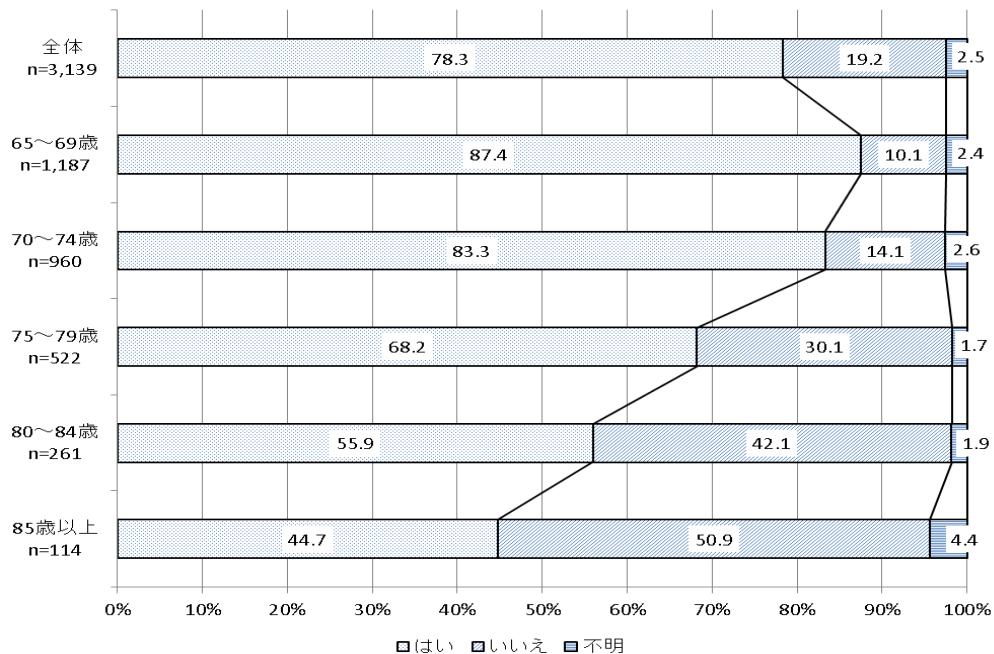
[性別]

「いいえ」は女性（23.7%）が男性（14.0%）より9.7ポイント高くなっている。



[年齢]

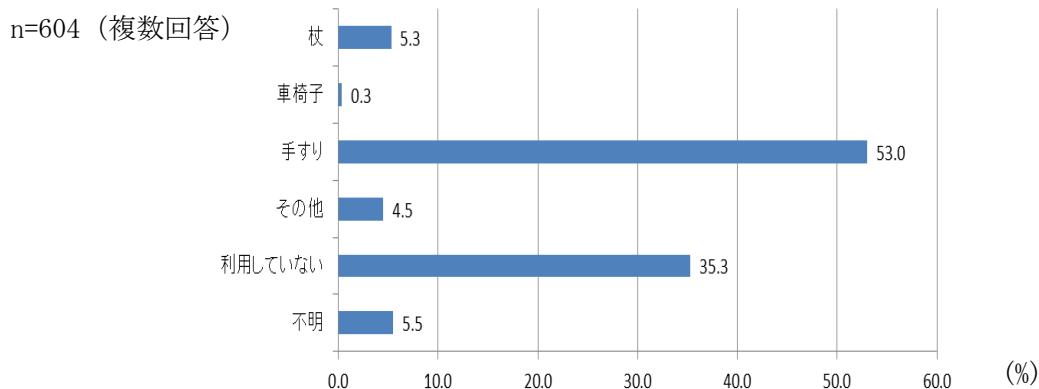
年代が上がるにつれ、「いいえ（手すりや壁をつたう）」が高くなっている。



(24) 室内移動

Q23-1. 室内を移動するために利用しているものはありませんか。(あてはまる全てに○)

「手すり」の53.0%が最も高くなっているが、「利用していない」も35.3%となっている。



[性別]

「手すり」は男性(59.7%)が女性(50.3%)より9.4ポイント高くなっている。

	(回答 複数回答 数 人)	杖	車椅子	手すり	その他	利用していない	不明	(%)
全体	604	5.3	0.3	53.0	4.5	35.3	5.5	
男性	206	4.4	1.0	59.7	4.4	31.6	3.9	
女性	374	5.6	0.0	50.3	4.5	36.1	6.4	

[年齢]

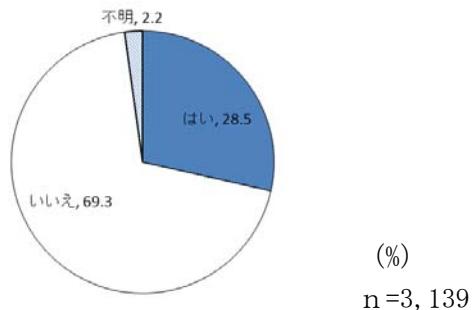
85歳以上は、「利用している」割合が高くなっているが、75~84歳が「利用していない」のは、バリアフリー整備が進んだ施設入所が多いためか、移動が少ないとみられ、さらに分析が必要である。

	(回答 複数回答 数 人)	杖	車椅子	手すり	その他	利用していない	不明	(%)
全体	604	5.3	0.3	53.0	4.5	35.3	5.5	
65~69歳	120	6.7	1.7	59.2	5.0	25.8	3.3	
70~74歳	135	3.0	0.0	60.7	4.4	28.1	6.7	
75~79歳	157	2.5	0.0	47.8	4.5	42.0	5.7	
80~84歳	110	4.5	0.0	46.4	4.5	43.6	4.5	
85歳以上	58	15.5	0.0	55.2	3.4	29.3	8.6	

(25) 背中の丸み

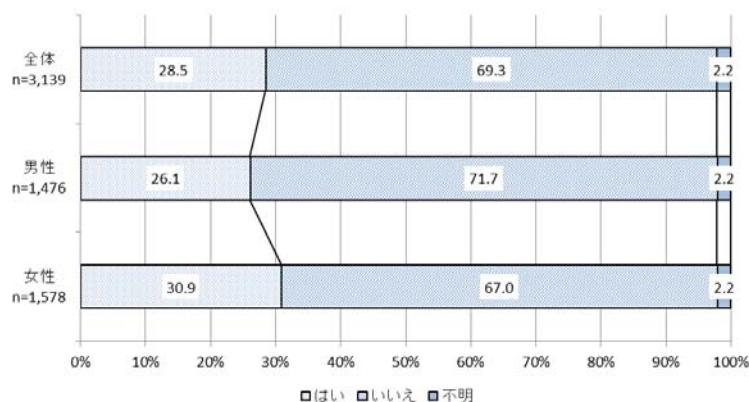
Q24. 背中が丸くなってきましたか。(どちらかに○)

「はい」が28.5%、「いいえ」が69.3%となっている。



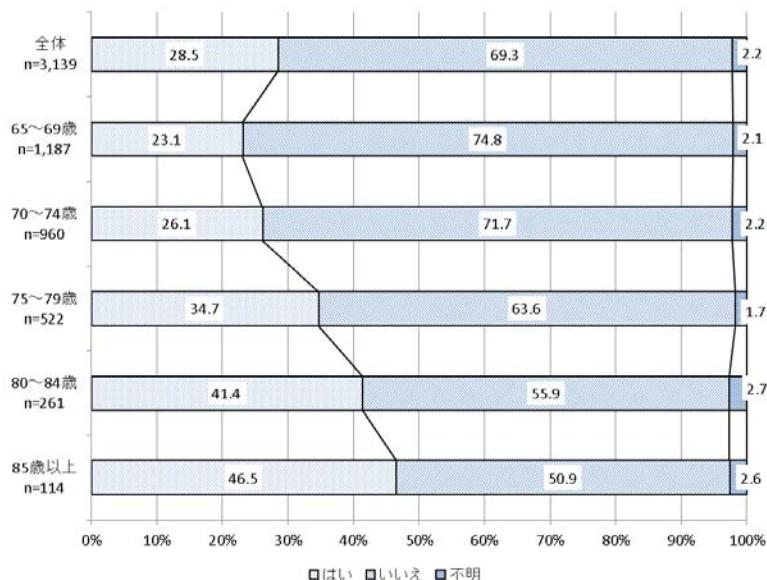
[性別]

「はい」は女性（30.9%）が、男性（26.1%）より4.8ポイント高くなっています。平均寿命の差による傾向も伺える。



[年齢]

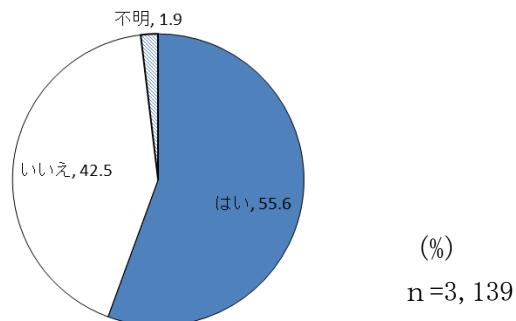
年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっています。



(26) 歩行速度

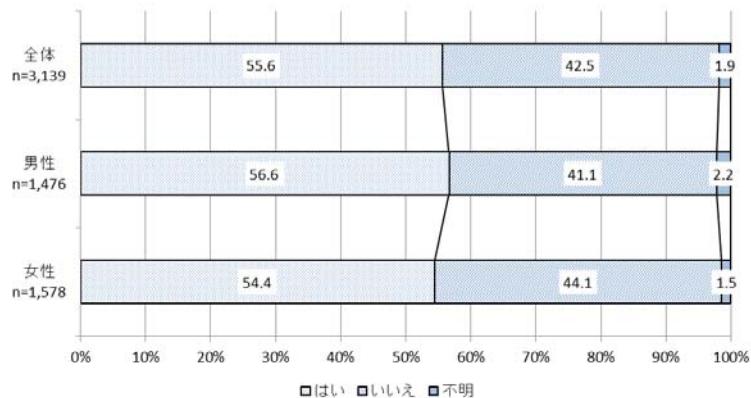
Q25. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(どちらかに○)

「はい」が55.6%、「いいえ」が42.5%となっている。



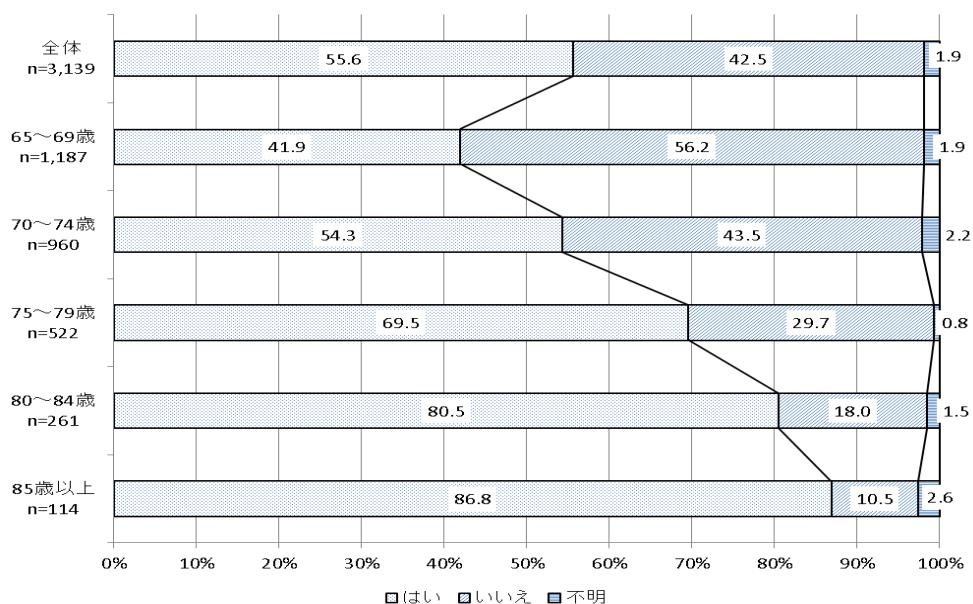
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

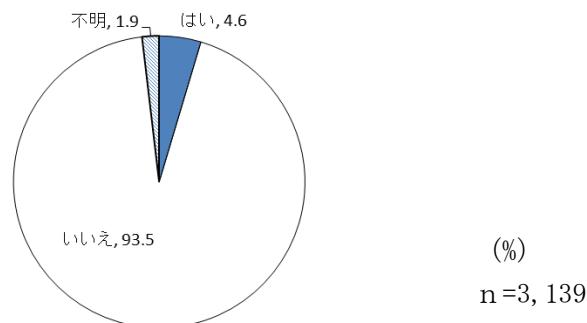
年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっている。



(27) 杖

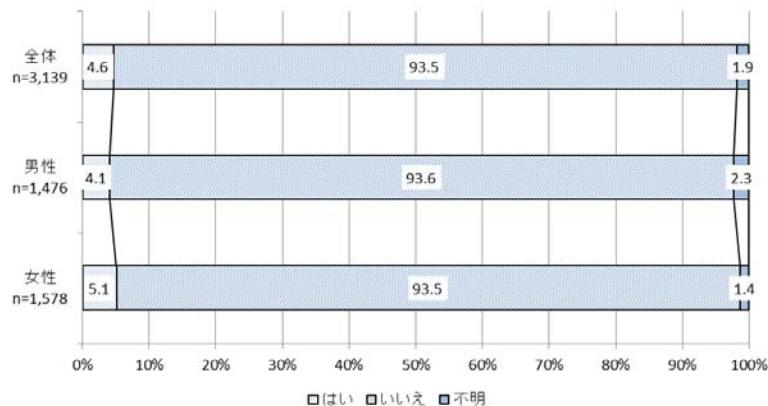
Q26. 杖を使っていますか。(どちらかに○)

「はい」が4.6%、「いいえ」が93.5%となっている。



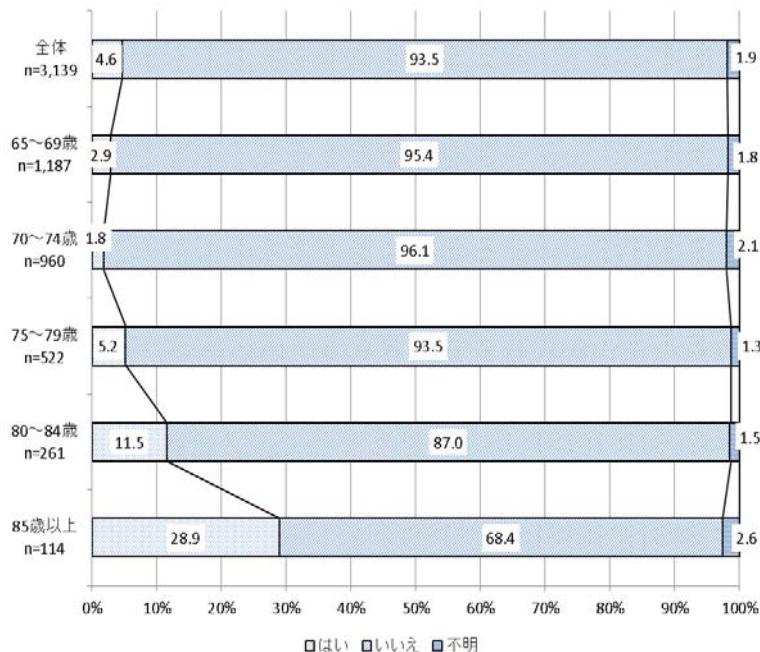
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

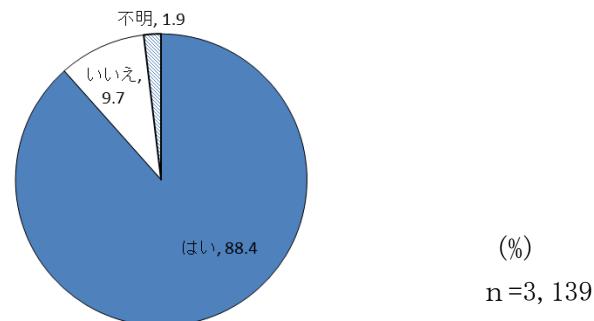
「はい」は75歳以上 (10.0%) が65~74歳 (2.4%) より7.6ポイント高くなっている。



(28) 椅子から立ち上がり

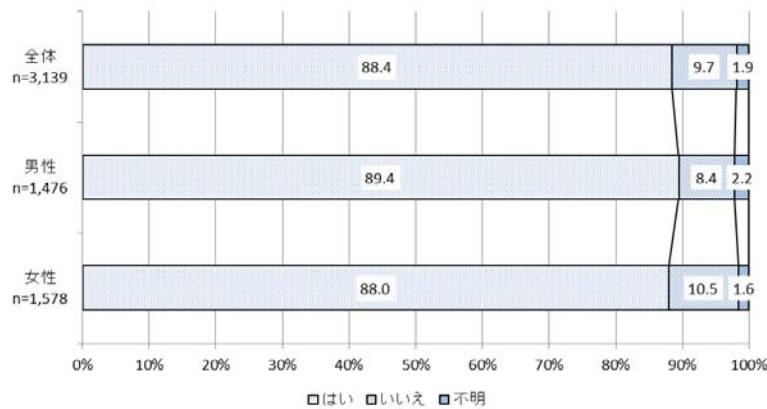
Q27. 椅子に座った状態からなにもつかまらずに立ち上がっていますか。(どちらかに○)

「はい」が88.4%、「いいえ」が9.7%となっている。



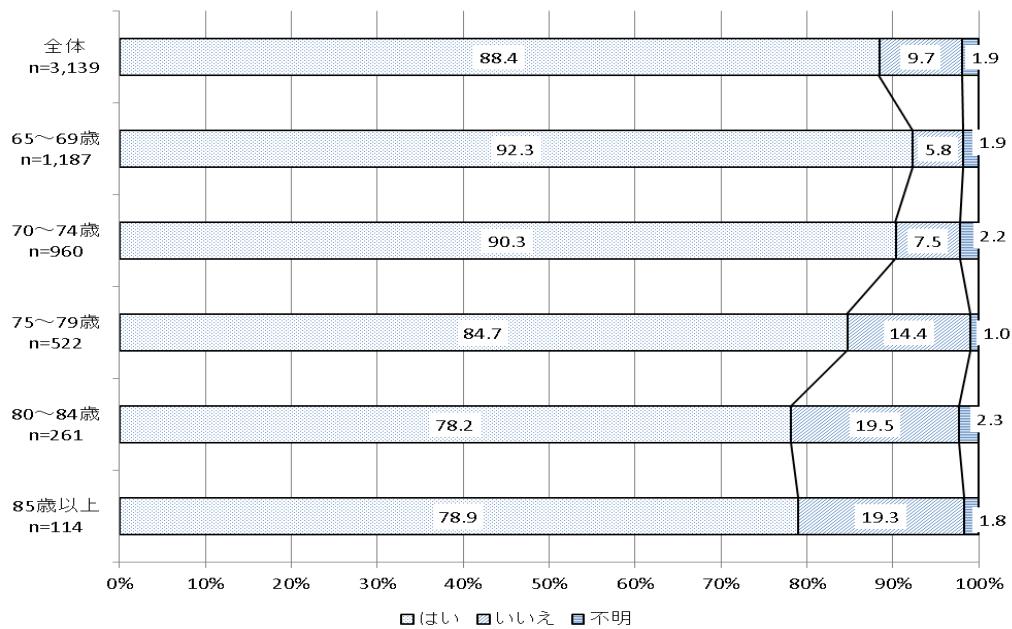
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

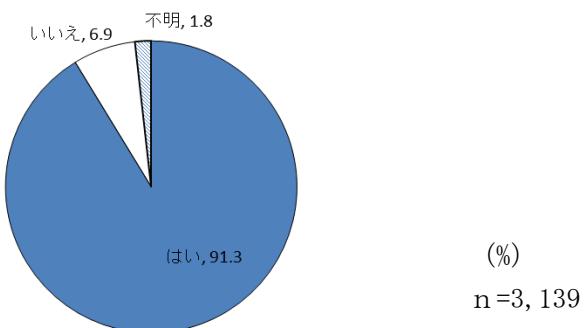
「いいえ」は75歳以上 (16.5%) が65～74歳 (6.6%) より9.9ポイント高くなっている。



(29) 15分歩行

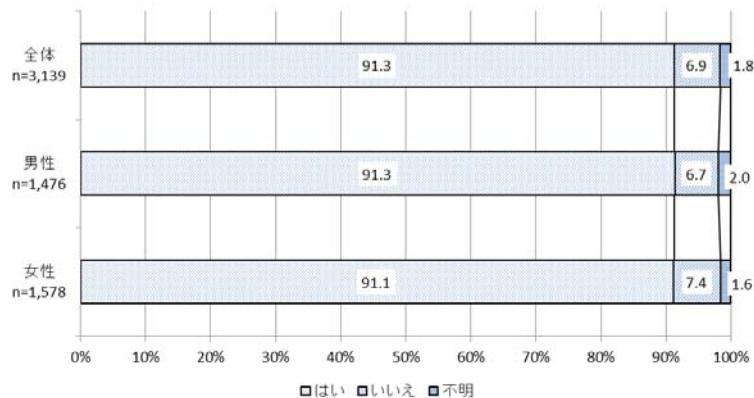
Q28. 15分位続けて歩いていますか。(どちらかに○)

「はい」が91.3%、「いいえ」が6.9%となっている。



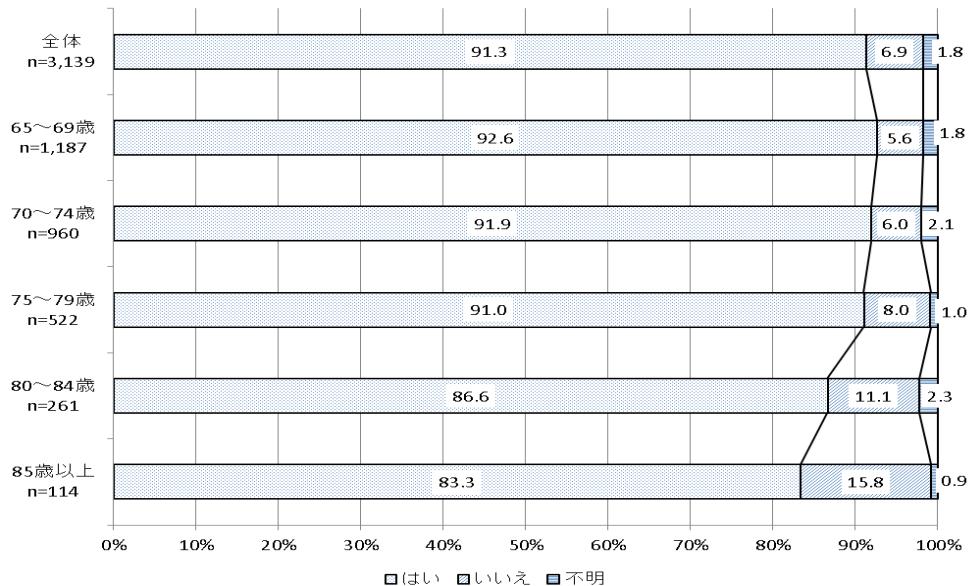
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

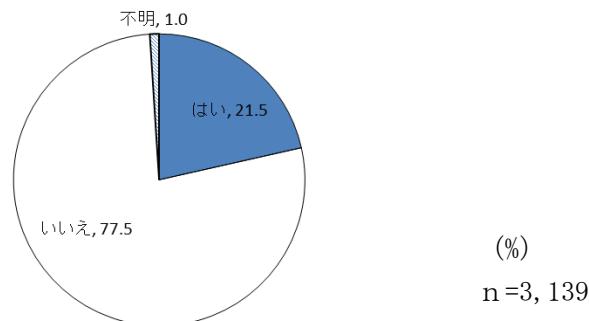
年代が上がるにつれ、「いいえ」が高くなっている



(30) 転倒の有無

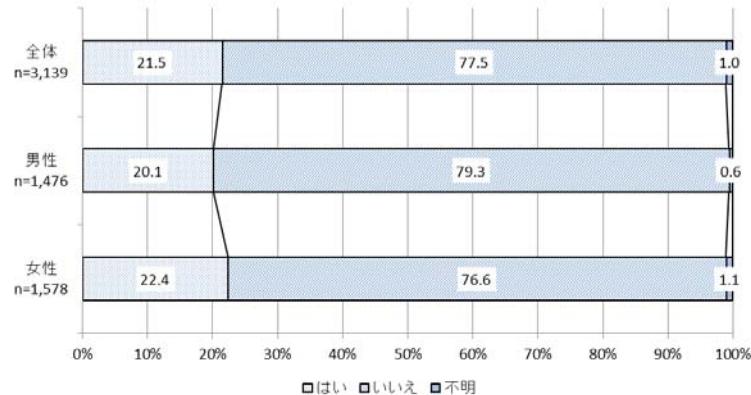
Q29. この1年間に転んだことがありますか。(どちらかに○)

「はい」が21.5%、「いいえ」が77.5%となっている。



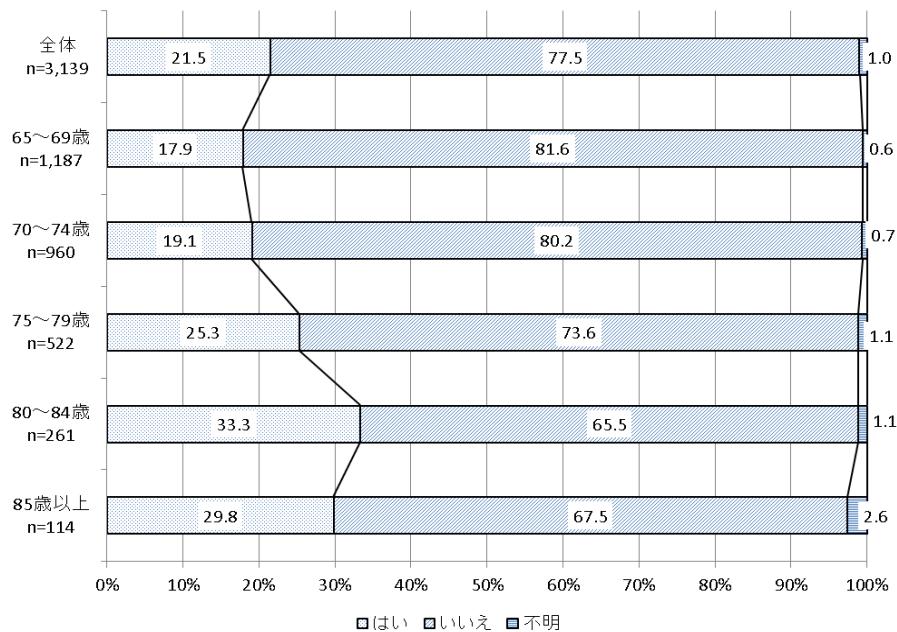
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

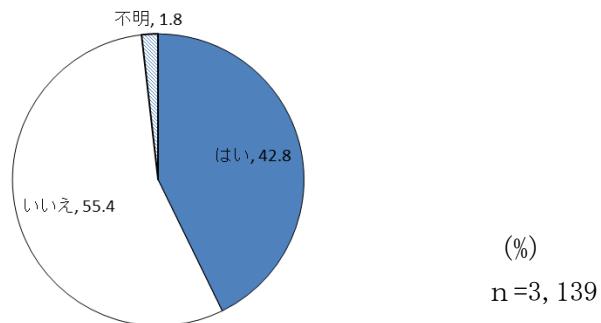
「はい」は75歳以上（28.2%）が65～74歳（18.4%）より9.8ポイント高くなっている。



(31) 転倒への不安

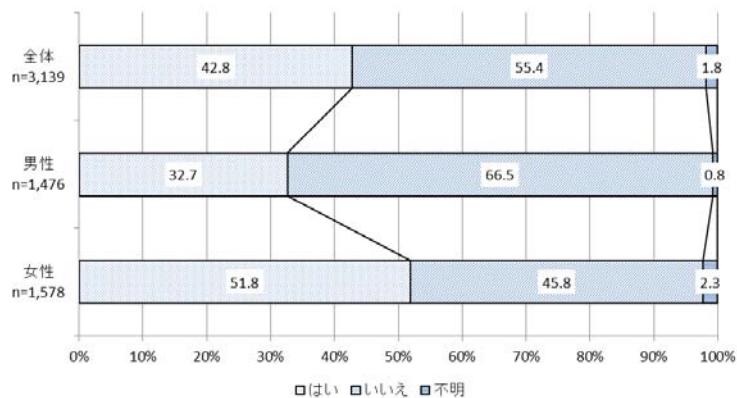
Q30. 転倒に対する不安は大きいですか。(どちらかに○)

「はい」が42.8%、「いいえ」が55.4%となっている。



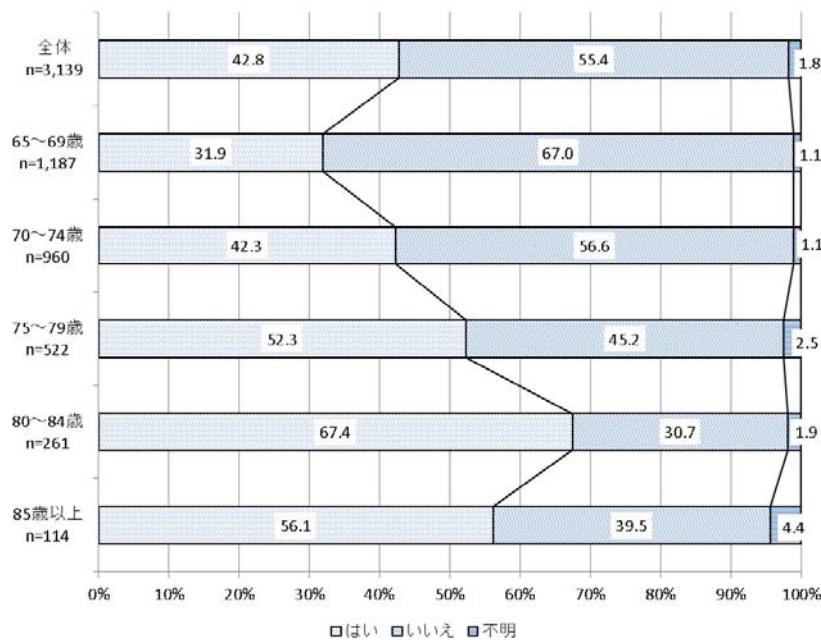
[性別]

「はい」は女性(51.8%)が男性(32.7%)より19.1ポイント高くなっている。



[年齢]

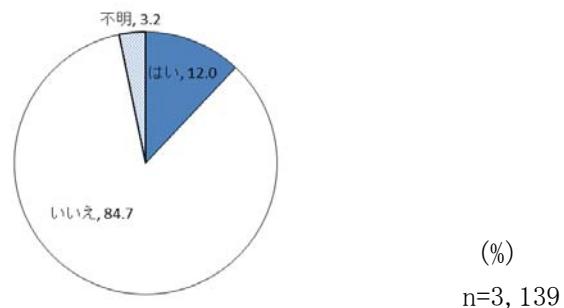
年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっているが、85歳以上になると著しく低くなっている。



(32) 体重減少

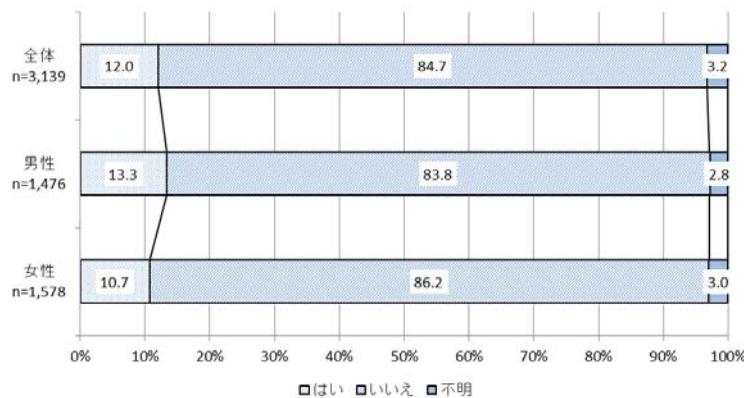
Q31. 6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(どちらかに○)

「はい」が12.0%で、「いいえ」が84.7%となっている。



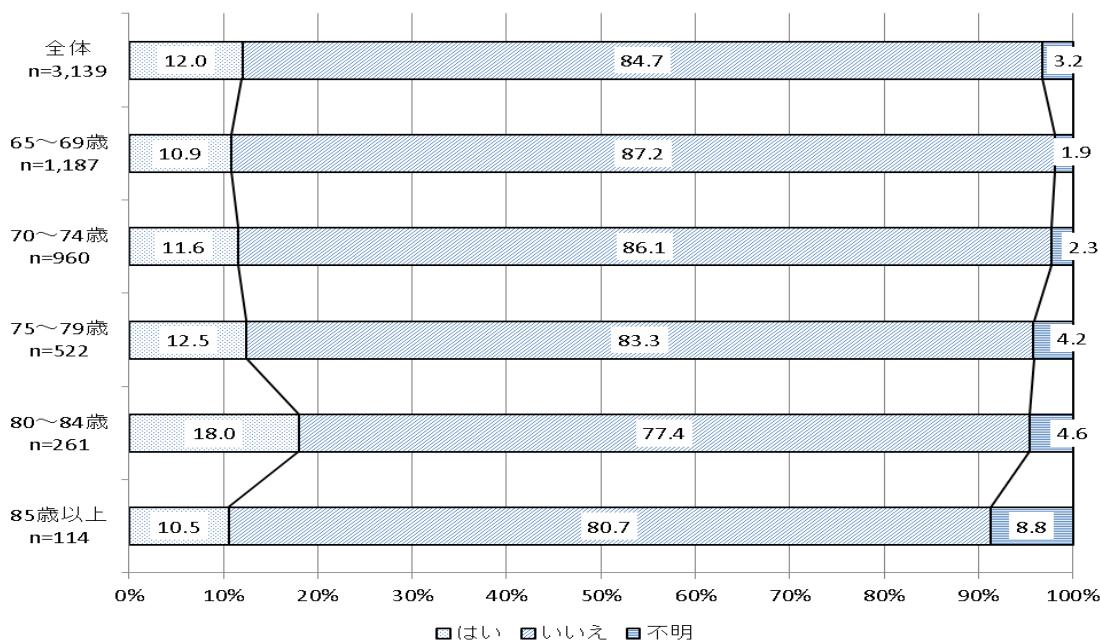
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

他の年代に比べ、80～84歳は「はい」が若干高くなっている。



(33) 身長・体重

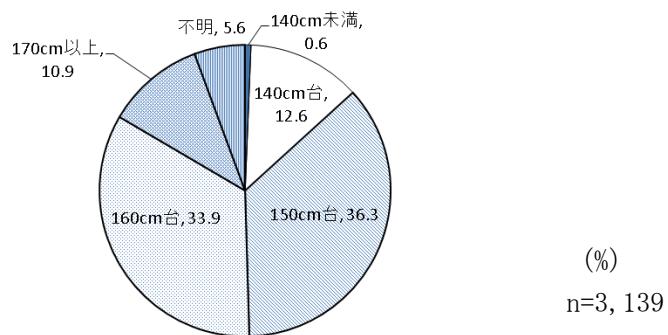
Q32. 身長

cm 体重

kg

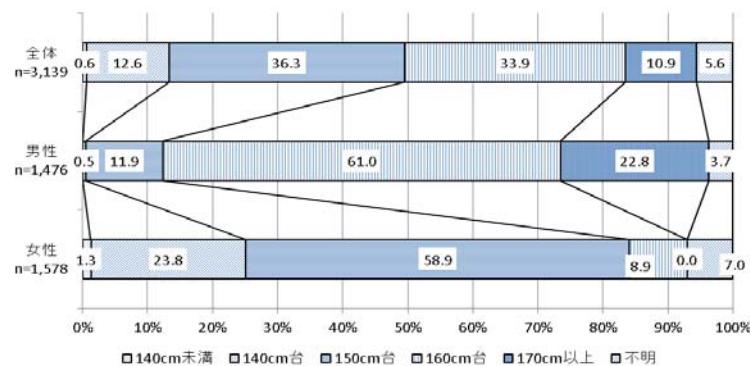
<身長>

「150cm台」が36.3%、「160cm台」が33.9%、「140cm台」が12.6%、「170cm以上」が10.9%、「140cm未満」が0.6%となっている。



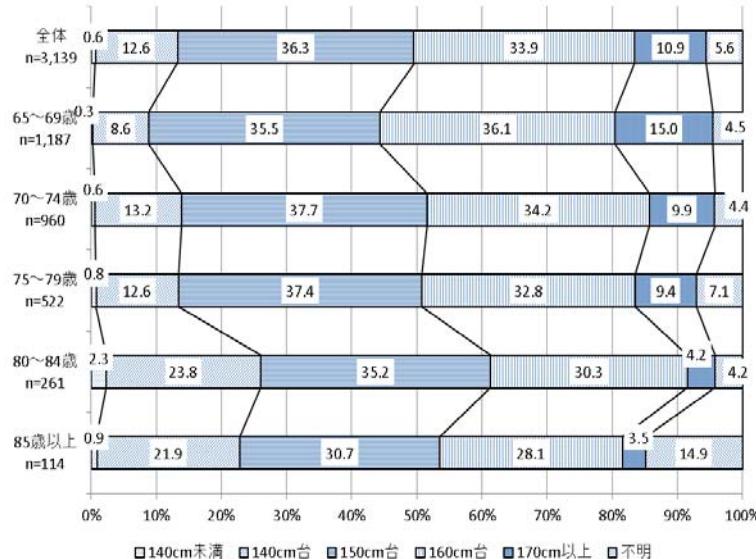
[性別]

男性は「160cm台」が61.0%、女性は「150cm台」が58.9%で最も高くなっている。



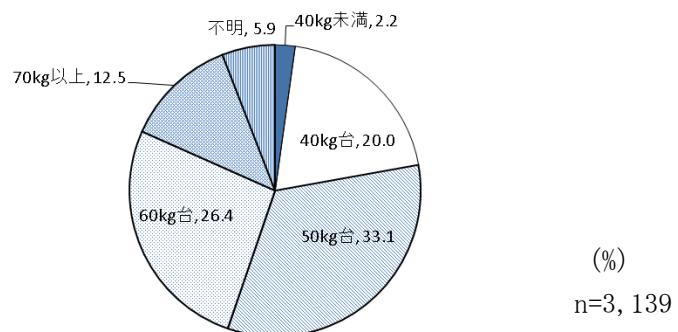
[年齢]

年代が上がるにつれ、「160cm以上」は少なくなっている。



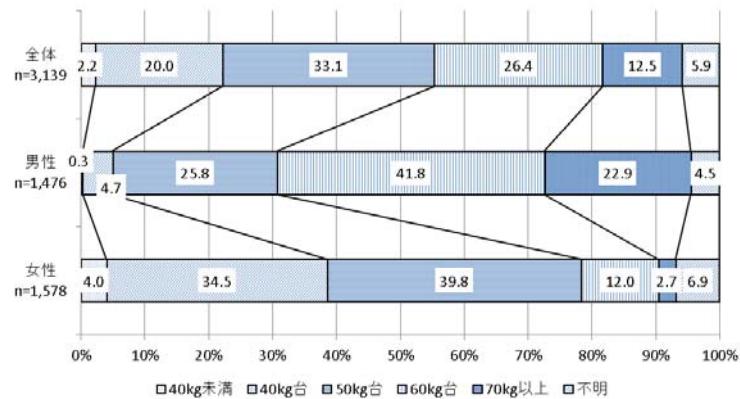
<体重>

「50kg台」が33.1%、「60kg台」が26.4%、「40kg台」が20.0%、「70kg以上」が12.5%、「40kg未満」が2.2%となっている。



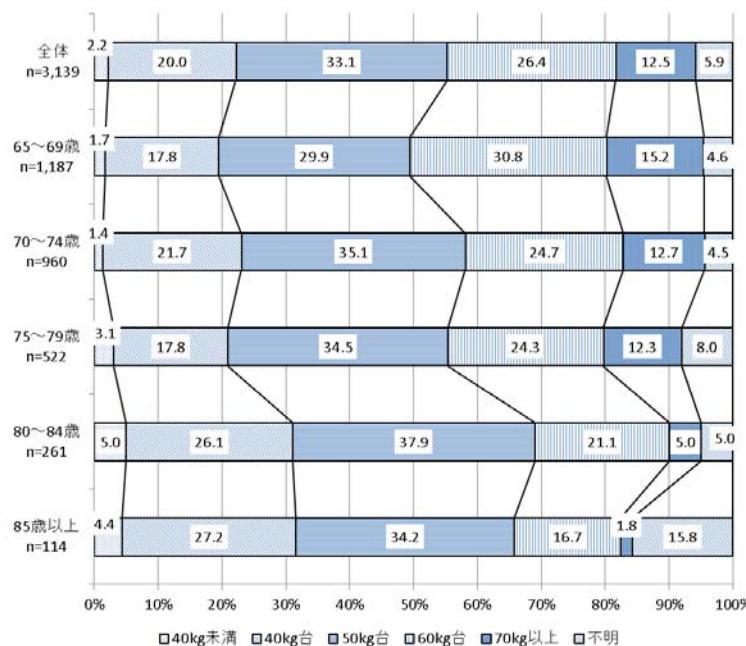
[性別]

男性は「60kg台」が41.8%、女性は「50kg台」が39.8%で最も高くなっている。



[年齢]

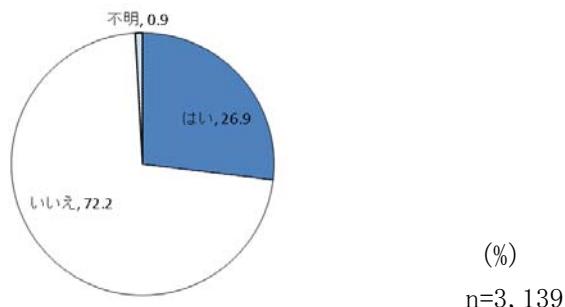
年代が上がるにつれ、「60kg台」以上は少なくなっている。



(34) 固いもの咀嚼

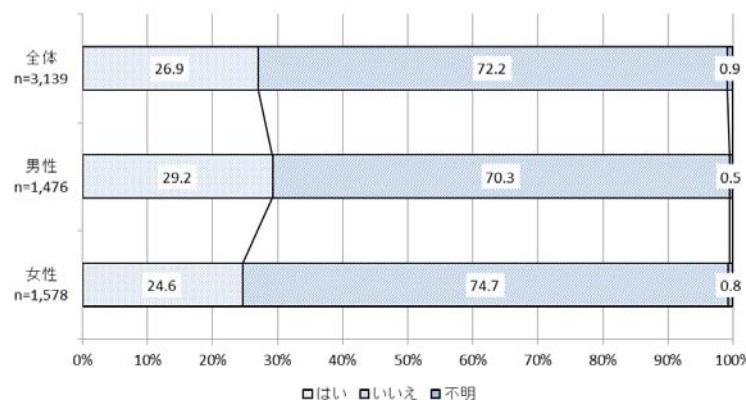
Q33. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(どちらかに○)

「はい」が26.9%で、「いいえ」が72.2%となっている。



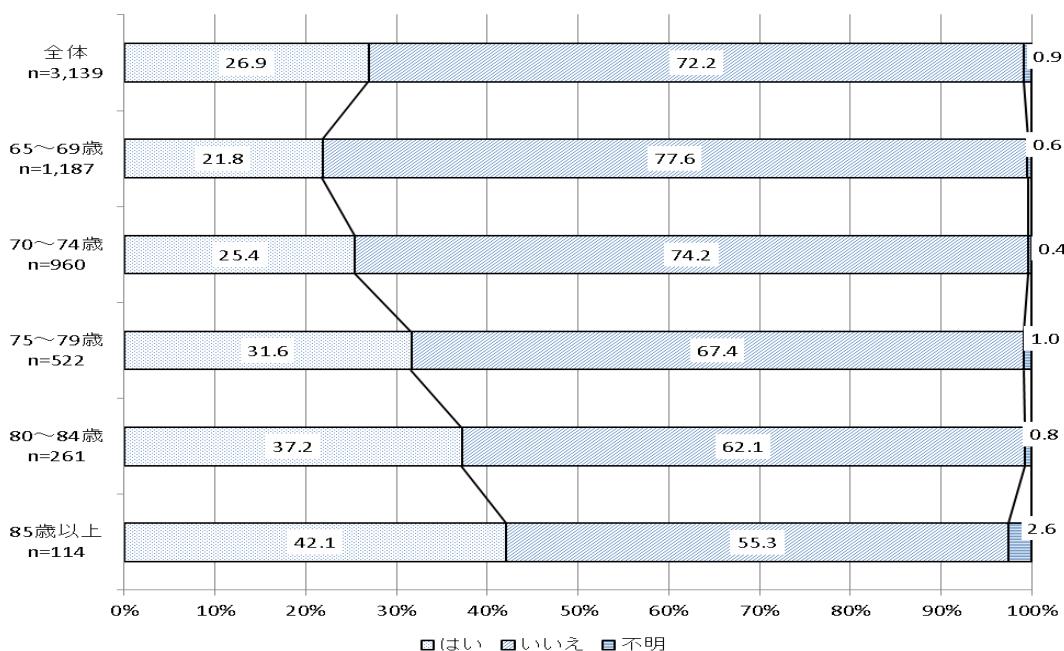
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

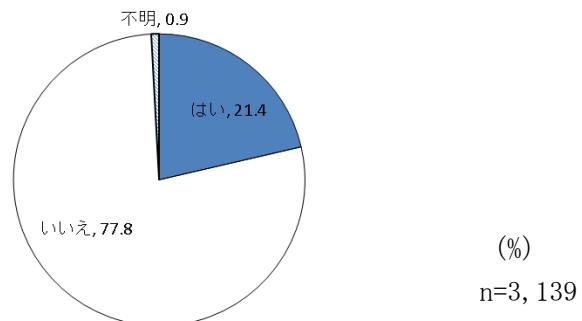
年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっている。



(35) 汁物でのむせ

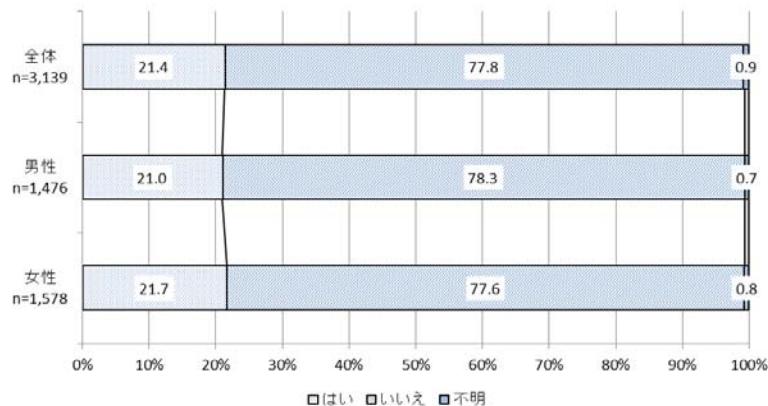
Q34. お茶や汁物等でむせることがありますか。(どちらかに○)

「はい」が21.4%、「いいえ」が77.8%となっている。



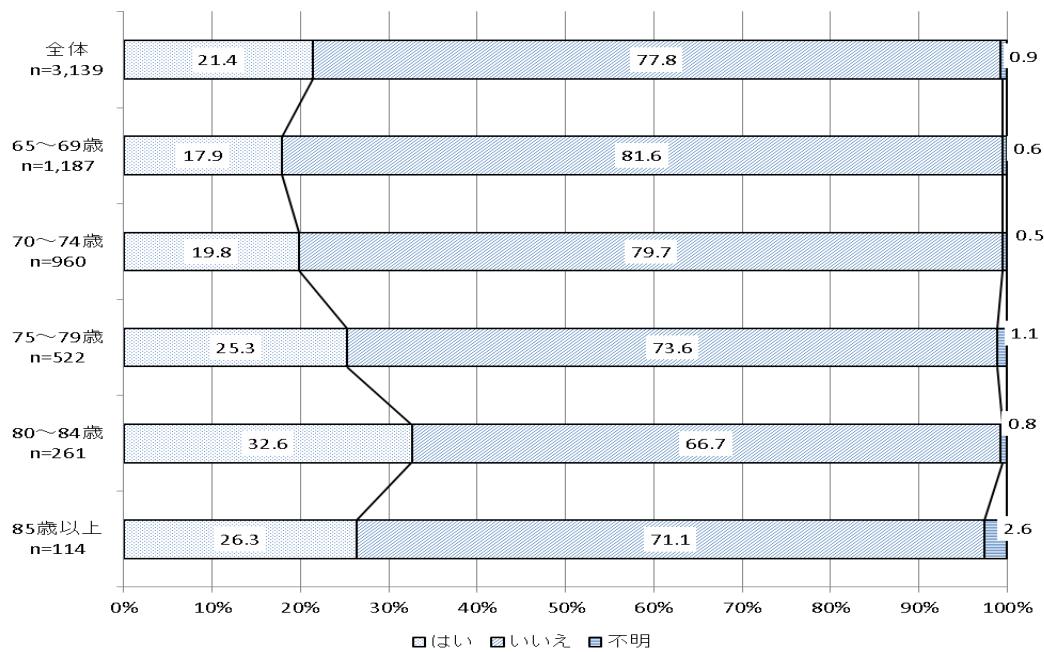
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

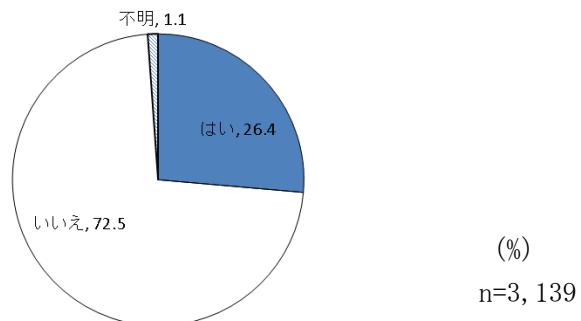
他の年代に比べ、80～84歳の「はい」が高くなっている。



(36) 口の渴き

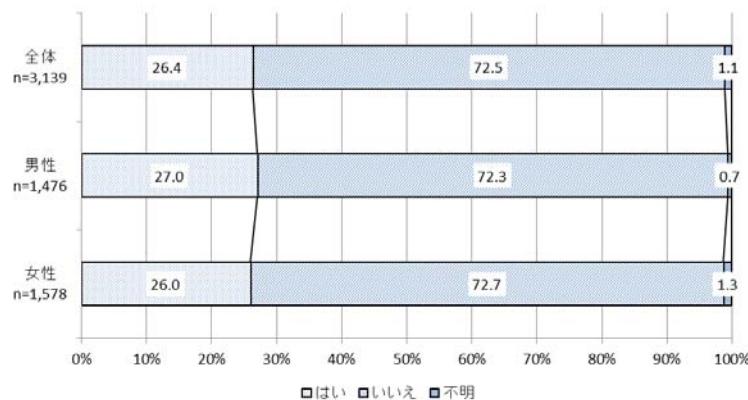
Q35. 口の渴きが気になりますか。(どちらかに○)

「はい」が26.4%で、「いいえ」が72.5%となっている。



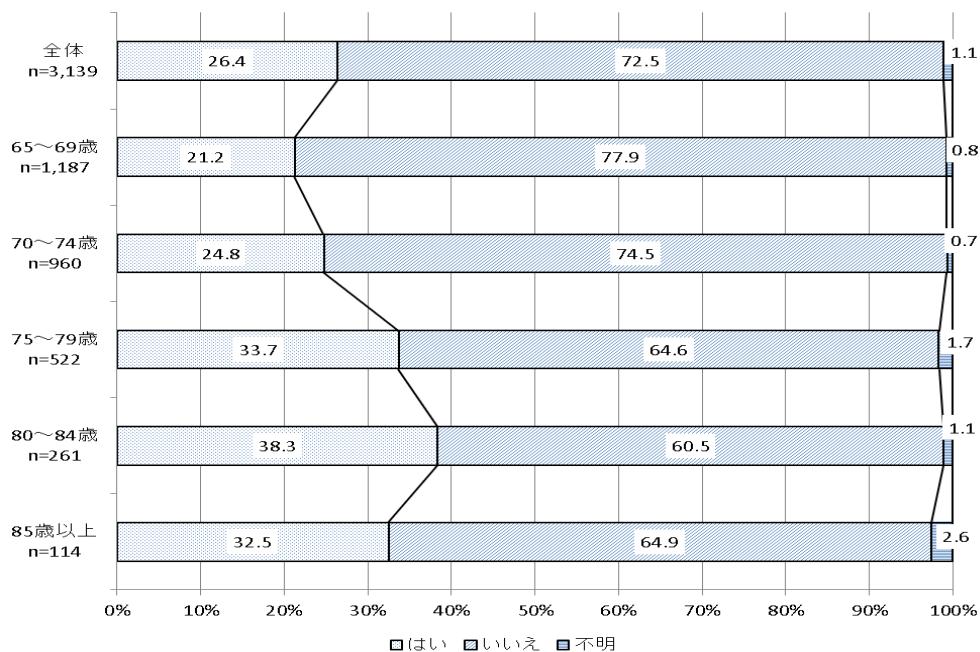
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

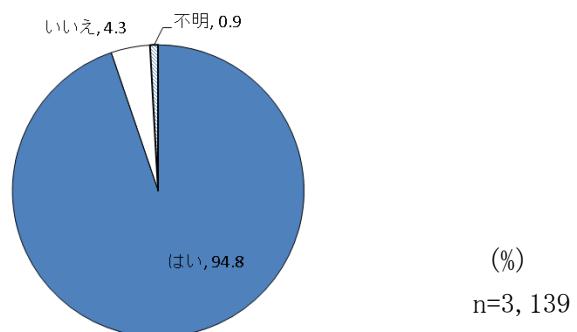
他の年代に比べ、80～84歳は「はい」が若干高くなっている。



(37) 外出

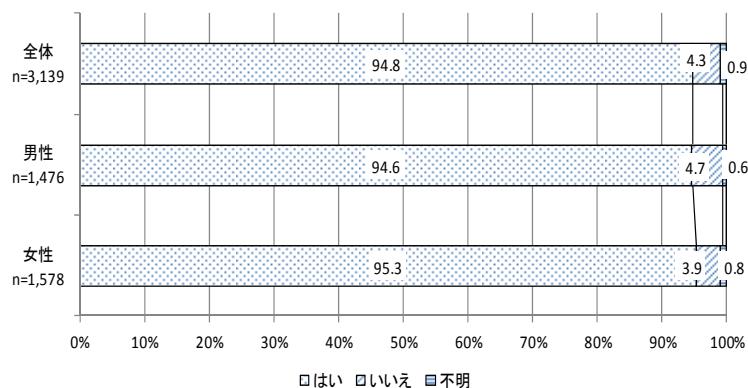
Q36. 週に1回以上は外出していますか。(どちらかに○)

「はい」が94.8%で、「いいえ」が4.3%となっている。



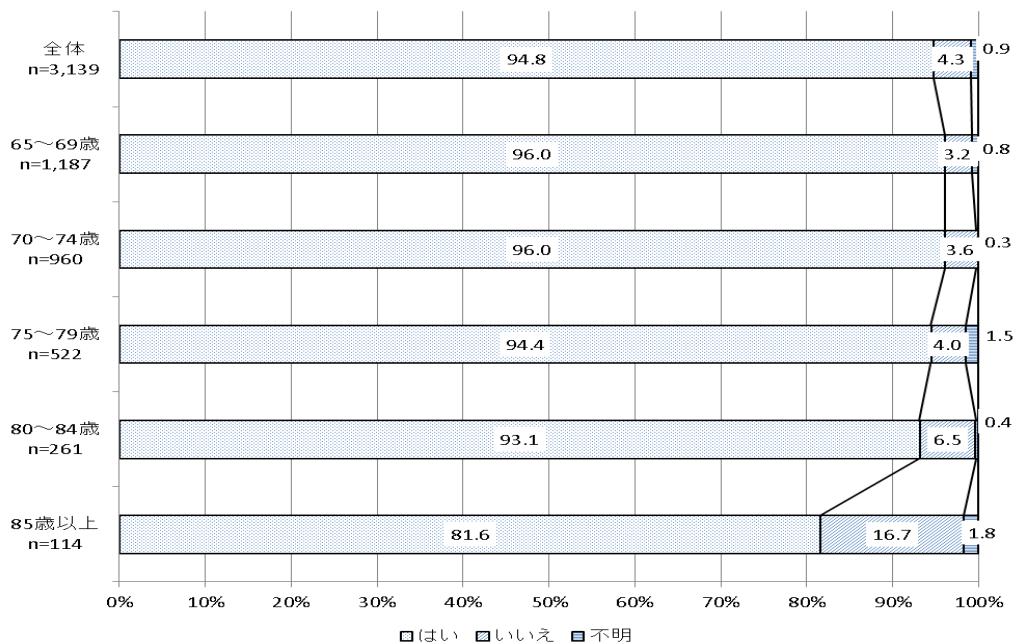
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

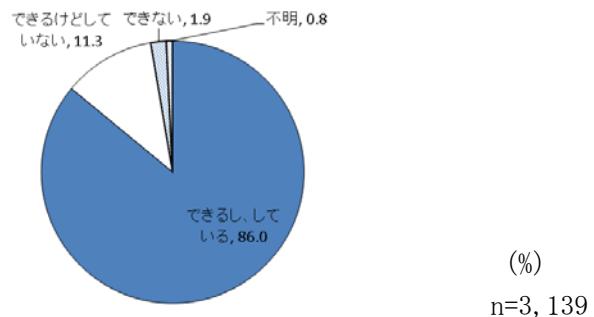
年代が上がるにつれ、「いいえ」が高くなっている。



(38) 1人でのバス外出

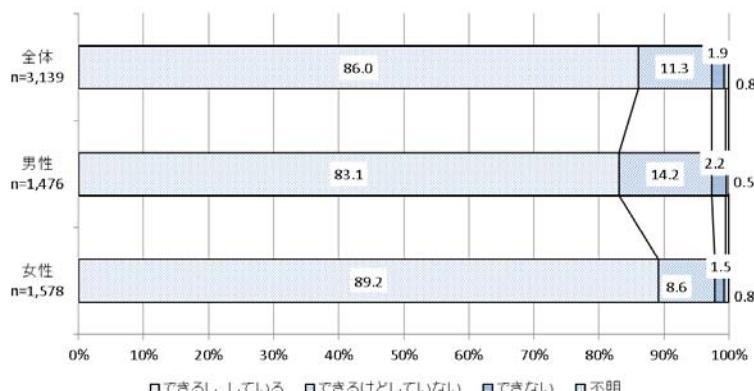
Q37. バスや電車で1人で外出していますか。(1つに○)

「できるし、している」が86.0%で、「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が1.9%となっている。



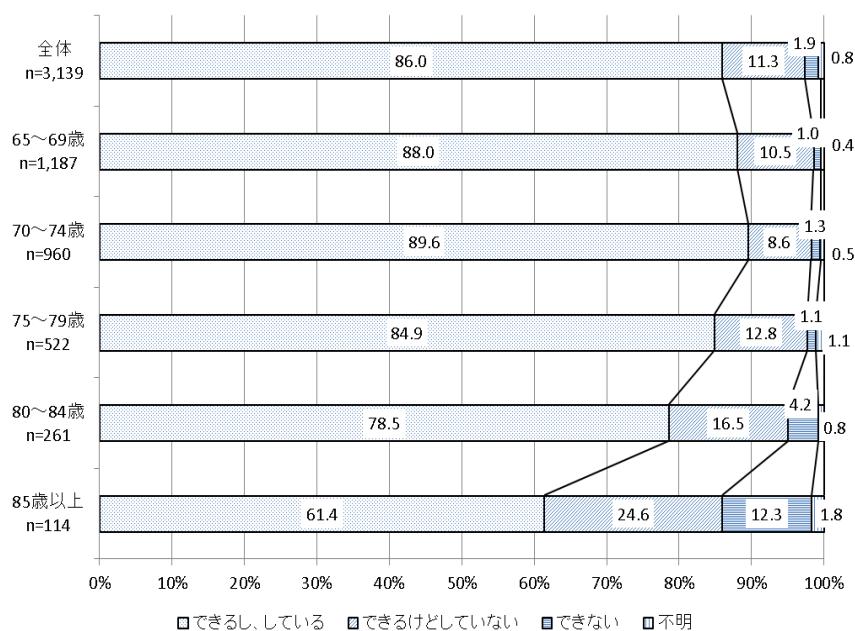
[性別]

「できるけどしていない」は男性(14.2%)が女性(8.6%)より5.6ポイント高くなっている。



[年齢]

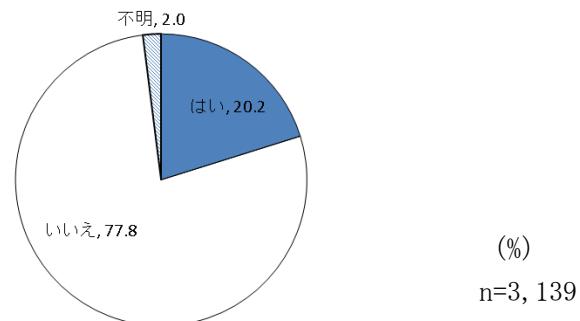
他の年代に比べ、85歳以上の「できるけどしていない」、「できない」の割合が大きい。



(39) 外出減少

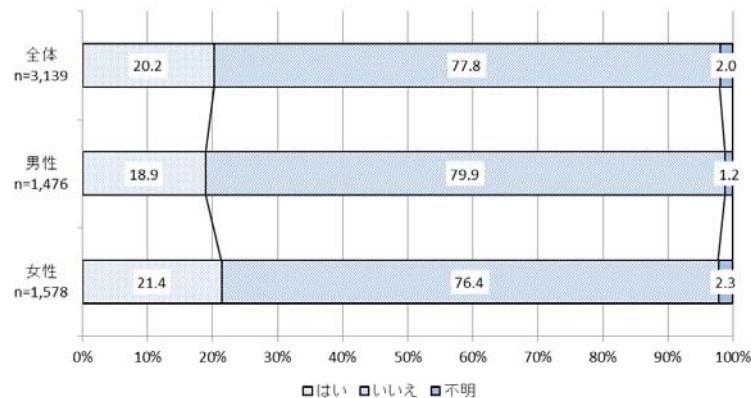
Q38. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(どちらかに○)

「はい」が20.2%、「いいえ」が77.8%となっている。



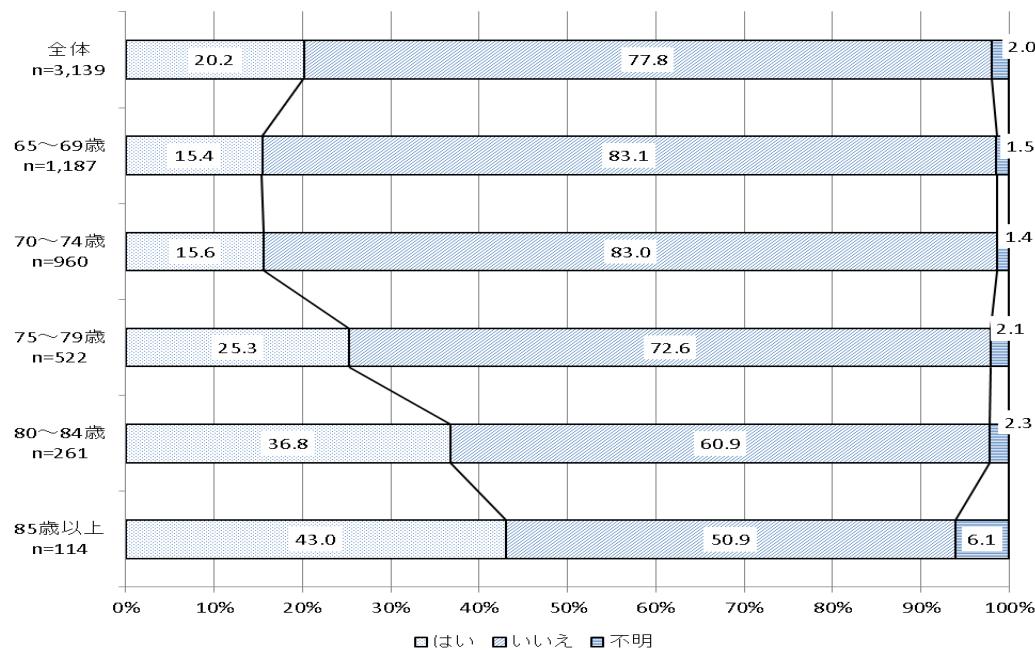
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっている。

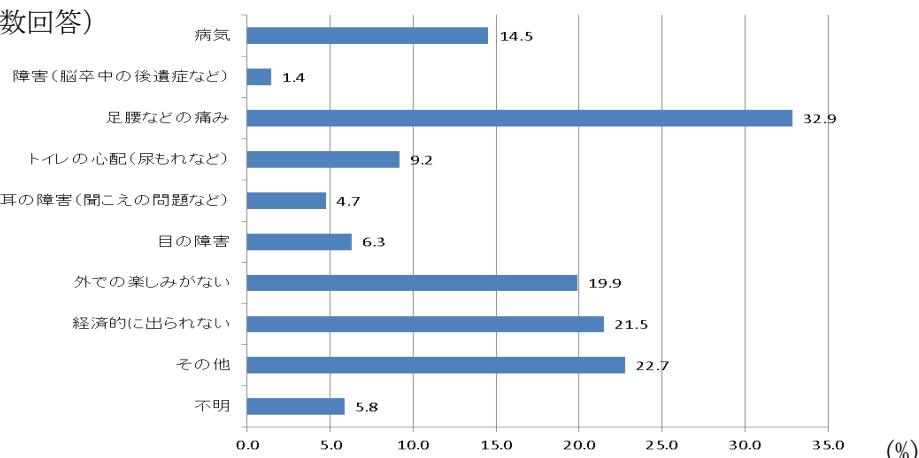


(40) 外出を控えている理由

Q38-1. 外出が減っている理由を教えてください。(あてはまる全てに○)

「足腰などの痛み」が32.9%で最も高く、以下、「経済的に出られない」が21.5%、「外での楽しみがない」が19.9%、「病気」が14.5%などとなっている。

n=633 (複数回答)



[性別]

「足腰などの痛み」は女性(36.5%)が男性(28.3%)より8.2ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (尿もれなど)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	その他	不明
全体	633	14.5	1.4	32.9	9.2	4.7	6.3	19.9	21.5	22.7	5.8
男性	279	19.0	2.2	28.3	12.5	6.1	6.8	22.9	25.4	20.4	4.3
女性	337	11.0	0.6	36.5	5.6	3.9	6.2	17.8	18.1	24.6	7.4

[年齢]

年代が上がるにつれ「足腰などの痛み」は高くなっている。

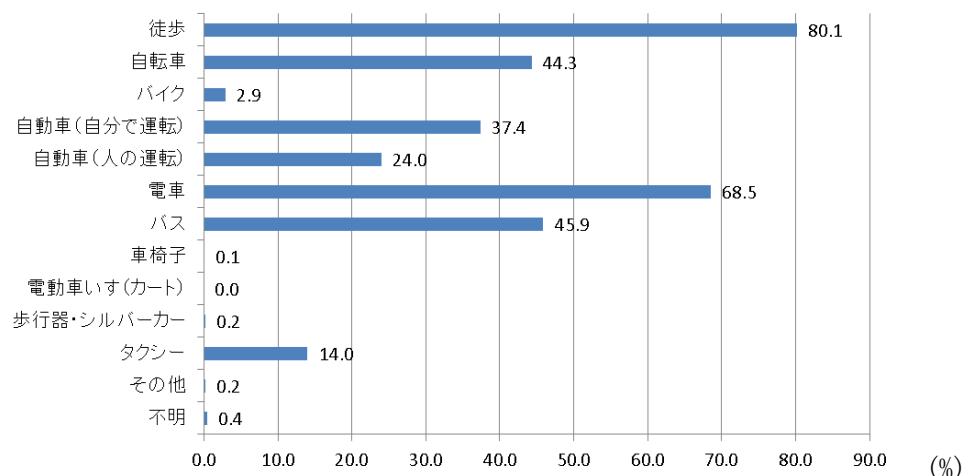
	回答者数 (人) (複数回答)	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (尿もれなど)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	その他	不明
全体	633	14.5	1.4	32.9	9.2	4.7	6.3	19.9	21.5	22.7	5.8
65～69歳	183	14.8	1.1	21.9	2.2	2.7	4.9	19.1	25.1	30.6	3.8
70～74歳	150	14.7	0.7	28.7	7.3	3.3	6.7	22.0	28.7	18.0	6.7
75～79歳	132	8.3	2.3	35.6	12.9	3.8	6.1	21.2	21.2	22.7	7.6
80～84歳	96	22.9	2.1	46.9	16.7	11.5	9.4	17.7	12.5	14.6	9.4
85歳以上	49	12.2	0.0	53.1	12.2	8.2	6.1	20.4	2.0	26.5	0.0

(41) 移動手段

Q39. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまる全てに○)

「徒歩」が80.1%で最も高く、以下、「電車」が68.5%、「バス」が45.9%、「自転車」が44.3%、「自動車（自分で運転）」が37.4%となっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

「自動車（自分で運転）」は男性（58.4%）が女性（18.3%）より40.1ポイント高くなっている。一方、「自動車（人の運転）」は女性（33.0%）が男性（14.5%）より18.5ポイント高くなっている。

	回答者数 （人） （複数回）	徒歩	自転車	バイク	自動車 （自分で運転）	自動車 （人の運転）	電車	バス	車椅子	電動車いす （カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	不明
全体	3,139	80.1	44.3	2.9	37.4	24.0	68.5	45.9	0.1	0.0	0.2	14.0	0.2	0.4
男性	1,476	79.9	46.2	4.3	58.4	14.5	66.6	42.3	0.1	0.0	0.1	14.8	0.1	0.3
女性	1,578	80.6	42.3	1.6	18.3	33.0	71.0	49.1	0.1	0.0	0.2	13.4	0.3	0.3

[年齢]

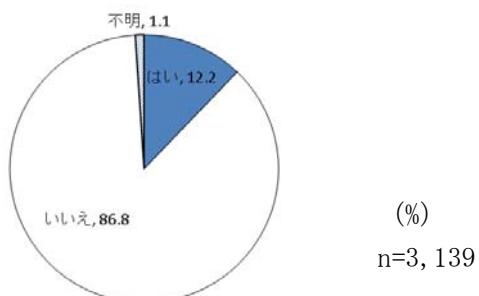
年代が上がるにつれ「自動車（自分で運転）」の割合が低下している。

	回答者数 （人） （複数回）	徒歩	自転車	バイク	自動車 （自分で運転）	自動車 （人の運転）	電車	バス	車椅子	電動車いす （カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	不明
全体	3,139	80.1	44.3	2.9	37.4	24.0	68.5	45.9	0.1	0.0	0.2	14.0	0.2	0.4
65～69歳	1,187	82.0	51.6	4.2	47.2	25.3	73.0	44.3	0.2	0.0	0.0	12.5	0.1	0.4
70～74歳	960	81.1	46.0	2.4	37.9	24.0	73.3	49.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.2
75～79歳	522	76.8	38.9	1.9	30.5	19.3	59.8	45.4	0.2	0.0	0.0	15.1	0.2	0.6
80～84歳	261	78.5	22.2	2.3	20.7	27.2	59.4	44.1	0.0	0.0	1.1	23.8	0.8	0.0
85歳以上	114	72.8	28.9	0.0	10.5	28.9	50.9	40.4	0.9	0.0	0.9	28.9	0.9	0.0

(42) 物忘れ

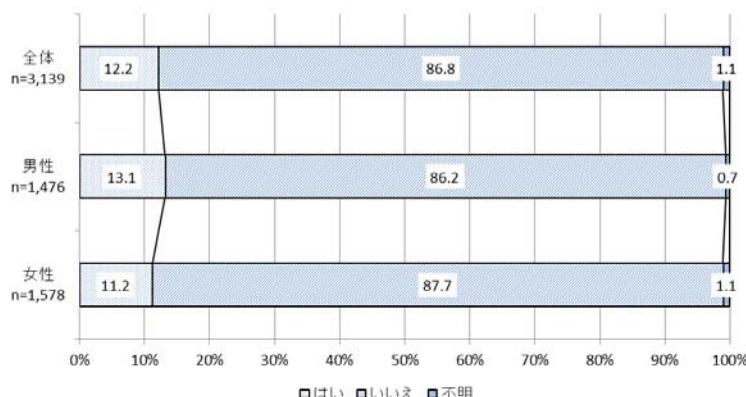
Q40. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。(どちらかに○)

「はい」が12.2%で、「いいえ」が86.8%となっている。



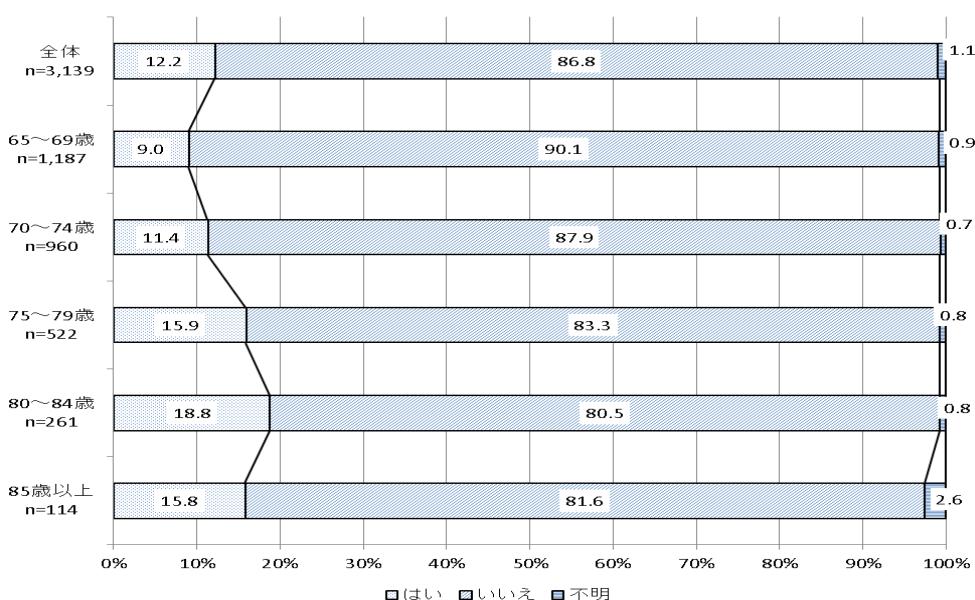
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

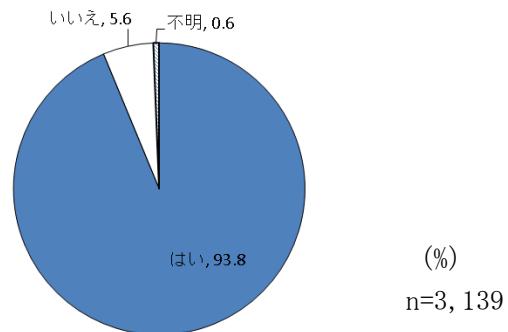
年代が上がるにつれ、「はい」の割合が高くなっているが、85歳以上になると低下している。



(43) 電話

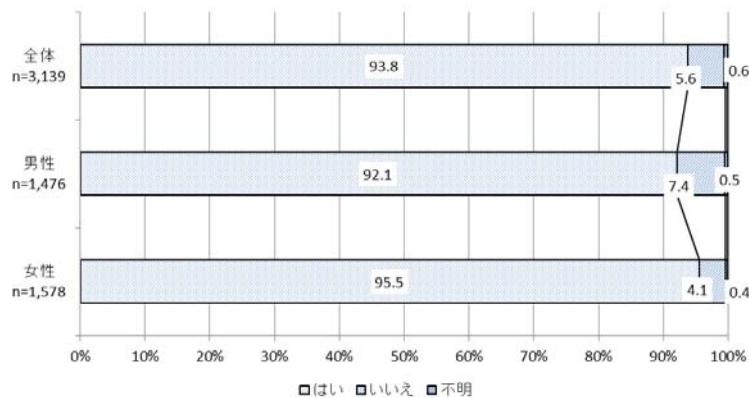
Q41. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(どちらかに○)

「はい」が93.8%、「いいえ」が5.6%となっている。



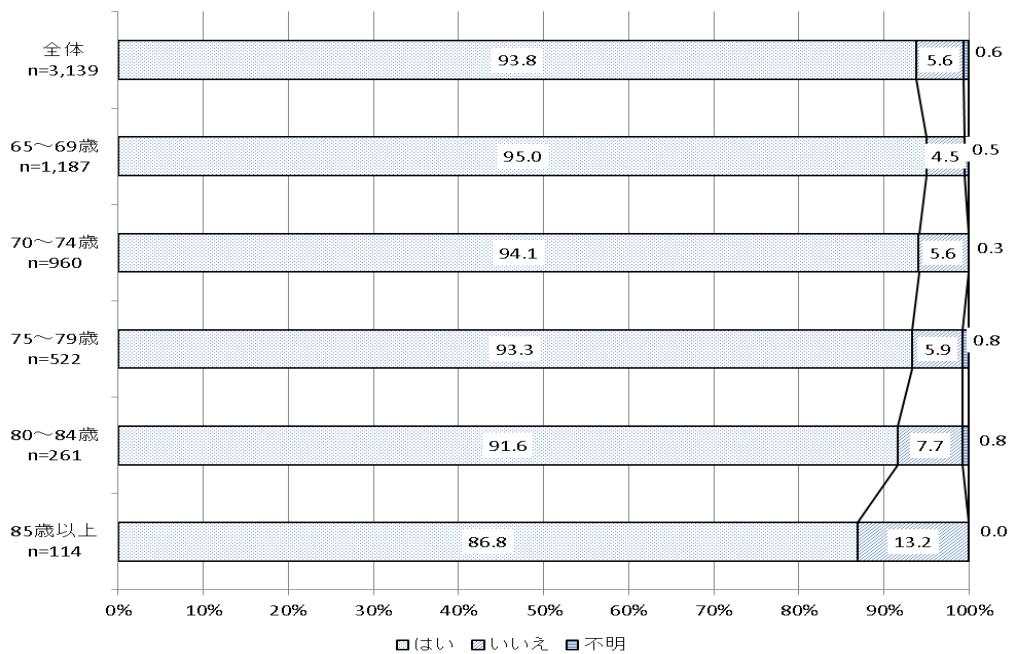
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

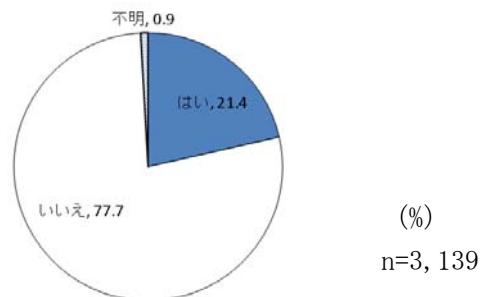
年代が上がるにつれ「はい」の割合が低下している。



(44) 今日の月日

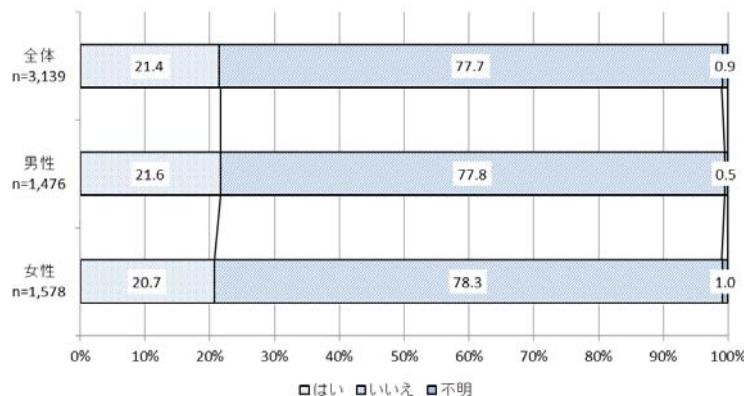
Q42. 今日が何月何日かわからない時がありますか。(どちらかに○)

「はい」が21.4%、「いいえ」が77.7%となっている。



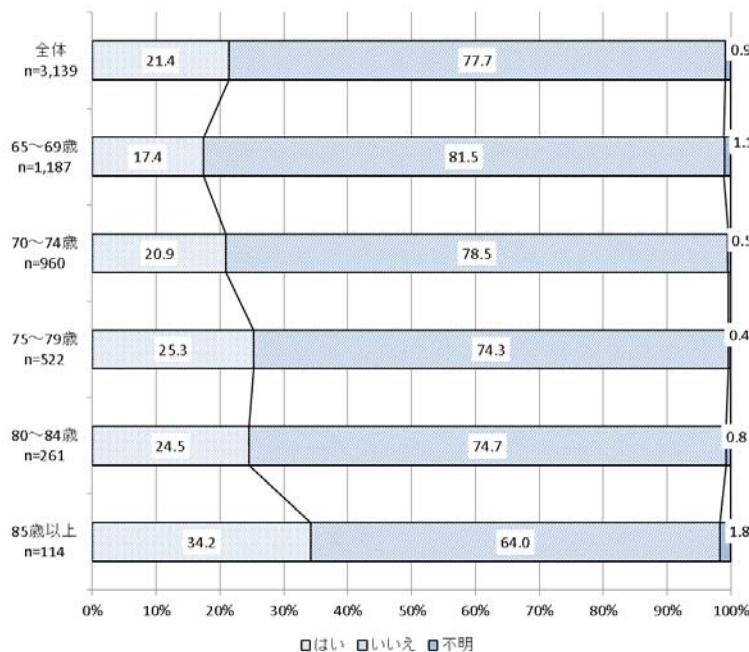
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

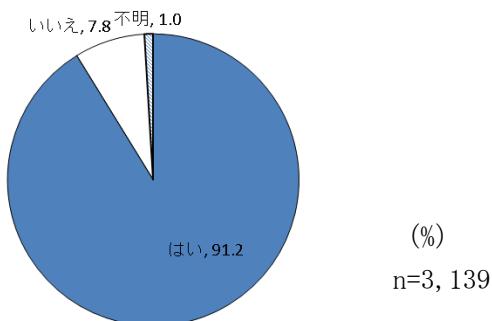
他の年代に比べ、85歳以上の「はい」の割合が高くなっている。



(45) 5分前

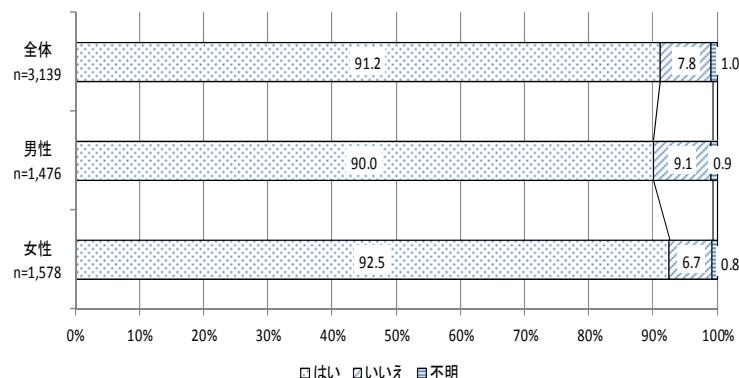
Q43. 5分前のこと思い出せますか。(どちらかに○)

「はい」が91.2%、「いいえ」が7.8%となっている。



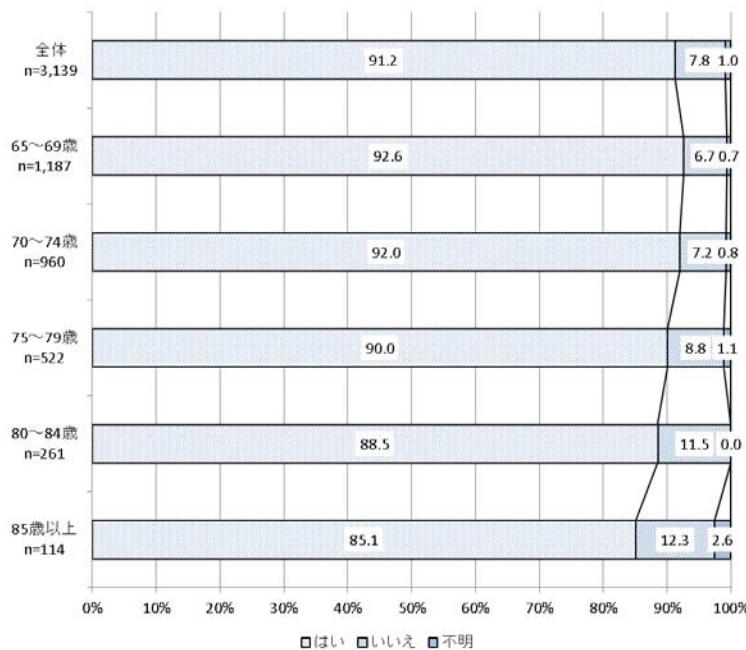
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

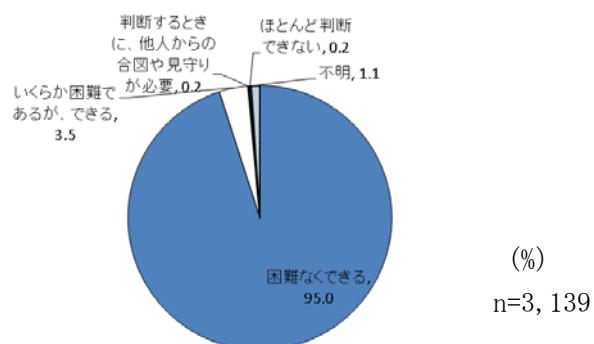
年代が上がるにつれ「はい」の割合が低下している。



(46) 活動の判断

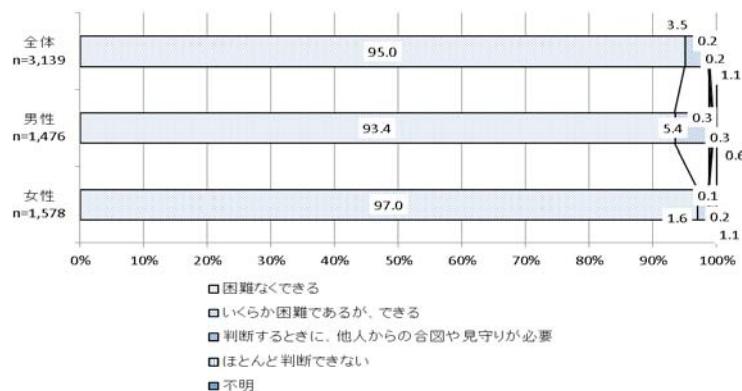
Q44. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（1つに○）

「困難なくできる」（95.0%）と「いくらか困難であるが、できる」（3.5%）を合わせた『できる』は98.5%で、「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」（0.2%）と「ほとんど判断できない」（0.2%）を合わせた『できない』は0.4%となっている。



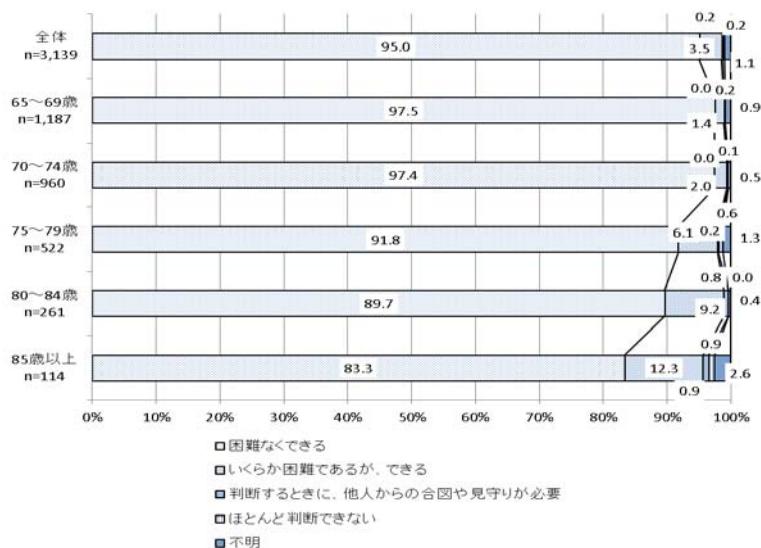
[性別]

「いくらか困難であるが、できる」は男性（5.4%）が女性（1.6%）より3.8ポイント高くなっている。



[年齢]

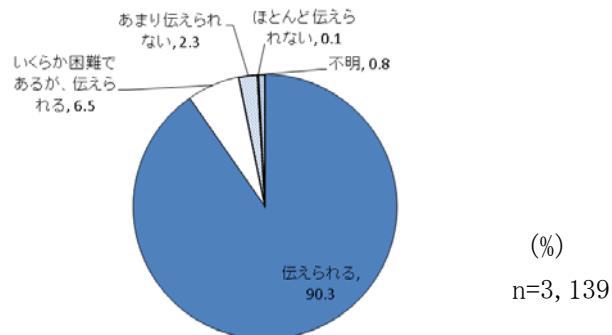
年代が上がるにつれ、「いくらか困難であるが、できる」が高くなっている。



(47) 考えの伝達

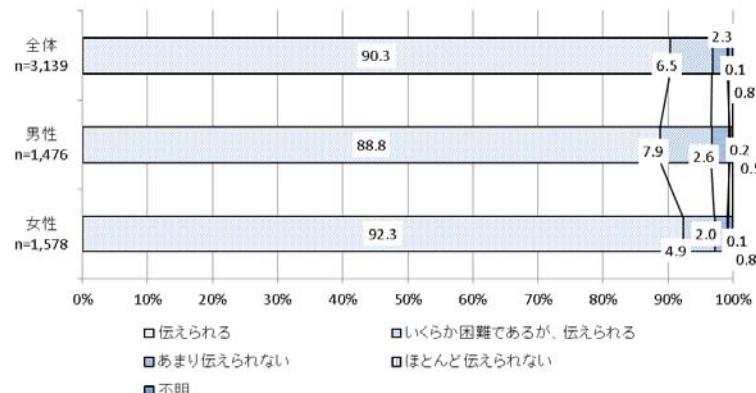
Q45. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

「伝えられる」(90.3%) と「いくらか困難であるが、伝えられる」(6.5%) を合わせた『伝えられる』は96.8%で、「あまり伝えられない」(2.3%) と「ほとんど伝えられない」(0.1%) を合わせた『伝えられない』は2.4%となっている。



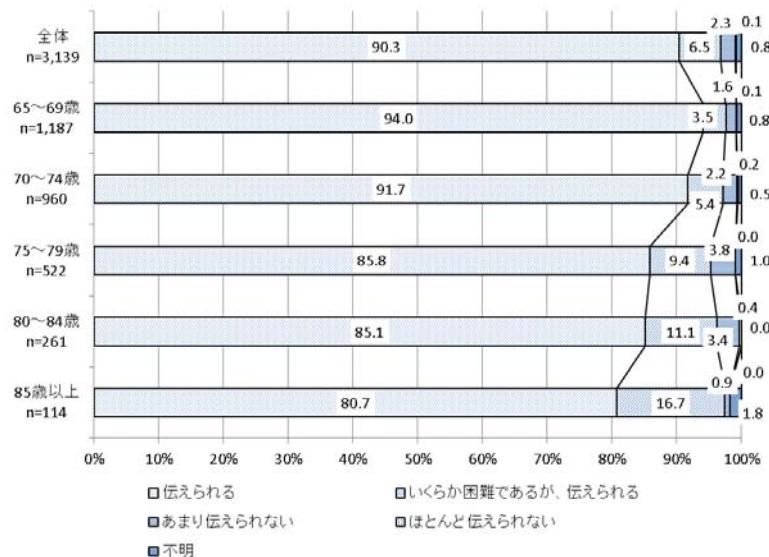
[性別]

「伝えられる」は女性(92.3%)が男性(88.8%)より3.5ポイント高くなっている。



[年齢]

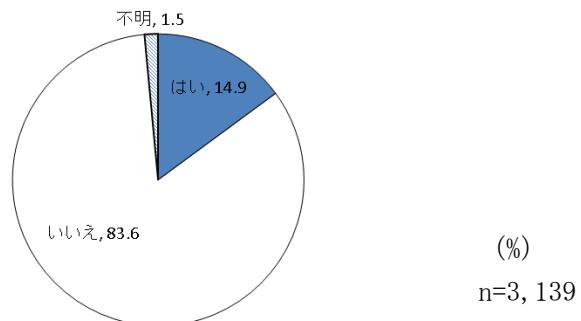
年代が上がるにつれ、「いくらか困難であるが、伝えられる」が高くなっている。



(48) 充実感

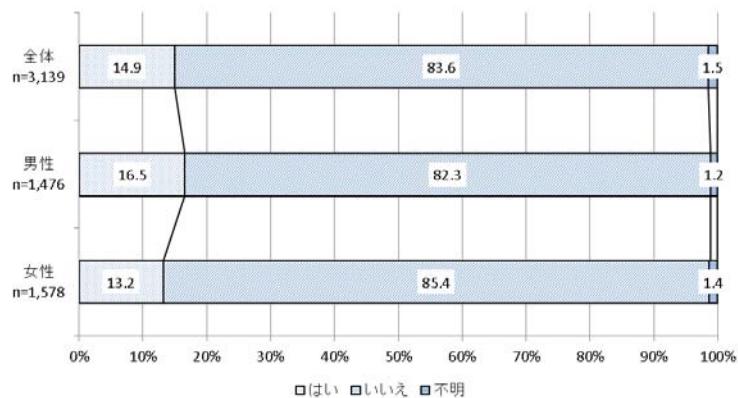
Q46. (ここ2週間) 每日の生活に充実感がない。(どちらかに○)

「はい」が14.9%、「いいえ」が83.6%となっている。



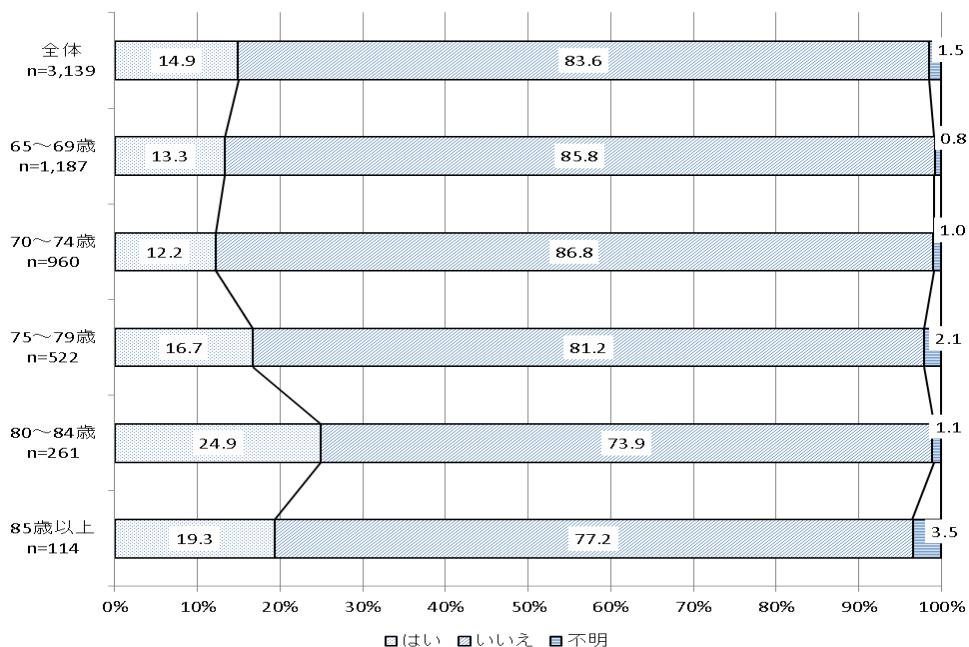
[性別]

「はい」は男性（16.5%）が女性（13.2%）より3.3ポイント高くなっている。



[年齢]

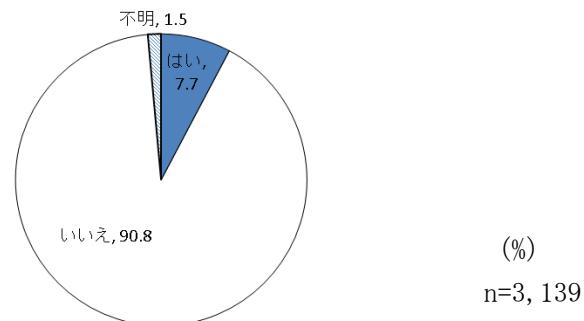
他の年代に比べ、80～84歳の「はい」の割合が大きい。



(49) 楽しめない

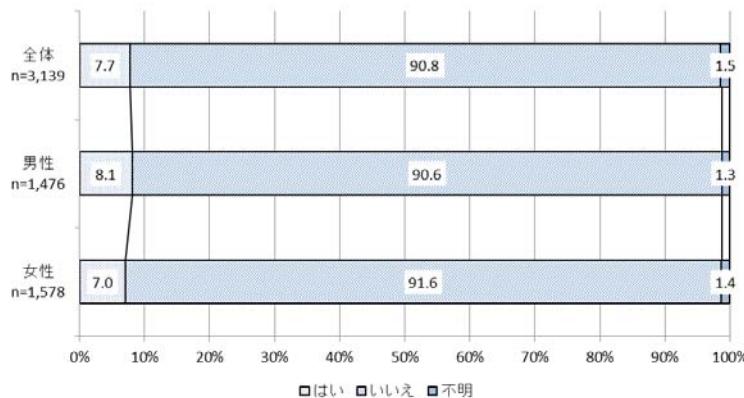
Q47. (ここ2週間)これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなった。(どちらかに○)

「はい」が7.7%、「いいえ」が90.8%となっている。



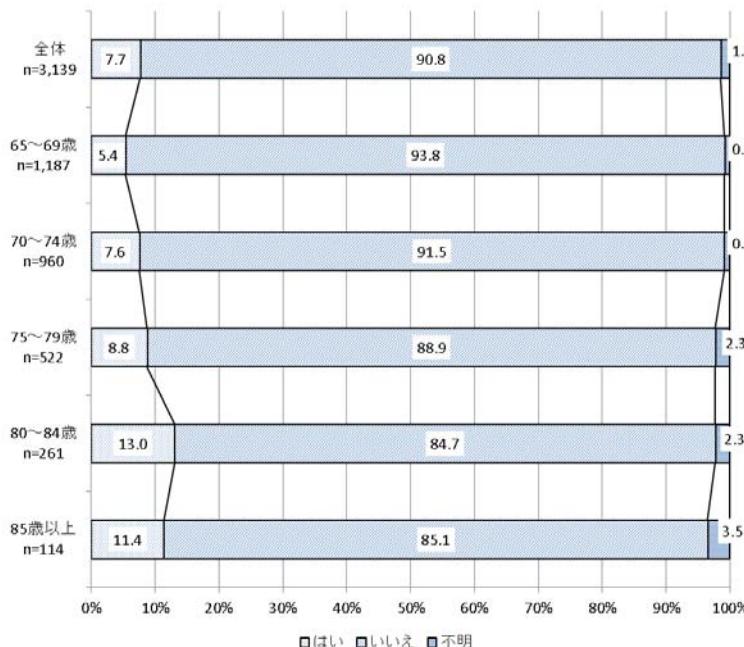
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

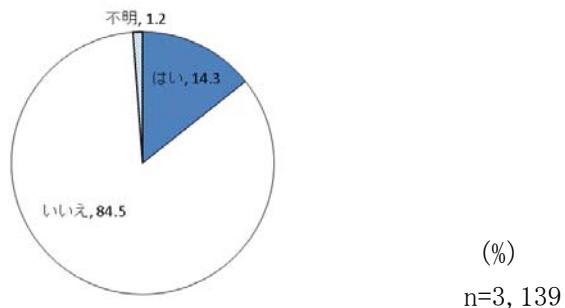
他の年代に比べ、80～84歳の「はい」の割合が高くなっている。



(50) おっくう

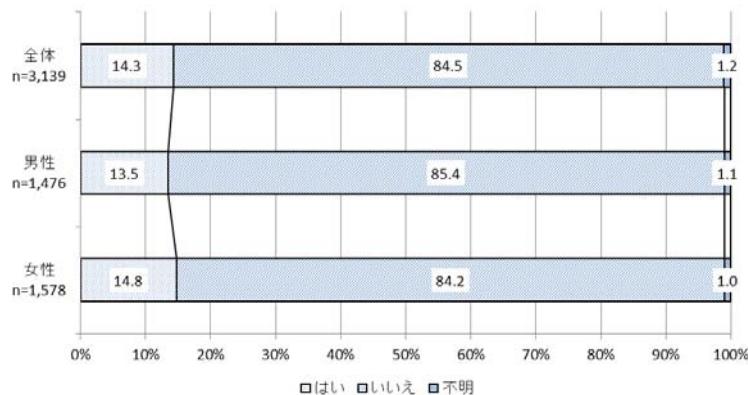
Q48. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。(どちらかに○)

「はい」が14.3%、「いいえ」が84.5%となっている。



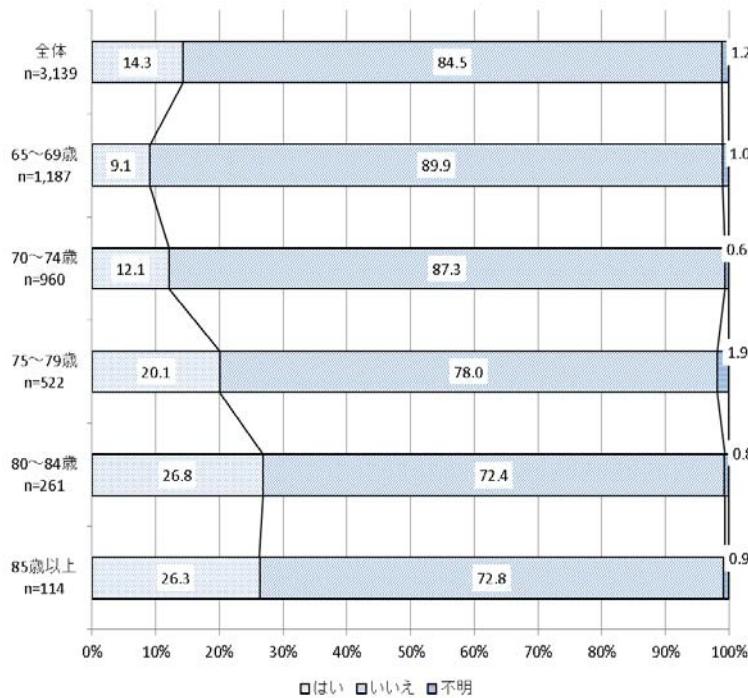
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

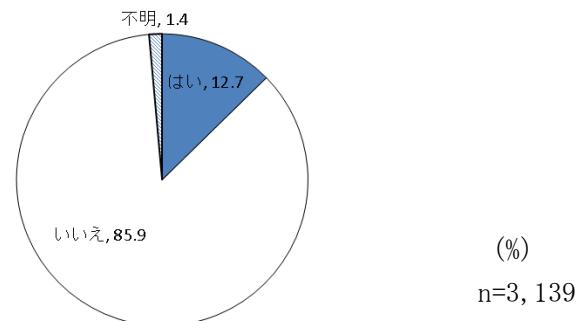
75歳以上になると「はい」の割合が大幅に高くなっている。



(51) 役立つ人間

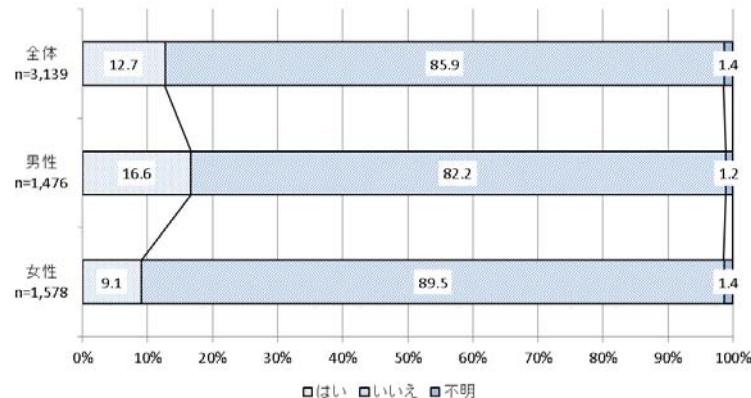
Q49. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない。(どちらかに○)

「はい」が12.7%、「いいえ」が85.9%となっている。



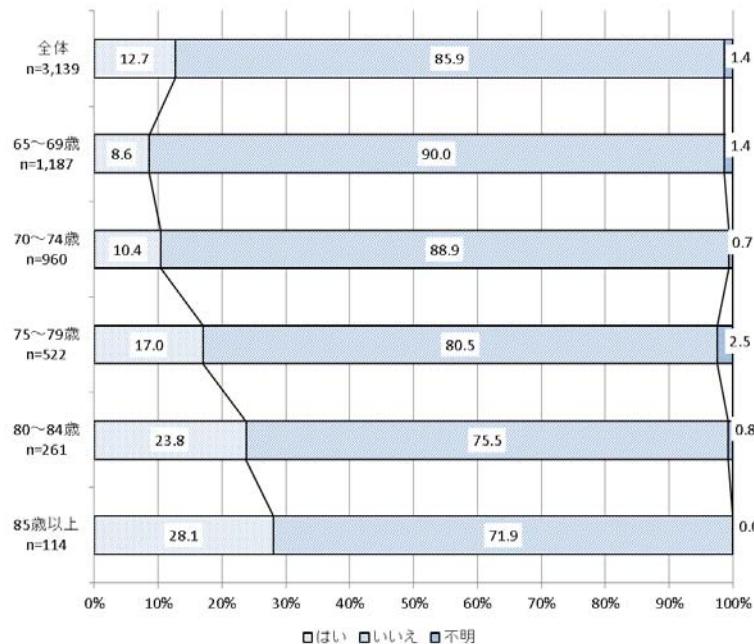
[性別]

「はい」は男性（16.6%）が女性（9.1%）より7.5ポイント高くなっている。



[年齢]

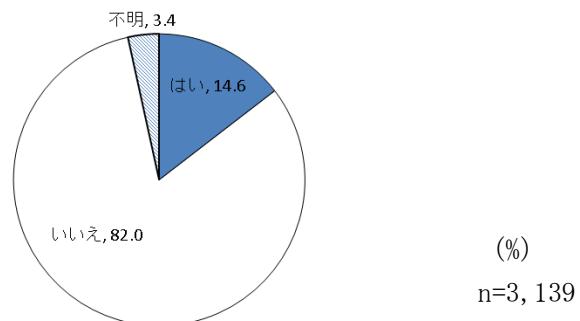
年代が上がるにつれ、「はい」が高くなっている。



(52) わけのない疲労感

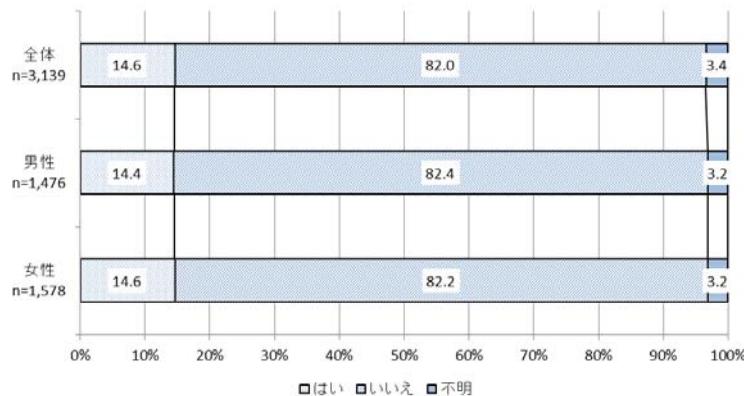
Q50. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。(どちらかに○)

「はい」が14.6%、「いいえ」が82.0%となっている。



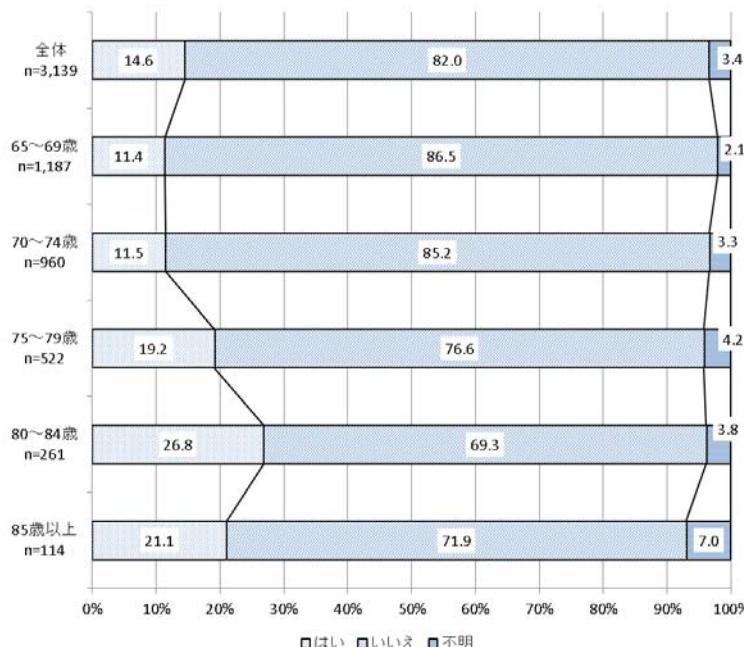
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

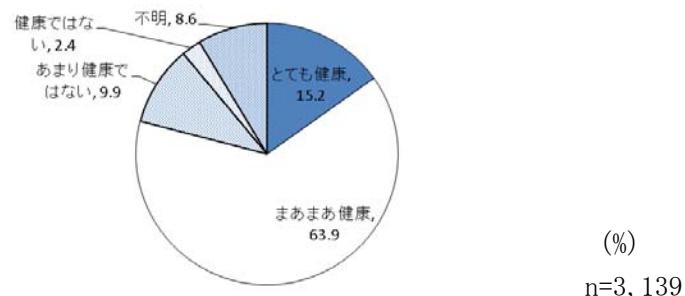
「はい」は75歳以上 (21.6%) が65~74歳 (11.4%) より10.2ポイント高くなっている。



(53) 健康について

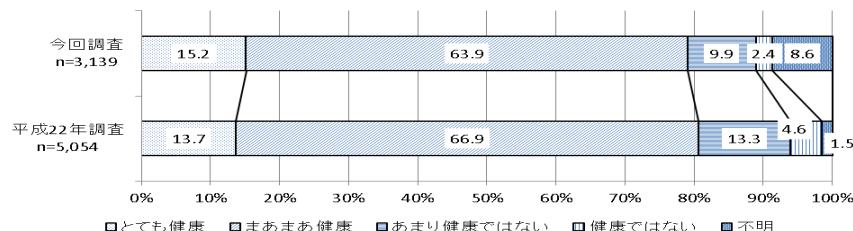
Q51. あなたは、普段から健康だと思いますか。(1つに○)

「とても健康」(15.2%) と「まあまあ健康」(63.9%) を合わせた『健康』が79.1%、「あまり健康ではない」(9.9%) と「健康ではない」(2.4%) を合わせた『健康ではない』が12.3%となっている。



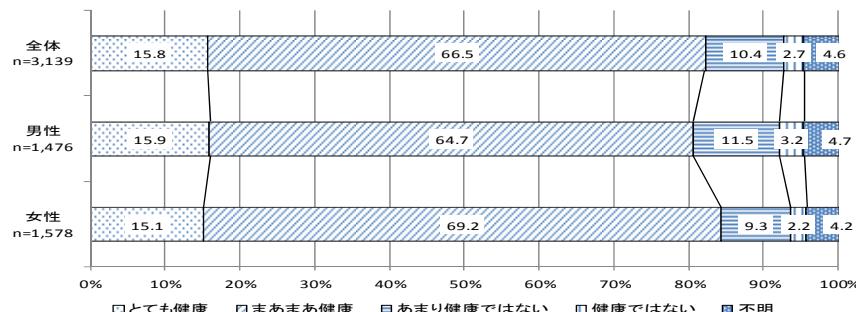
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、『健康ではない』は5.6ポイント減少している。



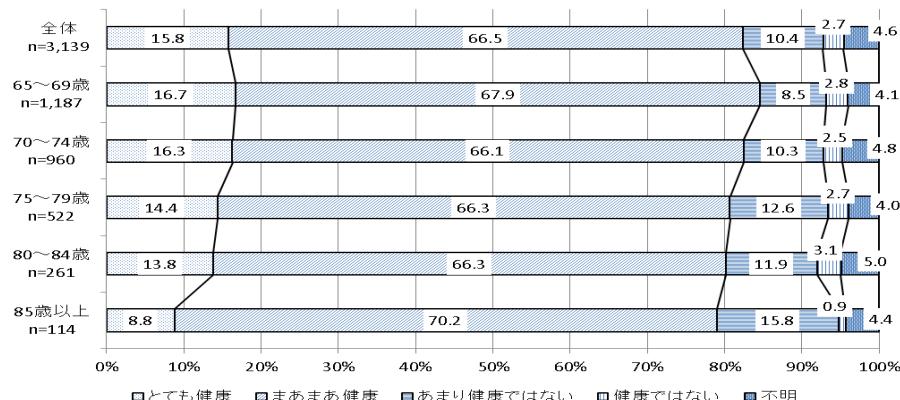
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

『健康』は65～74歳 (83.7%) が75歳以上 (80.3%) より3.4ポイント高くなっている。

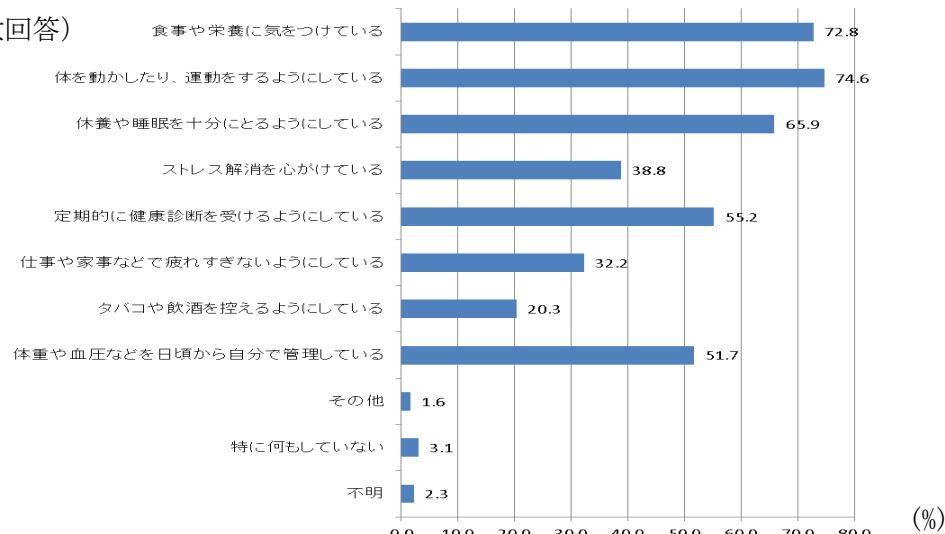


(54) 健康維持

Q51-1. あなたは、日常的に健康維持のために特に気をつけていることはありますか。（あてはまる全てに○）

「体を動かしたり、運動をするようにしている」が74.6%で最も高く、以下、「食事や栄養に気をつけている」が72.8%、「休養や睡眠を十分にとるようにしている」が65.9%などとなっている。

n=2,583 (複数回答)



[性別]

「仕事や家事などで疲れすぎないようにしている」は女性（41.5%）が男性（21.9%）より19.6ポイント高くなっている。

	回答者数 人 （複数回答）	食事や栄養に気をつけている	体を動かしたり、運動をするよう にしている	休養や睡眠を十分にとるよう にしている	ストレス解消を心がけている	定期的に健康診断を受けるよう にしている	仕事や家事などで疲れすぎない ようになっている	タバコや飲酒を控えるようにし ている	体重や血圧などを日頃から自分 で管理している	その他	特に何もしていない	不明
全体	2,583	72.8	74.6	65.9	38.8	55.2	32.2	20.3	51.7	1.6	3.1	2.3
男性	1,190	66.3	77.0	67.6	34.2	57.9	21.9	28.7	52.5	1.3	3.5	1.7
女性	1,331	78.8	72.5	64.7	43.0	53.3	41.5	13.0	51.2	1.8	2.3	2.8

[年齢]

年代が上がるにつれ「休養や睡眠を十分にとるようにしている」が高くなっている。

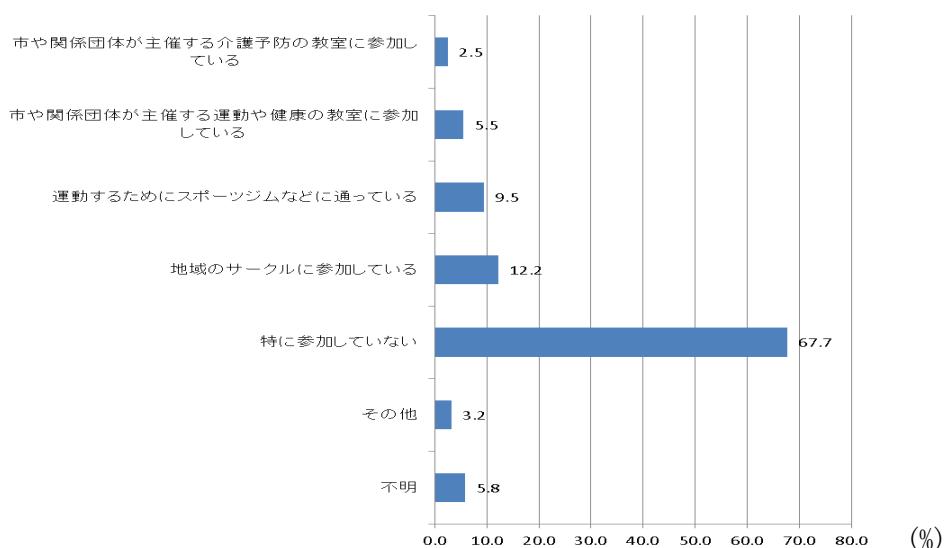
	回答者数 人 （複数回答）	食事や栄養に気をつけている	体を動かしたり、運動をするよう にしている	休養や睡眠を十分にとるよう にしている	ストレス解消を心がけている	定期的に健康診断を受けるよう にしている	仕事や家事などで疲れすぎない ようになっている	タバコや飲酒を控えるようにし ている	体重や血圧などを日頃から自分 で管理している	その他	特に何もしていない	不明
全体	2,583	72.8	74.6	65.9	38.8	55.2	32.2	20.3	51.7	1.6	3.1	2.3
65～69歳	1,004	70.3	71.7	63.0	39.0	52.7	28.5	20.8	46.1	1.3	4.1	1.9
70～74歳	791	76.1	78.0	66.5	38.2	56.1	31.6	20.4	53.4	1.1	2.3	2.3
75～79歳	421	71.5	75.1	67.9	37.5	57.0	32.3	16.9	57.2	1.7	1.9	3.8
80～84歳	209	76.1	77.0	71.3	43.1	62.7	46.4	22.5	63.2	3.8	1.9	1.9
85歳以上	90	74.4	70.0	77.8	40.0	56.7	48.9	28.9	55.6	2.2	1.1	1.1

(55) 介護予防教室への参加

Q52. あなたは、日常生活の中で健康維持・向上のために介護予防教室などへ参加していますか。
(あてはまる全てに○)

「特に参加していない」が67.7%と突出して高く、以下、「地域のサークルに参加している」が12.2%、「運動するためにスポーツジムなどに通っている」が9.5%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

「特に参加していない」は男性 (78.1) が女性 (58.1) より20.0ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	市や関係団体が主催する介護予防の教室に参加している	市や関係団体が主催する運動や健康の教室に参加している	運動するためにスポーツジムなどに通っている	地域のサークルに参加している	特に参加していない	その他	不明
全体	3,139	2.5	5.5	9.5	12.2	67.7	3.2	5.8
男性	1,476	1.6	3.0	6.2	7.3	78.1	2.8	4.5
女性	1,578	3.4	8.1	12.7	16.6	58.1	3.6	6.7

[年齢]

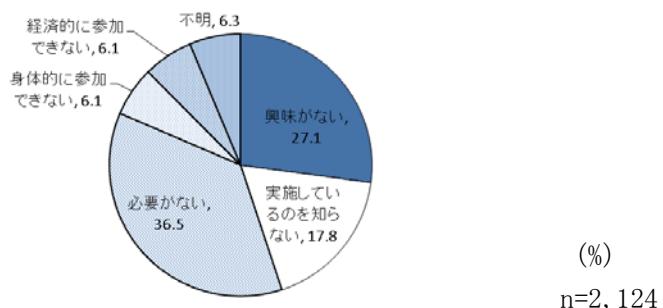
年齢による大きな特徴の差はみられない。

	回答者数 (人) (複数回答)	市や関係団体が主催する介護予防の教室に参加している	市や関係団体が主催する運動や健康の教室に参加している	運動のためにスポーツジムなどに通っている	地域のサークルに参加している	特に参加していない	その他	不明
全体	3,139	2.5	5.5	9.5	12.2	67.7	3.2	5.8
65～69歳	1,187	1.8	5.1	9.6	9.9	72.4	2.7	3.8
70～74歳	960	2.8	6.4	10.7	14.5	64.4	3.5	5.5
75～79歳	522	2.9	5.0	9.6	13.8	66.7	3.4	5.4
80～84歳	261	5.0	8.0	8.8	13.4	58.6	3.1	11.9
85歳以上	114	0.9	2.6	2.6	4.4	73.7	7.9	11.4

(56) 不参加理由

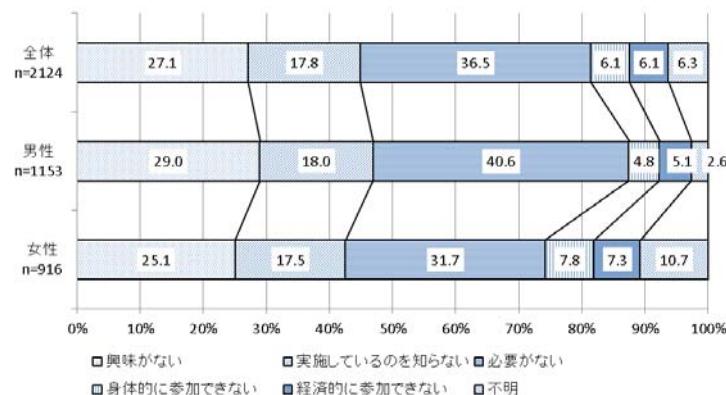
Q52-1. 特に参加しない理由を教えてください。(1つに○)

「必要がない」が36.5%で最も高く、以下、「興味がない」が27.1%、「実施しているのを知らない」が17.8%などとなっている。



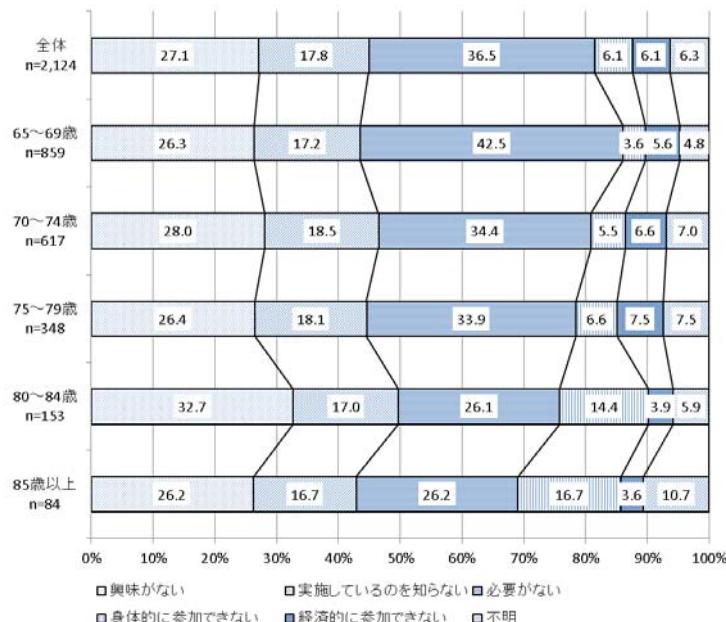
[性別]

「必要がない」は男性(40.6%)が女性(31.7%)より8.9ポイント高くなっている。



[年齢]

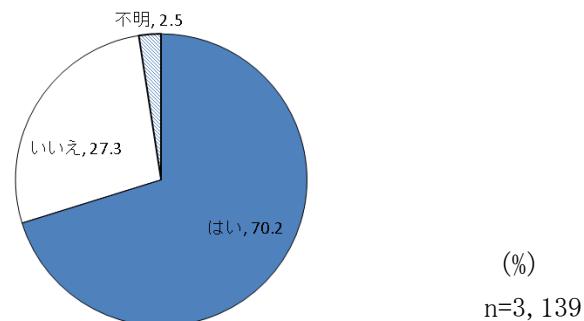
80~84歳はほかの年代に比べ、「興味がない」が32.7%と高くなっている。



(57) 健康診査

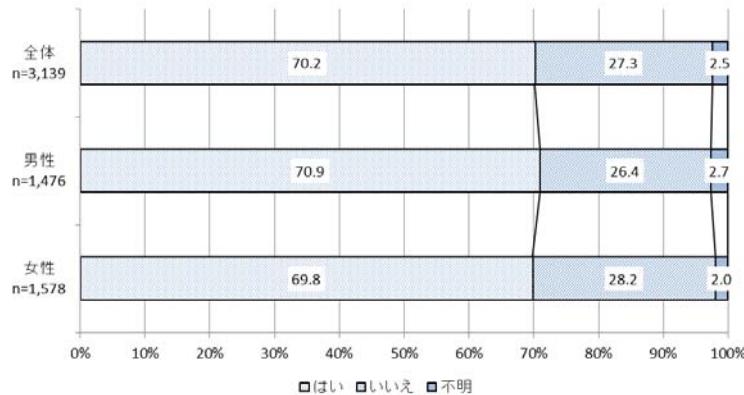
Q53. あなたは、毎年健康診査を受けていますか。(どちらかに○)

「はい」が70.2%、「いいえ」が27.3%となっている。



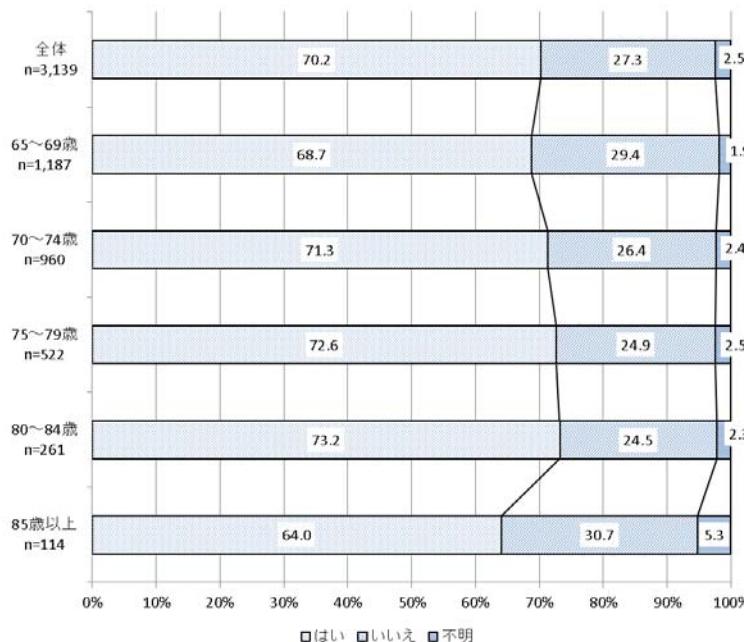
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

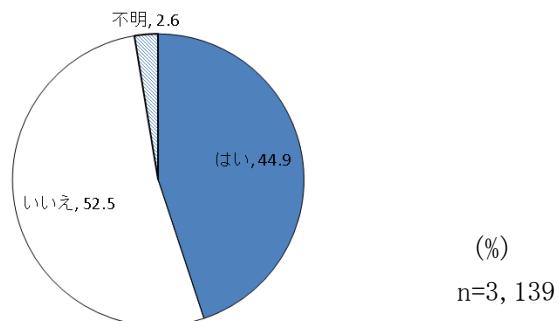
85歳以上になると「いいえ」が30.7%と高くなっている。



(58) 歯科健康診査

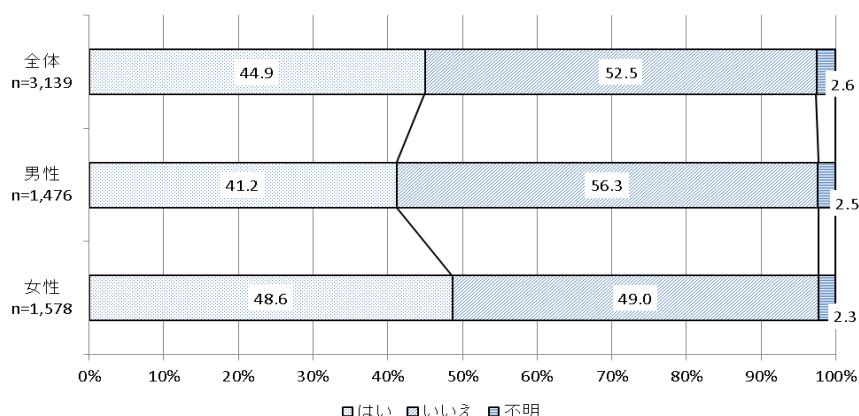
Q54. あなたは、毎年歯科健康診査を受けていますか。(どちらかに○)

「はい」が44.9%、「いいえ」が52.5%となっている。



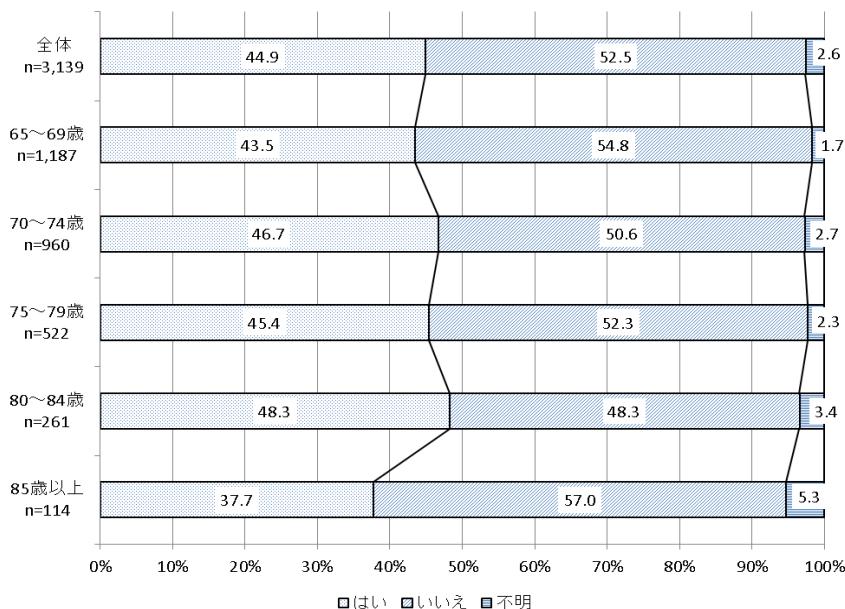
[性別]

「はい」は女性(48.6%)が男性(41.2%)より7.4ポイント高くなっている。



[年齢]

85歳以上になると「いいえ」が57.0%と高くなっていく。

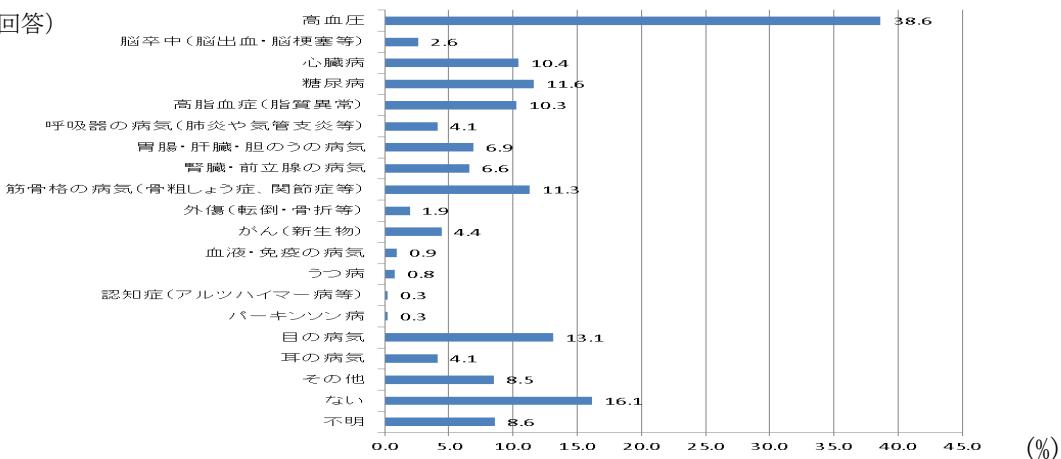


(59) 病気けが

Q55. あなたは、現在治療中、または後遺症のある病気やケガはありますか。(あてはまる全てに○)

「高血圧」が38.6%と突出して高く、以下、「目の病気」が13.1%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が11.3%、「糖尿病」が11.6%などとなっている。一方、「ない」は16.1%となっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

「腎臓・前立腺の病気」は男性（12.7%）が女性（1.1%）より11.6ポイント、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は女性（18.3%）が男性（4.0%）より14.3ポイント高くなっている。

回答者数(人)(複数回答)	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(新生生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	不明	
全体	3,139	38.6	2.6	10.4	11.6	10.3	4.1	6.9	6.6	11.3	1.9	4.4	0.9	0.8	0.3	0.3	13.1	4.1	8.5	16.1	8.6
男性	1,476	41.0	3.6	14.6	14.2	8.3	5.1	7.7	12.7	4.0	1.2	5.3	0.9	0.4	0.3	0.5	11.0	4.1	7.4	16.7	7.2
女性	1,578	36.6	1.5	6.7	9.0	12.3	3.2	6.3	1.1	18.3	2.7	3.6	1.0	1.1	0.2	0.1	15.1	4.2	9.6	15.8	9.3

[年齢]

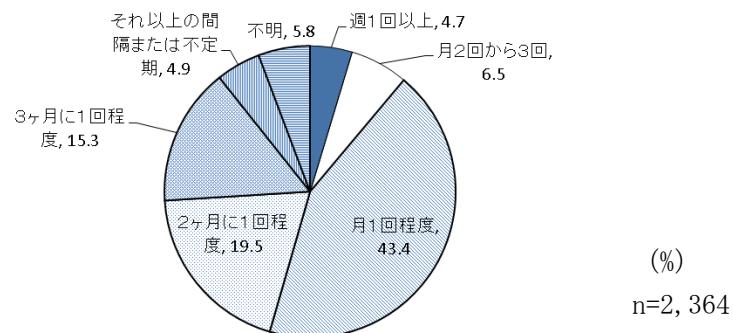
年代が上がるにつれ「心臓病」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「目の病気」の割合が高くなっています。特に85歳以上の「目の病気」の割合が高くなっています。

回答者数(人)(複数回答)	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(新生生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	不明	
全体	3,139	38.6	2.6	10.4	11.6	10.3	4.1	6.9	6.6	11.3	1.9	4.4	0.9	0.8	0.3	0.3	13.1	4.1	8.5	16.1	8.6
65～69歳	1,187	34.4	1.9	6.7	11.8	12.0	3.2	5.6	4.0	8.2	1.9	4.5	0.8	0.8	0.0	0.3	9.9	3.1	9.6	21.7	7.8
70～74歳	960	39.2	2.3	11.3	12.1	9.9	4.4	6.7	5.3	11.7	1.5	3.6	1.0	0.6	0.1	0.3	13.2	4.3	8.5	15.9	8.5
75～79歳	522	42.9	4.0	14.0	13.2	8.8	5.2	8.6	10.2	14.2	2.1	5.0	1.0	0.6	0.4	0.4	15.3	5.0	6.5	10.3	8.8
80～84歳	261	48.7	3.4	15.7	7.7	10.0	5.0	10.3	14.6	18.8	4.2	5.0	1.5	1.1	0.8	0.0	19.2	6.5	7.3	6.5	7.3
85歳以上	114	40.4	0.9	16.7	6.1	6.1	5.3	8.8	11.4	12.3	0.9	5.3	0.0	0.9	2.6	0.0	22.8	4.4	10.5	13.2	7.9

(60) 通院頻度

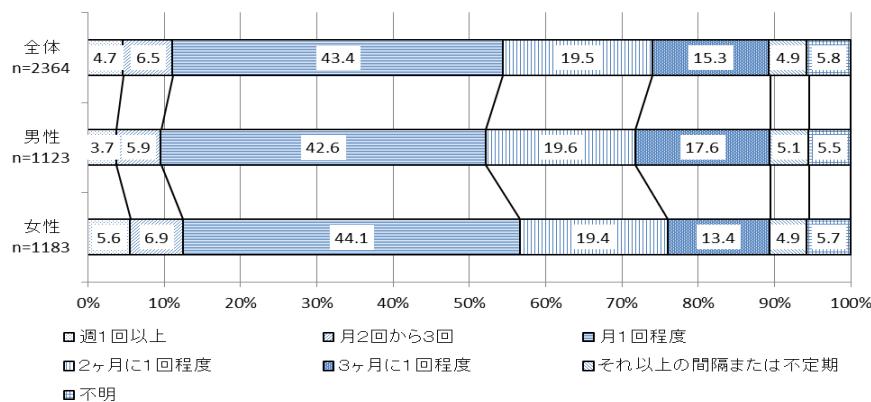
Q55-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。(1つに○)

「月1回程度」が43.4%で最も高く、以下、「2ヶ月に1回程度」が19.5%、「3ヶ月に1回程度」が15.3%などとなっている。



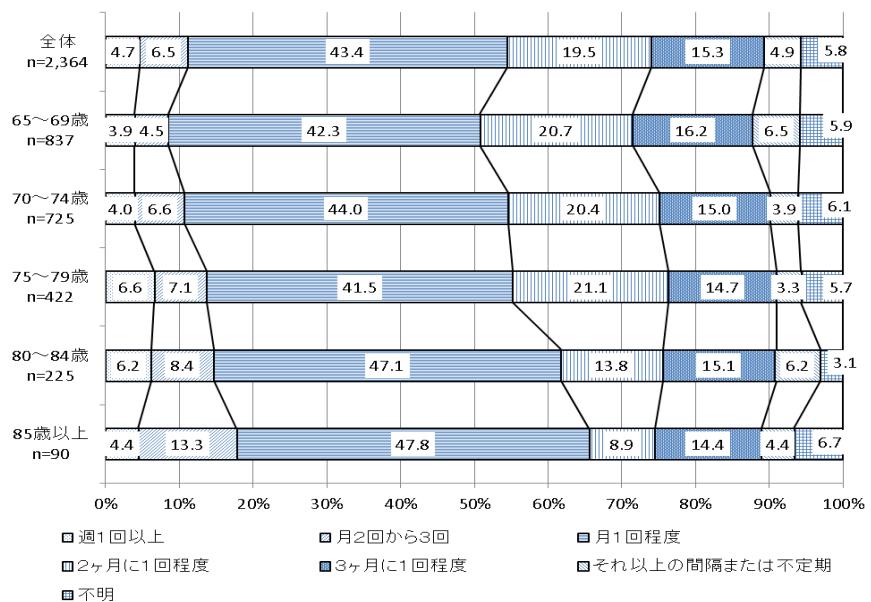
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

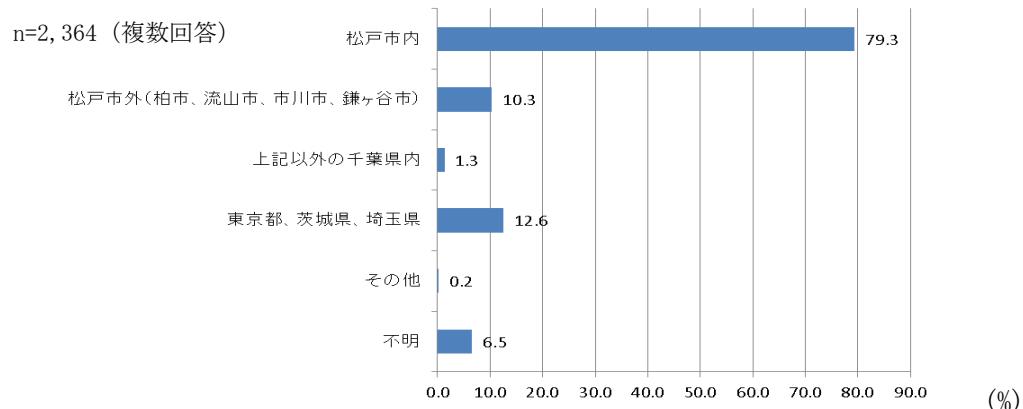
年代が上がるにつれ「月2回から3回」が高くなっている。



(61) 医療機関所在地

Q55-2. (通院している方のみ) 現に通院している医療機関はどちらにありますか。(あてはまる全てに○)

「松戸市内」が79.3%で最も高く、以下、「東京都、茨城県、埼玉県」が12.6%、「松戸市外（柏市、流山市、市川市、鎌ヶ谷市）」が10.3%などとなっている。



[性別]

男性は女性より若干「松戸市外」へ通院している。

	回答者数 人 (複数回答)	松戸市内	市松戸市外 鎌ヶ谷市 柏市、 流山市、 市川	上記以外の千葉県内	東京都、 茨城県、 埼玉県	その他	不明
全体	2,364	79.3	10.3	1.3	12.6	0.2	6.5
男性	1,123	77.0	11.0	1.2	14.2	0.2	6.8
女性	1,183	81.6	9.9	1.4	10.9	0.3	6.3

[年齢]

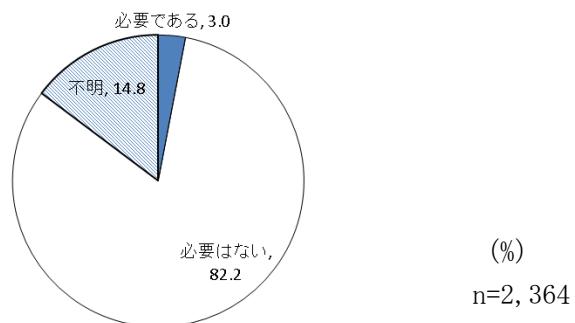
年代が上がるにつれ「松戸市内」が高くなっている。

	回答者数 人 (複数回答)	松戸市内	市松戸市外 鎌ヶ谷市 柏市、 流山市、 市川	上記以外の千葉県内	東京都、 茨城県、 埼玉県	その他	不明
全体	2,364	79.3	10.3	1.3	12.6	0.2	6.5
65～69歳	837	75.5	10.9	1.7	14.2	0.1	7.2
70～74歳	725	78.3	10.3	1.1	13.9	0.1	7.3
75～79歳	422	83.9	10.7	1.2	9.0	0.0	5.5
80～84歳	225	85.8	9.8	0.9	10.2	1.3	2.7
85歳以上	90	86.7	5.6	2.2	8.9	0.0	7.8

(62) 通院介助

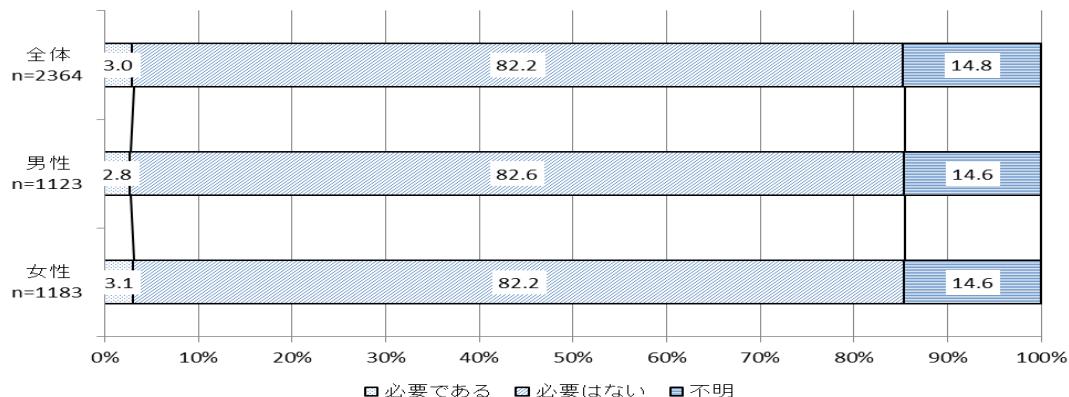
Q55-3. 通院に介助が必要ですか。(どちらかに○)

「必要はない」が82.2%、「必要である」が3.0%となっている。



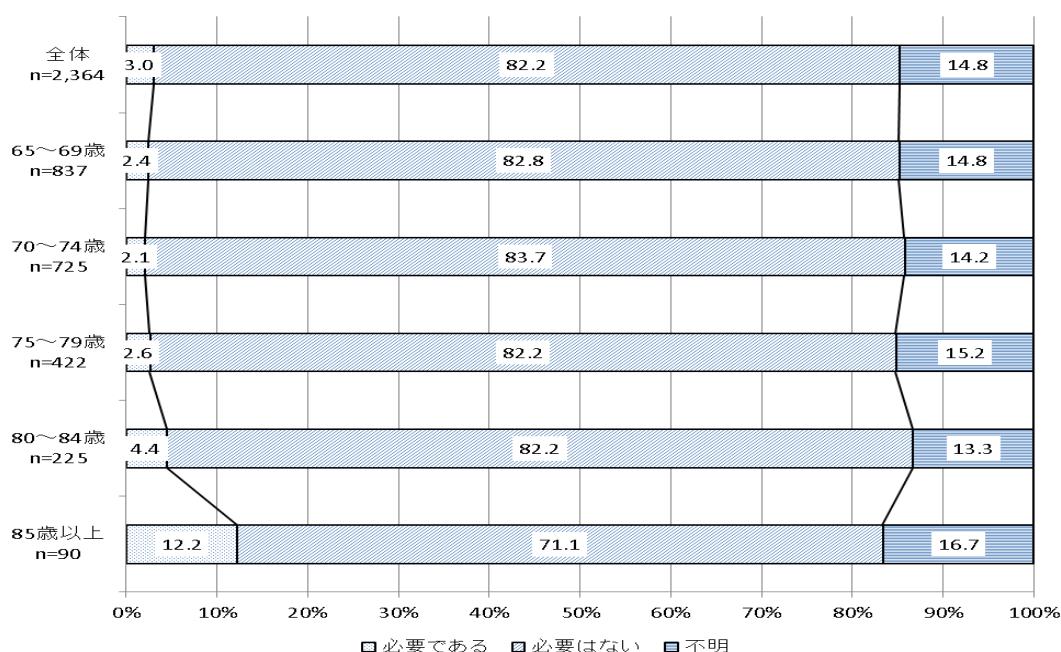
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

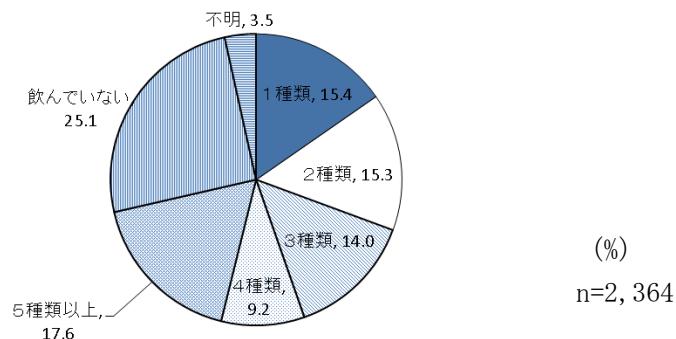
85歳以上になると「必要である」が12.2%と高くなっている。



(63) 薬

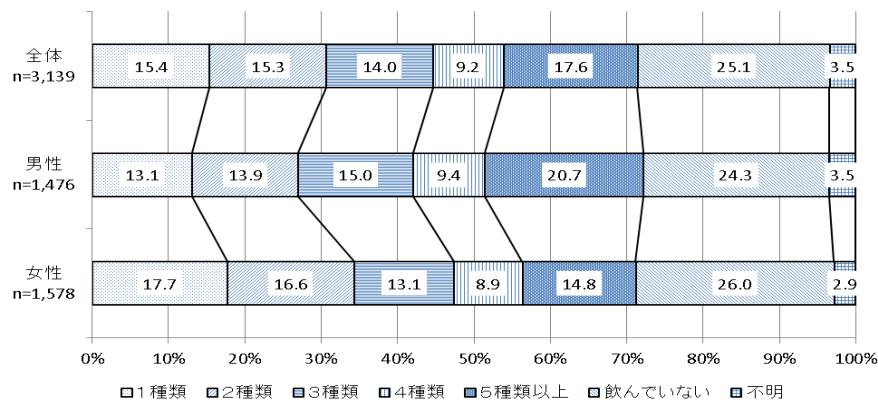
Q56. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つに○)

「飲んでいない」が25.1%で最も高くなっているが、飲んでいる人は「5種類以上」が17.6%、「1種類」が15.4%、「2種類」が15.3%、「3種類」が14.0%などとなっている。



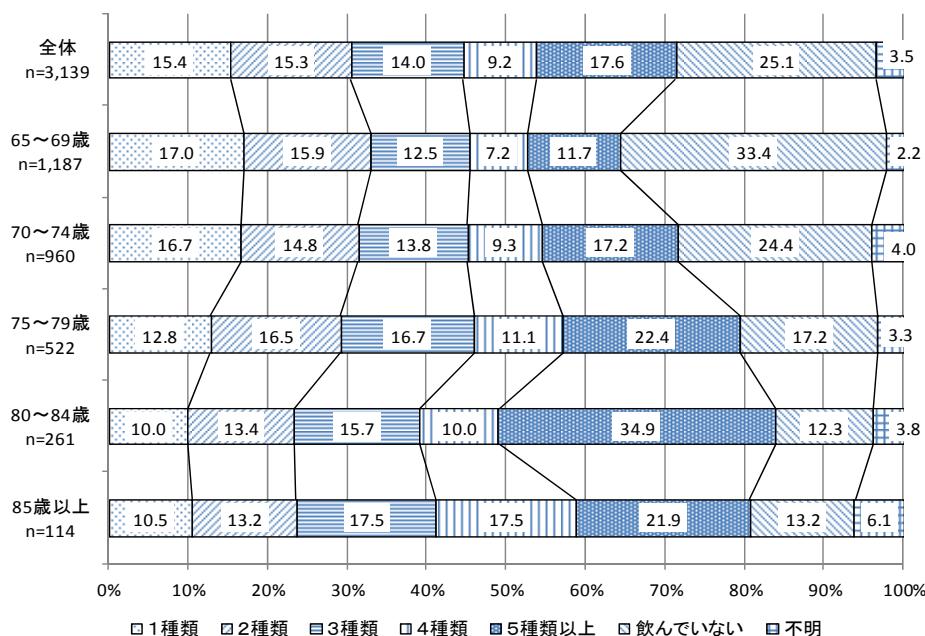
[性別]

女性より男性の方が飲んでいる薬の種類が多い。



[年齢]

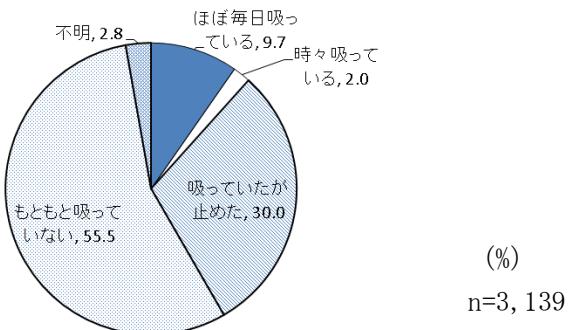
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(64) タバコ

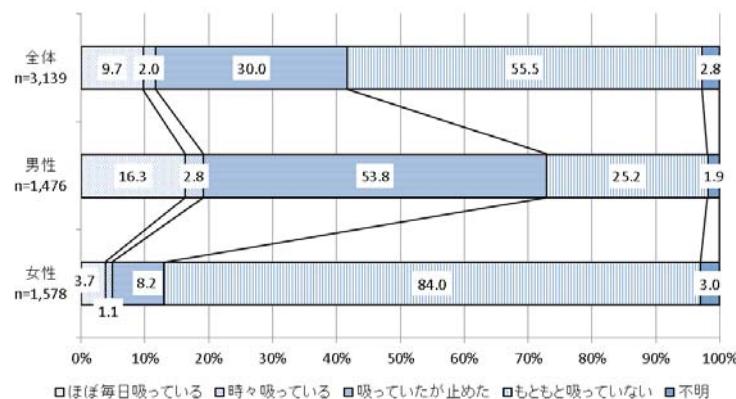
Q57. あなたは、タバコを吸っていますか。(1つに○)

「もともと吸っていない」が55.5%で最も高く、以下、「吸っていたが止めた」が30.0%、「ほぼ毎日吸っている」が9.7%、「時々吸っている」が2.0%となっている。



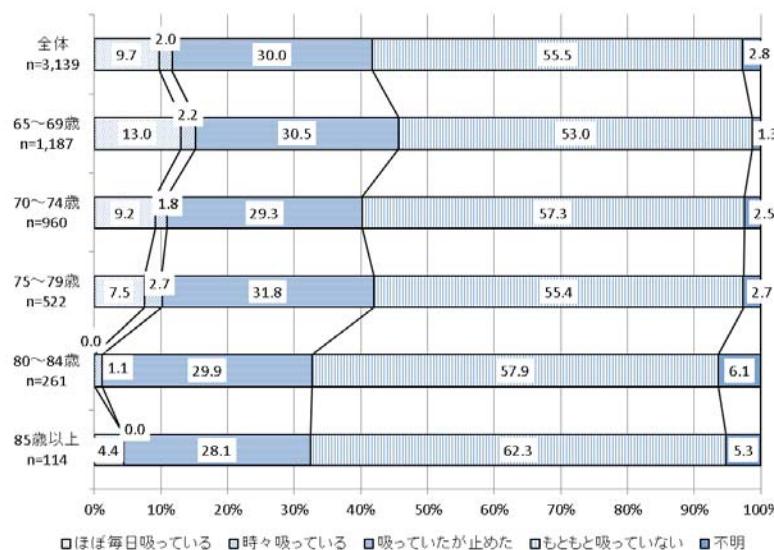
[性別]

「もともと吸っていない」は女性（84.0%）が男性（25.2%）より58.8ポイント高くなっている。一方、「吸っていたが止めた」は男性（53.8%）が女性（8.2%）より45.6ポイント高くなっている。



[年齢]

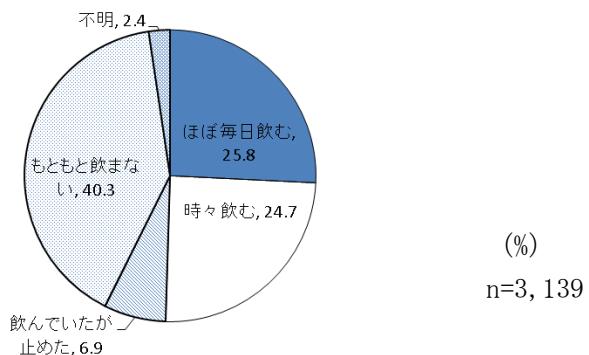
年代が上がるにつれ「吸っていたが止めた」と「もともと吸っていない」を合わせた『吸っていない』が高くなっている。



(64) 酒

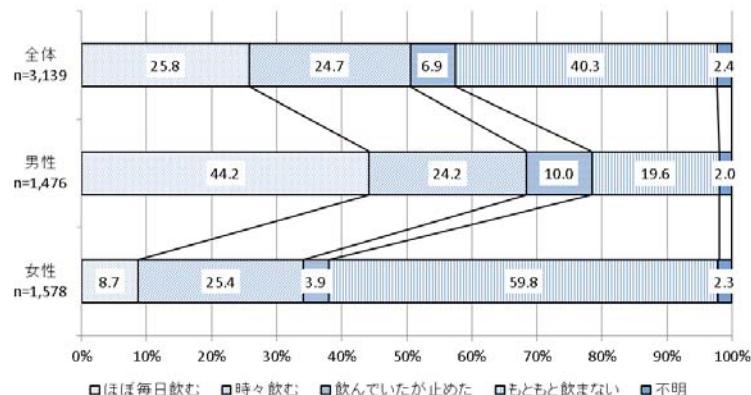
Q58. あなたは、お酒を飲みますか。(1つに○)

「もともと飲まない」が40.3%で最も高く、以下、「ほぼ毎日飲む」が25.8%、「時々飲む」が24.7%、「飲んでいたが止めた」が6.9%となっている。



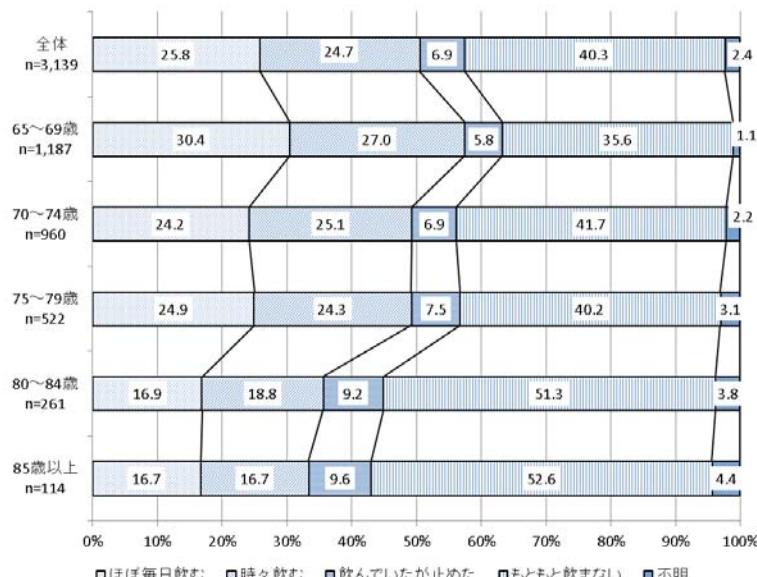
[性別]

「ほぼ毎日飲む」は男性（44.2%）が女性（8.7%）より35.5ポイント高くなっている。



[年齢]

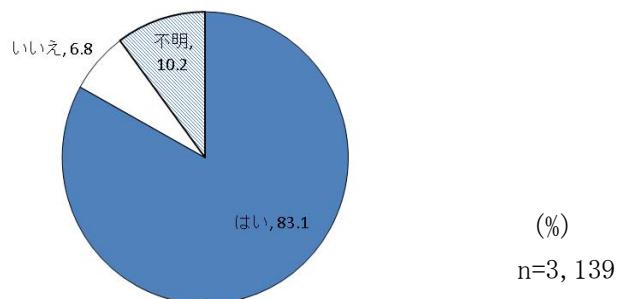
年齢による大きな特徴の差はみられない。



(65) 家族や友人・知人などに相談しているか

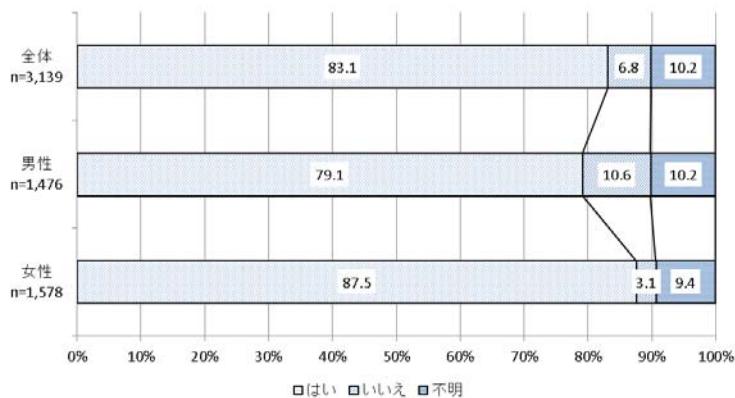
Q59. あなたは、何かあったときに、家族や友人などに相談していますか。(どちらかに○)

「はい」が83.1%、「いいえ」が6.8%となっている。



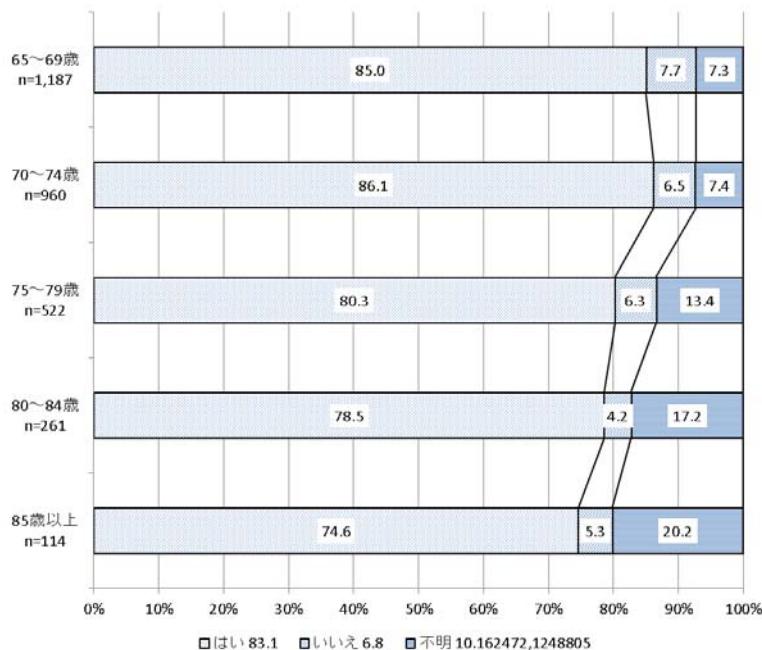
[性別]

「はい」は女性(87.5%)が男性(79.1%)より8.4ポイント高くなっている。



[年齢]

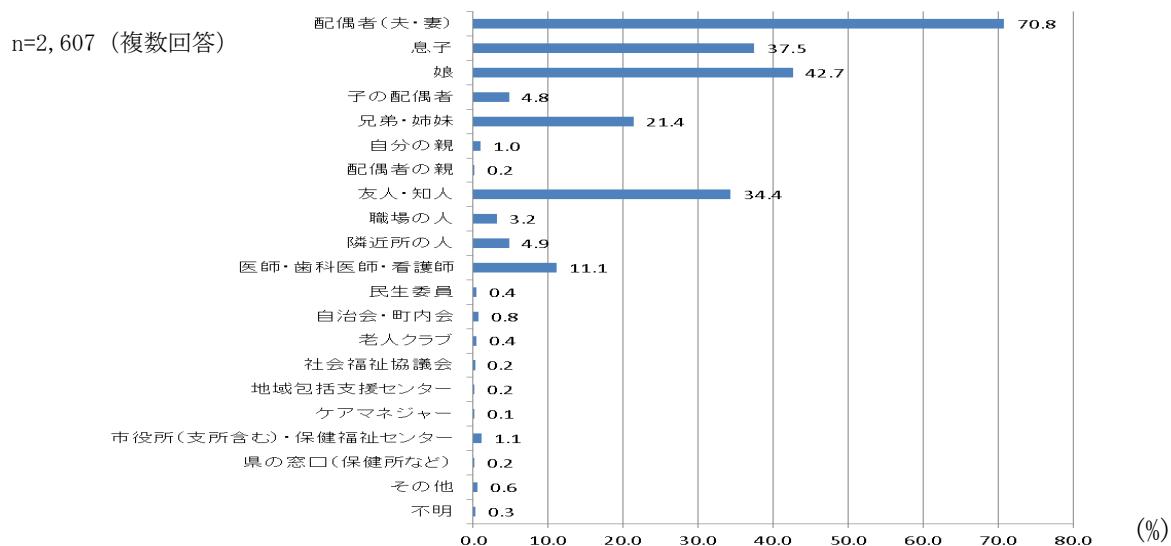
年代が上がるにつれ「はい」の割合が低下している。



(66) 相談相手

Q59-1. あなたが相談する相手の方を教えてください。(あてはまる全てに○)

「配偶者(夫・妻)」が70.8%で最も高く、以下、「娘」が42.7%、「息子」が37.5%、「友人・知人」が34.4%などとなっている。



[性別]

「配偶者」は男性(86.9%)が女性(57.4%)より29.5ポイント高く、「娘」、「友人・知人」は女性(52.7%、43.4%)が男性(30.2%、24.0%)より22.5、19.4ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	兄弟・姉妹	自分の親	配偶者の親	友人・知人	職場の人	隣近所の人	医師・歯科医師・看護師	民生委員	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー	市役所(支所含む)・保健福祉センター	県の窓口(保健所など)	その他	不明
全体	2,607	70.8	37.5	42.7	4.8	21.4	1.0	0.2	34.4	3.2	4.9	11.1	0.4	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1	1.1	0.2	0.6	0.3
男性	1,168	86.9	31.9	30.2	3.0	14.9	0.4	0.0	24.0	3.8	2.0	12.7	0.3	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1	0.9	0.1	0.4	0.1
女性	1,381	57.4	42.1	52.7	6.4	27.1	1.6	0.3	43.4	2.7	7.5	10.0	0.5	0.7	0.4	0.2	0.2	0.1	1.2	0.2	0.7	0.5

[年齢]

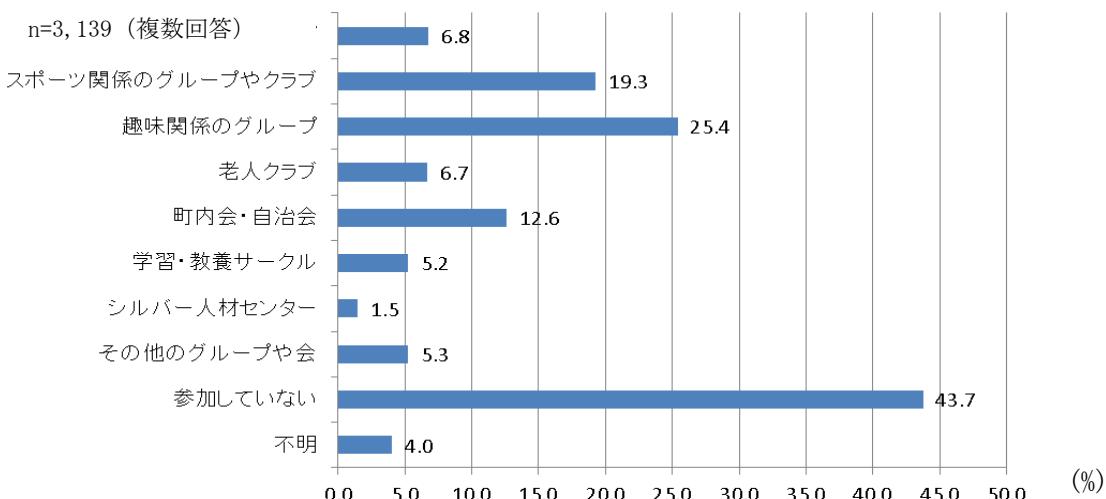
年代が上がるにつれ「兄弟・姉妹」、「友人・知人」の割合は低下している。

	回答者数 (人) (複数回答)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	兄弟・姉妹	自分の親	配偶者の親	友人・知人	職場の人	隣近所の人	医師・歯科医師・看護師	民生委員	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー	市役所(支所含む)・保健福祉センター	県の窓口(保健所など)	その他	不明
全体	2,607	70.8	37.5	42.7	4.8	21.4	1.0	0.2	34.4	3.2	4.9	11.1	0.4	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1	1.1	0.2	0.6	0.3
65～69歳	1,009	76.3	34.7	40.0	3.9	25.0	2.3	0.4	40.8	4.8	5.0	9.4	0.1	0.7	0.0	0.3	0.4	0.2	1.1	0.0	0.4	0.3
70～74歳	827	70.5	36.3	43.4	5.0	23.2	0.5	0.0	36.9	3.5	5.2	9.9	0.1	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	1.3	0.4	0.5	0.5
75～79歳	419	70.2	44.2	44.9	5.0	14.8	0.0	0.0	25.1	1.0	4.3	15.8	0.7	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.2
80～84歳	205	57.6	40.5	46.8	5.4	13.2	0.0	0.0	20.5	0.0	5.4	13.2	1.5	1.0	2.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.5	1.0	0.0
85歳以上	85	49.4	42.4	37.6	14.1	11.8	0.0	0.0	12.9	0.0	5.9	18.8	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	2.4	0.0

(67) グループ参加

Q60. あなたは、日頃、グループや会等に参加していますか。(あてはまる全てに○)

「参加していない」が43.7%で最も高くなっているが、参加している人は「趣味関係のグループ」が25.4%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が19.3%、「町内会・自治会」12.6%などとなっている。



[性別]

「参加していない」は男性 (49.7%) が女性 (38.3%) より11.4ポイント高く、「趣味関係のグループ」は女性 (30.2%) が男性 (20.5%) より9.7ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	ボランティアのグループ	ラスボーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	老人クラブ	町内会・自治会	学習・教養サークル	シルバー人材センター	その他のグループや会	参加していない	不明
全体	3,139	6.8	19.3	25.4	6.7	12.6	5.2	1.5	5.3	43.7	4.0
男性	1,476	5.2	17.9	20.5	3.8	11.5	4.1	2.1	6.4	49.7	3.1
女性	1,578	8.2	21.0	30.2	9.2	13.7	6.5	0.9	4.2	38.3	4.6

[年齢]

「老人クラブ」、「町内会・自治会」は65歳以上になってもあまり低下していない。

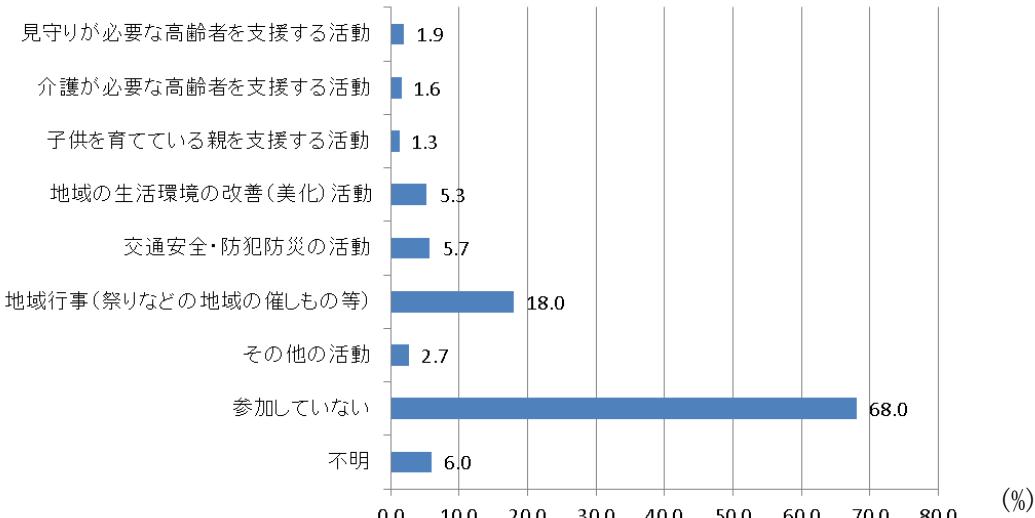
	回答者数 (人) (複数回答)	ボランティアのグループ	ラスボーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	老人クラブ	町内会・自治会	学習・教養サークル	シルバー人材センター	その他のグループや会	参加していない	不明
全体	3,139	6.8	19.3	25.4	6.7	12.6	5.2	1.5	5.3	43.7	4.0
65～69歳	1,187	6.6	19.5	24.5	2.3	9.9	5.9	1.2	6.3	46.4	2.5
70～74歳	960	7.9	20.9	27.7	6.1	14.6	5.5	2.0	3.6	41.7	3.9
75～79歳	522	6.9	20.1	26.4	9.6	14.8	3.6	1.9	5.2	41.2	5.0
80～84歳	261	5.7	16.9	26.1	17.6	13.8	5.7	0.4	6.9	40.6	6.9
85歳以上	114	0.9	11.4	12.3	15.8	13.2	3.5	0.0	6.1	50.9	6.1

(68) 地域活動等への参加状況

Q61. あなたは、日頃、地域で行われている活動に参加していますか。（あてはまる全てに○）

「参加していない」が68.0%で最も高くなっているが、参加している人は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」が18.0%、「交通安全・防犯防災の活動」が5.7%、「地域の生活環境の改善（美化）活動」が5.3%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



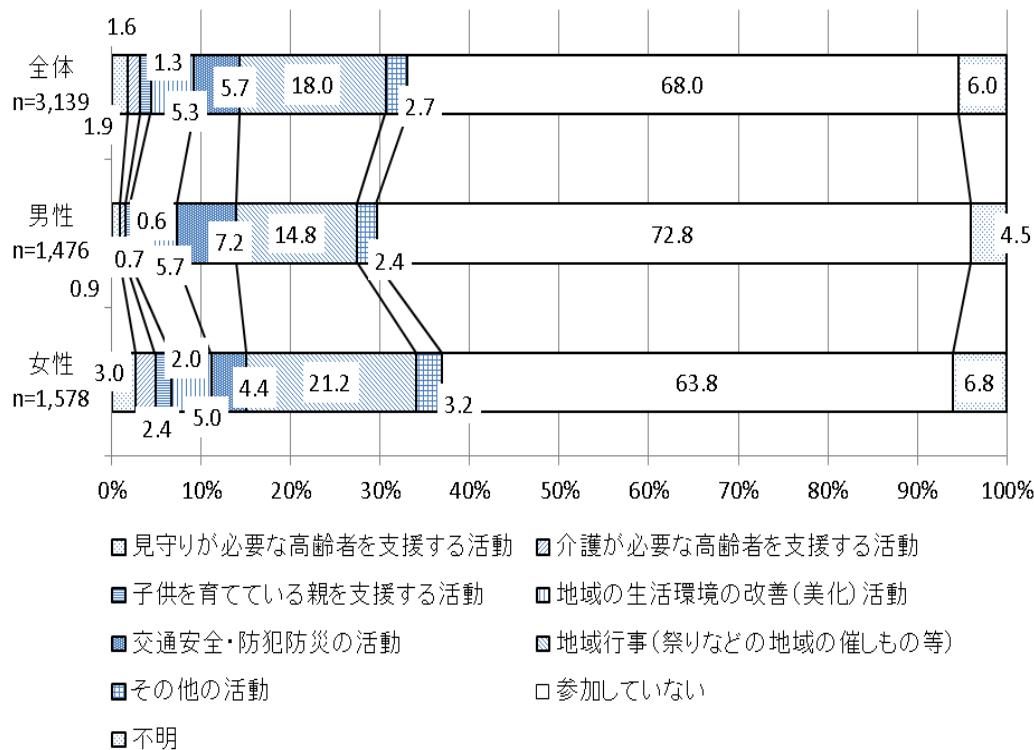
[日常生活圏域]

いずれの地区においても「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」が最も高く、他の地域に比べ、馬橋西地区は「地域の生活環境の改善（美化）活動」、「交通安全・防犯防災の活動」への参加割合が若干高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	見る活動が必要な高齢者を支援す る	介護が必要な高齢者を支援す る	子供を育てている親を支援す る	地域活動の生活環境の改善(美 化)	交通安全・防犯防災の活動	地域行事(祭りなどの地域の催 しもの等)	その他の活動	参加してい ない	不 明
全体	3,139	1.9	1.6	1.3	5.3	5.7	18.0	2.7	68.0	6.0
本庁地区	146	0.0	0.7	2.1	2.7	2.7	14.4	2.1	74.7	4.8
明第1地区	270	2.2	1.9	0.7	4.4	5.2	18.1	3.7	67.4	8.1
明第2東地区	119	0.8	3.4	0.8	1.7	2.5	9.2	6.7	70.6	8.4
明第2西地区	168	3.6	1.2	3.0	6.0	7.1	17.9	1.2	69.0	4.8
矢切地区	134	2.2	1.5	0.7	6.0	6.7	18.7	3.0	64.2	7.5
東部地区	221	2.3	1.4	1.8	6.3	5.9	16.7	3.6	72.9	3.2
常盤平地区	425	1.9	2.1	0.9	4.9	4.9	19.5	2.4	69.2	5.2
五香松飛台地区	216	1.9	1.4	0.9	6.0	4.6	18.1	1.4	69.0	6.5
六実六高台地区	128	1.6	2.3	0.8	7.0	9.4	17.2	2.3	69.5	3.1
馬橋地区	211	1.4	1.4	1.9	5.7	7.1	17.5	1.4	73.0	1.9
小金地区	244	2.5	1.6	1.2	6.1	8.2	19.7	1.6	65.2	6.1
小金原地区	200	1.5	2.0	1.5	5.0	6.0	19.0	4.5	63.0	7.0
新松戸地区	242	2.9	0.8	1.2	6.2	4.1	24.4	3.7	65.3	2.5
馬橋西地区	130	3.8	1.5	0.8	10.8	10.0	20.0	3.8	58.5	6.2

[性別]

「参加していない」は男性（72.8%）が女性（63.8%）より9.0ポイント高くなっている。



[年齢]

他の年代に比べ、70～74歳は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」への参加割合が高くなっている。

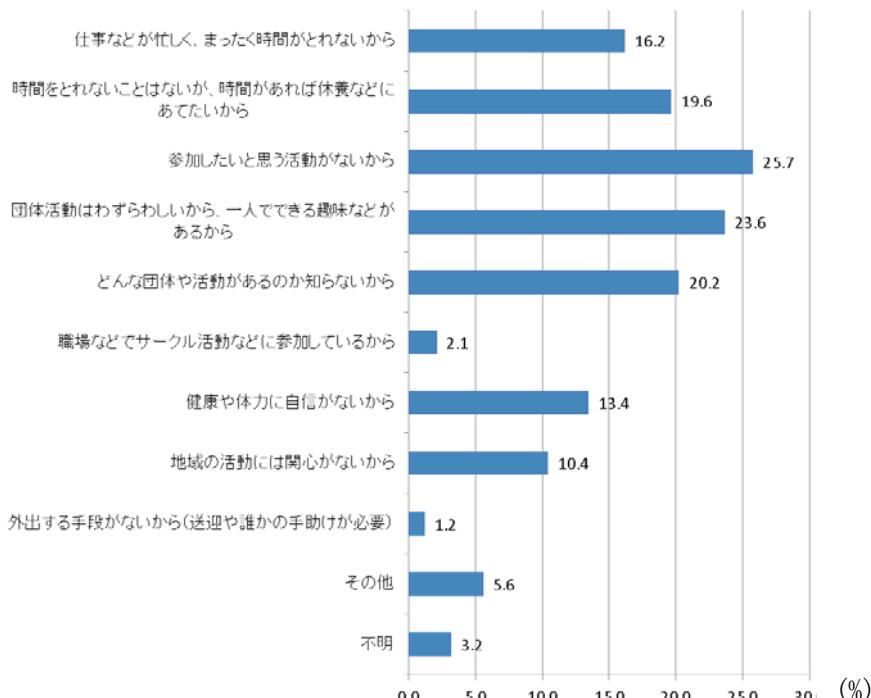
	回答者数（人）（複数回答）	見守りが必要な高齢者を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子供を育てている親を支援する活動	地域の生活環境の改善（美化）活動	交通安全・防犯防災の活動	地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）	その他の活動	参加していない	不明
全体	3,139	1.9	1.6	1.3	5.3	5.7	18.0	2.7	68.0	6.0
65～69歳	1,187	1.9	1.9	1.9	4.4	4.9	17.4	2.8	71.5	3.6
70～74歳	960	2.1	1.3	1.5	6.6	7.0	20.3	2.4	65.9	5.3
75～79歳	522	2.1	1.5	0.6	5.9	7.7	18.6	3.3	64.9	6.7
80～84歳	261	2.7	1.5	0.0	5.0	3.8	15.7	2.7	64.8	12.3
85歳以上	114	0.9	2.6	0.0	3.5	1.8	12.3	4.4	71.1	10.5

(69) 地域活動等へ参加していない理由

Q61-1. あなたが、地域で行われている活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまる全てに○)

「参加したいと思う活動がないから」が25.7%で最も高く、以下、「団体活動はわざらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」が23.6%、「どんな団体や活動があるのか知らないから」が20.2%、「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」が19.6%などとなっている。

n=2,136 (複数回答)



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が4.7ポイント、「どんな団体や活動があるのか知らないから」が4.6ポイント増加している。

一方、「健康や体力に自信がないから」は8.1ポイント、「団体活動はわざらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」は3.8ポイント、「地域の活動には関心がないから」が3.1ポイント減少している。

回答者数(人)(複数回答)	い仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	は時間休養をとれないことが多いが、時間があれ	参加したいと思う活動がないから	る団体活動はわざらわしいから、一人でき	どんな団体や活動があるのか知らないから	る職場などでサークル活動などに参加してい	健康や体力に自信がないから	地域の活動には関心がないから	助けが必要)外出する手段がないから(送迎や誰かの手	その他	不明	
今回調査	2,136	16.2	19.6	25.7	23.6	20.2	2.1	13.4	10.4	1.2	5.6	3.2
平成22年調査	2,053	11.5	18.9	26.4	27.4	15.6	1.2	21.5	13.5	9.2	4.3	

[日常生活圏域]

「団体活動はわざらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」は矢切地区で高く、「参加したいと思う活動がないから」は新松戸地区で高くなっている。また、「健康や体力に自信がないから」は小金地区で低くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	されないから 仕事などが忙しく、まつたく時間がと れないと 思う活動がないから	あれば休養などにあてたいが、時間 をとれないことではないから、時間 がと れないと 思う活動がないから	できる趣味などがあるから、一人で 思う活動がないから	団体活動はわざらわしいから、一人で 思う活動がないから	どんな団体や活動があるのか知ら ないから	職場などでサークル活動などに参 加しているから	健康や体力に自信がないから	地域の活動には関心がないから	外出する手段がないから 手助けが必要から	送迎や誰か	その他	不明
全体	2,136	16.2	19.6	25.7	23.6	20.2	2.1	13.4	10.4	1.2	5.6	3.2	
本庁地区	109	19.3	22.0	19.3	22.0	22.9	0.9	11.9	11.0	0.0	5.5	2.8	
明第1地区	182	14.3	20.3	28.6	24.7	23.1	3.3	14.8	7.7	0.5	4.9	4.9	
明第2東地区	84	19.0	14.3	26.2	25.0	28.6	2.4	16.7	11.9	4.8	4.8	1.2	
明第2西地区	116	18.1	19.0	25.0	21.6	22.4	1.7	19.0	16.4	1.7	7.8	2.6	
矢切地区	86	14.0	10.5	19.8	31.4	25.6	0.0	15.1	9.3	2.3	7.0	1.2	
東部地区	161	14.3	24.2	29.8	25.5	16.1	3.7	13.0	9.3	0.0	3.1	3.7	
常盤平地区	294	14.6	22.1	24.8	26.5	18.4	1.4	14.6	10.9	0.7	6.1	3.1	
五香松飛台地区	149	18.8	13.4	25.5	18.8	21.5	1.3	11.4	12.1	0.0	8.1	2.7	
六実六高台地区	89	13.5	18.0	23.6	24.7	18.0	4.5	18.0	12.4	1.1	7.9	3.4	
馬橋地区	154	16.9	13.6	25.3	16.9	24.7	2.6	16.2	7.8	3.2	5.8	3.9	
小金地区	159	20.8	22.6	24.5	25.2	19.5	1.9	4.4	12.6	0.0	3.8	3.1	
小金原地区	126	15.1	24.6	23.0	23.8	14.3	1.6	11.9	10.3	2.4	2.4	2.4	
新松戸地区	158	13.9	26.6	33.5	26.6	17.1	3.8	13.3	8.9	0.0	4.4	1.9	
馬橋西地区	76	21.1	19.7	28.9	17.1	17.1	0.0	11.8	10.5	0.0	9.2	1.3	

[性別]

男性は「参加したいと思う活動がないから」(29.0%)、「団体活動はわざらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」(27.1%)が女性(22.0%、20.1%)より、ともに7.0ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	されないから 仕事などが忙しく、まつたく時間がと れないと 思う活動がないから	あれば休養などにあてたいが、時間 をとれないことではないから、時間 がと れないと 思う活動がないから	できる趣味などがあるから、一人で 思う活動がないから	団体活動はわざらわしいから、一人で 思う活動がないから	どんな団体や活動があるのか知ら ないから	職場などでサークル活動などに参 加しているから	健康や体力に自信がないから	地域の活動には関心がないから	外出する手段がないから 手助けが必要から	送迎や誰か	その他	不明
全体	2,136	16.2	19.6	25.7	23.6	20.2	2.1	13.4	10.4	1.2	5.6	3.2	
男性	1,075	17.1	18.4	29.0	27.1	21.2	2.5	11.8	10.7	0.9	4.5	2.0	
女性	1,006	15.7	21.1	22.0	20.1	18.3	1.8	15.0	10.1	1.4	6.9	4.6	

[年齢]

年代が上がるにつれ、「時間をとれないことはないが、時間があれば急用などに当てたいから」、「どんな団体や活動があるのか知らないから」が低くなっている。

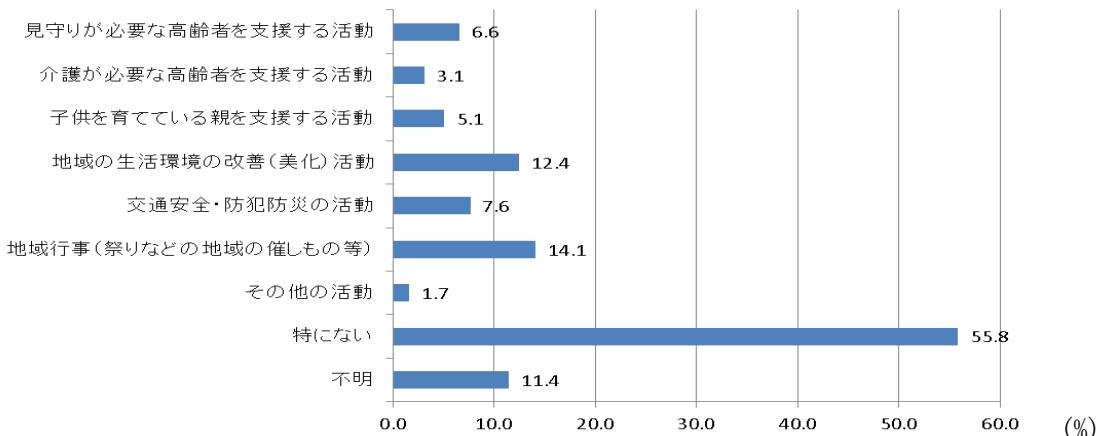
	回答者数 (人) (複数回答)	されないから 仕事などが忙しく、まつたく時間がと れないと 思う活動がないから	あれば休養などにあてたいが、時間 をとれないことではないから、時間 がと れないと 思う活動がないから	できる趣味などがあるから、一人で 思う活動がないから	団体活動はわざらわしいから、一人で 思う活動がないから	どんな団体や活動があるのか知ら ないから	職場などでサークル活動などに参 加しているから	健康や体力に自信がないから	地域の活動には関心がないから	外出する手段がないから 手助けが必要から	送迎や誰か	その他	不明
全体	2,136	16.2	19.6	25.7	23.6	20.2	2.1	13.4	10.4	1.2	5.6	3.2	
65～69歳	849	21.7	23.6	23.6	21.9	22.5	2.4	7.8	10.1	0.4	5.5	1.6	
70～74歳	633	17.7	18.2	27.3	25.3	20.4	2.8	12.2	12.5	1.4	5.7	4.6	
75～79歳	339	10.6	16.5	31.0	25.1	16.8	1.8	16.5	8.0	0.9	4.4	3.5	
80～84歳	169	4.1	14.8	21.3	20.1	14.8	0.6	32.0	8.9	3.0	7.7	4.7	
85歳以上	81	2.5	16.0	19.8	32.1	12.3	0.0	27.2	9.9	4.9	7.4	2.5	

(70) 今後参加したい活動

Q62. あなたは、今後、参加してみたいと思う地域の活動はありますか。(あてはまる全てに○)

「特になし」が55.8%で最も高くなっているが、参加してみたい人は「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」が14.1%、「地域の生活環境の改善（美化）活動」が12.4%となっている。

n=3,139 (複数回答)



[日常生活圏域]

「地域行事（祭りなどの地域の催しもの等）」では小金地区が17.6%、「地域の生活環境の改善（美化）活動」では東部地区が18.1%で高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	見る 見 守 り が 必 要 な 高 齢 者 を 支 援 す る 活 動	介 護 が 必 要 な 高 齢 者 を 支 援 す る 活 動	子 供 を 育 て て い る 親 を 支 援 す る 活 動	地 域 の 活 動	地 域 の 生 活 環 境 の 改 善 (美 化)	交 通 安 全 ・ 防 犯 防 災 の 活 動	地 域 行 事 (祭 り な ど の 地 域 の 催 し も の 等)	其 他 の 活 動	特 に な し	不 明	
全体	3,139	6.6	3.1	5.1	12.4	7.6	14.1	1.7	55.8	11.4		
本庁地区	146	8.9	2.7	4.1	11.0	5.5	12.3	1.4	59.6	11.6		
明第1地区	270	5.9	3.0	6.3	11.9	7.0	12.6	1.9	54.1	14.4		
明第2東地区	119	8.4	5.9	8.4	14.3	10.1	14.3	1.7	53.8	11.8		
明第2西地区	168	7.1	1.2	4.8	12.5	8.9	13.7	0.0	57.1	12.5		
矢切地区	134	7.5	4.5	5.2	13.4	8.2	13.4	2.2	55.2	9.0		
東部地区	221	5.0	1.4	3.6	18.1	8.6	10.4	0.0	54.8	12.2		
常盤平地区	425	6.6	3.8	6.4	11.1	6.4	15.8	1.2	57.2	11.3		
五香松飛台地区	216	5.1	2.8	2.8	11.6	8.3	16.2	1.4	57.4	9.3		
六実六高台地区	128	7.0	2.3	4.7	12.5	10.9	16.4	1.6	56.3	9.4		
馬橋地区	211	7.1	3.3	6.2	11.8	4.7	13.7	0.9	60.2	9.0		
小金地区	244	8.6	3.7	3.7	12.7	12.3	17.6	3.3	47.1	12.3		
小金原地区	200	5.5	4.0	5.0	9.5	8.0	14.0	2.5	53.0	13.5		
新松戸地区	242	7.4	2.9	5.0	12.8	5.8	15.3	2.5	58.3	6.6		
馬橋西地区	130	6.2	2.3	5.4	14.6	10.0	13.1	3.1	56.9	9.2		

[性別]

男性は「交通安全・防犯防災の活動」(12.1%)、「地域の生活環境の改善（美化）活動」(15.4%) が女性(3.5%、9.4%) より8.6ポイント、6.0ポイント高くなっている。

一方、女性は「見守りが必要な高齢者を支援する活動」(8.4%)、「子供を育てている親を支援する活動」(6.3%) で男性(4.6%、3.5%) より3.8ポイント、2.8ポイント高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	見る活動による介護が必要な高齢者を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子供を育てている親を支援する活動	地域の生活環境の改善（美化）活動	交通安全・防犯防災の活動	催しもの等（地域行事（祭りなど）の地域の活動）	その他の活動	特にない	不明	(%)
全体	3,139	6.6	3.1	5.1	12.4	7.6	14.1	1.7	55.8	11.4	
男性	1,476	4.6	2.4	3.5	15.4	12.1	14.9	1.8	57.9	7.6	
女性	1,578	8.4	3.8	6.3	9.4	3.5	13.2	1.6	54.3	15.0	

[年齢]

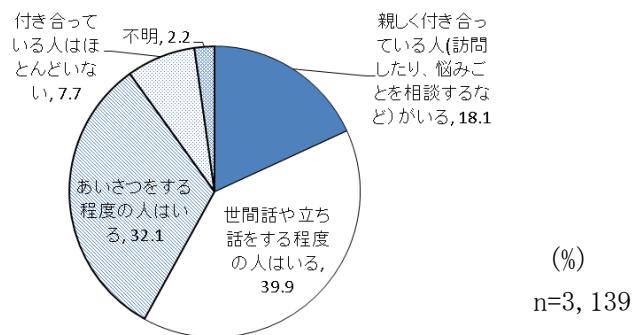
ほとんどの項目で65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”が75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”より高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	見る活動による介護が必要な高齢者を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子供を育てている親を支援する活動	地域の生活環境の改善（美化）活動	交通安全・防犯防災の活動	催しもの等（地域行事（祭りなど）の地域の活動）	その他の活動	特にない	不明	(%)
全体	3,139	6.6	3.1	5.1	12.4	7.6	14.1	1.7	55.8	11.4	
65～69歳	1,187	8.8	3.5	7.4	14.3	8.6	16.1	1.7	55.2	6.7	
70～74歳	960	6.5	2.6	4.5	13.2	8.1	14.5	1.9	54.3	12.3	
75～79歳	522	4.2	3.8	3.4	10.3	7.5	12.6	1.3	56.3	15.3	
80～84歳	261	2.3	1.9	0.8	6.5	3.8	8.4	1.5	61.7	19.5	
85歳以上	114	5.3	3.5	0.9	6.1	4.4	8.8	0.9	63.2	16.7	

(71) 隣近所とのつきあいの程度

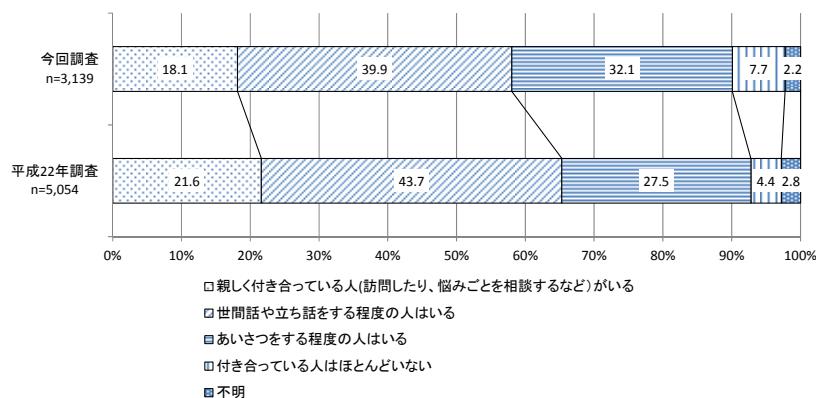
Q63. あなたは、日頃から、隣近所の方とどの程度のお付き合いをしていますか。(1つに○)

「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が39.9%で最も高く、以下、「あいさつをする程度の人はいる」が32.1%、「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が18.1%、「付き合っている人はほとんどいない」が7.7%となっている。



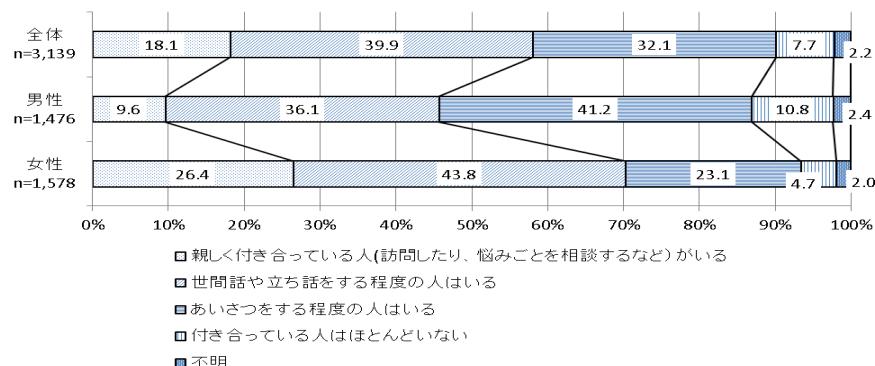
[経年比較]

「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が3.5ポイント、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」は3.8ポイント減少し、「あいさつをする程度の人はいる」が4.6ポイント増加していて、人間関係が希薄になっている。



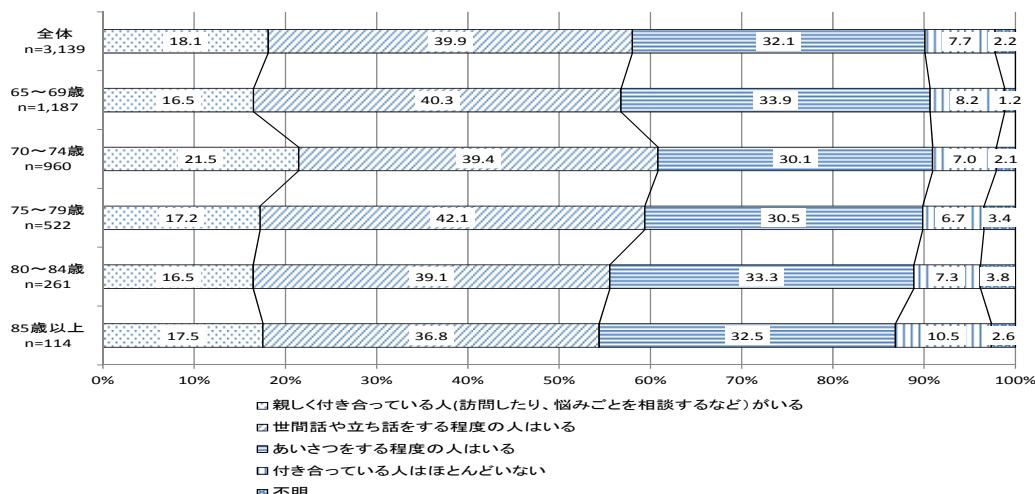
[性別]

「あいさつをする程度の人はいる」は男性（41.2%）が女性（23.1%）より18.1ポイント高くなっている。一方、「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」は女性（26.4%）が男性（9.6%）より16.8ポイント高くなっている。



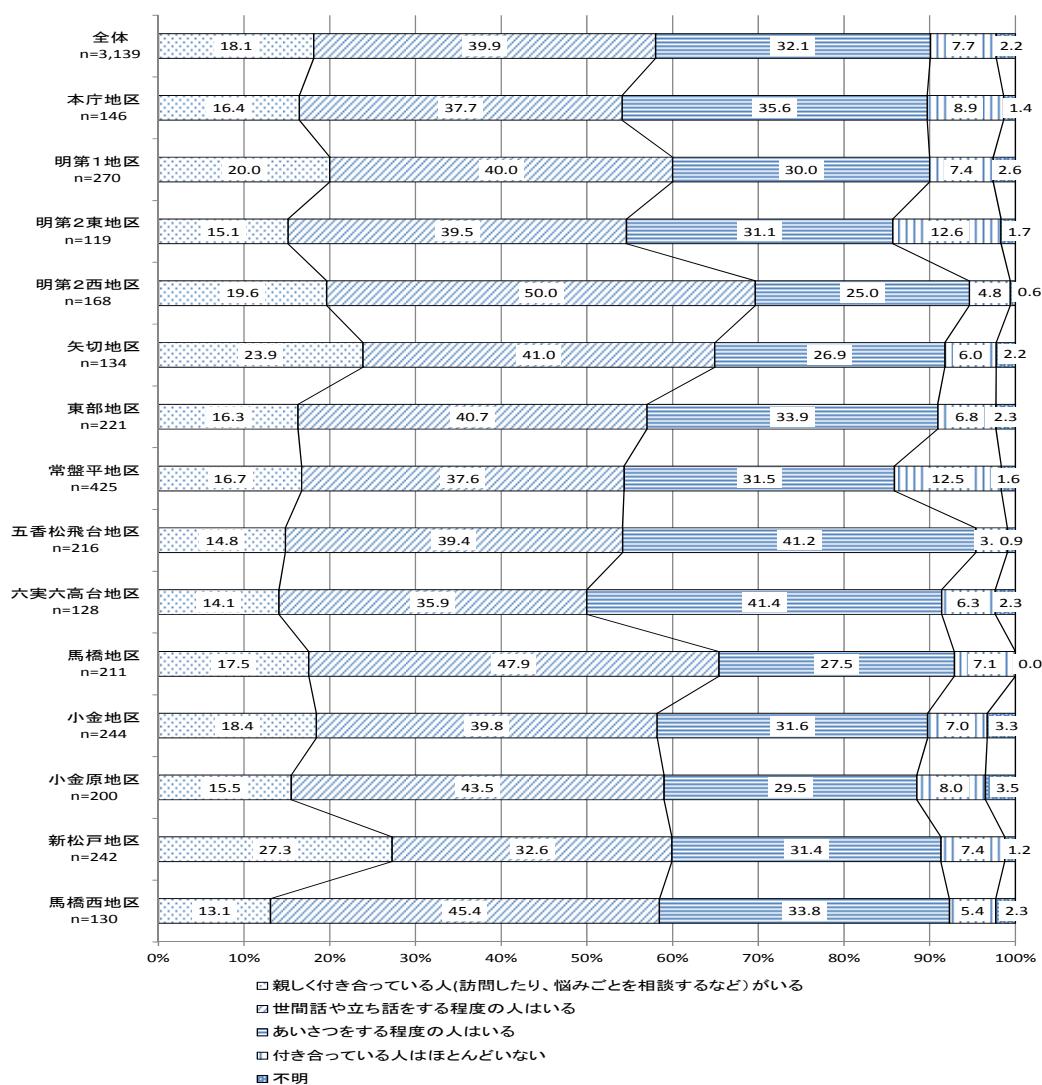
[年齢]

他の年代に比べ、70～74歳は「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が若干高くなっている。



[日常生活圏域]

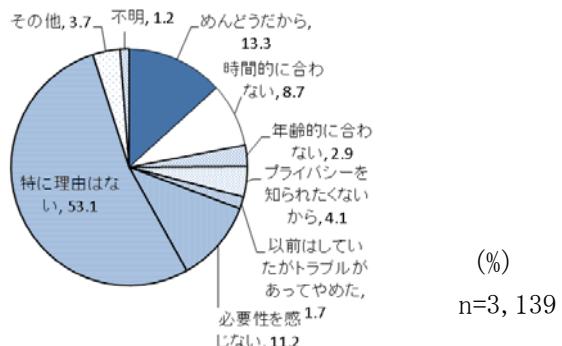
「親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」は新松戸地区（27.3%）が、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」は明第2西地区（50.0%）が、「あいさつをする程度の人はいる」は六実六高台地区（41.4%）で高くなっている。



(72) 不付き合い理由

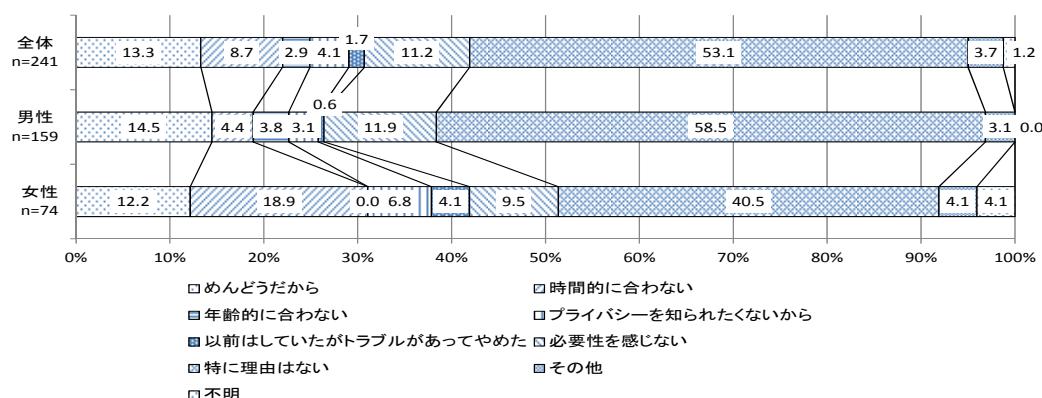
Q63-1. あなたが、隣近所の方とほとんどお付き合いしない理由を教えてください。(1つに○)

「特に理由はない」が53.1%で最も高くなっているが、「めんどうだから」が13.3%、「必要性を感じない」が11.2%、「時間的に合わない」が8.7%、「プライバシーを知られたくないから」が4.1%などとなっている。



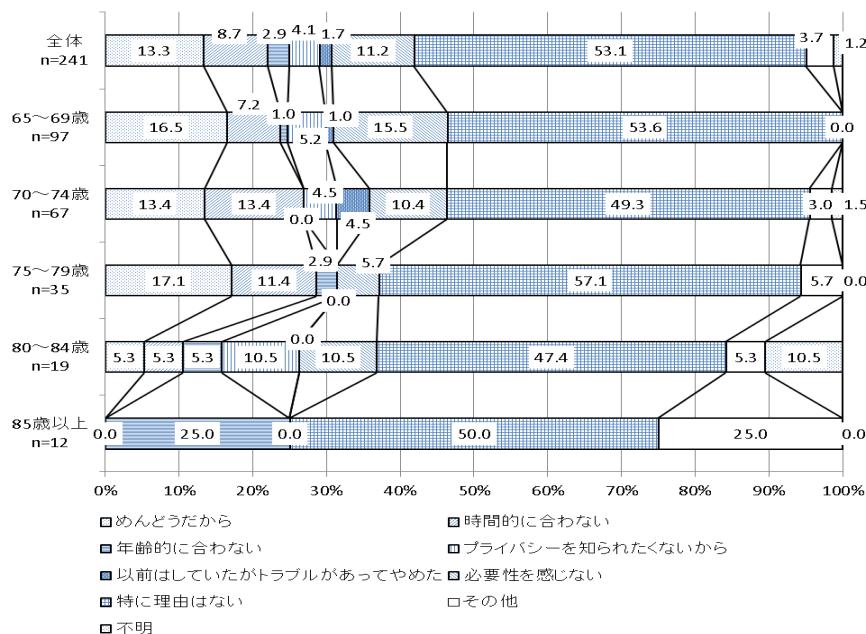
[性別]

「時間的に合わない」は女性の18.9%が男性の4.4%より14.5ポイント高くなっている。



[年齢]

85歳以上がほかの年代に比べて「年齢的に合わない」が突出して高くなっている。

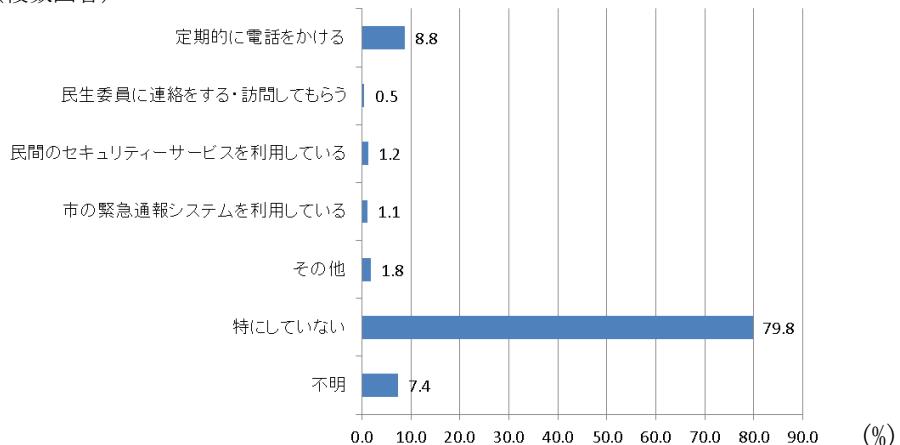


(73) 安全利用サービス

Q64. あなたは普段、安全確保や安否確認のために、していることや利用しているサービスはありますか。(あてはまる全てに○)

「特にしていない」が79.8%で最も高くなっているが、行動している人は「定期的に電話をかける」が8.8%となっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

安否確認などの行動すべてにおいて、女性は男性より高くなっている。

	回答 者 数 (人) (複数回)	定期的に電話をかける	問 民 生 委 員 に 連 絡 を す る ・ 訪	ビ 民 間 を 利 用 し て い る セ キ ュ リ テ イ サ ー	市 の 緊 急 通 報 シ ス テ ム を 利	そ の 他	特 に し て い な い	不 明
全体	3,139	8.8	0.5	1.2	1.1	1.8	79.8	7.4
男性	1,476	7.0	0.3	0.7	0.5	1.7	85.4	4.7
女性	1,578	10.8	0.7	1.8	1.5	2.0	74.8	9.3

[年齢]

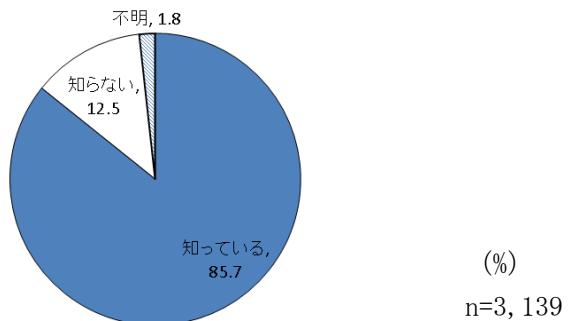
いずれの年代においても、行動している人は「定期的に電話をかける」が最も高くなっている。

	回答 者 数 (人) (複数回)	定期的に電話をかける	問 民 生 委 員 に 連 絡 を す る ・ 訪	ビ 民 間 を 利 用 し て い る セ キ ュ リ テ イ サ ー	市 の 緊 急 通 報 シ ス テ ム を 利	そ の 他	特 に し て い な い	不 明
全体	3,139	8.8	0.5	1.2	1.1	1.8	79.8	7.4
65～69歳	1,187	6.3	0.3	1.4	0.4	1.6	85.9	4.3
70～74歳	960	10.6	0.5	0.9	1.0	2.0	78.9	6.6
75～79歳	522	9.2	0.4	1.3	2.1	1.3	77.4	9.4
80～84歳	261	13.0	1.1	1.1	1.1	1.9	68.6	14.2
85歳以上	114	10.5	2.6	2.6	1.8	5.3	64.0	13.2

(74) 避難場所

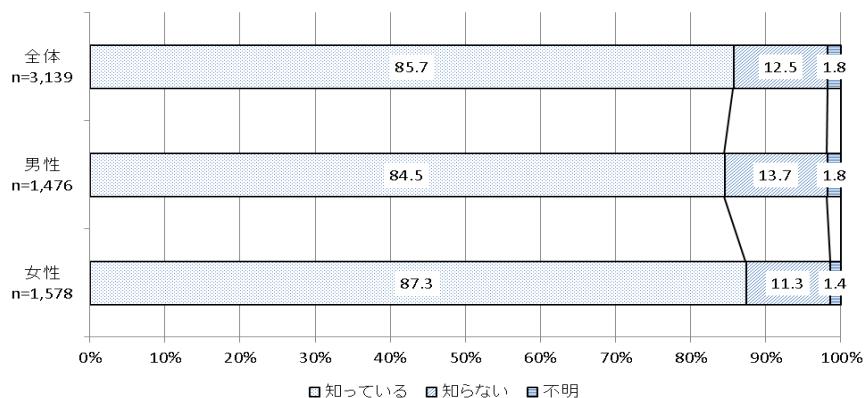
Q65. あなたは、災害などが起こったときに、どこに避難するか知っていますか。(どちらかに○)

「知っている」が85.7%で、「知らない」が12.5%となっている。



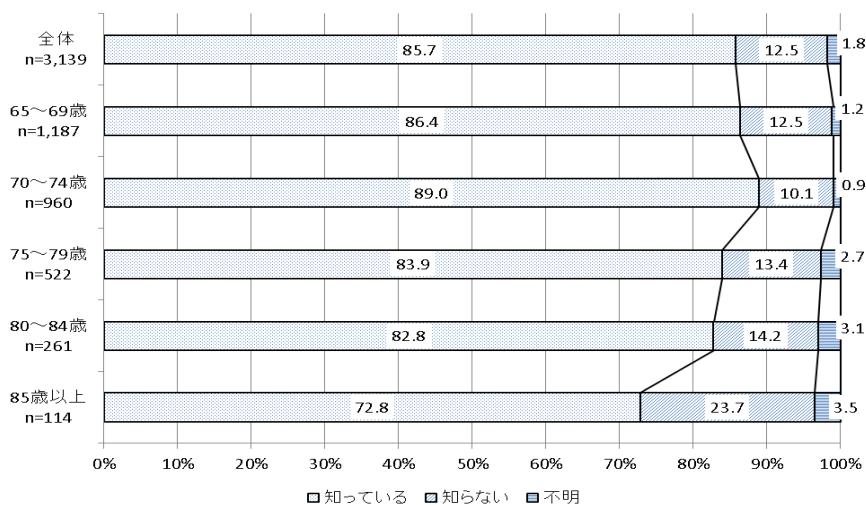
[性別]

「知っている」は女性（87.3%）が男性（84.5%）より2.8ポイント高くなっている。



[年齢]

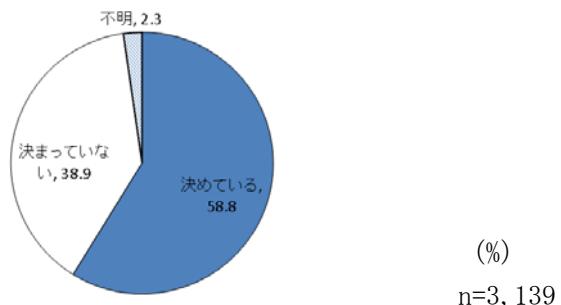
85歳以上がほかの年代に比べ、「知らない」割合が23.7%で高くなっている。



(75) 避難相手

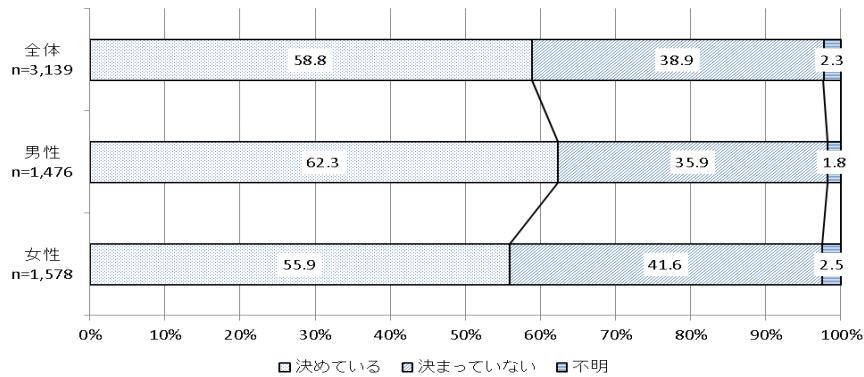
Q66. あなたは、災害などが起こったときに、どなたと避難するか決めていますか。(どちらかに○)

「決めている」が58.8%で、「決まっていない」が38.9%となっている。



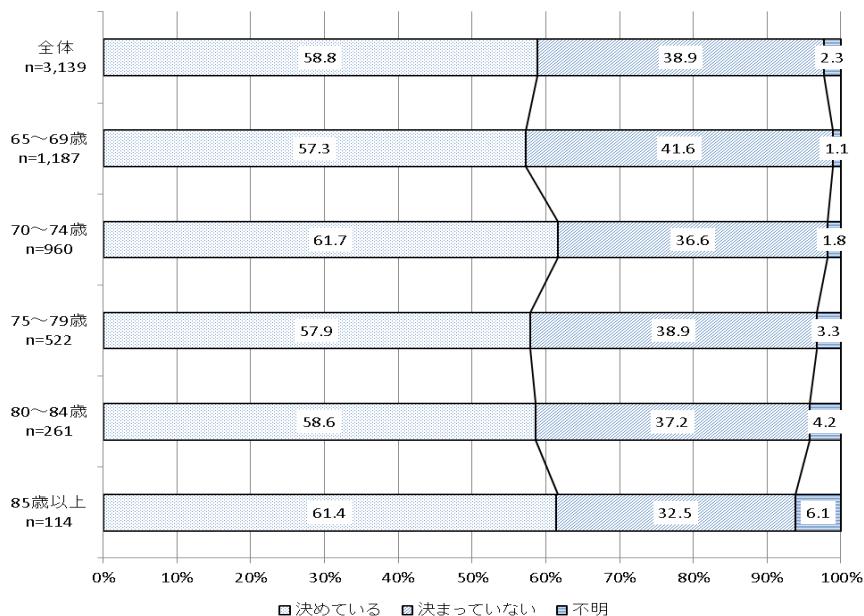
[性別]

「決めている」は男性（62.3%）が女性（55.9%）より6.4ポイント高くなっている。



[年齢]

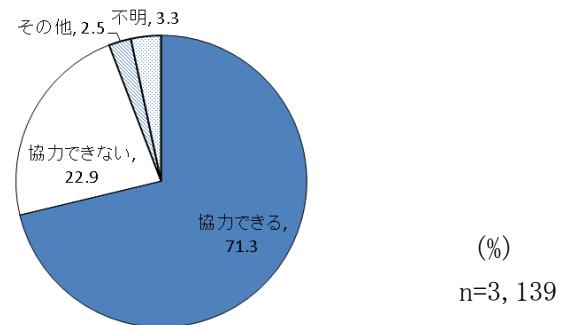
「決めている」は75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”が65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”より高くなっている。



(76) 避難支援

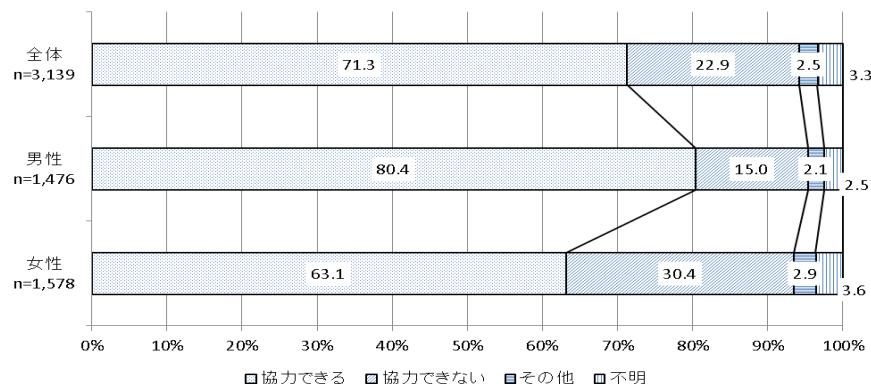
Q67. あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。(1つに○)

「協力できる」が71.3%で、「協力できない」が22.9%となっている。



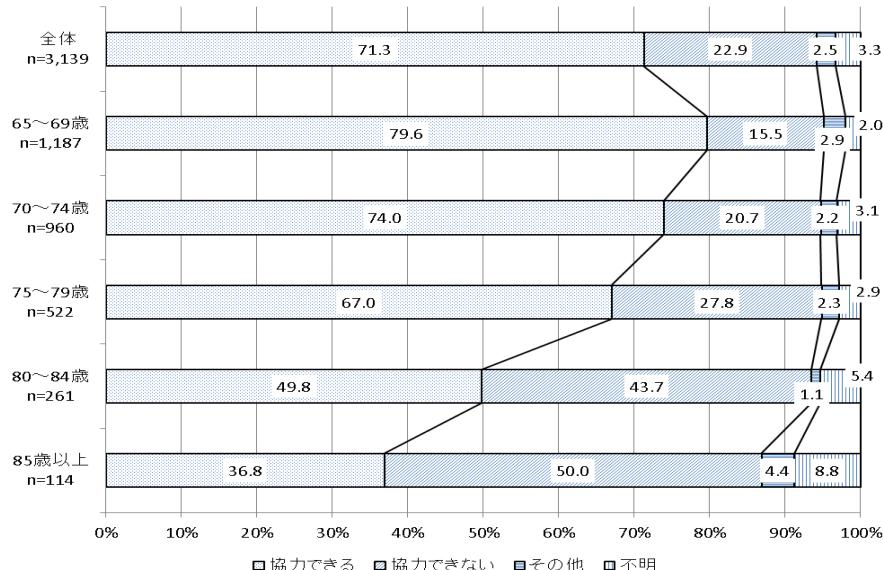
[性別]

「協力できる」は男性（80.4%）が女性（63.1%）より17.3ポイント高くなっている。



[年齢]

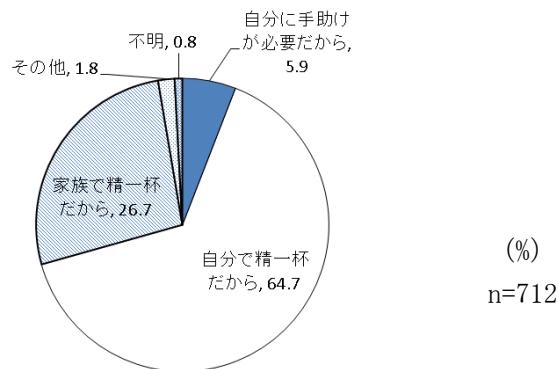
年代が上がるにつれ、「協力できる」割合が低くなっている。



(77) 非協力理由

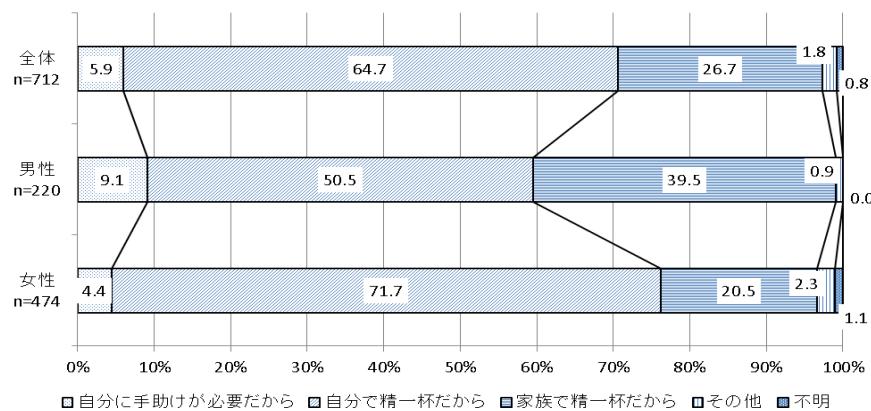
Q67-1. 協力できない理由を教えてください。(1つに○)

「自分で精一杯だから」が64.7%で最も高く、以下、「家族で精一杯だから」が26.7%、「自分に手助けが必要だから」が5.9%となっている。



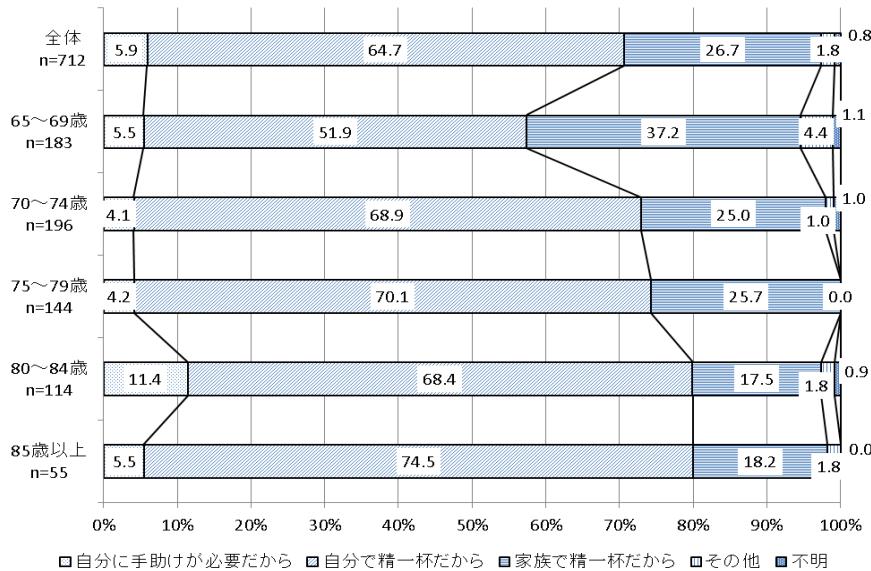
[性別]

「自分で精一杯だから」は女性(71.7%)が男性(50.5%)より21.2ポイント高くなっている。



[年齢]

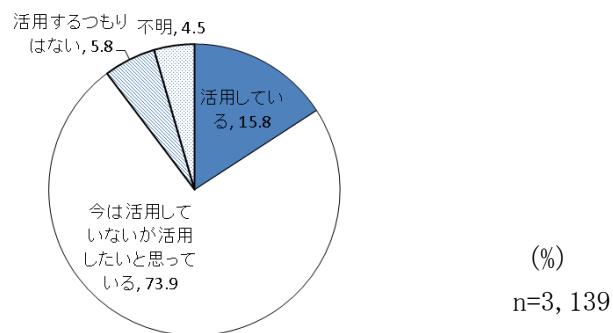
「自分に手助けが必要」な80~84歳が高くなっている。



(78) 緊急時情報

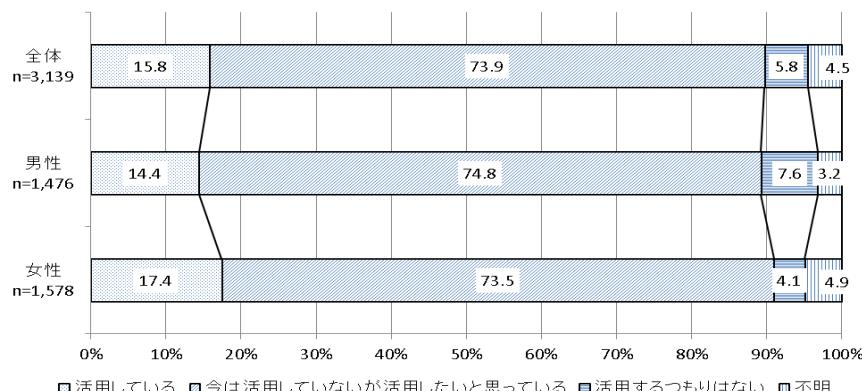
Q68. あなたは緊急時の対応として、家族の連絡先、病気や薬のことなどを記入した救急時情報用紙や安心キットなどを活用していますか。(1つに○)

「今は活用していないが活用したいと思っている」が73.9%で最も高く、以下、「活用している」が15.8%、「活用するつもりはない」が5.8%となっている。



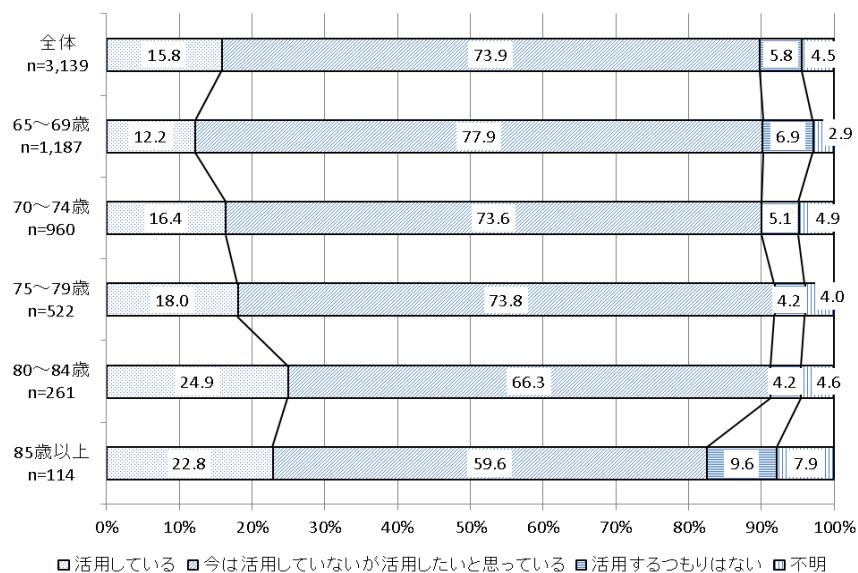
[性別]

「活用している」は女性（17.4%）が男性（14.4%）より3.0ポイント高くなっている。



[年齢]

他の年代に比べ、80～84歳は「活用している」が高くなっているが、85歳以上になると「利用するつもりはない」が高くなっている。

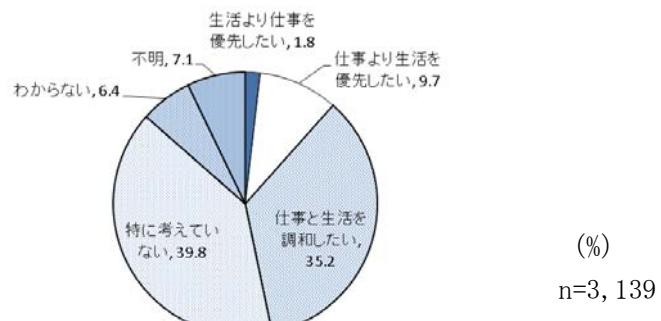


3. 生きがいやこころのハリについて

(1) ワークライフバランス

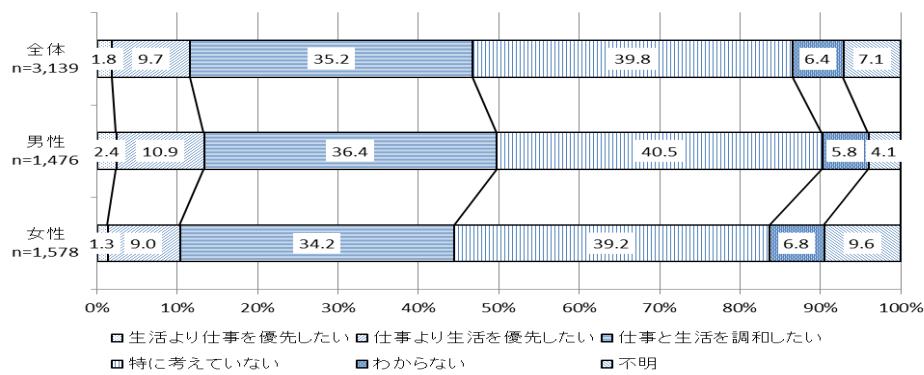
Q69. あなたは、ワークライフ（仕事と生活）のバランスについてどのように考えていますか。
(1つに○)

「特に考えていない」が39.8%で最も高く、以下、「仕事と生活を調和したい」が35.2%、「仕事より生活を優先したい」が9.7%、「生活より仕事を優先したい」が1.8%となっている。



[性別]

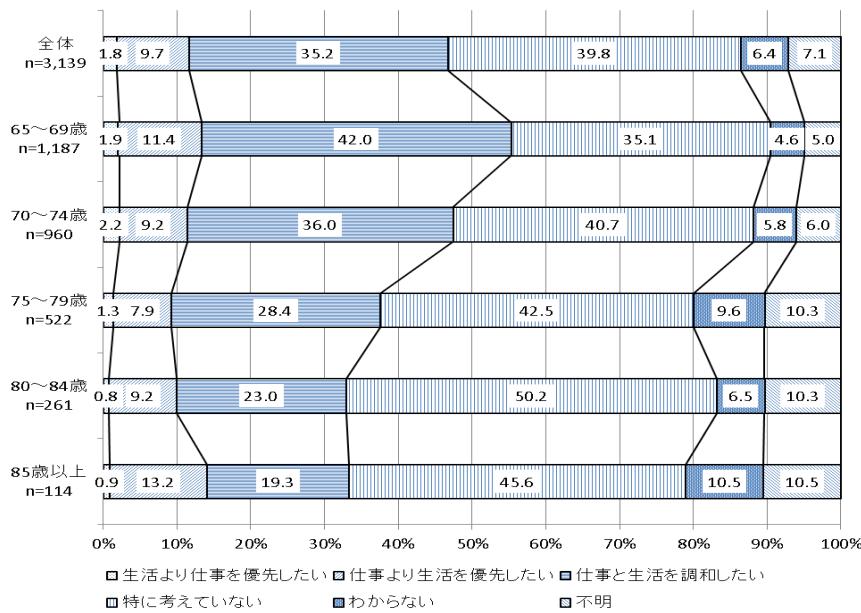
性別による大きな特徴の差はみられない。



□ 生活より仕事を優先したい □ 仕事より生活を優先したい □ 仕事と生活を調和したい
□ 特に考えていない □ わからぬ □ 不明

[年齢]

年代が上がるにつれ「仕事と生活を調和したい」が低下しているが、その分散先の傾向は見えない。

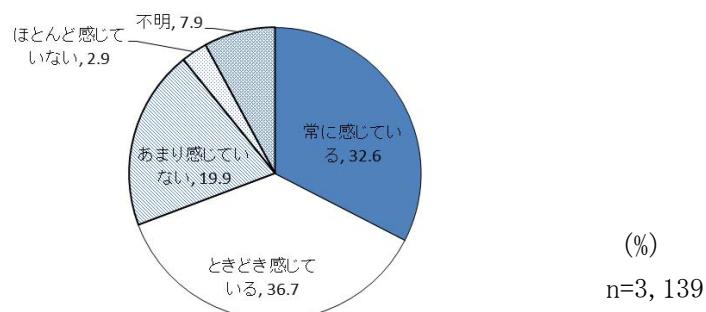


□ 生活より仕事を優先したい □ 仕事より生活を優先したい □ 仕事と生活を調和したい
□ 特に考えていない □ わからぬ □ 不明

(2) 日常での生きがい

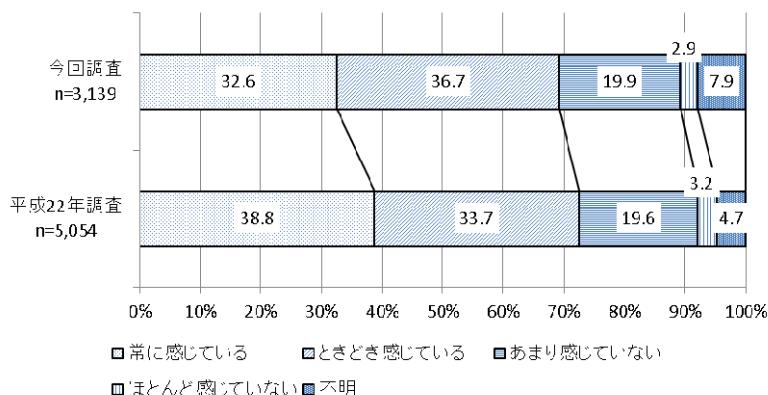
Q70. あなたは、日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。(1つに○)

「常に感じている」(32.6%)と「ときどき感じている」(36.7%)を合わせた『感じている』が69.3%、「あまり感じていない」(19.9%)と「ほとんど感じていない」(2.9%)を合わせた『感じていない』が22.8%となっている。



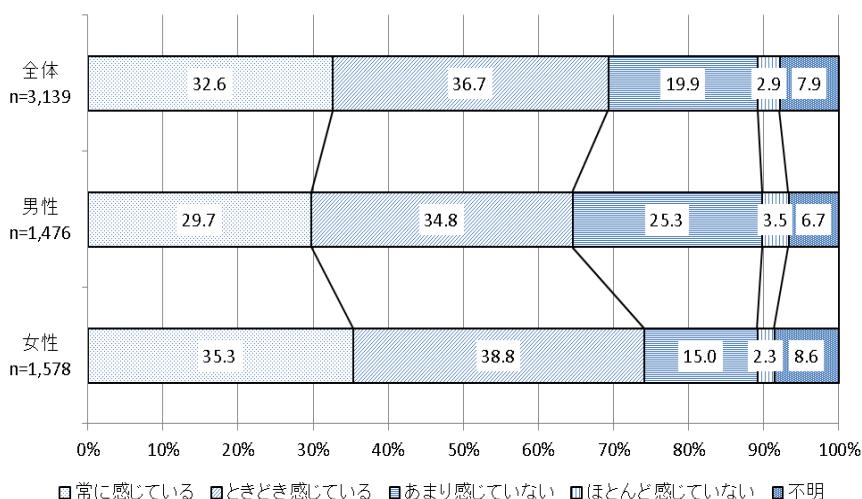
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、『感じている』が3.2ポイント低下している。



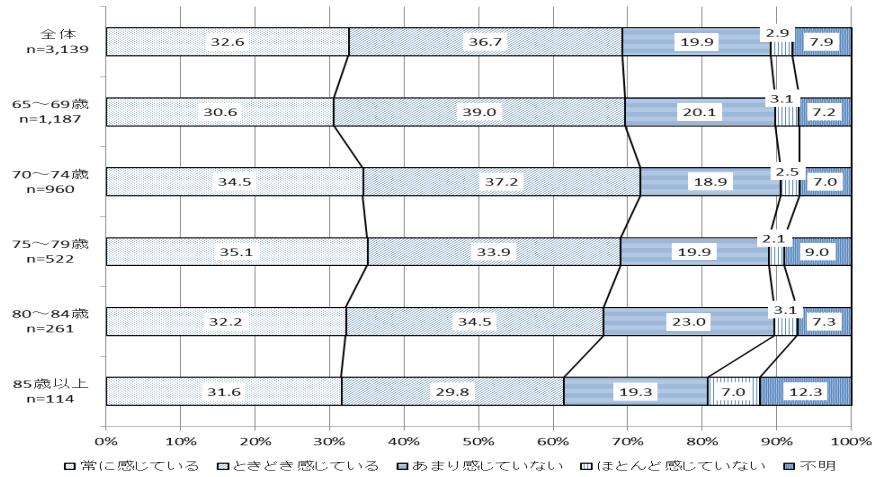
[性別]

「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は女性 (74.1%) が男性 (64.5%) より9.6ポイント高くなっている。



[年齢]

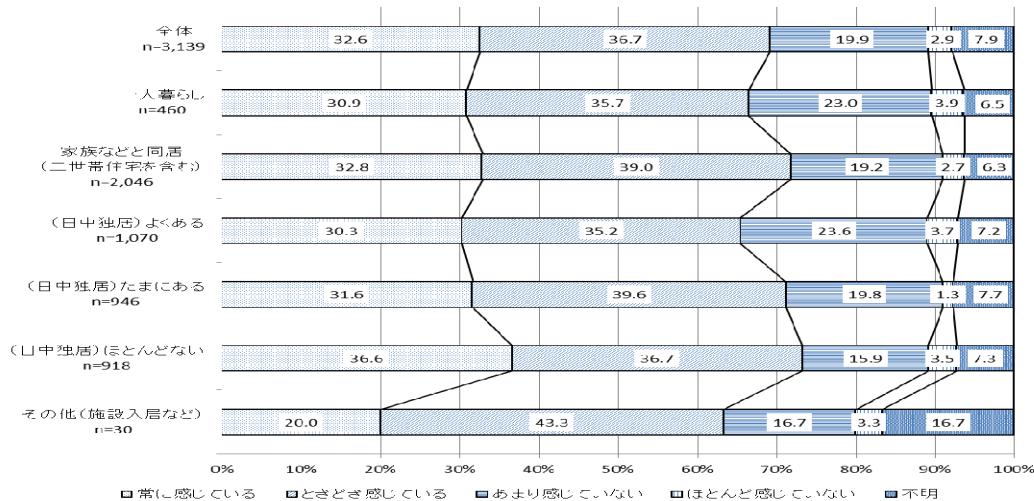
「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は65～74歳の70.5%が75歳以上の67.3%より3.2ポイント高くなっている。



[一人暮らし・日中独居]

「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は家族などと同居（二世帯住宅を含む）（71.8%）で最も高く、一人暮らし（66.6%）より5.2ポイント高くなっている。

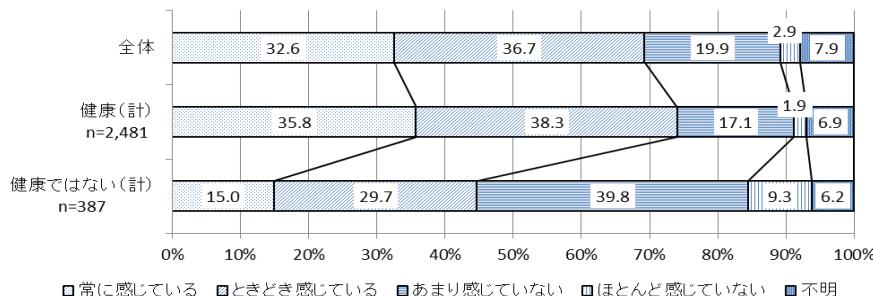
また、家族などと同居の中では、『感じている』は日中独居ほとんどない（75.6%）で最も高く、日中独居よくある（67.8%）より7.8ポイント高くなっている。



※日中独居の“よくある”“たまにある”“ほとんどない”は“家族などと同居（二世帯住宅を含む）”の内訳

[健康だと思うか]

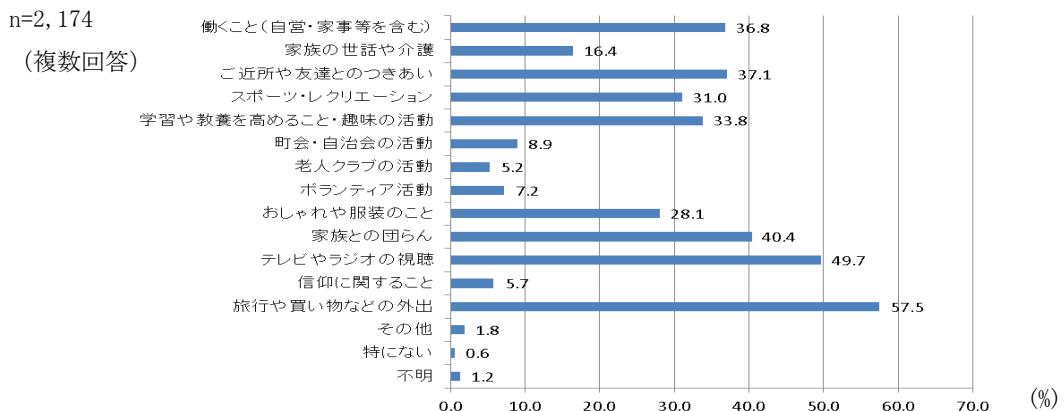
「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』は“健康（計）”（74.1%）が“健康ではない（計）”（44.7%）より29.4ポイント高くなっている。



(3) 生きがいを感じること

Q70-1. あなたが、現在「こころのハリ」や「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまる全てに○)

「旅行や買い物などの外出」が57.5%で最も高く、以下、「テレビやラジオの視聴」が49.7%、「家族との団らん」が40.4%、「ご近所や友達とのつきあい」が37.1%、「働くこと（自営・家事等を含む）」が36.8%、「学習や教養を高めること・趣味の活動」が33.8%などとなっている。



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、「テレビやラジオの視聴」は14.1ポイント、「おしゃれや服装のこと」は12.5ポイント、「家族との団欒」は10.9ポイントなど全体的に増加しており、唯一「働くこと（自営・家事等を含む）」のみ0.3ポイント微減している。

	回答者数(人)(複数回答)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	旅行や買い物などの外出	その他	特にない	不明
今回調査	2,174	36.8	16.4	37.1	31.0	33.8	8.9	5.2	7.2	28.1	40.4	49.7	5.7	57.5	1.8	0.6	1.2
平成22年調査	3,664	37.1	13.3	27.5	25.8	28.7	4.6	4.8	6.9	15.6	29.5	35.6	4.6	4.3	0.7	1.8	

[性別]

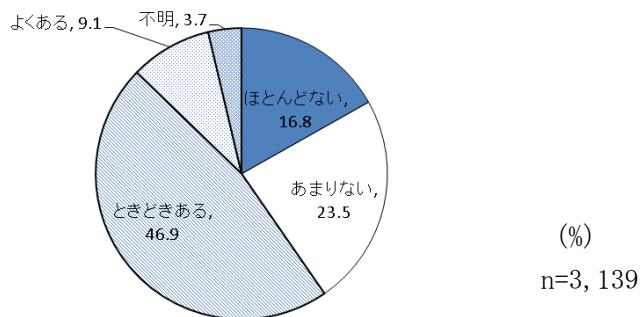
「スポーツ・レクリエーション」、「働くこと（自営・家事等を含む）」は男性が高く、「おしゃれや服装のこと」、「ご近所や友達とのつきあい」、「家族の世話や介護」は女性が高くなっている。

	回答者数(人)(複数回答)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装のこと	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰に関すること	旅行や買い物などの外出	その他	特にない	不明
全体	2,174	36.8	16.4	37.1	31.0	33.8	8.9	5.2	7.2	28.1	40.4	49.7	5.7	57.5	1.8	0.6	1.2
男性	952	39.2	9.6	26.5	36.4	31.6	9.9	3.9	6.4	12.3	39.5	47.6	3.8	52.1	2.2	0.7	0.6
女性	1,169	34.9	22.2	45.9	26.9	36.3	7.9	6.0	8.0	41.1	40.8	51.6	7.2	62.0	1.6	0.4	1.8

(4) 生活での不安・心配

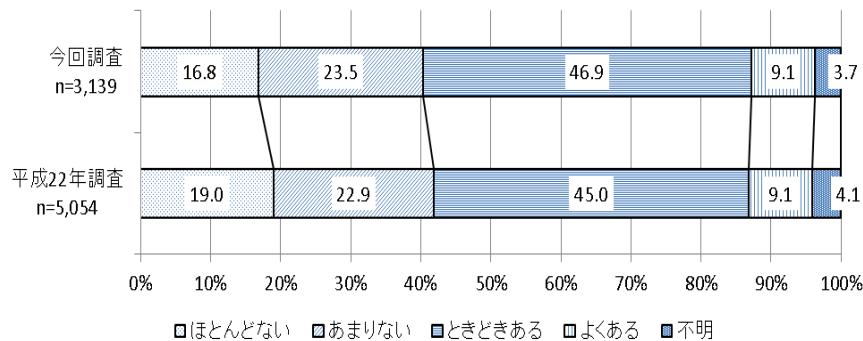
Q71. あなたは、現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありませんか。(1つに○)

「ほとんどない」(16.8%)と「あまりない」(23.5%)を合わせた『ない』が40.3%、「ときどきある」(46.9%)と「よくある」(9.1%)を合わせた『ある』が56.0%となっている。



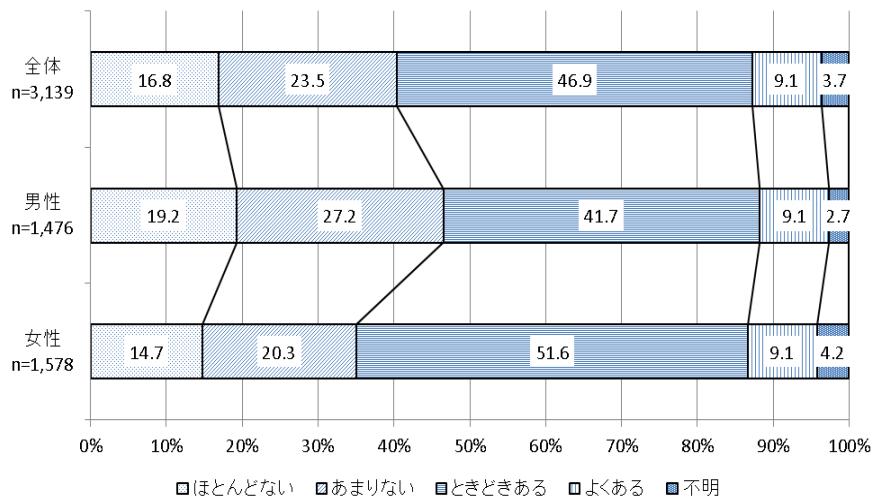
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、大きな特徴の差はみられない。。



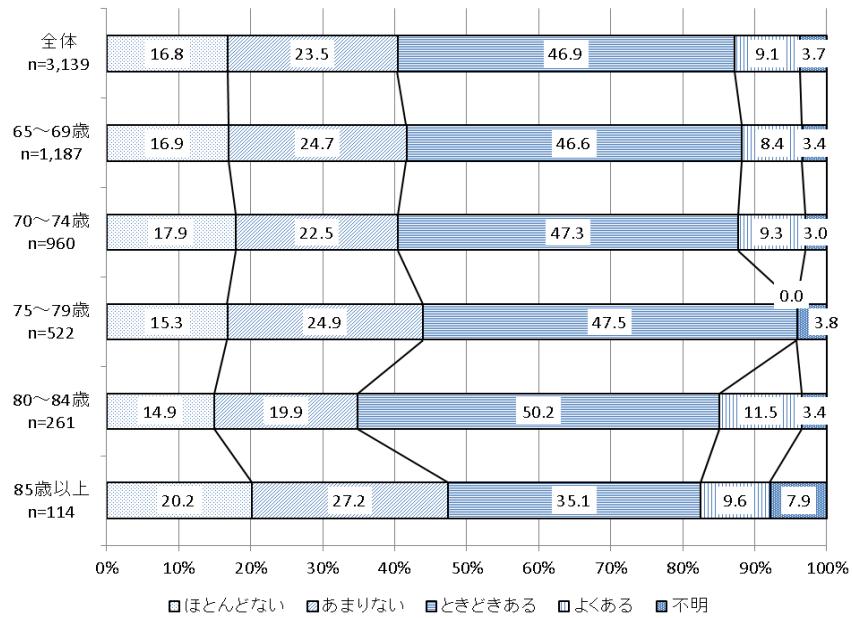
[性別]

『ある』女性 (60.7%) は男性 (50.8%) より 9.9 ポイント高くなっている。



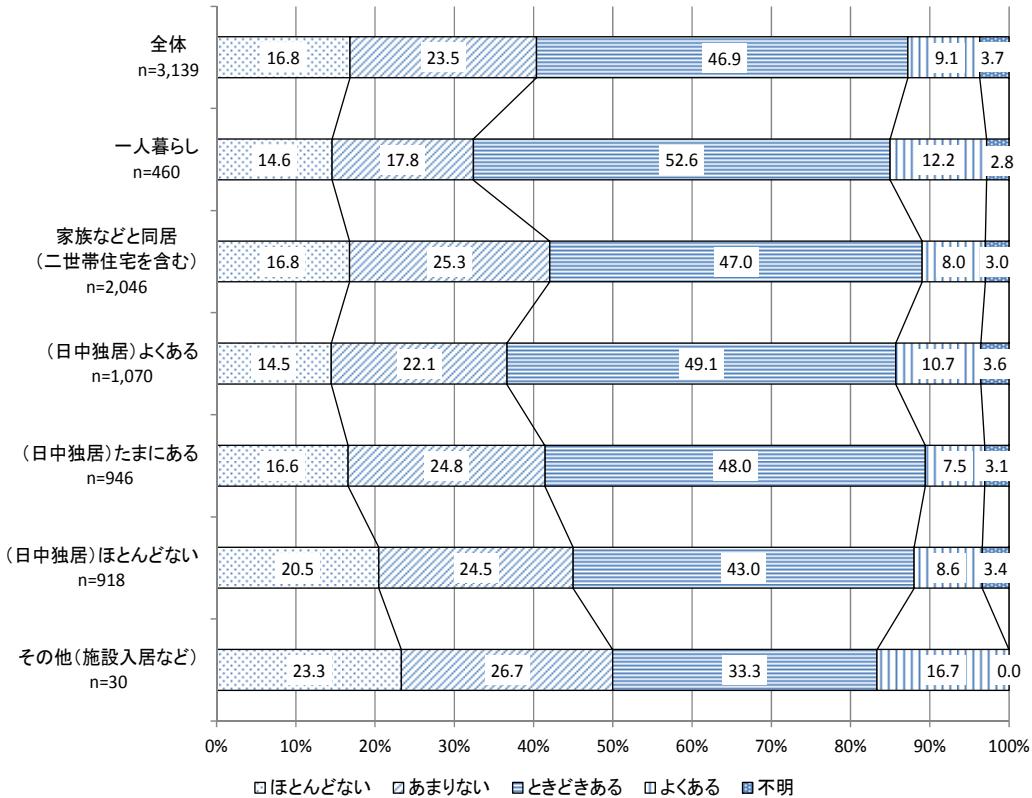
[年齢]

75～79歳「よくある」が0.0%となっている。



[一人暮らし・日中独居]

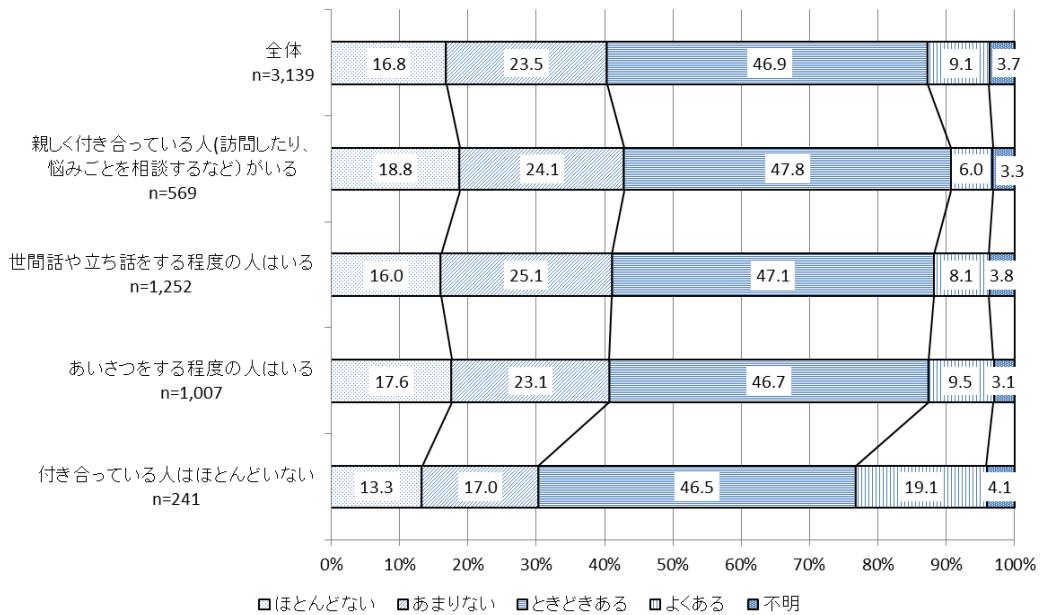
一人暮らし、家族などと同居でも日中独居ありほど、『ある』が高くなっている。



※日中独居“よくある”“たまにある”“ほとんどない”は“家族などと同居（二世帯住宅を含む）”の内訳

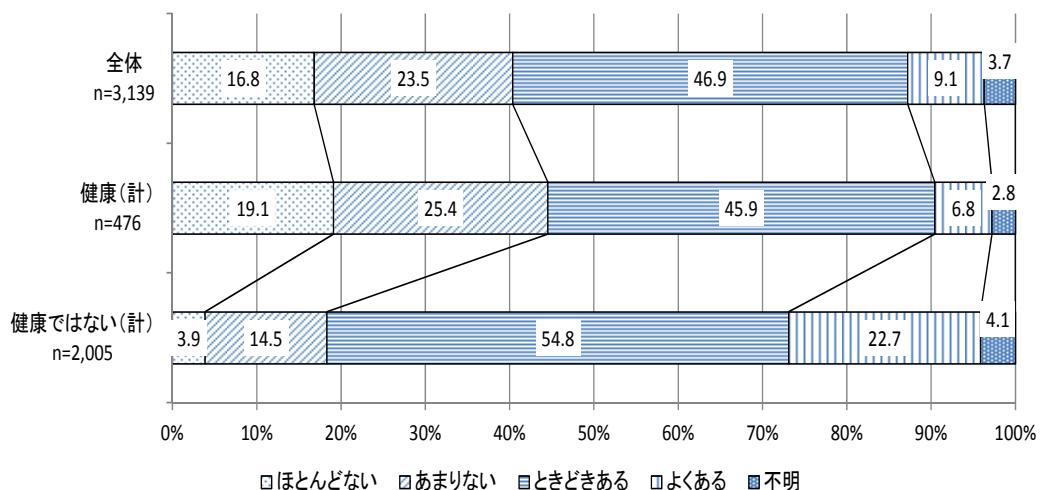
[隣近所とのつきあい]

『ない』は“親しくつきあっている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる”（42.9%）が、逆に『ある』は“つきあっている人はほとんどいない”（65.6%）が最も高くなっている。



[健康だと思うか]

『ある』は“健康ではない（計）”（77.5%）が“健康（計）”（52.7%）より24.8ポイント高くなっている。

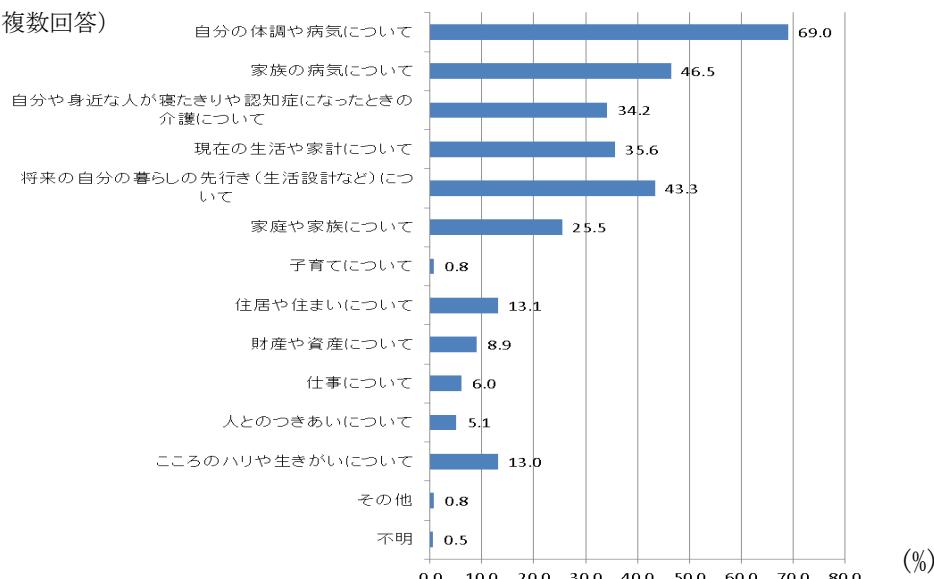


(5) 不安・心配の内容

Q71-1. あなたが、不安になったり、心配になったりするのはどのようなことですか。(あてはまる全てに○)

「自分の体調や病気について」が69.0%で最も高く、以下、「家族の病気について」が46.5%、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が43.3%、「現在の生活や家計について」が35.6%などとなっている。

n=1,756 (複数回答)



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、大きな特徴の差はみられない。

	回答者数 (人) (複数回答)	自分の体調や病気について	家族の病気について	自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいについて	その他	不明
今回調査	1,756	69.0	46.5	34.2	35.6	43.3	25.5	0.8	13.1	8.9	6.0	5.1	13.0	0.8	0.5
平成22年調査	2,734	67.8	38.8	31.2	32.7	41.4	28.1	12.7	8.7	6.9	4.9	9.8	1.4	1.0	

[性別]

「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」、「こころのハリや生きがいについて」が男性より女性が高く、平均寿命の差による傾向も伺える。

	回答者数 (人) (複数回答)	自分の体調や病気について	家族の病気について	自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人とのつきあいについて	こころのハリや生きがいについて	その他	不明
全体	1,756	69.0	46.5	34.2	35.6	43.3	25.5	0.8	13.1	8.9	6.0	5.1	13.0	0.8	0.5
男性	750	70.7	49.7	29.1	37.5	40.0	28.1	1.2	14.5	11.9	9.7	5.1	10.7	1.1	0.3
女性	958	68.3	43.9	38.0	33.6	45.9	23.1	0.4	11.8	6.8	3.1	5.1	14.6	0.6	0.7

第2章 一般高齢者調査

[年齢]

75歳以上になると「自分の体調や病気について」が突出して高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	自分の体調や病気について	家族の病気について	自分や身近な人が寝たきりや認知症について	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生）	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人のつきあいについて	この日のハリや生きがいについて	その他	不明
全体	1,756	69.0	46.5	34.2	35.6	43.3	25.5	0.8	13.1	8.9	6.0	5.1	13.0	0.8	0.5
65～69歳	653	65.5	45.6	35.1	38.3	47.3	27.0	1.2	12.3	10.3	8.4	6.1	13.9	0.9	0.3
70～74歳	543	65.4	45.1	33.0	36.6	44.9	24.7	0.4	13.3	7.2	5.3	3.1	12.3	1.1	0.2
75～79歳	292	75.7	52.1	34.9	36.6	41.8	28.8	1.0	15.1	10.3	4.8	6.8	13.0	0.3	1.4
80～84歳	161	80.7	44.7	32.9	22.4	31.1	14.9	0.0	10.6	9.9	1.9	3.7	8.1	0.6	1.2
85歳以上	51	84.3	47.1	33.3	17.6	21.6	21.6	0.0	11.8	3.9	2.0	3.9	17.6	0.0	0.0

[一人暮らし・日中独居]

暮らしが形態に関わらず、「自分の体調や病気について」が最も高く、次いで、一人暮らしは「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」、家族などと同居（二世帯住宅を含む）は「家族の病気について」となっている。

	回答者数（人）（複数回答）	自分の体調や病気について	家族の病気について	自分や身近な人が寝たきりや認知症について	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生活）	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人のつきあいについて	この日のハリや生きがいについて	その他	不明
全体	1,756	69.0	46.5	34.2	35.6	43.3	25.5	0.8	13.1	8.9	6.0	5.1	13.0	0.8	0.5
一人暮らし	298	73.5	10.4	21.1	40.3	52.0	5.7	0.0	17.8	6.4	6.0	6.0	16.1	0.3	1.0
家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	1,125	68.2	54.9	37.3	34.7	42.0	29.9	0.9	11.9	10.0	5.8	5.2	12.4	1.1	0.4
(日中独居)よくある	343	71.1	46.6	33.5	31.2	40.5	29.2	0.6	11.1	9.6	5.0	5.5	14.6	1.5	0.6
(日中独居)たまにある	391	67.5	56.5	40.7	35.5	44.8	33.8	0.5	13.8	12.5	3.8	3.6	12.5	1.0	0.5
(日中独居)ほとんどない	369	66.1	61.0	37.4	36.9	40.4	26.0	1.6	10.6	7.9	8.7	6.2	9.8	0.8	0.0
その他(施設入居など)	15	80.0	53.3	13.3	60.0	33.3	20.0	0.0	20.0	13.3	13.3	13.3	26.7	0.0	0.0

※日中独居 “よくある” “たまにある” “ほとんどない” は “家族などと同居（二世帯住宅を含む）” の内訳

[健康だと思うか]

「自分の体調や病気について」は“健康ではない（計）”（88.7%）が“健康（計）”（64.4%）より24.3ポイント高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	自分の体調や病気について	家族の病気について	自分や身近な人が寝たきりや認知症について	現在の生活や家計について	将来の自分の暮らしの先行き（生）	家庭や家族について	子育てについて	住居や住まいについて	財産や資産について	仕事について	人のつきあいについて	この日のハリや生きがいについて	その他	不明
全体	1,756	69.0	46.5	34.2	35.6	43.3	25.5	0.8	13.1	8.9	6.0	5.1	13.0	0.8	0.5
健康（計）	1,307	64.4	47.7	36.2	35.8	45.1	26.8	0.8	12.6	8.2	5.7	4.8	12.6	0.7	0.6
健康ではない（計）	300	88.7	43.7	27.0	35.3	35.3	21.0	1.0	12.3	11.7	6.7	5.0	13.7	1.3	0.3

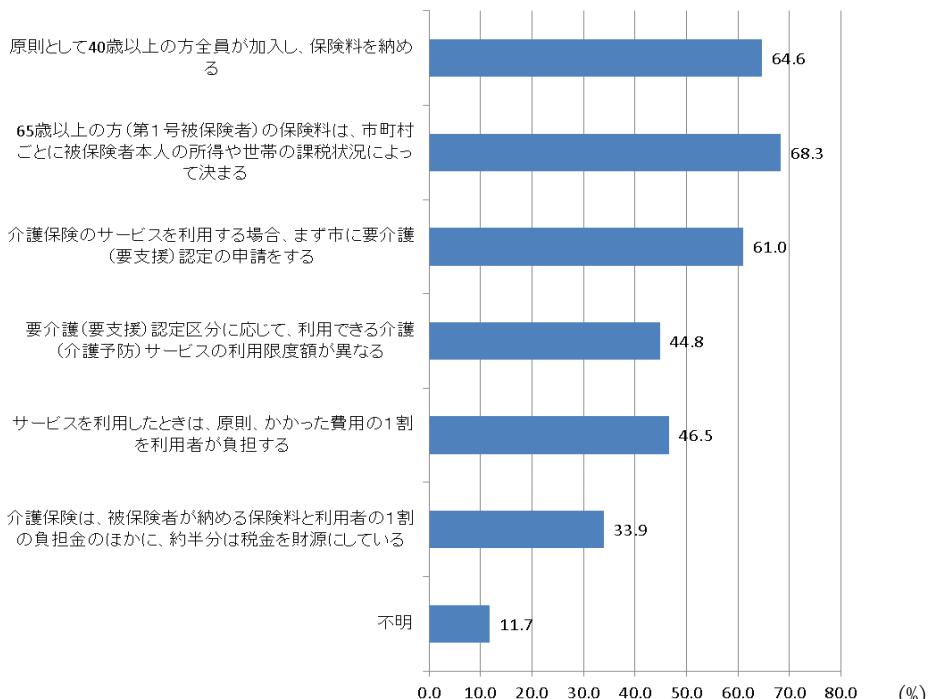
4. 介護保険や権利擁護の制度について

(1) 介護保険制度について

Q72. あなたは、次の介護保険制度について、知っているもの全てに○)

「65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決まる」が68.3%で最も高く、以下、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が64.6%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」が61.0%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果と比較して、全体的に認知度が高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	し原則として保険料を納める40歳以上の方全員が加入	得6や5世帯上の市上課税村方状況と第1よつ保被決本保まる人の所保	るず介市に保要介護のサ（要支）認用する申請をすま	用限で度きる額が異なる介護（要支）認定予防区分にサ（ビス）の利利	要介護（要支）認定予防区分にサ（ビス）の利利	かサ（ビス）の利利	は利税用護金保を財1は源割に、被負保して担保い金がほ納かめに保約保半料分と	不明
今回調査	3,139	64.6	68.3	61.0	44.8	46.5	33.9	11.7	
平成22年調査	5,054	57.6	61.6	58.9	44.7	44.9	28.1	9.8	

[性別]

「介護保険は、被保険者が納める保険料と利用者の1割の負担金のほかに、約半分は税金を財源にしている」以外は、男性より女性の認知度が高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める	て本の6決まる所料は上の市方（第1号被保険者つ者）	の合、護保険の申請をする市に要介護（要支援）認定の場	要、介護（要支援）認定区分に応じて、サービスの利用できる介護（要支援）認定区分に応じて、サービスの利用限度額が異なる	かかるサービスを利用したときは、原則、かかる費用の1割を利用する者が負担するか	に料介と護保険は、被保険者約半分は、税金を負担する者は、被保険者の負担金が納めている保険	不明
全体	3,139	64.6	68.3	61.0	44.8	46.5	33.9	11.7
男性	1,476	62.6	68.0	55.6	40.7	43.2	34.7	12.8
女性	1,578	67.1	69.1	67.0	49.9	50.7	33.8	10.1

[年齢]

年代が上がるにつれ、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」が低くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める	得險6や料5世帯は市町の課税状況によつて決まる本人の所保	るす介護保険のサービスを利用する場合、申請をすま	用限できる介護（要支援）認定区分に応じて、サービスの利	かかるサービスを利用したときは、原則、かかる費用の1割を利用する者が負担するか	は利税金を財源にしている保険半分と	不明
全体	3,139	64.6	68.3	61.0	44.8	46.5	33.9	11.7
65～69歳	1,187	68.3	74.4	62.1	49.6	45.3	32.2	8.7
70～74歳	960	68.2	70.7	63.3	45.0	48.0	35.2	9.7
75～79歳	522	60.3	60.2	59.6	41.8	47.9	34.3	14.4
80～84歳	261	55.2	61.3	64.0	39.1	52.9	41.8	14.6
85歳以上	114	49.1	50.0	47.4	41.2	43.9	34.2	28.9

[世帯構成別]

“その他（施設入所など）”のサービス利用者でさえ、「要介護（要支援）認定区分に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」、「サービスを利用したときは、原則、かかつた費用の1割を利用する者が負担する」の認知度が低くなっている。

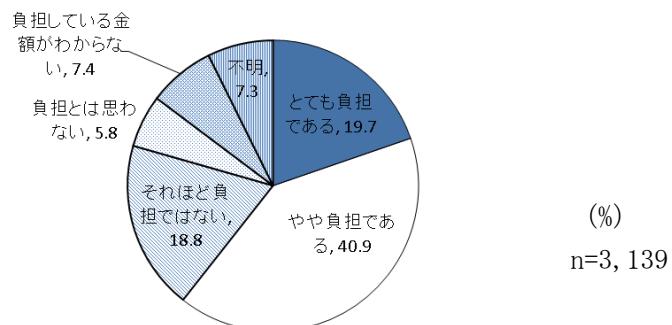
	回答者数（人）（複数回答）	原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める	るの保険6所得5歳やは以上、市町の課税状況によつて決まる本人の	をます市に要介護（要支援）認定の申請、	の利利用できる介護（要支援）認定区分に応じて、サービスの利用限度額が異なる	かかるサービスを利用したときは、原則、かかる費用の1割を利用する者が負担するか	半と介護保険は、被保険者の負担金を財源にしている保険約料	不明
全体	3,139	64.6	68.3	61.0	44.8	46.5	33.9	11.7
一人暮らし	460	60.4	66.7	61.5	43.5	46.7	34.3	13.7
家族などと同居（二世帯住宅を含む）	2,046	68.5	71.7	64.4	49.0	49.0	35.6	9.1
その他（施設入居など）	30	63.3	56.7	60.0	26.7	30.0	36.7	16.7

(2) 介護保険料の今後

Q73. 今後、65歳以上の方が増加し、要介護の認定対象者が増加する一方、それを支える40歳から64歳までの方は減少していきます。あなたは、負担する費用と受けられるサービスについて最も近い考え方はどれですか。(それぞれ1つに○)

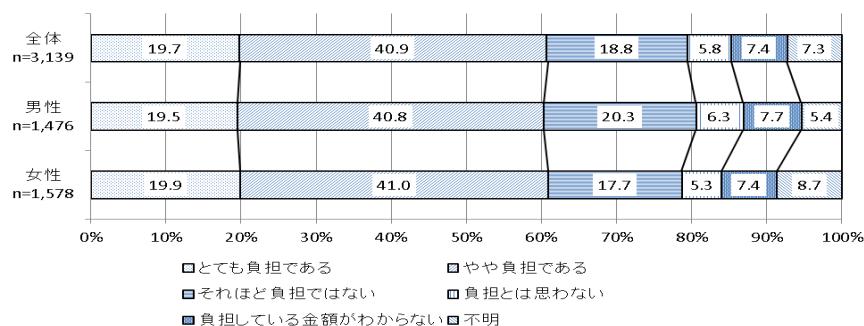
<負担している保険料>

「とても負担である」(19.7%) と「やや負担である」(40.9%) を合わせた『負担である』が60.6%、「負担とは思わない」(5.8%) と「それほど負担ではない」(18.8%) を合わせた『負担ではない』が24.6%となっている。



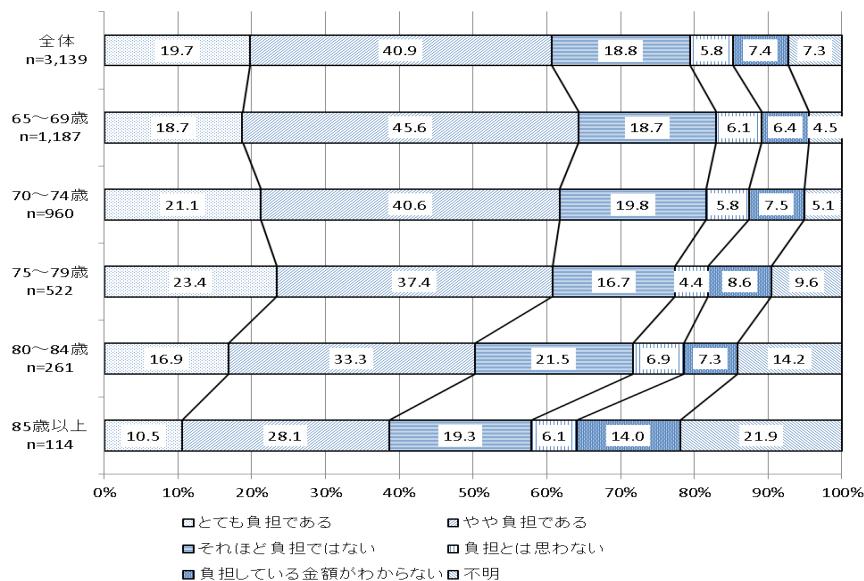
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



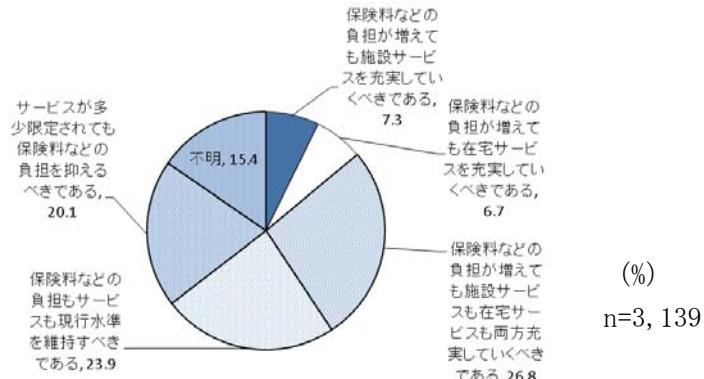
[年齢]

年代が上がるにつれ、『負担である』が低くなっている。



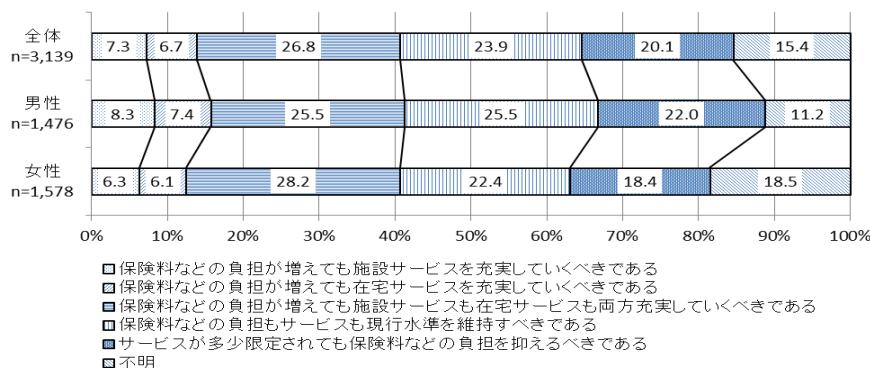
<受けられるサービス>

「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」が26.8%で最も高く、以下、「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」が23.9%、「サービスが多少限定されても保険料などの負担を抑えるべきである」が20.1%などとなっている。



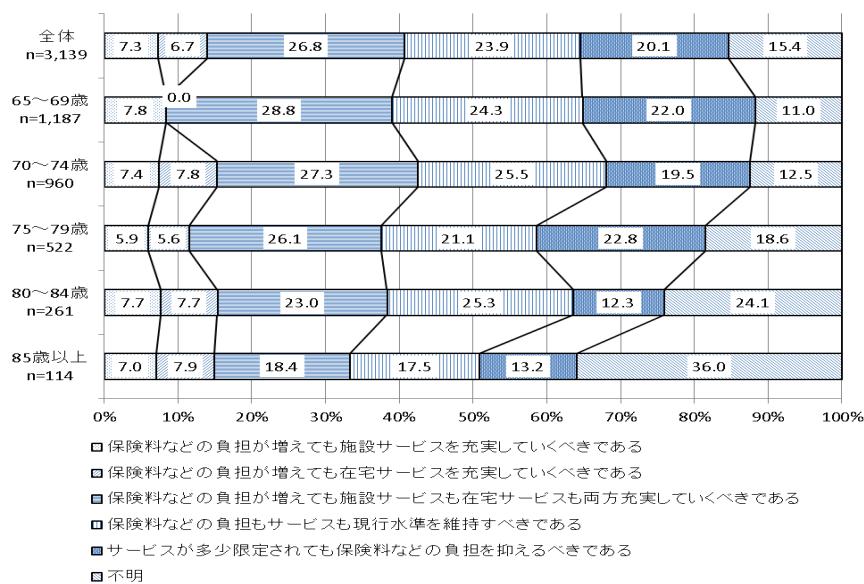
[性別]

「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」の女性(28.2%)が男性(25.5%)より2.7ポイント高くなっている。一方、「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」、「サービスが多少限定されても保険料などの負担を抑えるべきである」は、女性より男性が高くなっている。



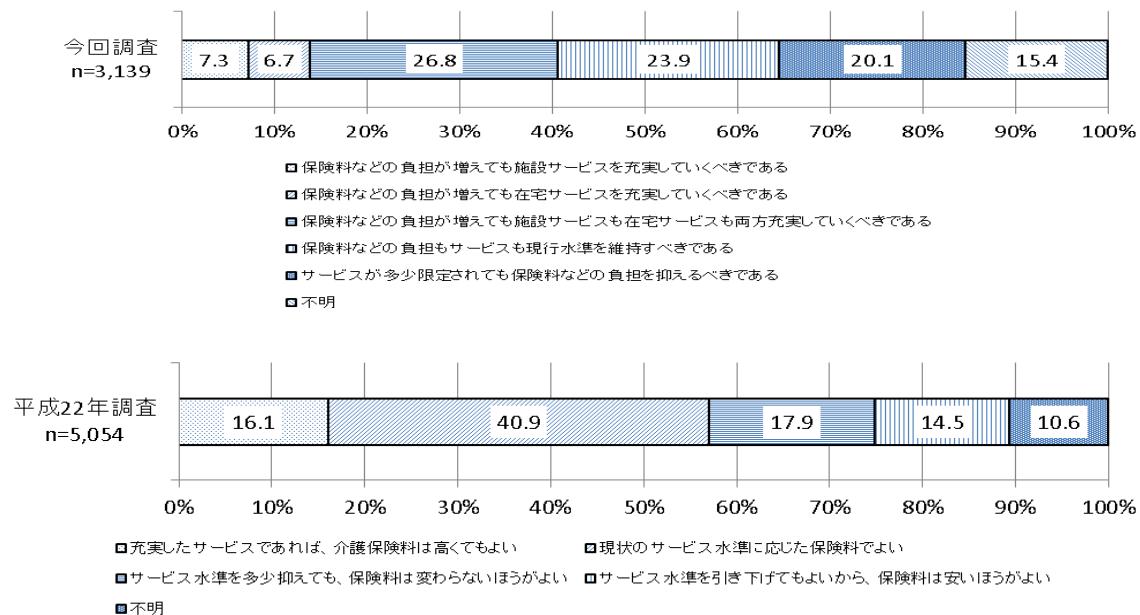
[年齢]

年代が上がるにつれ、「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方充実していくべきである」が低下しており、80~84歳では「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」が最も高くなっている。



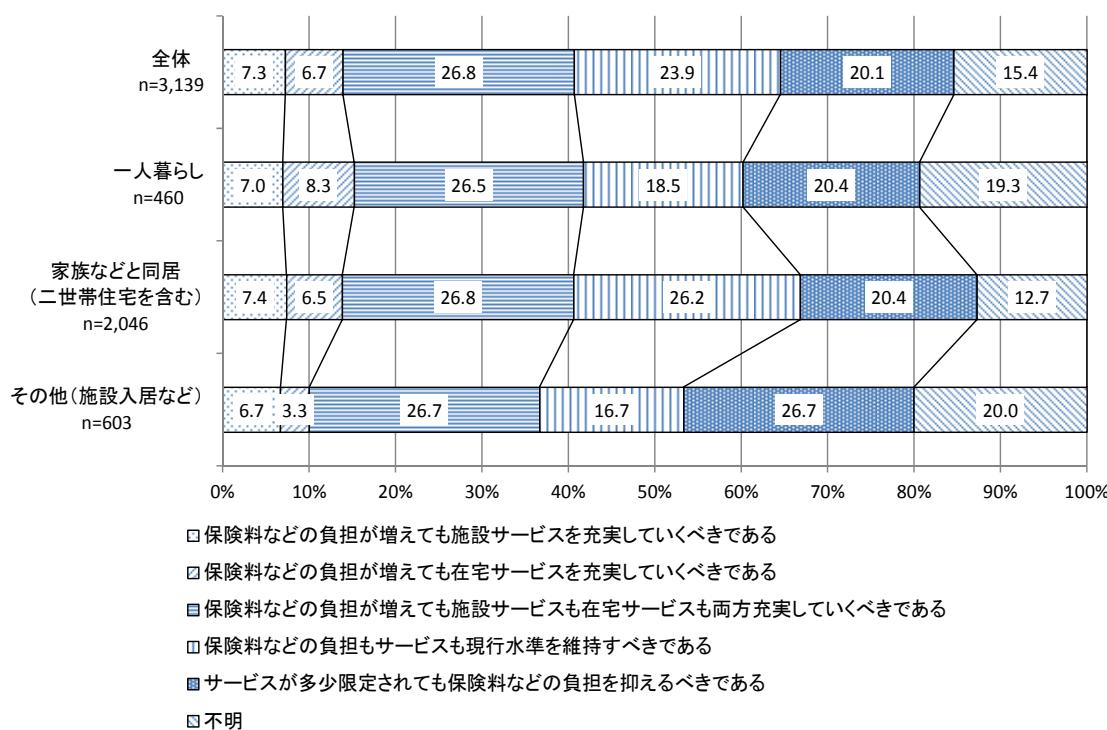
[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、参考として掲載する。



[世帯構成]

他の年代に比べ、家族などと同居（二世帯住宅を含む）は「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」が高くなっているが、その他（施設入所など）は「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅介護保険認定者サービスも両方充実していくべきである」と「サービスが多少限定されても保険料などの負担を抑えるべきである」が同じ割合となっている。

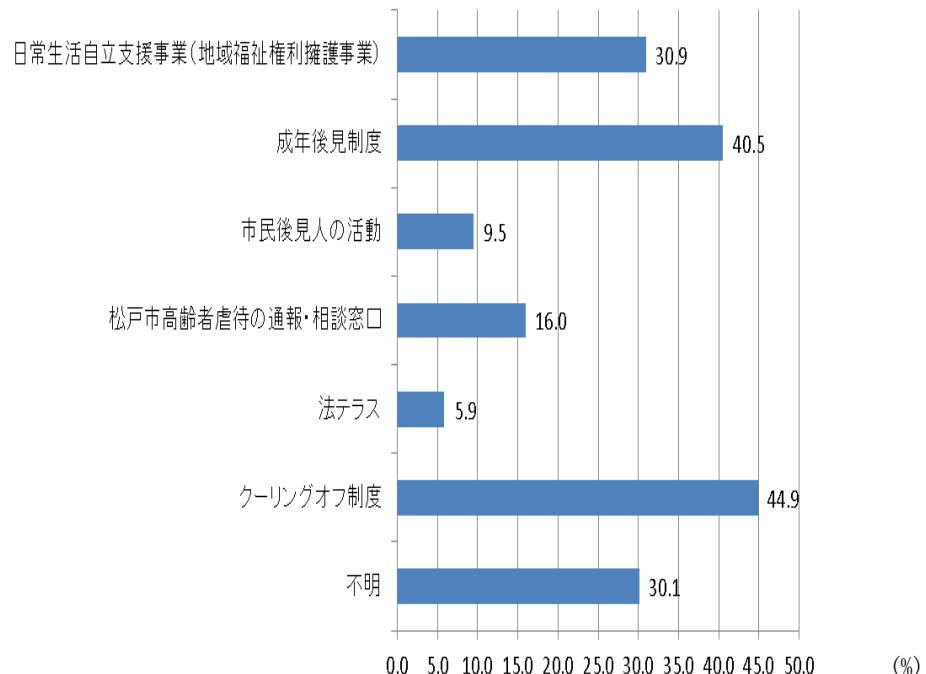


(3) 権利擁護の制度や仕組み

Q74. あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みを知っていますか。
(知っているもの全てに○)

「クーリングオフ制度」が44.9%で最も高く、以下、「成年後見制度」が40.5%、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」が30.9%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が一部異なるため厳密に比較はできないが、すべての項目について、認知度が低くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	域日福常祉生権活利自擁立護支事援業事業 （地）	成年後見制度	市民後見人の活動	相松戸市高齢者虐待の通報・ 相談窓口	法テラス	クーリングオフ制度	不明
今回調査	3,139	30.9	40.5	9.5	16.0	5.9	44.9	30.1
平成22年調査	5,040	31.9	44.5	14.2	17.2	62.9	14.9	

※「松戸市高齢者虐待の通報・相談窓口」は、平成22調査では「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」

[性別]

「法テラス」以外すべての項目で女性が男性より高くなっている。

	回答者数（人）（複数回答）	擁護事業（日常生活自立支援事業（地域福祉権利））	成年後見制度	市民後見人の活動	松戸市高齢者虐待の通報・相談窓口	法テラス	クーリングオフ制度	不明	(%)
全体	3,139	30.9	40.5	9.5	16.0	5.9	44.9	30.1	
男性	1,476	28.0	39.8	8.3	12.9	7.3	42.8	31.0	
女性	1,578	34.5	42.2	10.7	19.0	4.7	47.3	28.3	

[年齢]

65～79歳までは「クーリングオフ制度」が、80歳以上では「成年後見制度」が最も高くなっている。

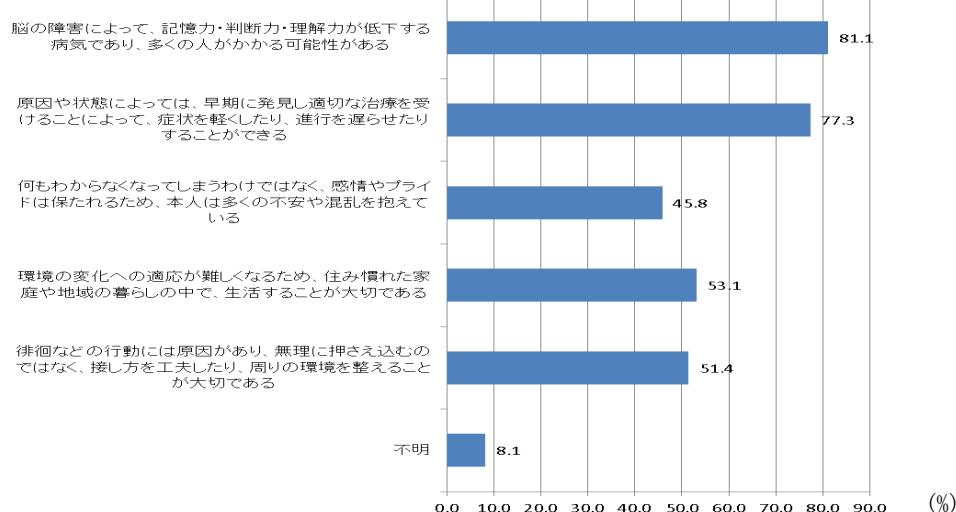
	回答者数（人）（複数回答）	祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業（地域福）	成年後見制度	市民後見人の活動	松戸市高齢者虐待の通報・相談	法テラス	クーリングオフ制度	不明	(%)
全体	3,139	30.9	40.5	9.5	16.0	5.9	44.9	30.1	
65～69歳	1,187	32.6	46.3	9.5	14.2	7.8	54.1	24.5	
70～74歳	960	34.7	41.1	9.6	18.1	6.1	45.1	27.2	
75～79歳	522	29.9	34.9	9.6	18.8	2.7	35.8	35.1	
80～84歳	261	22.2	36.4	10.7	13.8	4.6	31.4	39.8	
85歳以上	114	21.1	28.1	8.8	13.2	4.4	27.2	51.8	

(4) 認知症に関する理解

Q75. あなたは認知症に関する次の内容を知っていますか。(知っているもの全てに○)

「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」が81.1%で最も高く、以下、「原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることができる」が77.3%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」のみ、男性、女性ともに「知っている」に差がないが、その他の項目は、すべて女性が男性よりも10ポイント以上高くなっている。

	答 答 者 数 (人) (複 数 回)	るの下力脳 人す・の がる判断書 か病断書 か氣力に るで・よ 可あ理つ 能り解て 性・力、 が多が記 あく低憶	でを症を早原 き遅状受期因 るらをけにや せ軽る発状 たくしとしに すたに適よ するりよ切つ こ、つなて と進て治は が行、療、	混めやま何 乱、普うも を本ラわわ 抱人イケか えはドでら て多ははな いく保なく るのたくな 不れ、つ 安る感て やた情し	切中たし環 境で家く境 ある生やる変 活地た化す 域めへるの の暮住適 とらみ応が 大のれ難	るを工むが徘 整夫のあ徊 えしでりな れたは、ど こりな無の こと、く理行 が周に動 大り接押に 切のしさは で環方え原 あ境を込因	(%)
全 体	3,139	81.1	77.3	45.8	53.1	51.4	8.1
男 性	1,476	81.6	72.3	37.9	44.7	45.1	8.9
女 性	1,578	81.5	83.0	54.1	61.9	57.6	6.8

[年齢]

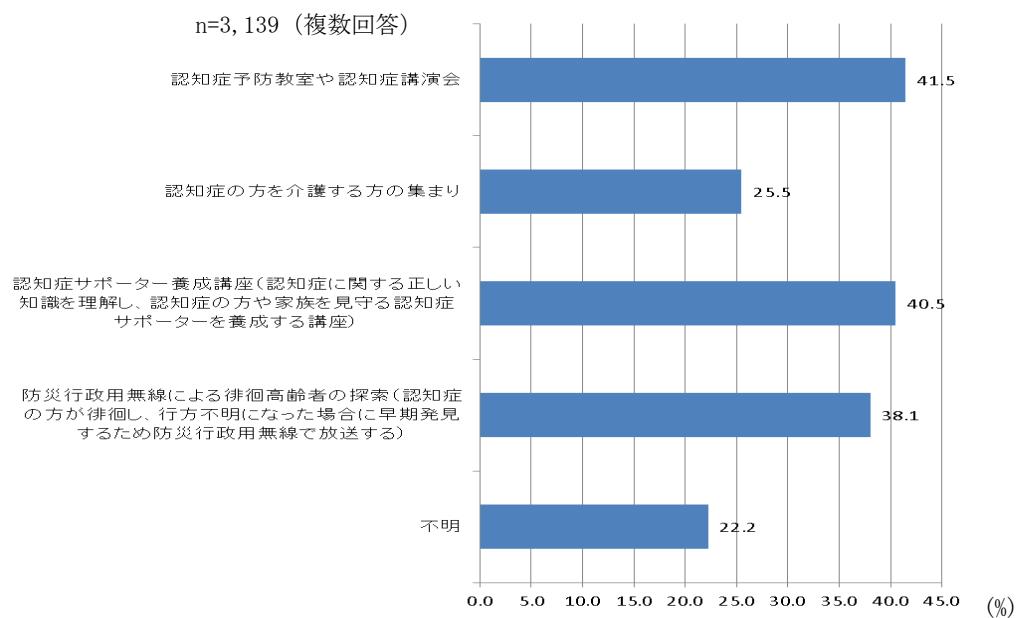
すべての項目で、「知っていた」は65～74歳の割合を算出した“前期高齢者”が75歳以上の割合を算出した“後期高齢者”より高く、「環境の変化への適応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である」が11.6ポイントで最も差が大きくなっている。

	答 答 者 数 (人) (複 数 回)	るの下力脳 人す・の がる判断書 か病断書 か氣力に るで・よ 可あ理つ 能り解て 性・力、 が多が記 あく低憶	でを症を早原 き遅状受期因 るらをけにや せ軽る発状 たくしとしに すたに適よ するりよ切つ こ、つなて と進て治は が行、療、	混めやま何 乱、普うも を本ラわわ 抱人イケか えはドでら て多ははな いく保なく るのたくな 不れ、つ 安る感て やた情し	切中たし環 境で家く境 ある生やる変 活地た化す 域めへるの の暮住適 とらみ応が 大のれ難	るを工むが徘 整夫のあ徊 えしでりな れたは、ど こりな無の こと、く理行 が周に動 大り接押に 切のしさは で環方え原 あ境を込因	(%)
全 体	3,139	81.1	77.3	45.8	53.1	51.4	8.1
65～69歳	1,187	85.7	80.2	51.2	54.7	54.8	6.0
70～74歳	960	82.1	79.2	46.7	56.7	51.8	6.4
75～79歳	522	76.6	76.2	39.1	49.4	47.1	9.4
80～84歳	261	75.5	76.2	42.9	51.7	51.3	11.9
85歳以上	114	71.1	57.0	36.0	41.2	38.6	21.1

(5) 認知症対策

Q76. 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。(あてはまる全てに○)

「認知症予防教室や認知症講演会」が41.5%で最も高く、以下、「認知症サポーター養成講座」が40.5%、「防災行政用無線による徘徊高齢者の探索」が38.1%、「認知症の方を介護する方の集まり」が25.5%となっている。



[性別]

「認知症予防教室や認知症講演会」以外のすべての項目で、女性が男性より認知度が高くなっている。

	回答者数(人)(複数回)	講演会予防教室や認知症	の認知症の方を介護する方	講症のい座認座サ方知へ知～ボや識認症～家を知サタ族理症ボ～解に～見し閑タ養守～す～成る認る養す認知正成る知症し講	すでにの徊防放るな方高災送たつが齡行すめた徘徊政る防場徊の用～災合し探無行に、索線政早行～に用期方認よ無発不知る線見明症徘徊	不明
全体	3,139	41.5	25.5	40.5	38.1	22.2
男性	1,476	43.7	22.5	37.9	34.5	21.9
女性	1,578	39.7	28.8	43.5	41.6	22.0

[年齢]

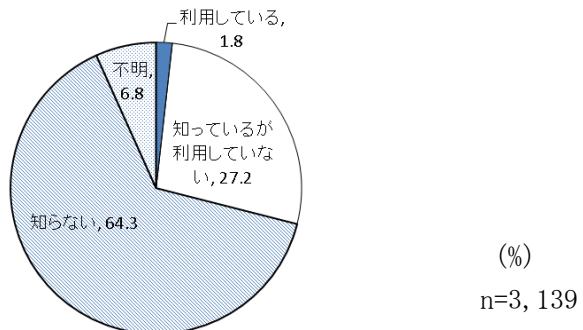
年代ごとに認知度の最も高くなっている。項目が異なる。

	回答者数(人)(複数回)	講演会予防教室や認知症	の認知症の方を介護する方	講症のい座認座サ方知へ知～ボや識認症～家を知サタ族理症ボ～解に～見し閑タ養守～す～成る認る養す認知正成る知症し講	すでにの徊防放るな方高災送たつが齡行すめた徘徊政る防場徊の用～災合し探無行に、索線政早行～に用期方認よ無発不知る線見明症徘徊	不明
全体	3,139	41.5	25.5	40.5	38.1	22.2
65～69歳	1,187	43.5	28.9	45.5	37.9	17.5
70～74歳	960	41.9	25.0	41.5	37.5	21.1
75～79歳	522	42.7	24.5	35.6	40.0	23.8
80～84歳	261	36.8	18.8	33.3	40.6	33.0

(6) 地域包括支援センター

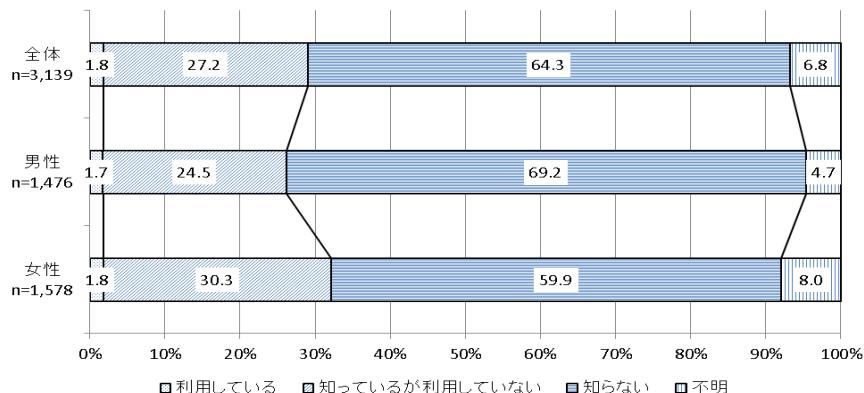
Q77. 地域包括支援センターを利用していますか。(1つに○)

「知らない」が64.3%で最も高く、以下、「知っているが利用していない」が27.2%、「利用している」が1.8%となっている。



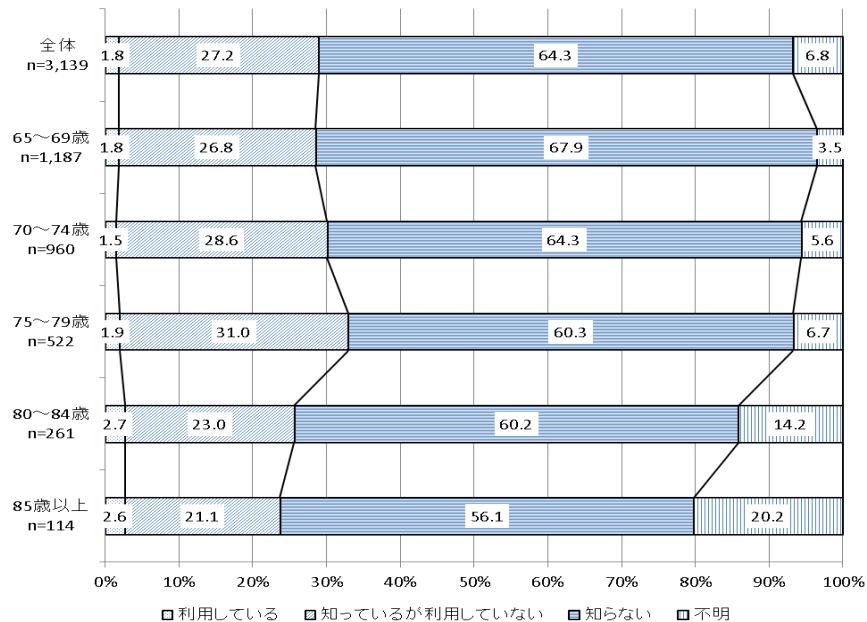
[性別]

男性は69.2%が「知らない」で、女性の59.9%より9.3ポイント低くなっている。



[年齢]

いずれの年代層においても「知らない」が最も高くなっている。



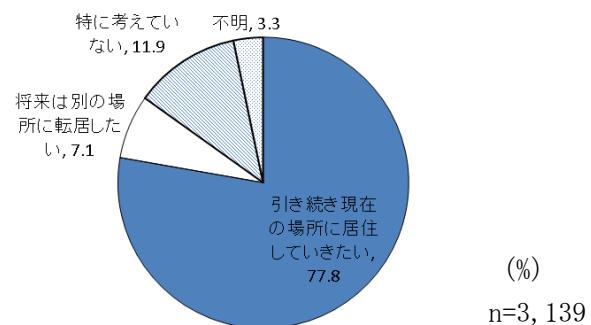
5. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

Q78. 今後の生活についてどのように考えていますか。(それぞれ1つに○)

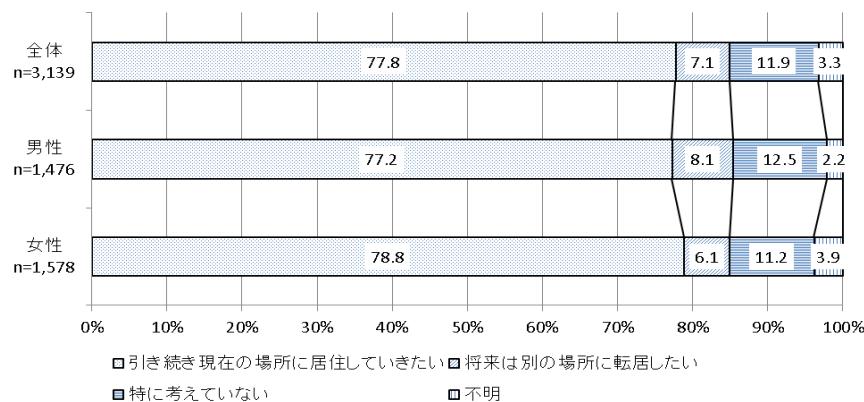
① 生活

「引き続き現在の場所に居住していきたい」が77.8%で最も高く、以下、「特に考えていない」が11.9%、「将来は別の場所に転居したい」が7.1%となっている。



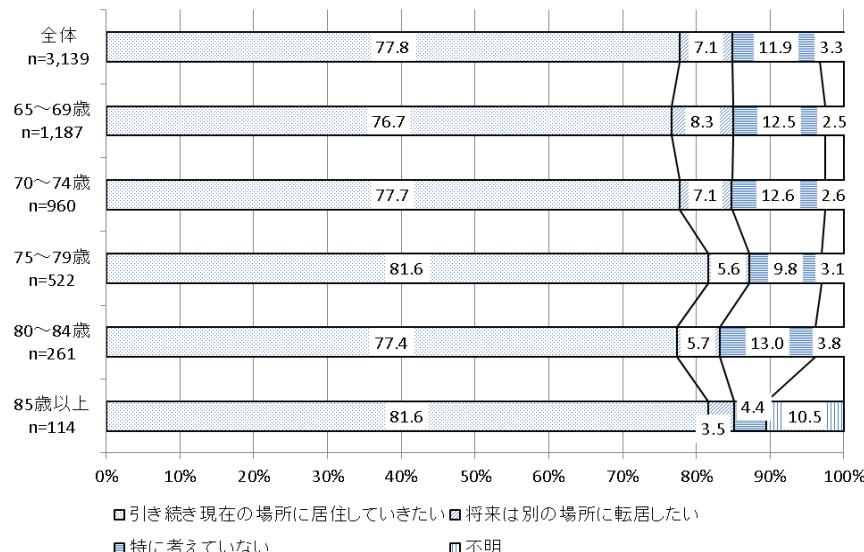
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



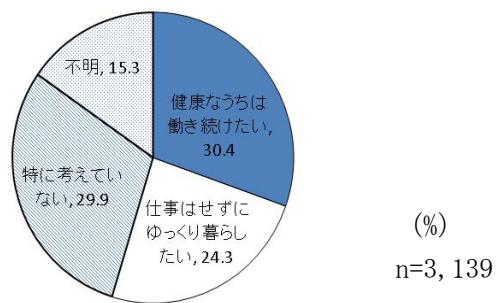
[年齢]

年齢による大きな特徴の差はみられない。



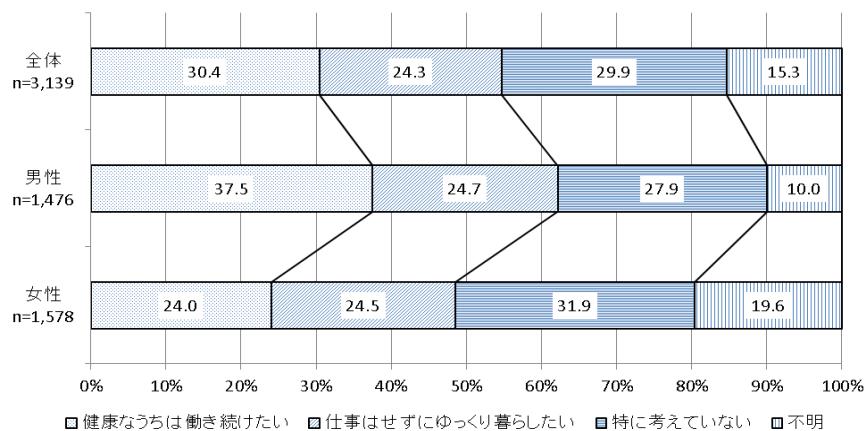
② 就労

「健康なうちは働き続けたい」が30.4%で最も高く、以下、「特に考えていない」が29.9%、「仕事はせずにゆっくり暮らしたい」が24.3%となっている。



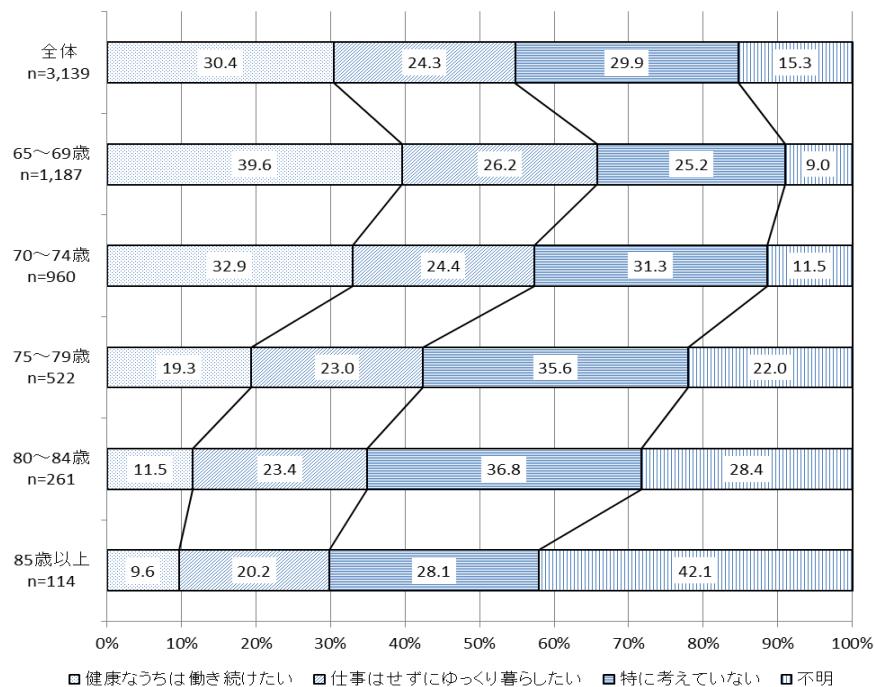
[性別]

「健康なうちは働き続けたい」は男性（37.5%）で、女性（24.0%）より13.5ポイント高くなっている。



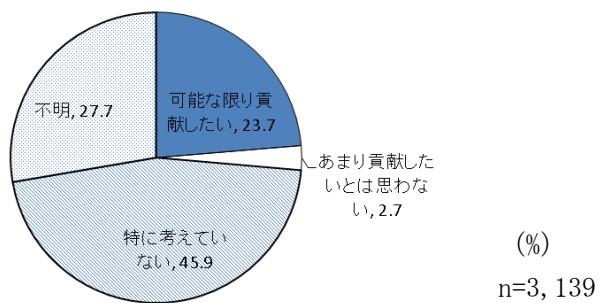
[年齢]

年代が上がるにつれ、「健康なうちは働き続けたい」が低くなっている。



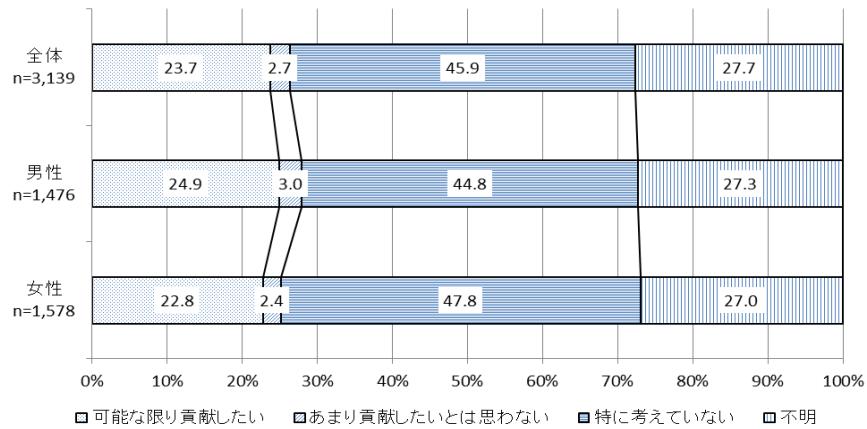
③ 地域貢献

「特に考えていない」が45.9%で最も高く、以下、「可能な限り貢献したい」が23.7%、「あまり貢献したいとは思わない」が2.7%となっている。



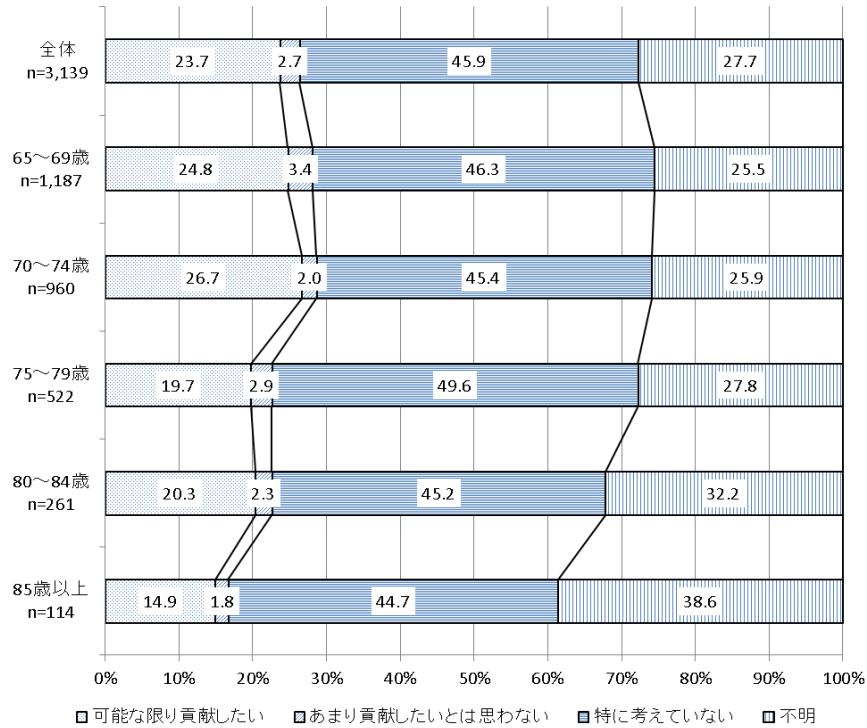
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

85歳以上では「可能な限り貢献したい」が大幅に低下している。

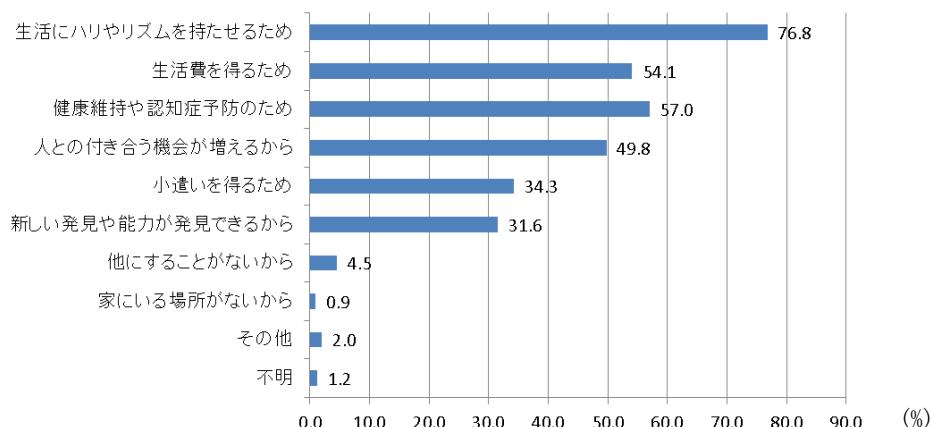


(2) 就労希望理由

Q78-②-1. 今後も働きたい主な理由を教えてください。(あてはまる全てに○)

「生活にハリやリズムを持たせるため」が76.8%で最も高く、以下、「健康維持や認知症予防のため」が57.0%、「生活費を得るため」が54.1%、「人との付き合う機会が増えるから」が49.8%などとなっている。

n=954 (複数回答)



[性別]

男性は「生活費を得るため」、「小遣いを得るため」といった経済的理由、女性は「生活にハリやリズムを持たせるため」、「新しい発見や能力が発見できるから」といった生きがい対策が高くなっている。

	回答者数(人)(複数回答)	生活にハリやリズムを持たせるため	生活費を得るため	健康維持や認知症予防のため	人との付き合う機会が増えるから	小遣いを得るため	新しい発見や能力が発見できるから	他にすることがないから	家にいる場所がないから	その他	不明
全体	954	76.8	54.1	57.0	49.8	34.3	31.6	4.5	0.9	2.0	1.2
男性	553	76.1	56.2	57.7	50.5	39.2	29.3	4.9	1.4	2.0	0.9
女性	379	77.8	49.9	57.3	49.1	27.2	35.1	4.2	0.3	2.1	1.6

[年齢]

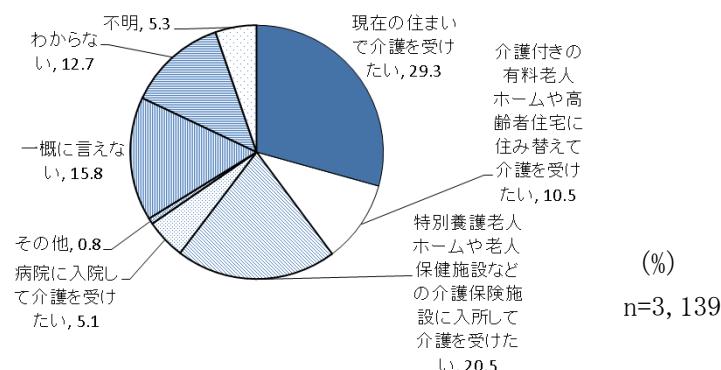
80歳以上は「生活にハリやリズムを持たせるため」、「健康維持や認知症予防のため」といった介護予防に向けた理由が高くなっている。

	回答者数(人)(複数回答)	生活にハリやリズムを持たせるため	生活費を得るため	健康維持や認知症予防のため	人との付き合う機会が増えるから	小遣いを得るため	新しい発見や能力が発見できるから	他にすることがないから	家にいる場所がないから	その他	不明
全体	954	76.8	54.1	57.0	49.8	34.3	31.6	4.5	0.9	2.0	1.2
65～69歳	470	77.7	58.5	56.6	51.5	38.7	32.3	5.5	1.3	1.5	0.4
70～74歳	316	77.5	52.5	55.7	47.5	30.4	29.4	3.5	0.3	3.8	1.3
75～79歳	101	70.3	43.6	66.3	53.5	31.7	32.7	4.0	2.0	0.0	2.0
80～84歳	30	80.0	43.3	60.0	40.0	20.0	36.7	3.3	0.0	0.0	3.3
85歳以上	11	90.9	9.1	72.7	45.5	9.1	54.5	9.1	0.0	0.0	9.1

(3) 希望介護場所

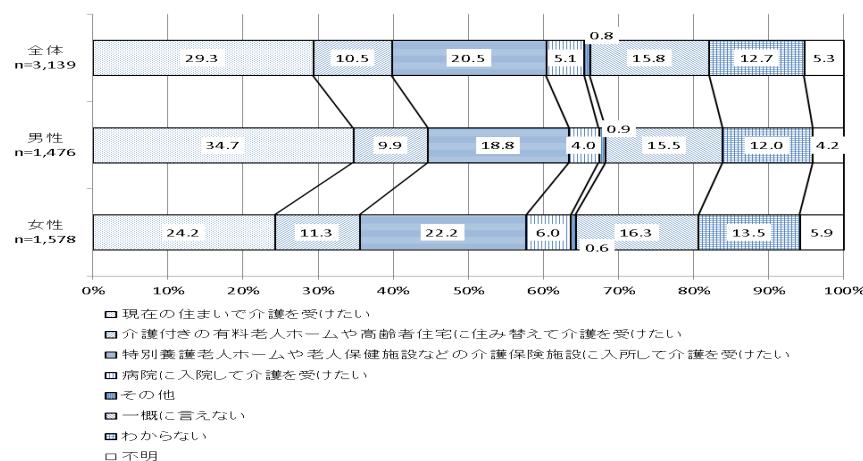
Q79. 仮に、あなたご自身が老後に寝たきりや認知症になり、介護が必要となった場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。(1つに○)

「現在の住まいで介護を受けたい」が29.3%で最も高く、以下、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい」が20.5%、「介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい」が10.5%などとなっている。



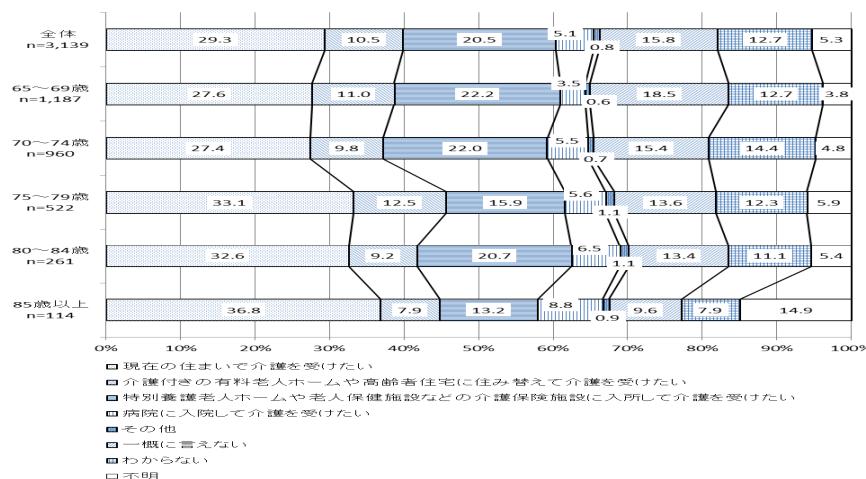
[性別]

「現在の住まいで介護を受けたい」は男性（34.7%）、女性（24.2%）より10.5ポイント高くなっている。



[年齢]

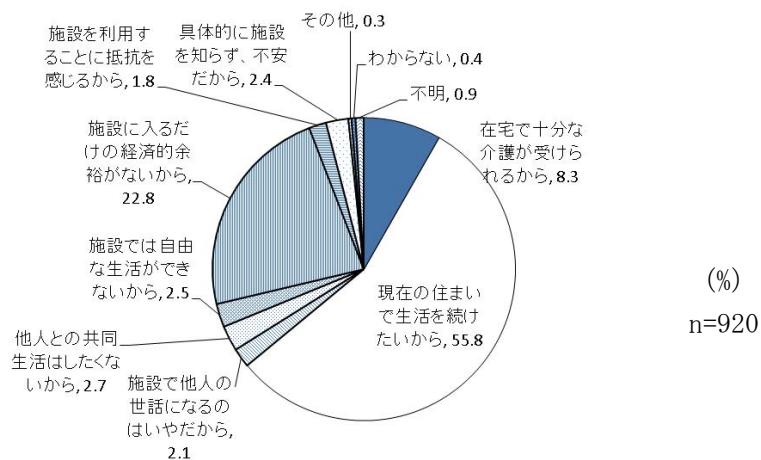
75歳以上になると「現在の住まいで介護を受けたい」が住み替えや施設入所を上回っている。



(4) 在宅理由

Q79-1. あなたが、在宅を選択する理由を教えてください。(1つに○)

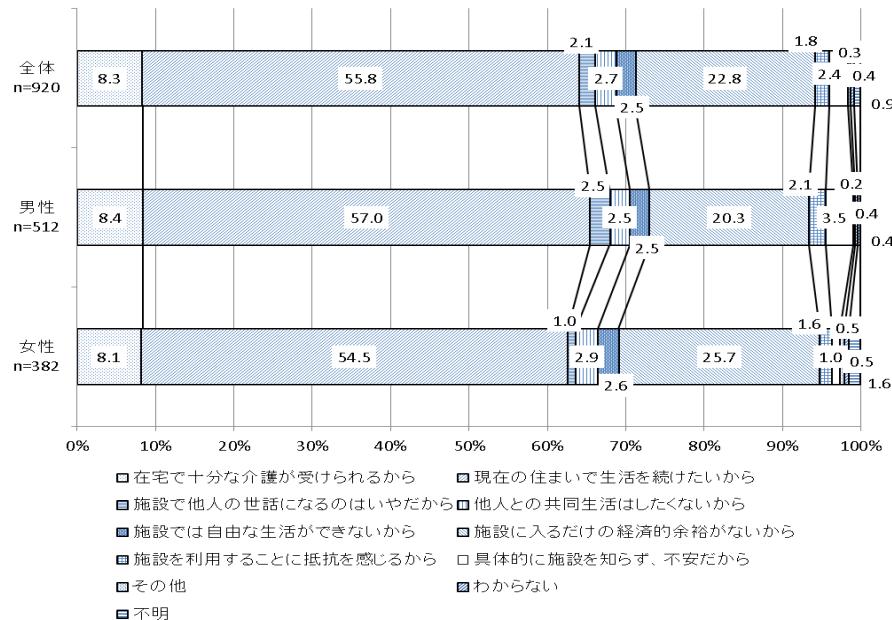
「現在の住まいでの生活を続けたいから」が55.8%で最も高く、以下、「施設に入るだけの経済的余裕がないから」が22.8%、「在宅で十分な介護が受けられるから」が8.3%などとなっている。



[性別]

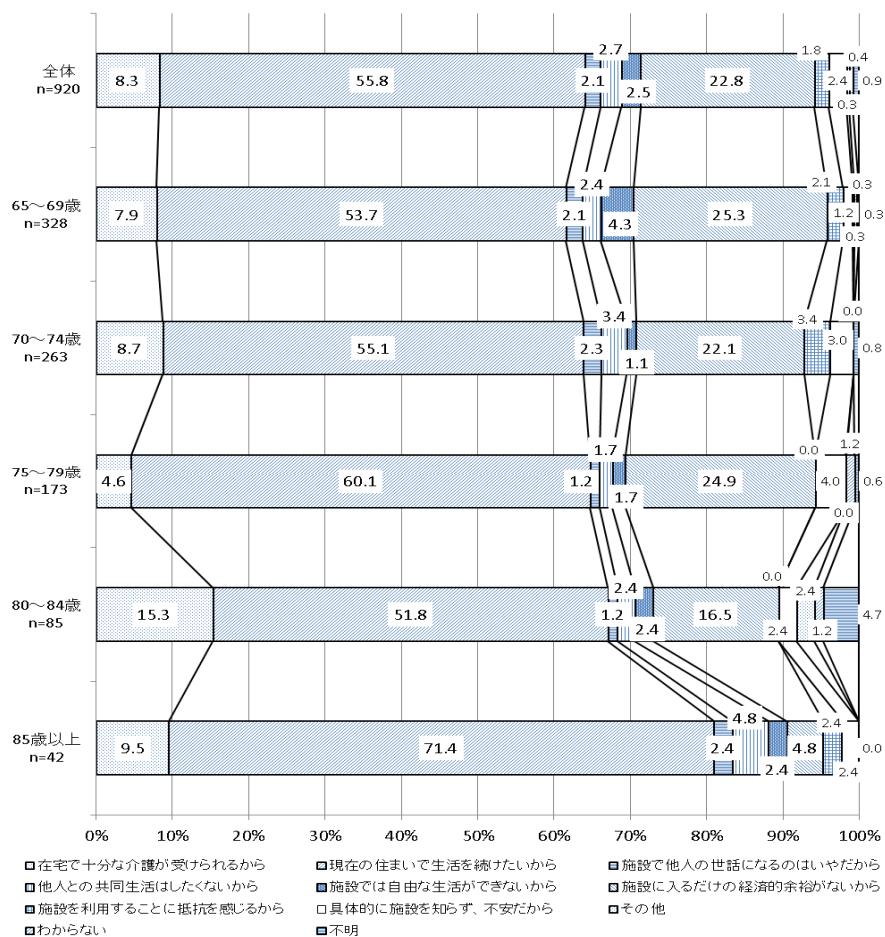
「施設に入るだけの経済的余裕がないから」は女性（25.7%）、男性（20.3%）より5.4ポイント高くなっている。

男性の「施設で他人の世話になるのはいやだから」、「施設を利用するときに抵抗を感じるから」及び「具体的に施設を知らず、不安だから」が女性より高くなっている。



[年齢]

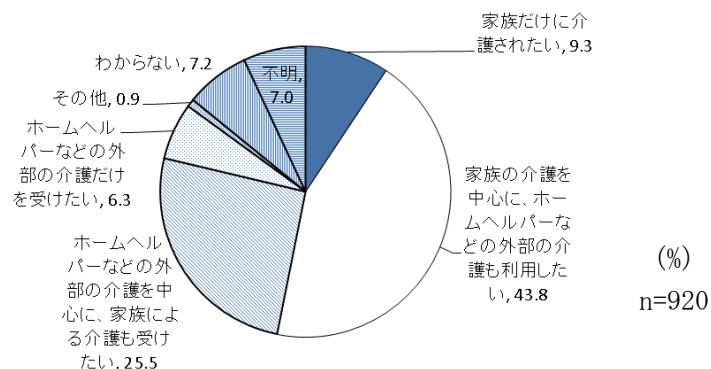
80～84歳の「在宅で十分な介護が受けられるから」(15.3%) はほかの年代に比べて高くなっている。また、85歳以上の「施設に入るだけの経済的余裕がないから」(4.8%) が顕著に低く、「現在の住まいでの生活を続けたいから」(71.4%) が突出して高くなっている。



(5) 希望介護形態

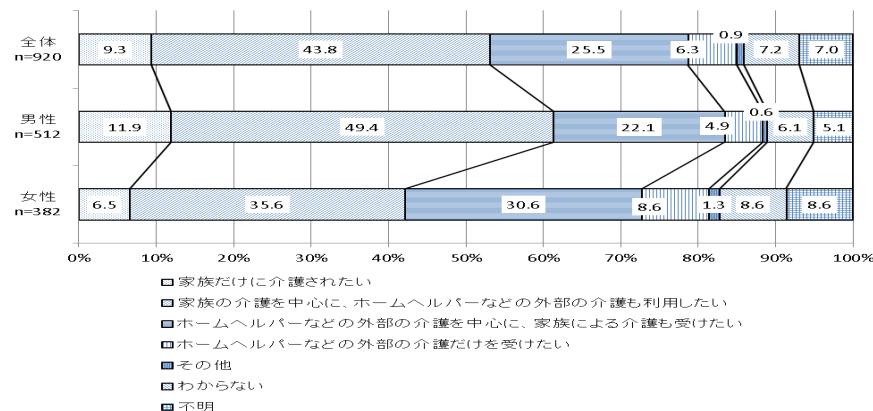
Q79-2. その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つに○)

「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」が43.8%で最も高く、以下、「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」が25.5%などとなっている。



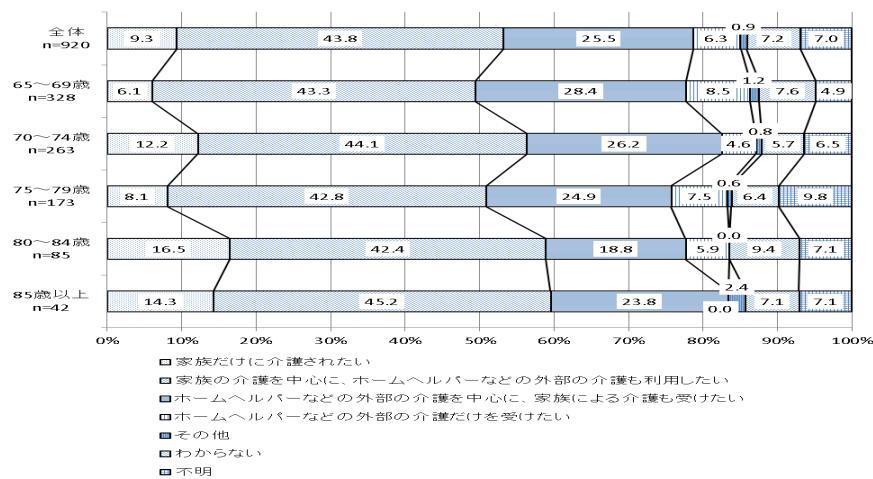
[性別]

男性は「家族だけに介護されたい」(11.9%)が女性(6.5%)より5.4ポイント高く、「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」が49.4%で突出しており、女性の35.6%に比べて13.8ポイントも高くなっている。一方、女性は「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」が30.6%で、男性の22.1%より8.5ポイント高くなっている。



[年齢]

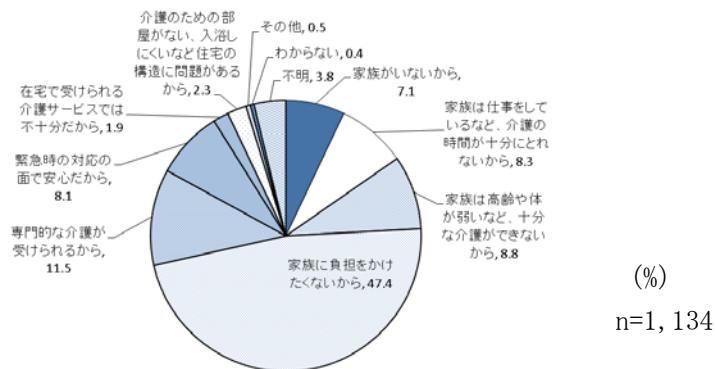
80歳以上になると、比較的、外部による介護の受入れより家族による介護を望む傾向が伺える。



(6) 施設希望の理由

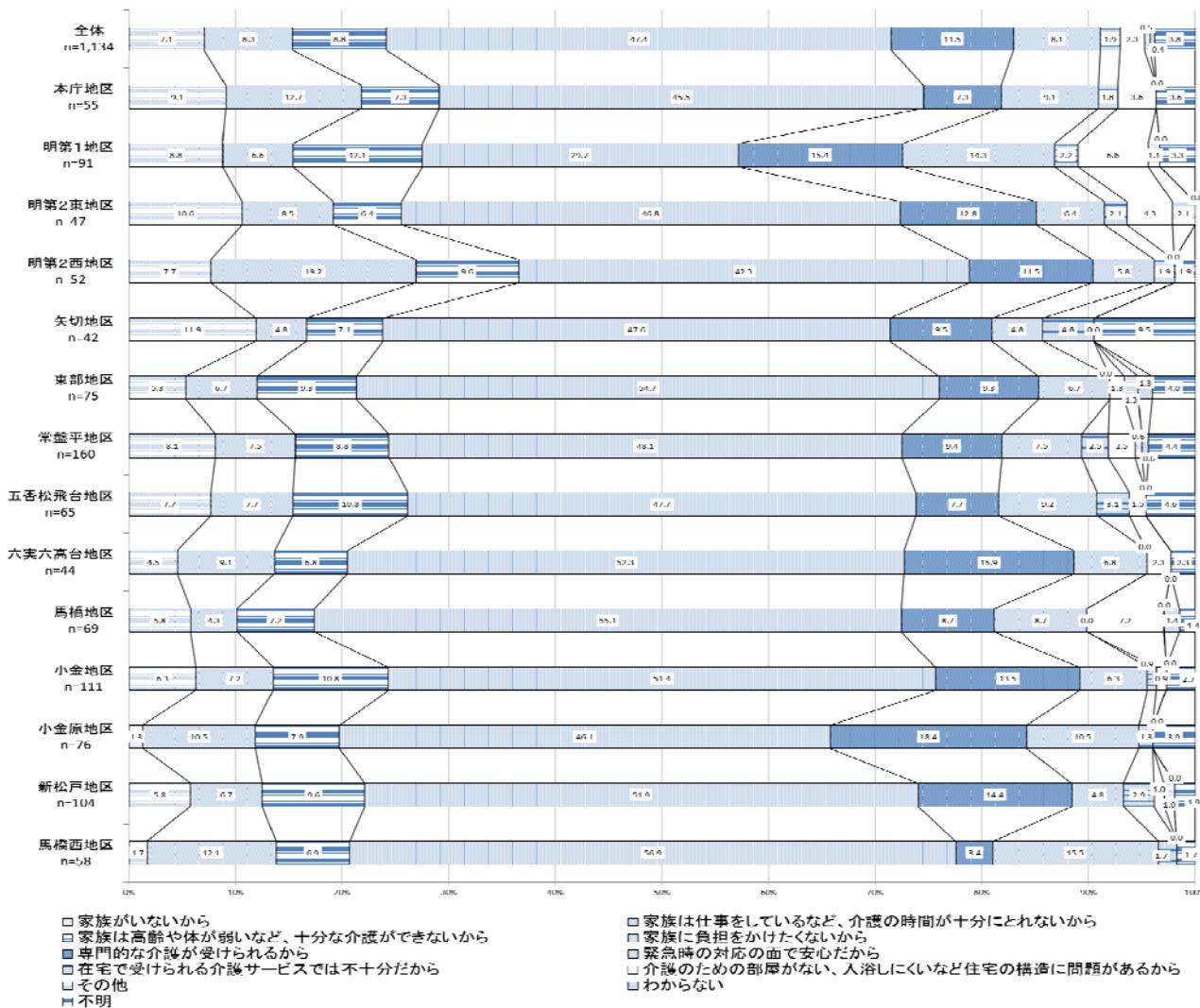
Q79-3. あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つに○)

「家族に負担をかけたくないから」が47.4%で最も高く、以下、「専門的な介護が受けられるから」が11.5%、「家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから」が8.8%などとなっている。



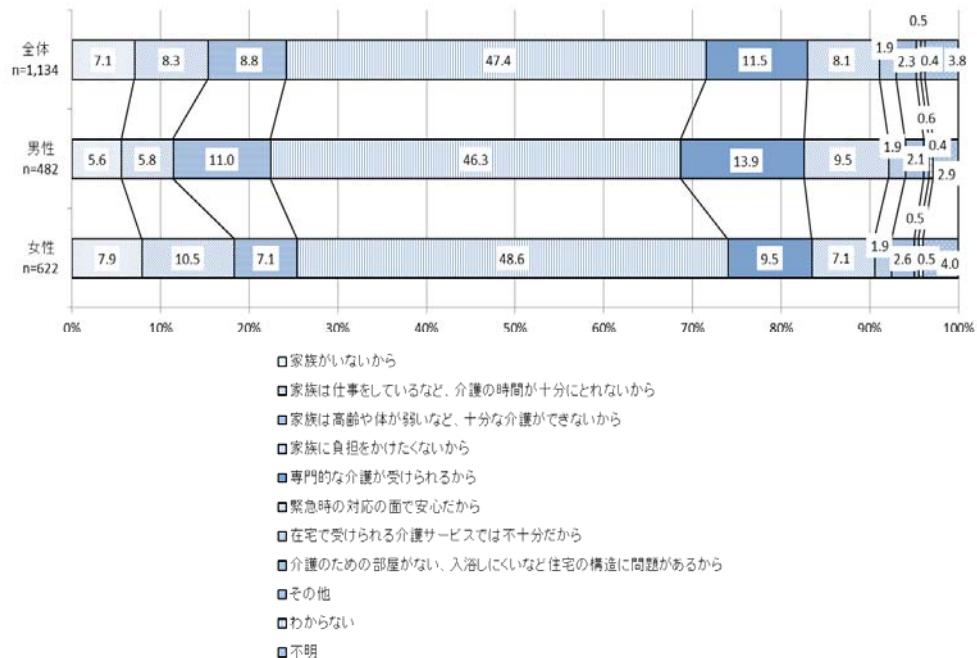
[日常生活圏域]

他の地区に比べ、明第1地区は「家族に負担をかけたくないから」(29.7%)が突出して低い、明第2地区は「家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」(19.2%)が高く、小金原地区は「専門的な介護が受けられるから」(18.4%)が高くなっている。



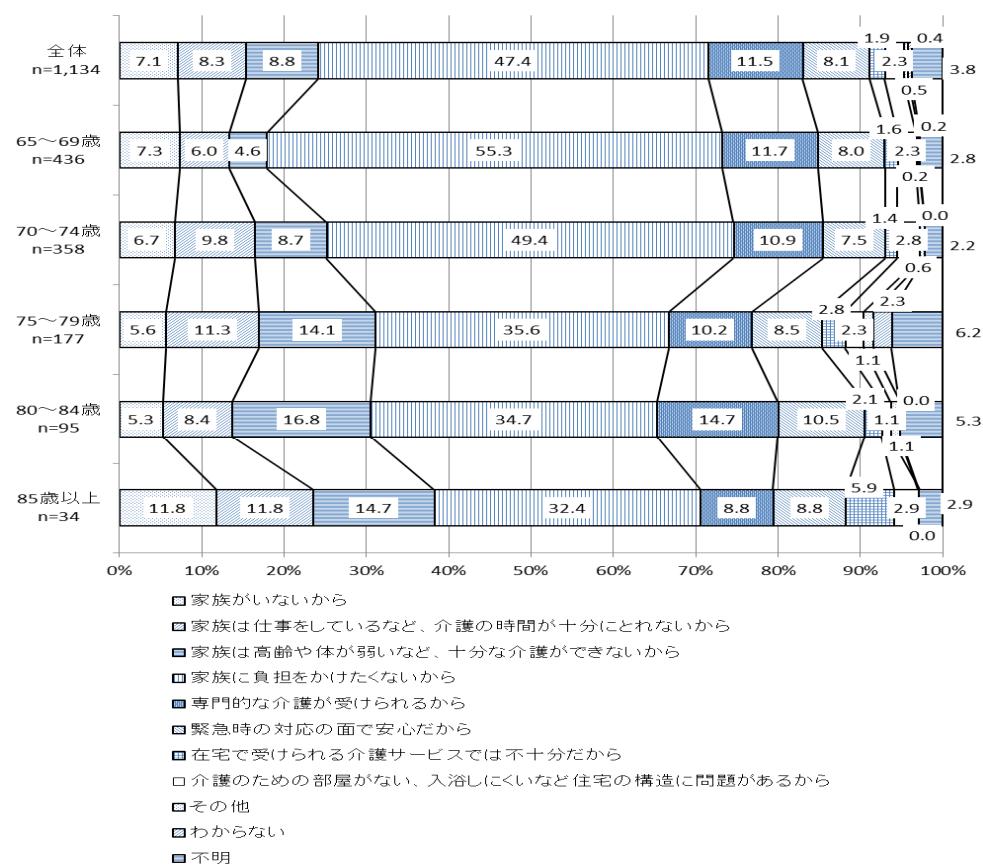
[性別]

「専門的な介護が受けられるから」は男性（13.9%）が女性（9.5%）より4.4ポイント高くなっています、「家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」は女性（10.5%）が男性（5.8%）より4.7ポイント高くなっています。



[年齢]

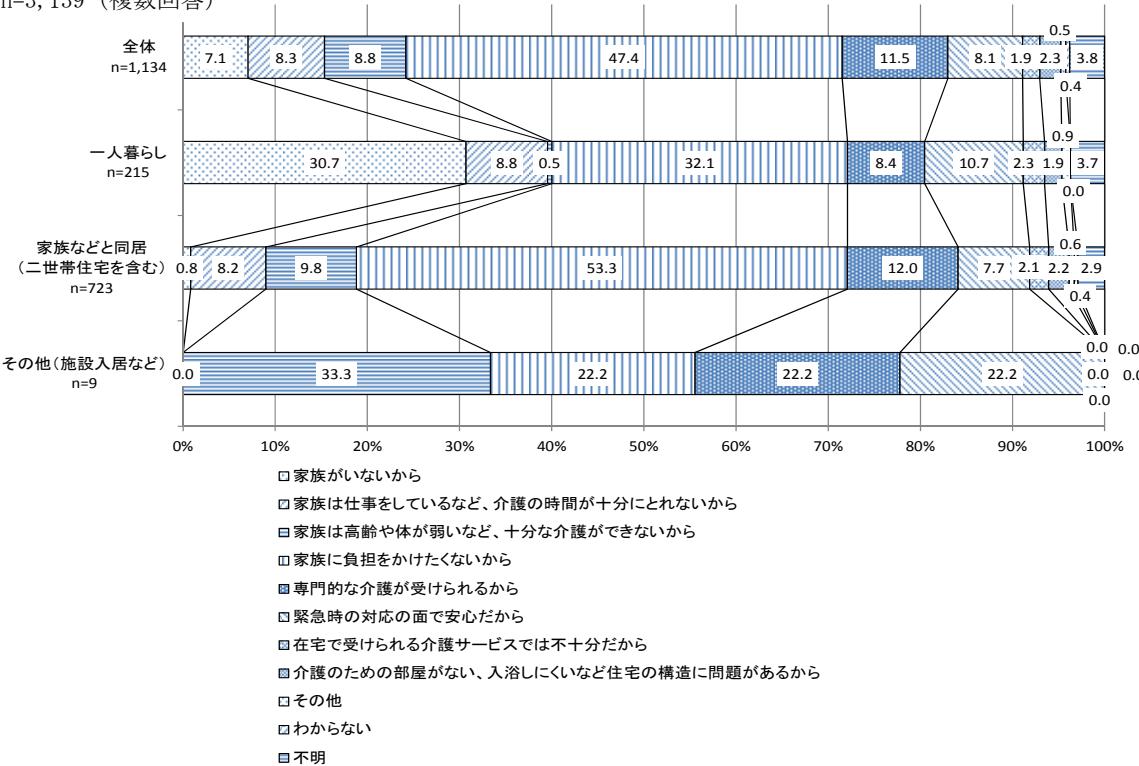
75歳以上になると「家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから」の割合が高くなり、85歳以上では「家族がいないから」も11.8%と高くなっています。



[世帯構成]

一人暮らしは「家族がいないから」、家族などと同居（二世帯住宅を含む）は「家族に負担をかけたくないから」、その他（施設入居など）は「専門的な介護が受けられるから」がそれぞれ高く、現況に即した理由となっている。

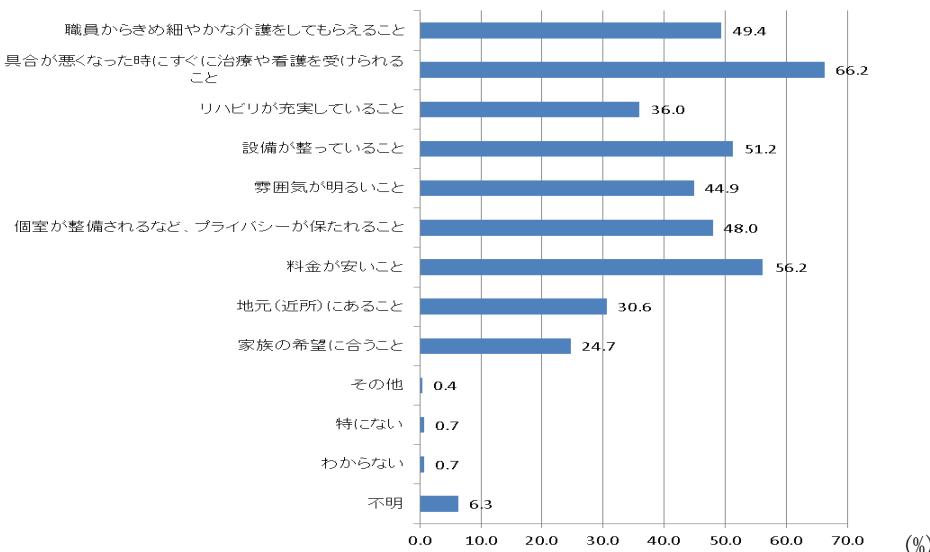
n=3,139 (複数回答)



(7) 施設選択時重視

Q79-4. あなたが施設を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。（あてはまる全てに○）

「具合が悪くなった時にすぐに治療や看護を受けられること」が66.2%で最も高く、以下、「料金が安いこと」が56.2%、「設備が整っていること」が51.2%などとなっている。



[性別]

男女ともに「具合が悪くなった時にすぐに治療や看護を受けられること」が最も高くなっているが、「料金が安いこと」の女性（59.0%）が男性（52.5%）より6.5ポイント高くなっている。

回答者数（人）（複数回答）	職員からきめ細やかな介護をしてもらえること	具合が悪くなつた時にすぐに対応してもらえること	リハビリが充実していること	設備が整っていること	雰囲気が明るいこと	個室が整備されることなど、プライバシーが保たれること	料金が安いこと	地元（近所）にあること	家族の希望に合うこと	その他	特ない	わからぬ	不明	
											（%）	（%）	（%）	
全体	1,134	49.4	66.2	36.0	51.2	44.9	48.0	56.2	30.6	24.7	0.4	0.7	0.7	6.3
男性	482	50.8	63.1	33.0	52.5	41.5	46.1	52.5	30.7	24.5	0.4	0.6	0.8	5.8
女性	622	48.2	68.8	38.1	50.2	47.6	49.8	59.0	31.5	25.4	0.3	0.6	0.6	6.9

[年齢]

いずれの年代も「具合が悪くなつた時にすぐに治療や看護を受けられること」が最も高くなっているが、65～74歳は「料金が安いこと」、80歳以上は「職員からきめ細やかな介護をしてもらえること」を重視している。

回答者数（人）（複数回答）	職員からきめ細やかな介護をしてもらえること	具合が悪くなつた時にすぐに治療や看護を受けられることがあります	リハビリが充実していること	設備が整っていること	雰囲気が明るいこと	個室が整備されることは、プライバシーが保たれること	料金が安いこと	地元（近所）にあること	家族の希望に合うこと	その他	特ない	わからぬ	不明	
											（%）	（%）	（%）	
全体	1,134	49.4	66.2	36.0	51.2	44.9	48.0	56.2	30.6	24.7	0.4	0.7	0.7	6.3
65～69歳	436	50.7	61.5	39.2	53.2	50.5	50.2	58.0	31.0	26.8	0.5	0.7	1.1	4.6
70～74歳	358	48.3	70.9	36.3	50.8	43.6	45.3	62.0	31.8	25.1	0.3	0.8	0.3	5.3
75～79歳	177	48.0	69.5	29.9	50.3	43.5	52.0	51.4	29.9	24.9	0.6	0.0	1.1	12.4
80～84歳	95	48.4	62.1	26.3	46.3	32.6	45.3	43.2	32.6	17.9	0.0	1.1	0.0	7.4
85歳以上	34	55.9	76.5	47.1	47.1	32.4	41.2	38.2	32.4	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9

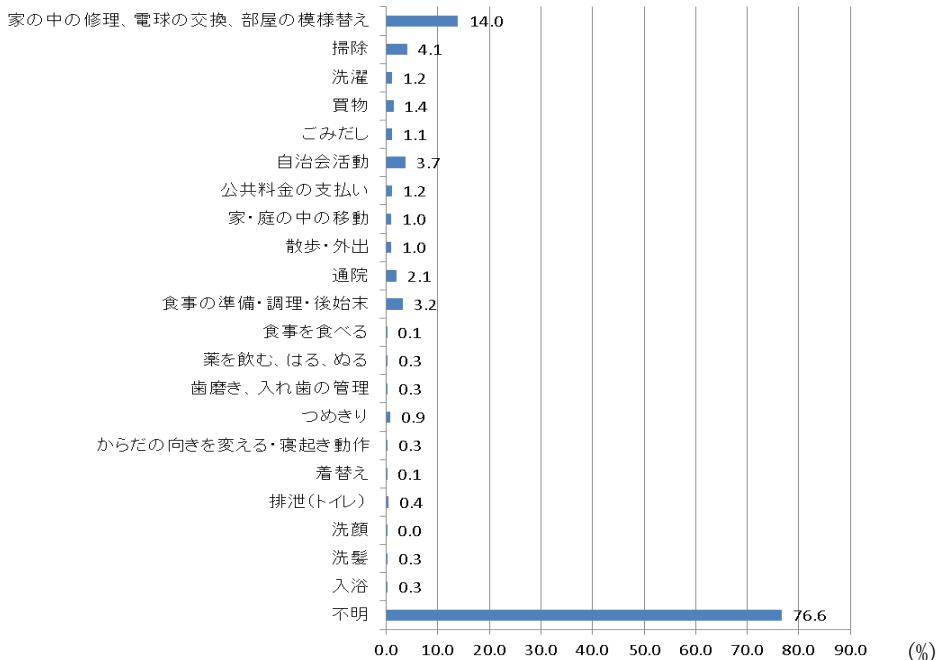
6. 介護保険制度以外のサービスについて

(1) 困っていること

Q80. あなたは、普段の生活で特に困っていることがありますか。(3つまで○)

「家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え」が14.0%、「掃除」が4.1%、「自治会活動」が3.7%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

「家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え」は女性 (18.8%) が男性 (8.6%) より10.2ポイント高くなっている。

	回答者数 (人) (複数回答)	家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え	掃除	洗濯	買物	ごみだし	自治会活動	公共料金の支払い	家・庭の中の移動	散歩・外出	通院	食事の準備・調理・後始末	食事を食べる	薬を飲む、はる、ぬる	歯磨き、入れ歯の管理	つめきり	からだの向きを変える・寝起き動作	着替え	排泄(トイレ)	洗顔	洗髪	入浴	不明
全体	3,139	14.0	4.1	1.2	1.4	1.1	3.7	1.2	1.0	1.0	2.1	3.2	0.1	0.3	0.3	0.9	0.3	0.1	0.4	0.0	0.3	0.3	76.6
男性	1,476	8.6	3.9	1.8	1.4	1.3	4.3	1.4	0.8	1.4	2.0	4.7	0.3	0.3	0.6	0.9	0.4	0.2	0.7	0.1	0.2	0.5	78.7
女性	1,578	18.8	4.2	0.6	1.5	1.0	3.0	0.9	1.1	0.6	2.1	1.6	0.0	0.3	0.1	0.8	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.2	75.0

[年齢]

いずれの年代も「家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え」が最も高く、80歳以上では比較的「掃除」に困っている傾向が伺える。

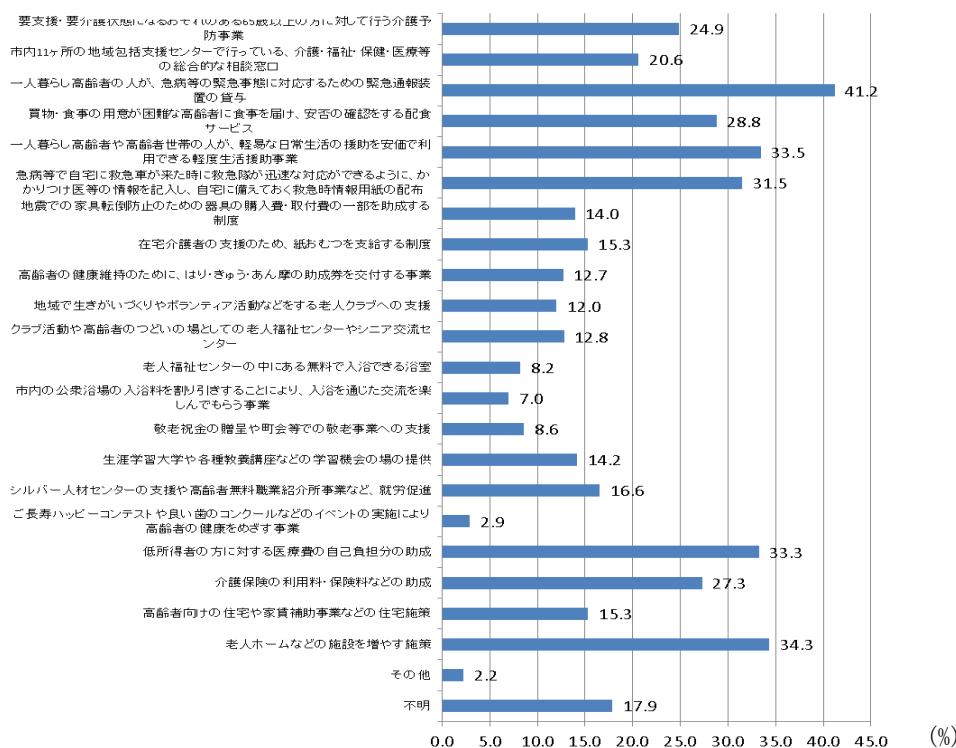
	回答者数（人）（複数回答）	家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え	掃除	洗濯	買物	ごみだし	自衛会活動	公共料金の支払い	家・庭の中の移動	散歩・外出	通院	食事の準備・調理・後始末	食事を食べる	薬を飲む、はる、ぬる	歯磨き、入れ歯の管理	つめきり	からだの向きを変える・寝起き動作	着替え	排泄（トイレ）	洗顔	洗髪	入浴	不明	(%)
全体	3,139	14.0	4.1	1.2	1.4	1.1	3.7	1.2	1.0	1.0	2.1	3.2	0.1	0.3	0.3	0.9	0.3	0.1	0.4	0.0	0.3	0.3	76.6	
65～69歳	1,187	10.5	2.4	0.9	0.5	0.7	2.5	1.0	0.6	0.4	0.8	2.3	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	0.3	0.1	0.2	0.3	82.9	
70～74歳	960	12.6	2.5	0.7	0.8	0.6	4.2	1.0	0.6	0.9	1.8	2.6	0.1	0.1	0.1	0.9	0.5	0.1	0.4	0.0	0.2	0.2	79.1	
75～79歳	522	19.5	6.3	0.8	1.9	1.5	4.4	1.9	2.1	1.3	3.1	3.4	0.0	0.8	0.2	1.3	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.6	68.8	
80～84歳	261	19.9	10.3	3.1	5.0	3.1	5.0	0.4	1.5	1.9	3.8	6.9	0.4	0.4	1.1	1.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.8	64.4	
85歳以上	114	17.5	10.5	4.4	5.3	3.5	4.4	1.8	1.8	3.5	7.9	7.0	0.9	0.9	0.9	1.8	1.8	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	59.6	

(2) 充実すべき高齢者施策

Q81. 松戸市では、介護保険制度以外にも高齢者施策を実施していますが、その施策の必要性についてうかがいます。より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまる全てに○）

「一人暮らしの高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」が41.2%で最も高く、以下、「老人ホームなどの施設を増やす施策」が34.3%、「一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」が33.5%、「低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成」が33.3%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

男性は「要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対して行う介護予防事業」が女性より高く、女性は「在宅介護者の支援のため、紙おむつを支給する制度」、「一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人が、軽易な日常生活の援助を安価で利用できる軽度生活援助事業」、「老人ホームなどの施設を増やす施策」が男性より特に高くなっている。

																	(%)							
		介護保険の利用料・保険料などの助成																						
		低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成																						
回答者数（人）（複数回答）		老人ホームなどの施設を増やす施策	高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策	その他	不明																			
市内1ヶ所の地域包括支援センターで行っている、介護・保健・医療等の総合的な相談窓口	1,476	24.9	20.6	41.2	28.8	33.5	31.5	14.0	15.3	12.7	12.0	12.8	8.2	7.0	8.6	14.2	16.6	2.9	33.3	27.3	15.3	34.3	2.2	17.9
要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に	1,578	22.0	20.3	43.5	30.5	36.8	33.5	14.8	19.0	13.2	12.0	13.7	8.0	6.4	7.9	15.3	15.8	2.7	32.3	27.9	15.7	37.2	1.5	18.1

[年齢]

いずれの年代も「一人暮らし高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」が最も高くなっているが、65~79歳は「老人ホームなどの施設を増やす施策」が、80歳以上は「急病等で自宅に救急車が来た時に救急隊が迅速な対応ができるように、かかりつけ医等の情報を記入し、自宅に備えておく救急時情報用紙の配布」が高くなっている。

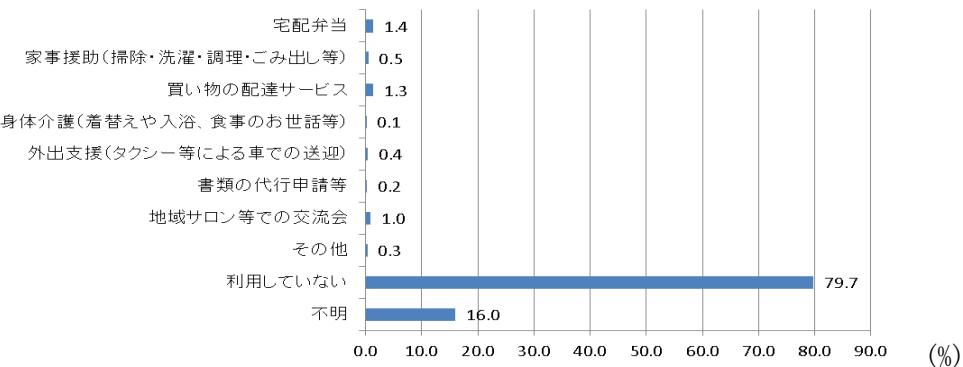
																			(%)					
		介護保険の利用料・保険料などの助成																						
		低所得者の方に対する医療費の自己負担分の助成																						
回答者数（人）（複数回答）		老人ホームなどの施設を増やす施策	高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策	その他	不明																			
市内1ヶ所の地域包括支援センターで行っている、介護・保健・医療等の総合的な相談窓口	3,139	24.9	20.6	41.2	28.8	33.5	31.5	14.0	15.3	12.7	12.0	12.8	8.2	7.0	8.6	14.2	16.6	2.9	33.3	27.3	15.3	34.3	2.2	17.9
要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に	1,187	26.9	22.2	45.5	33.4	38.2	29.2	13.3	15.2	10.5	12.7	13.6	7.8	6.0	6.7	18.4	23.3	2.5	36.8	31.4	17.4	35.2	1.8	12.5
65~69歳	960	25.6	21.3	39.8	29.7	33.4	33.1	14.0	16.6	12.6	13.1	13.9	9.4	7.7	7.9	13.1	15.0	2.8	34.9	25.8	15.4	35.3	2.7	17.9
70~74歳	522	22.6	20.7	37.7	23.6	27.4	34.7	15.7	14.9	17.8	11.7	12.3	8.0	9.6	11.5	12.3	13.0	4.2	29.9	27.4	14.6	35.6	2.1	20.7
75~79歳	261	18.4	14.2	40.2	22.6	27.6	34.5	16.5	14.6	13.8	9.6	8.8	5.4	5.7	11.5	8.0	4.6	1.5	23.8	19.2	10.3	33.0	2.3	27.6
80~84歳	114	22.8	18.4	34.2	21.1	27.2	32.5	8.8	9.6	14.0	7.0	8.8	7.9	2.6	11.4	8.8	9.6	5.3	16.7	14.0	6.1	19.3	1.8	31.6
85歳以上																								

(3) 利用サービス

Q82. あなたは、普段の生活で次のサービス又は支援を利用していますか。（あてはまる全てに○）

「利用していない」が79.7%で突出して高くなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

男性は「宅配弁当」、女性は「買い物の配達サービス」、「地域サロン等での交流会」を利用している。

	回答者数(人)(複数回答)	宅配弁当	し等～家事援助(掃除・洗濯・調理・ごみ出)	買い物の配達サービス	話等～身体介護(着替えや入浴、食事のお世	迎～外出支援(タクシー等による車での送	書類の代行申請等	地域サロン等での交流会	その他	利用していない	不明
全体	3,139	1.4	0.5	1.3	0.1	0.4	0.2	1.0	0.3	79.7	16.0
男性	1,476	1.7	0.5	1.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1	82.7	13.7
女性	1,578	0.9	0.3	1.6	0.0	0.6	0.3	1.5	0.5	77.9	17.4

[年齢]

年齢による大きな特徴の差はみられない。

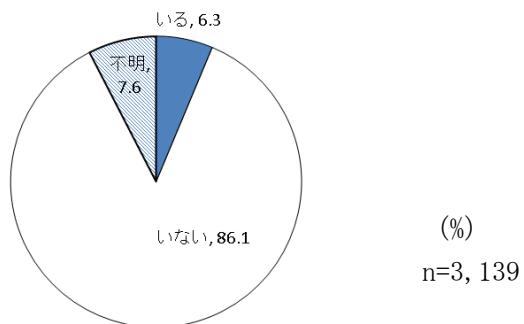
	回答者数(人)	宅配弁当	理家・事務援助(ごみ出し等～掃除・洗濯・調)	買い物の配達サービス	食事介護(～着替えや入浴、	車での送迎～タクシ～等によ	書類の代行申請等	地域サロン等での交流会	その他	利用していない	不明
全体	3,139	1.4	0.5	1.3	0.1	0.4	0.2	1.0	0.3	79.7	16.0
65～69歳	1,187	1.3	0.3	1.4	0.1	0.1	0.3	0.7	0.1	84.8	11.5
70～74歳	960	0.7	0.4	1.0	0.0	0.3	0.3	0.9	0.4	80.4	15.9
75～79歳	522	1.0	0.4	0.8	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0	77.6	19.2
80～84歳	261	4.2	0.8	2.3	0.0	0.8	0.4	1.9	0.8	69.0	21.8
85歳以上	114	1.8	0.0	2.6	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	67.5	24.6

7. 介護者としての状況について

(1) 世話をすべき家族

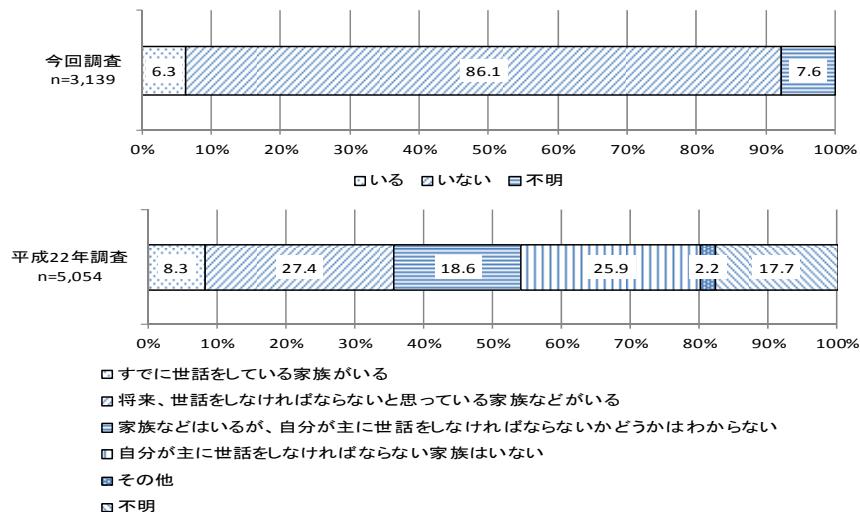
Q83. ご家族の中に、あなたが現に介護をしている方はいますか。(どちらかに○)

「いる」が6.3%、「いない」が86.1%となっている。

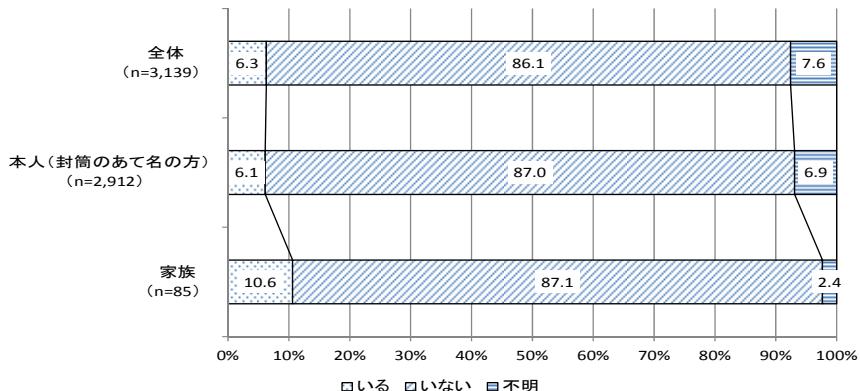


[経年比較]

前期計画時の調査（平成22年度）結果とは、選択肢が異なるため厳密に比較はできないが、参考として掲載する。

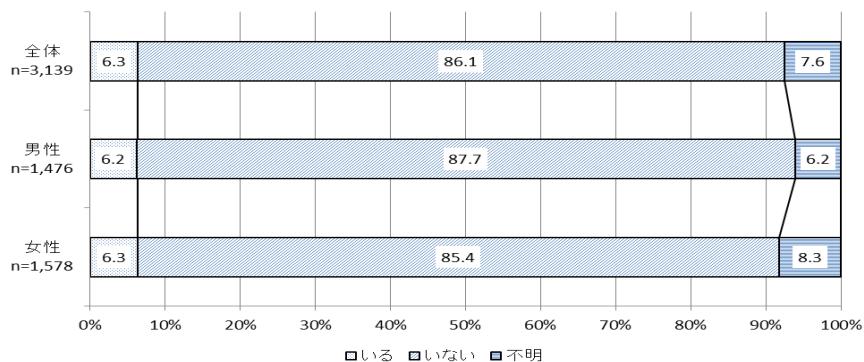


[回答者別]



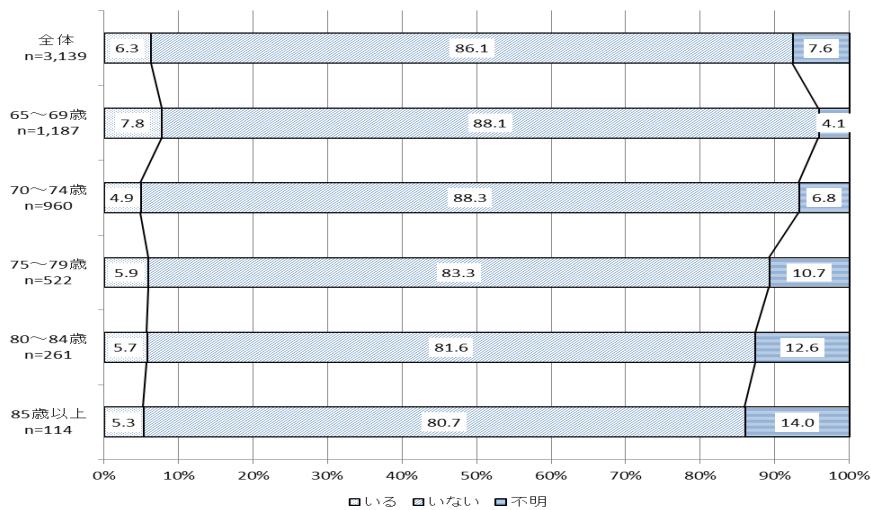
[性別]

性別による大きな特徴の差はみられない。



[年齢]

年齢による大きな特徴の差はみられない。

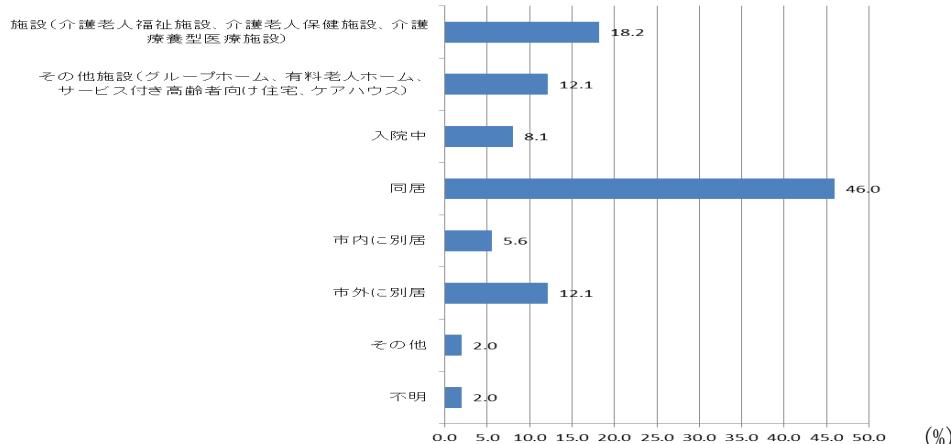


(2) 被介護者の所在地

Q84. その方は、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまる全てに○)

「同居」が46.0%で最も高く、以下、「施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）」が18.2%、「その他施設（グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス）」、「市外に別居」がともに12.1%などとなっている。

n=198 (複数回答)



[性別]

男性（44.0%）、女性（48.0%）ともに在宅での介護が突出して高くなっている。

回答者数 （人） （複数）	設施 （） 設 介 護 老 護 養 人 老 型 保 人 医 健 福 療 施 社 施 施	（%）							
		ス 者 ム ホ そ ー 向 け サ ム 他 住 一 、 施 宅 ビ 有 設 、 ス 料 （ ケ 付 老 グ ア き 人 ル ハ 高 ホ ウ 齢 ） ブ	入 院 中	同 居	市 内 に 別 居	市 外 に 別 居	そ の 他	不 明	
全体	198	18.2	12.1	8.1	46.0	5.6	12.1	2.0	2.0
男性	91	19.8	14.3	5.5	44.0	4.4	13.2	1.1	1.1
女性	100	17.0	11.0	10.0	48.0	7.0	12.0	3.0	1.0

[年齢]

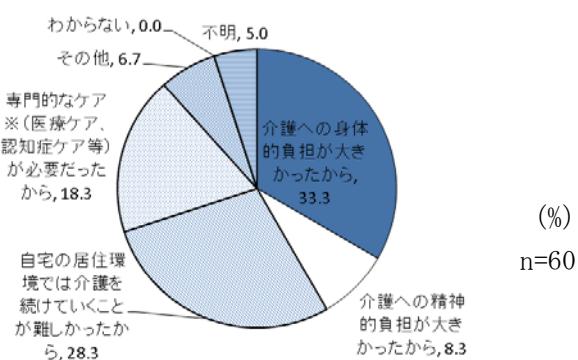
65～69歳は「施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）」が高く、75歳以上は「同居」が高くなっています。老々介護の一端が伺えます。

回答者数 （人） （複数）	設施 （） 設 介 護 老 護 養 人 老 型 保 人 医 健 福 療 施 社 施 施	（%）							
		ス 者 ム ホ そ ー 向 け サ ム 他 住 一 、 施 宅 ビ 有 設 、 ス 料 （ ケ 付 老 グ ア き 人 ル ハ 高 ホ ウ 齢 ） ブ	入 院 中	同 居	市 内 に 別 居	市 外 に 別 居	そ の 他	不 明	
全体	198	18.2	12.1	8.1	46.0	5.6	12.1	2.0	2.0
65～69歳	92	23.9	15.2	7.6	34.8	7.6	19.6	1.1	0.0
70～74歳	47	19.1	14.9	6.4	42.6	4.3	10.6	4.3	0.0
75～79歳	31	6.5	3.2	6.5	67.7	6.5	3.2	3.2	3.2
80～84歳	15	13.3	6.7	20.0	66.7	0.0	0.0	0.0	6.7
85歳以上	6	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 施設希望の理由

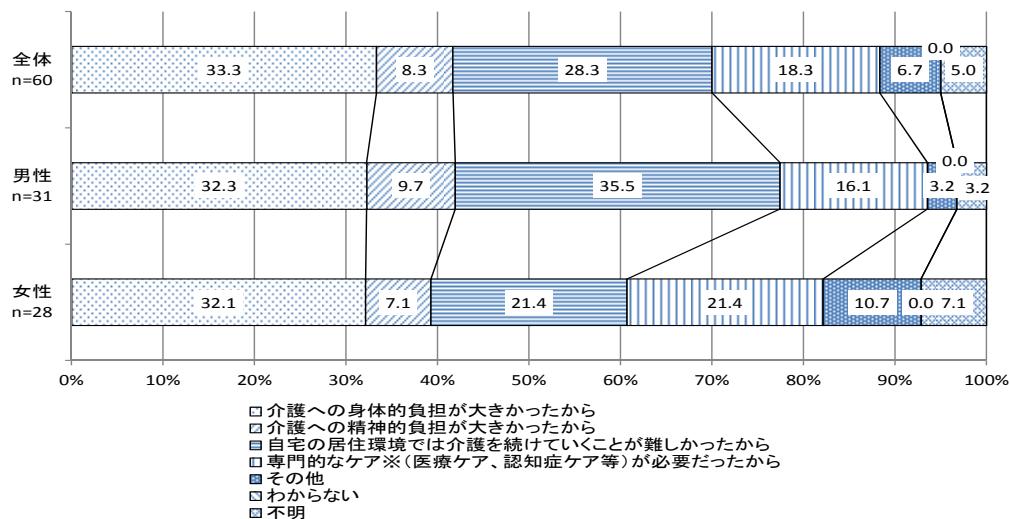
Q84-1. 施設への入所を選んだ主な理由を教えてください。（1つに○）

「介護への身体的負担が大きかったから」が33.3%で最も高く、以下、「専門的なケアが必要だったから」が18.3%、「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が28.3%などとなっています。



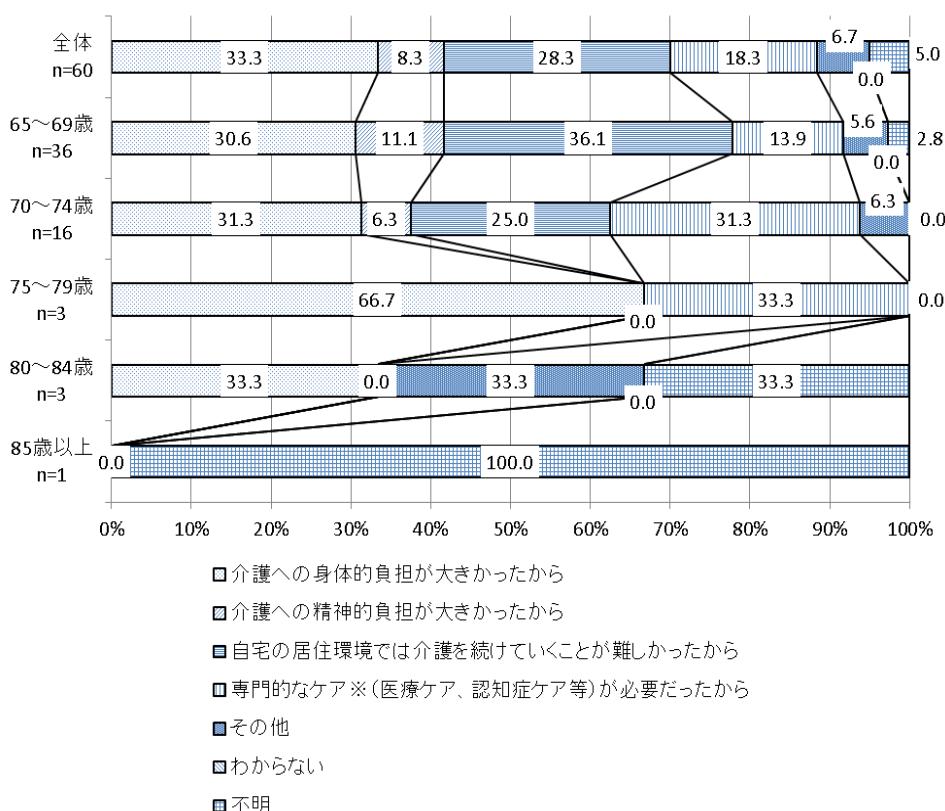
[性別]

「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」は男性（35.5%）が女性（21.4%）より14.1ポイント高くなっています、「専門的ケアが必要だったから」は女性（21.4%）が男性（16.1%）より5.3ポイント高くなっています。



[年齢]

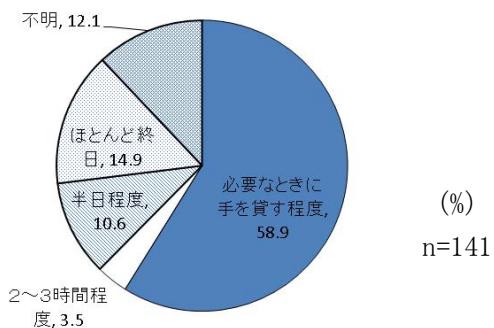
年齢別では、75～79歳の「介護への身体的負担が大きかったから」が66.7%で、突出して高くなっています。



(4) 介護をしている時間

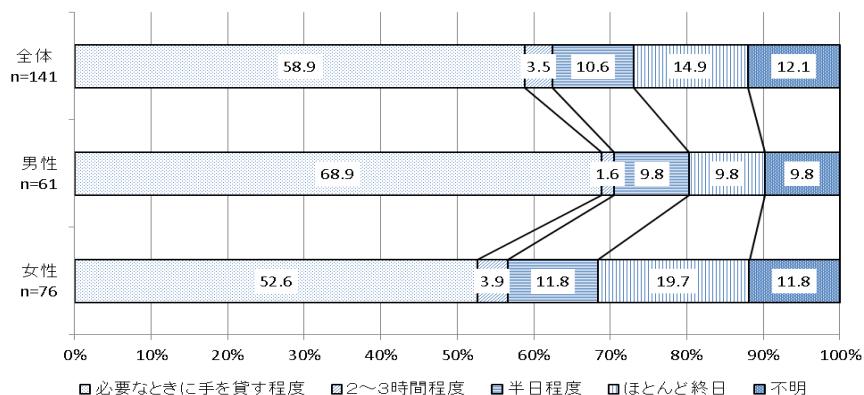
Q84-2. その方へ見守りを含め介護する時間は一日どのくらいですか。(1つに○)

「必要なときに手を貸す程度」が58.9%で最も高く、以下、「ほとんど終日」が14.9%、「半日程度」が10.6%、「2~3時間程度」が3.5%となっている。



[性別]

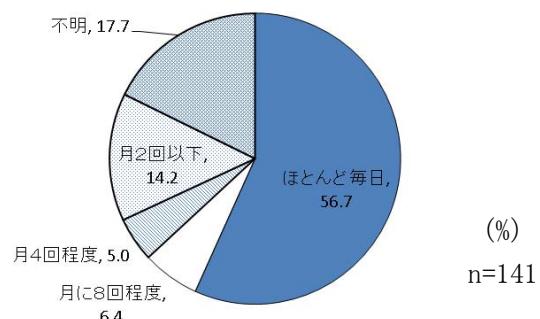
「必要なときに手を貸す程度」は男性(68.9%)が女性(52.6%)より16.3ポイント高くなっている。
「半日程度」は女性(11.8%)が男性(9.8%)より2.0ポイント高くなっている。



(5) 介護日数

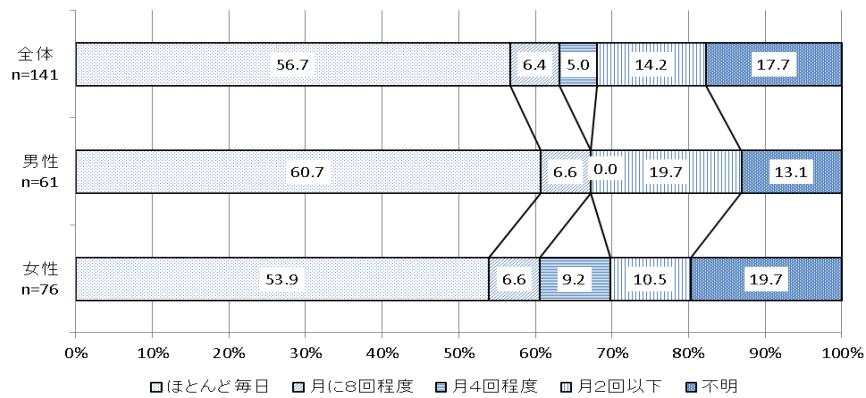
Q84-3. その方を一か月にどのくらい介護していますか。(1つに○)

「ほとんど毎日」が56.7%で最も高くなっているが、次が「月2回以下」の14.2%となっており、頻度に差がある。



[性別]

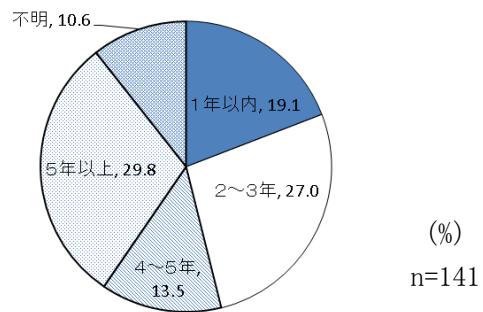
「ほとんど毎日」の男性（60.7%）が女性（53.9%）より6.8ポイント高く、逆に「月2回以下」の男性（19.7%）が女性（10.5%）より9.2ポイント高くなっている。頻度の多寡に差がある。



(6) 介護期間

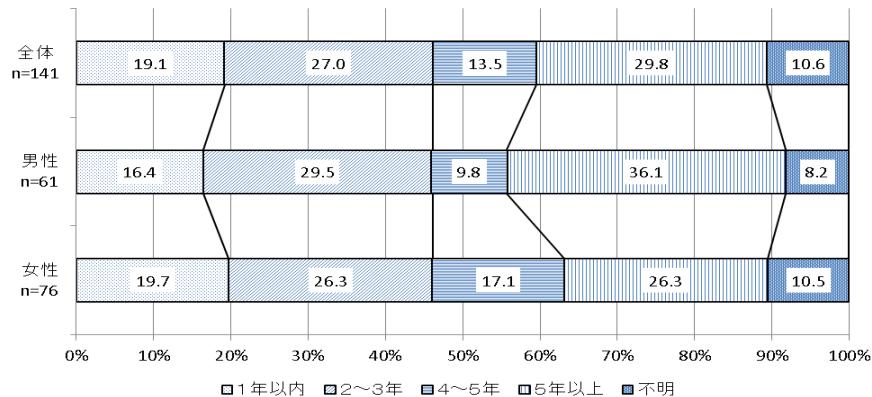
Q84-4. これまでの介護期間はどのくらいですか。（1つに○）

「5年以上」が29.8%で最も高く、以下、「2～3年」が27.0%、「1年以内」が19.1%、「4～5年」が13.5%となっている。



[性別]

男性の「5年以上」が36.1%と比較的高くなっている。

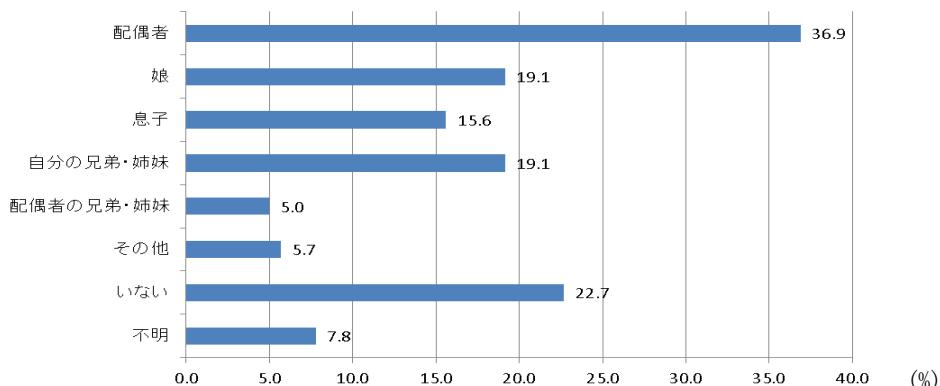


(7) 協力者

Q84-5. その方の介護にあたり協力者はいますか。(あてはまるもの全てに○)

「配偶者」が36.9%で最も高く、以下、「いない」が22.7%、「娘」、「自分の兄弟・姉妹」がともに19.1%、「息子」が15.6%などとなっている。

n=141 (複数回答)



[性別]

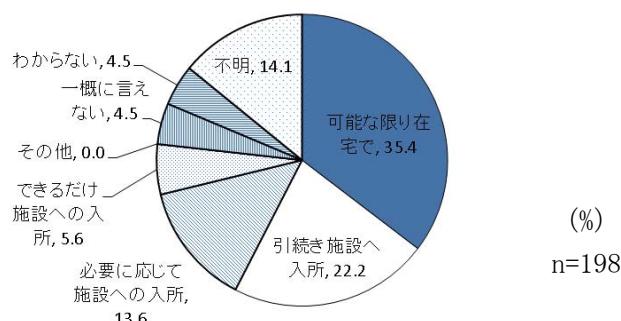
男性は「配偶者」、「配偶者の兄弟・姉妹」が、女性は「いない」、「自分の兄弟・姉妹」が高くなっている。

	答～回 ～複人答 数～者 回 数	配偶 者	娘	息 子	弟自 ・分 姉の 妹兄	妹兄配 弟偶 ・者 姉の	そ の 他	い な い	不 明
全体	141	36.9	19.1	15.6	19.1	5.0	5.7	22.7	7.8
男性	61	41.0	18.0	16.4	18.0	6.6	4.9	21.3	8.2
女性	76	32.9	18.4	15.8	21.1	3.9	6.6	25.0	6.6

(8) 介護方法

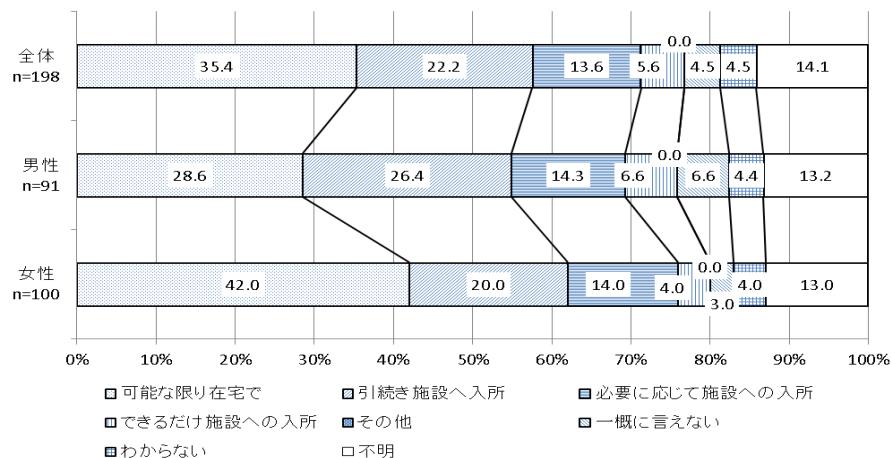
Q85. 今後の介護の方法はどのように考えていますか。(1つに○)

「可能な限り在宅で」が35.4%で最も高く、以下、「引き続き施設へ入所」が22.2%、「必要に応じて施設への入所」が13.6%などとなっている。



[性別]

「可能な限り在宅で」は女性（42.0%）が男性（28.6%）より13.4ポイント高くなっている。

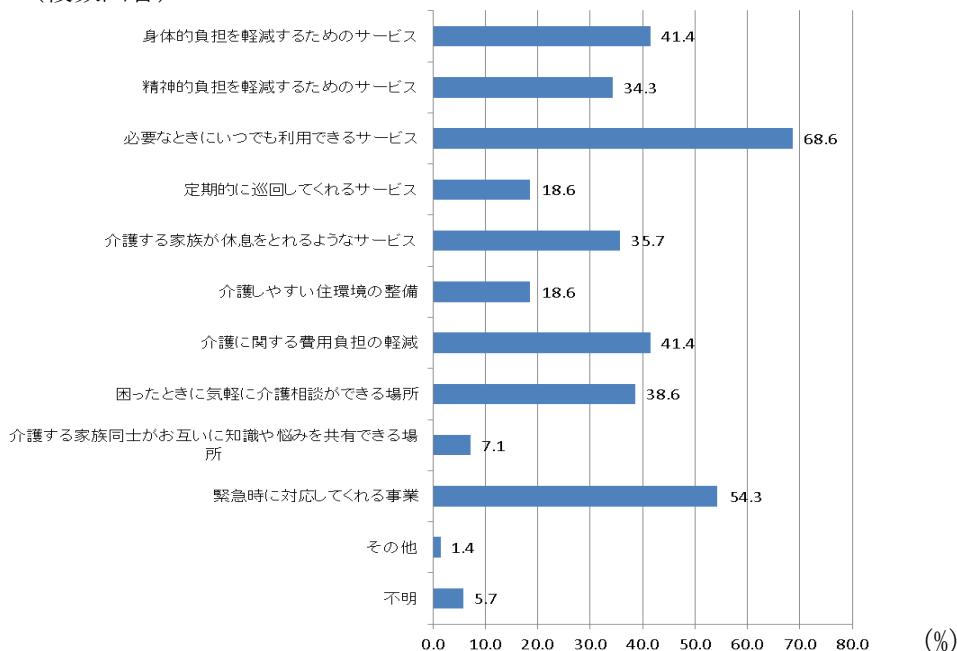


(9) 在宅介護に必要

Q85-1. 可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「必要なときにいつでも利用できるサービス」が68.6%で最も高く、以下、「緊急時に対応してくれる事業」が54.3%、「身体的負担を軽減するためのサービス」、「介護に関する費用負担の軽減」がともに41.4%などとなっている。

n=70 (複数回答)



[性別]

男女ともに「必要なときにつつても利用できるサービス」が高くなっているが、「緊急時に応じてくれる事業」、「介護する家族が休息をとれるようなサービス」において、女性が男性より特に高くなっている。

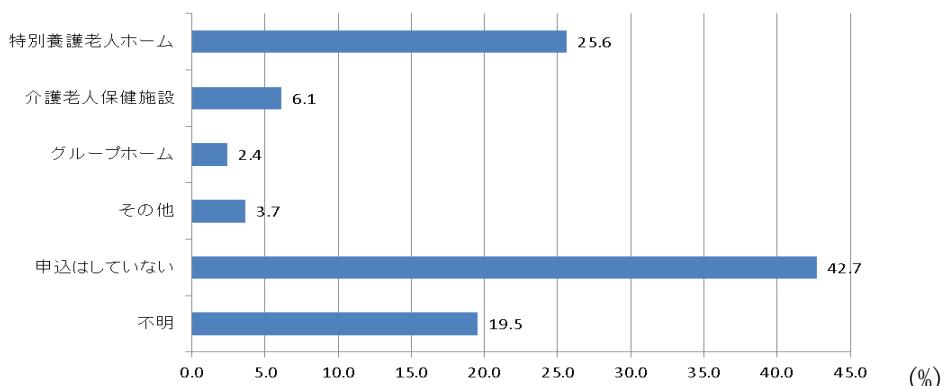
	サ減身 サ減精 るつ必 ステ定期 う休介 環境介 用介 で軽困 場惱が介 て緊く その他 不明	一回 複答 数者 回答 回数 答 ～人 ～	サ減身 サ減精 るつ必 サで要 ステ定期 う休介 環境介 用介 で軽困 場惱が介 て緊く その他 不明	サ減身 サ減精 るつ必 ビリと ステ定期 う休介 環境介 用介 で軽困 場惱が介 て緊く その他 不明									
全體	70	41.4	34.3	68.6	18.6	35.7	18.6	41.4	38.6	7.1	54.3	1.4	5.7
男性	26	42.3	30.8	73.1	19.2	23.1	23.1	38.5	38.5	0.0	42.3	3.8	0.0
女性	42	40.5	35.7	66.7	16.7	40.5	14.3	42.9	38.1	11.9	61.9	0.0	9.5

(10) 申込施設

Q85-2. 既に申込みをしている施設はありますか。(あてはまる全てに○)

「申込はしていない」が42.7%、申込をしている施設は「特別養護老人ホーム」が25.6%となっている。

n=82 (複数回答)



[性別]

「特別養護老人ホーム」は男性 (32.6%) が女性 (18.4%) より14.2ポイント高くなっている。

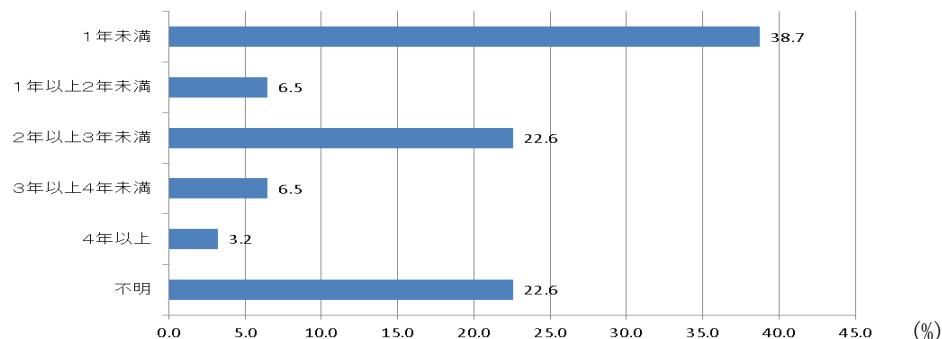
	答へへ回 複人答 數者 回 数	ム老特 人別 木養 護	保健 施設 老 設	ホグ ル ム	そ の 他	て申 い込 なは いし	不 明
全體	82	25.6	6.1	2.4	3.7	42.7	19.5
男性	43	32.6	9.3	2.3	2.3	41.9	11.6
女性	38	18.4	2.6	2.6	5.3	42.1	28.9

(11) 申込期間

Q85-3. 最初に施設の申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。(1つに○)

「1年未満」が38.7%で最も高く、以下、「2年以上3年未満」が22.6%、「1年以上2年未満」、「3年以上4年未満」がともに6.5%、「4年以上」が3.2%となっている。

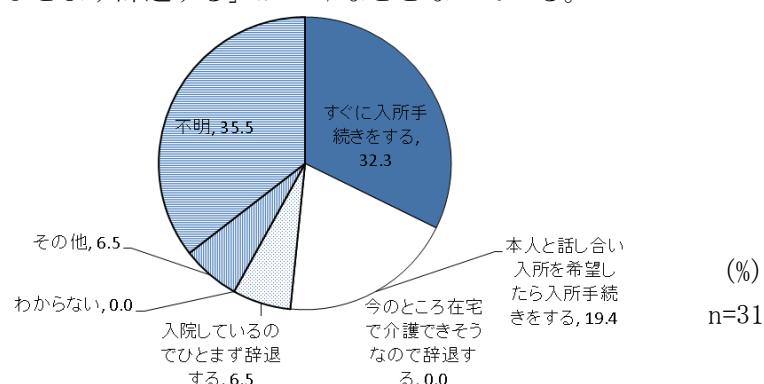
n=31



(12) 入所許可時の対応

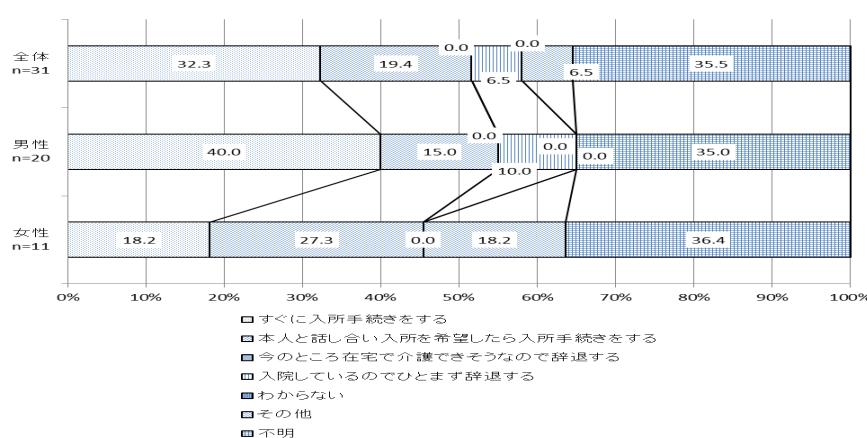
Q85-4. 施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。(1つに○)

「すぐに入所手続きをする」が32.3%、「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」が19.4%、「入院しているのでひとまず辞退する」が6.5%などとなっている。



[性別]

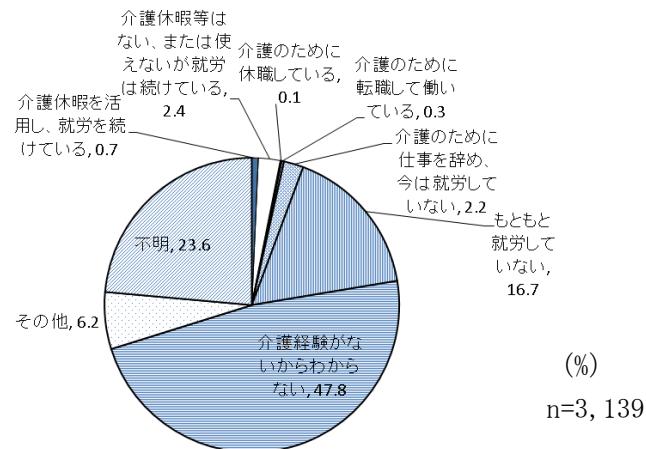
男性は「すぐに入所手続きをする」が40.0%、女性は「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」が27.3%で最も高くなっている。



(13) 就労状況

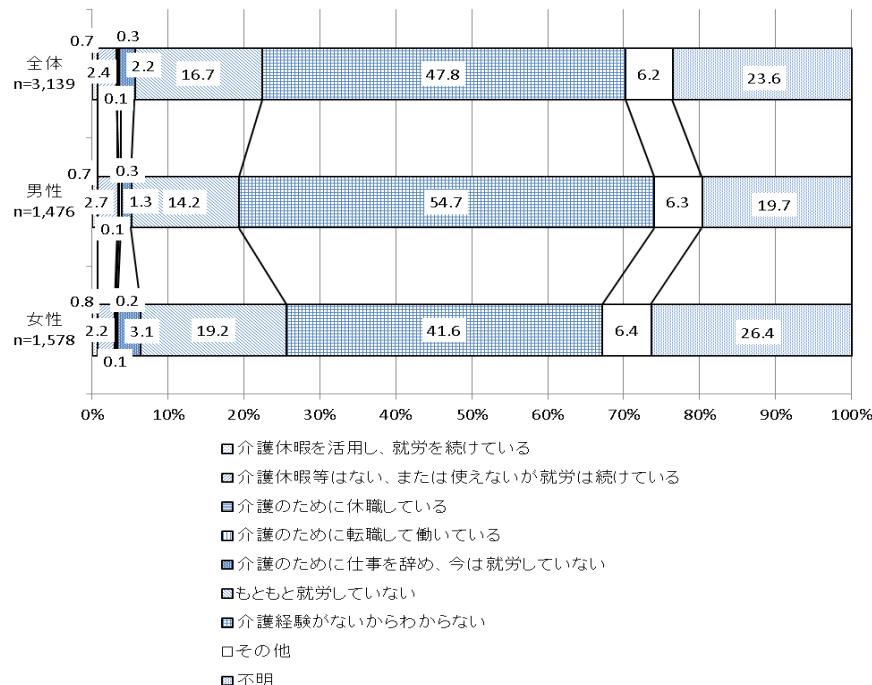
Q86. あなたは、これまで介護をすることによって就労状況に変化がありましたか。(1つに○)

「介護経験がないからわからない」が47.8%で最も高く、以下、「もともと就労していない」が16.7%、「介護休暇等はない、または使えないが就労は続けている」が2.4%などとなっている。



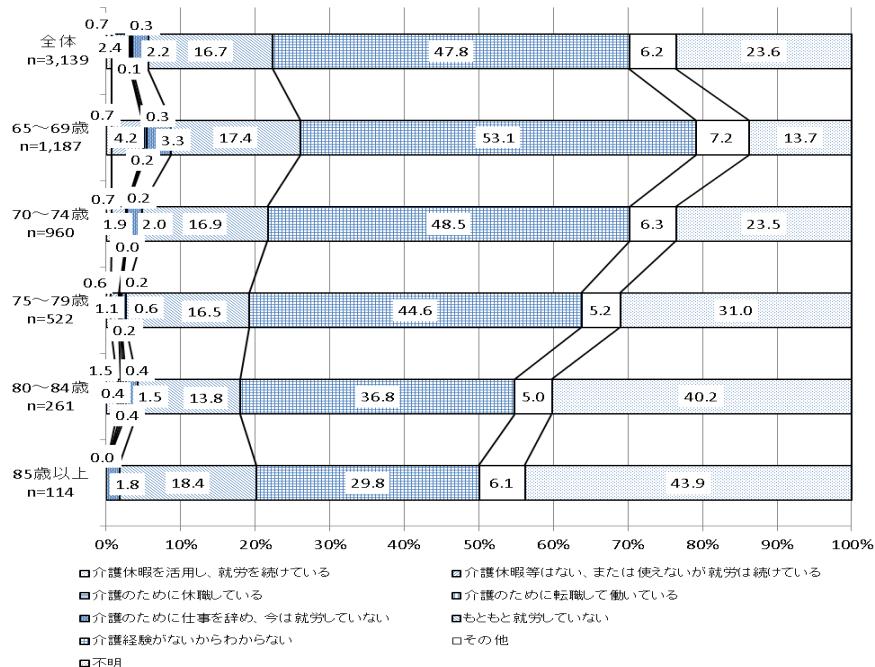
[性別]

男性、女性ともに「介護経験がないからわからない」が最も高く、以下「もともと就労していない」、「介護休暇等はない、または使えないが就労は続けている」などとなっている。



[年齢]

いずれの年代も「介護経験がないからわからない」が最も高く、以下「もともと就労していない」、「介護休暇等はない、または使えないが就労は続けている」などとなっている。

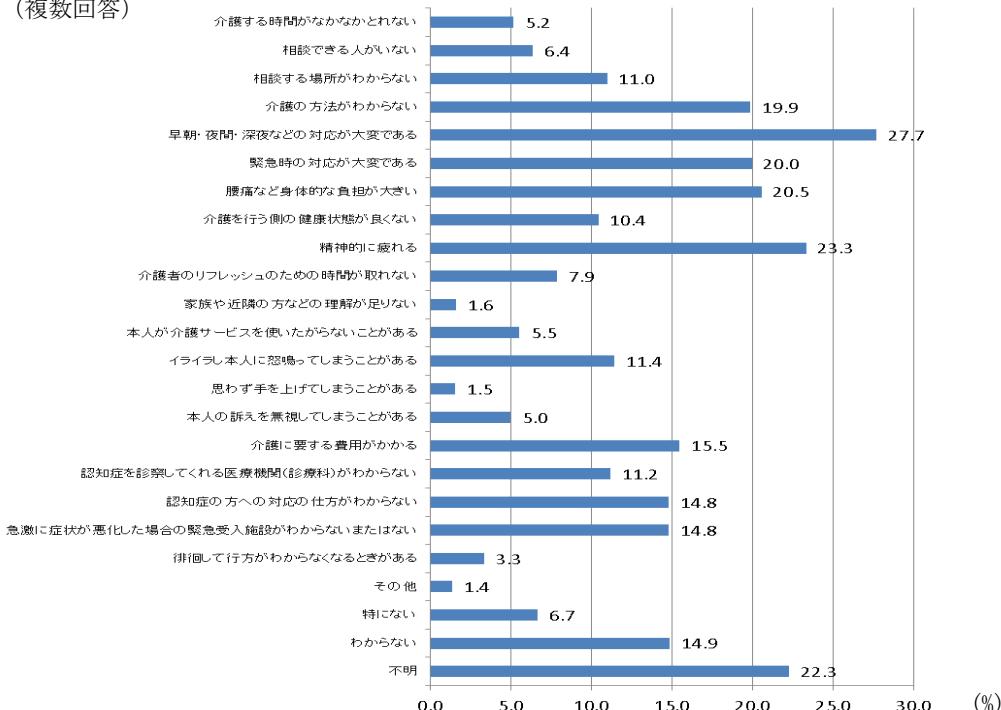


(14) 介護上の困りごと等

Q87. あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまる全てに○）

「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」が27.7%で最も高く、以下、「精神的に疲れる」が23.3%、「腰痛など身体的な負担が大きい」が20.5%、「緊急時の対応が大変である」が20.0%、「介護の方法がわからない」が19.9%などとなっている。

n=3,139 (複数回答)



[性別]

男女ともに「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」が高くなっているが、「腰痛など身体的な負担が大きい」は女性（26.1%）が男性（15.2%）より10.9ポイント高くなっている。

		(%)																							
		わからない	特にな	その他	不明																				
回答者数（人）（複数回答）	介護する時間がなかなかとれない	相談できる人がいない	相談する場所がわからない	介護する方法がわからない	相談する時間がなかなかとれない	早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	緊急時の対応が大変である	腰痛など身体的な負担が大きい	介護を行う側の健康状態が良くな	精神的に疲れる	間が取れない	介護者のリフレッシュのための時	な家族や近隣の方などの理解が足り	本人が介護サービスを使いたがら	ことがある	本人が怒鳴つてしま	い	徘徊して行方がわからなくなると	徘徊して行方がわからなくなると						
全体	3,139	5.2	6.4	11.0	19.9	27.7	20.0	20.5	10.4	23.3	7.9	1.6	5.5	11.4	1.5	5.0	15.5	11.2	14.8	14.8	3.3	1.4	6.7	14.9	22.3
男性	1,476	6.0	8.1	13.1	24.6	27.2	21.7	15.2	8.5	19.9	6.8	1.6	4.2	12.1	1.8	5.0	14.4	11.0	16.7	13.6	3.0	0.7	8.3	17.9	17.7
女性	1,578	4.4	4.8	9.1	15.5	28.8	18.8	26.1	12.4	26.8	8.9	1.6	6.8	11.3	1.2	5.1	16.7	11.5	13.2	16.1	3.7	2.0	5.3	12.2	25.9

[年齢]

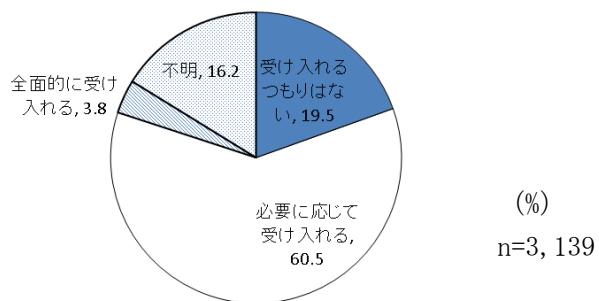
年齢による大きな特徴の差はみられない。

		(%)																							
		わからない	特にな	その他	不明																				
回答者数（人）（複数回答）	介護する時間がなかなかとれない	相談できる人がいない	相談する場所がわからない	介護する方法がわからない	相談する時間がなかなかとれない	早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	緊急時の対応が大変である	腰痛など身体的な負担が大きい	介護を行う側の健康状態が良くな	精神的に疲れる	間が取れない	介護者のリフレッシュのための時	な家族や近隣の方などの理解が足り	本人が介護サービスを使いたがら	ことがある	本人が怒鳴つてしま	い	徘徊して行方がわからなくなると	徘徊して行方がわからなくなると	徘徊して行方がわからなくなると					
全体	3,139	5.2	6.4	11.0	19.9	27.7	20.0	20.5	10.4	23.3	7.9	1.6	5.5	11.4	1.5	5.0	15.5	11.2	14.8	14.8	3.3	1.4	6.7	14.9	22.3
65～69歳	1,187	6.8	7.2	10.9	22.2	32.5	22.0	22.7	9.3	28.6	10.6	1.7	6.8	14.3	2.3	7.2	19.3	11.8	16.3	15.9	4.2	1.4	7.2	16.3	12.5
70～74歳	960	4.7	6.9	12.5	20.7	28.2	20.0	21.4	11.0	23.6	7.9	2.0	4.9	11.5	1.3	4.8	16.7	12.0	16.0	15.4	3.1	1.0	6.4	15.6	22.1
75～79歳	522	4.6	6.7	11.7	19.2	26.4	19.9	20.3	12.6	19.5	5.4	1.9	4.8	10.0	1.1	2.9	12.1	11.5	15.3	15.7	3.3	1.3	6.1	12.8	28.0
80～84歳	261	1.9	2.7	6.9	12.6	17.6	18.4	17.2	11.1	15.7	3.1	0.0	5.0	7.7	0.4	2.7	8.0	9.6	7.3	10.7	1.1	2.3	6.1	11.1	40.2
85歳以上	114	2.6	1.8	7.0	9.6	14.0	9.6	8.8	8.8	7.0	2.6	0.9	2.6	3.5	0.0	0.9	3.5	4.4	7.0	6.1	2.6	1.8	7.9	14.0	47.4

(15) 地域ボランティア

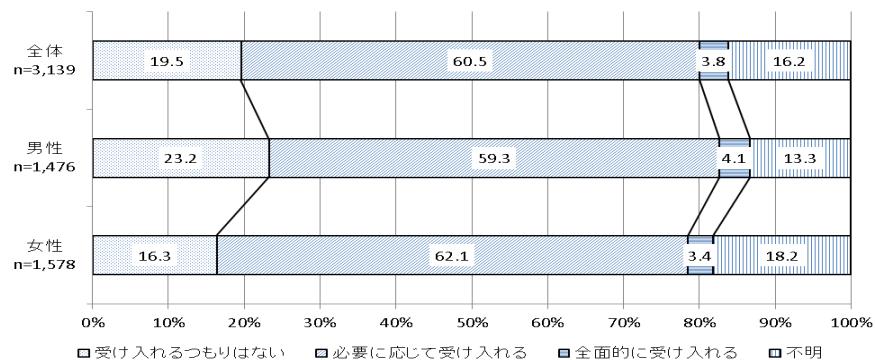
Q88. ご自身もしくはご家族の介護のために、地域のボランティアを受け入れてもよいと思いませんか。(1つに○)

「必要に応じて受け入れる」が60.5%、「受け入れるつもりはない」が19.5%、「全面的に受け入れる」が3.8%となっている。



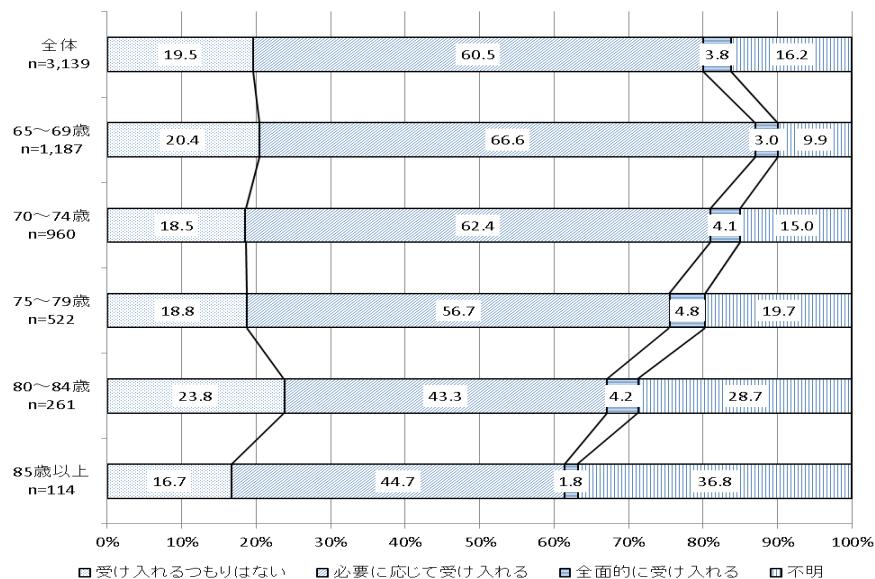
[性別]

男性、女性ともに「必要に応じて受け入れる」が59.3%、62.1%で最も高くなっているが、「受け入れるつもりはない」は男性(23.2%)が女性(16.3%)より6.9ポイント高くなっている。



[年齢]

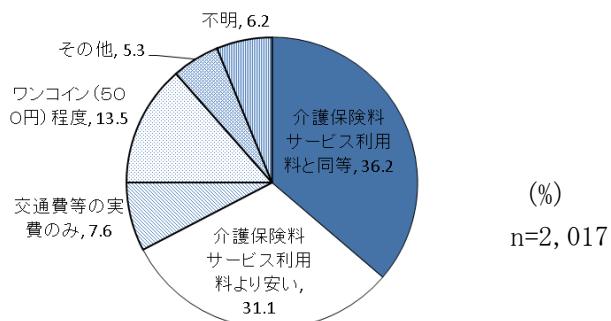
いずれの年代も「必要に応じて受け入れる」が最も高くなっているが、80~84歳は「受け入れるつもりはない」の割合が高くなっている。



(16) 地域ボランティア費用

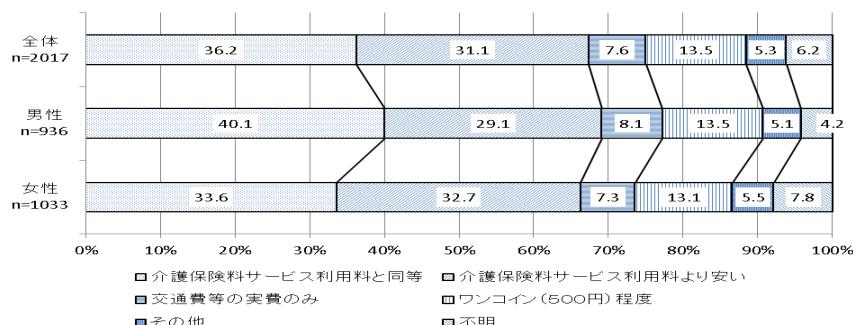
Q88-1. その際の費用はどれくらいが適切だと思いますか。(1つに○)

「介護保険料サービス利用料と同等」が36.2%、「介護保険料サービス利用料より安い」が31.1%、「ワンコイン（500円）程度」が13.5%、「交通費等の実費のみ」が7.6%となっている。



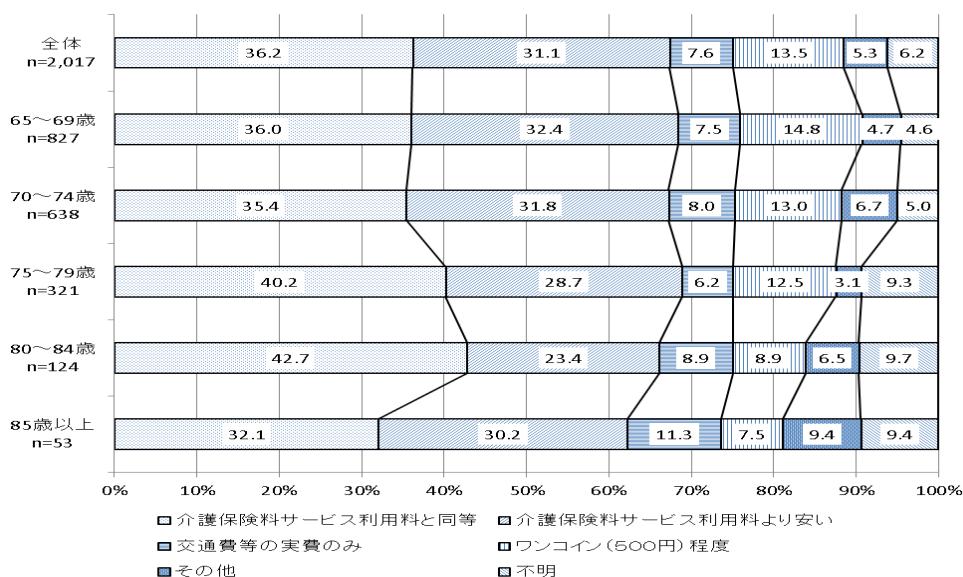
[性別]

男性、女性ともに「介護保険料サービス利用料と同等」が40.1%、33.6%で最も高く、以下、「介護保険料サービス利用料より安い」が29.1%、32.7%、「ワンコイン（500円）程度」が13.5%、13.1%、「交通費等の実費のみ」が8.1%、7.3%となっている。



[年齢]

いずれの年代も「介護保険料サービス利用料と同等」が最も高く、以下、「介護保険料サービス利用料より安い」、「ワンコイン（500円）程度」、「交通費等の実費のみ」となっているが、ほかに比べ、75～84歳は「介護保険料サービス利用料と同等」の割合が高くなっている。



8. まとめと考察

●身体状態や日常の生活状況について

地域活動等への参加状況については、「参加していない」が68%であり、前期計画時の調査（平成22年度）の約40%に比べ、約30ポイントも参加者が減っている状況にある。

参加している活動については、「地域行事（祭りなどの地域の催しもの）」の18%といった一過性の参加に留まっている。

また、参加していない理由については、65～79歳は「参加したいと思う活動がないから」で、80～84歳は「健康や体力に自信がないから」、85歳以上は「団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」が最も高く、時間的な制約より内容や形態上の理由が高くなっている。

今後、参加してみたい活動についても、「特にない」が56%と突出して高く、既存の地域活動に対しては、生活の営みにおける優先順位の低さが伺える。

地域包括ケアシステムの構築にあたっては、地域コミュニティや地域ネットワークの整備が重要となるため、互助機能の再生に対する関心、意識の向上を図らなければならず、より参加意欲が高まり、かつ無理なく気軽に参加できる活動方法などを検討していく必要がある。

隣近所との付き合いの程度については、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が約40%、「あいさつをする程度の人はいる」が32%、「つきあっている人はほとんどいない」が約8%であり、「親しく述べている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が18%となっており、まだ、辛うじて人間関係が保たれている状況にある。

男性は、「親しく述べている人（訪問したり、悩みごとを相談するなど）がいる」が約10%で女性の26%に比べて低く、付き合いの浅さが伺える。

一方、女性は、就業率及び平均寿命の男女差などから、配偶者以外の人との付き合いもやや深くなっているものと推察される。

健康感については、『健康』が約80%と、前期計画時の調査（平成22年度）の結果と比べても大きな変化はない。

●こころのハリと生きがい等について

日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を『感じている』人は全体の約70%、『感じていない』人は全体の23%であり、前期計画時の調査（平成22年度）の結果（73%、23%）と比べても大きな変化はない。

「こころのハリ」や「生きがい」を感じることは、男女ともに「旅行や買い物などの外出」が高く、年代では、65～79歳は「旅行や買い物などの外出」が、80歳以上は「テレビやラジオの視聴」が高くなっている。

また、健康感の高くなっている人は「こころのハリ」や「生きがい」を感じており、健康維持や介護予防の推進の重要性が伺える。

やはり高齢になるにつれ、屋内での生活に移行していく傾向が伺えるため、そのまま孤立や閉じこもりなどに陥らないよう、見守りや声かけなどによる社会とのつながりが必要になっていくものと推察される。

「働くこと（自営・家事等を含む）」、「スポーツ・レクリエーション」、「家族との団らん」及び「旅行や買い物などの外出」など活動的な生活を送っている人は健康感が高くなっているが、逆に健康ではない人は活動的な生活を送ることが難しいとも推察できる。

生活の中で不安や心配が『ある』人は全体の56%、『ない』人は全体の40%であった。

また、どのようなことを不安・心配に感じているかは「自分の体調や病気について」が、性別、年齢にかかわらず、突出して高くなっているが、健康回復や要介護度の重度化抑制の重要性が伺える。

「生きがい」や「こころのハリ」を感じるかと同様に、健康状態、家族や社会、地域での役割にお

ける満足度による差が見られる。

現行計画では、就労対策や生きがい対策、健康に関する事業、地域ケアの充実を図るための事業が実施されているが、今回のアンケート調査結果からも、これらの事業を今後も充実を図りながら進めることが必要であると言える。

●介護保険や権利擁護の制度について

介護保険制度の認知度については、「65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決まる」が最も高く、「介護保険は、被保険者が納める保険料と利用者の1割の負担金のほかに、約半分は税金を財源にしている」が低い。財源構成に公費が投入されていることへの認識は薄い。

また、地域包括支援センターの認知度については、約64%が「知らない」状況である。

地域包括ケアシステムの構築及び介護保険事業の健全運営を推進する上で、中心的な役割を担う機関であるため、さらなる周知を図り、地域に根ざしていく必要がある。

介護保険料については、『負担である』が61%で、『負担ではない』が25%である。

受けられるサービスについては、「保険料などの負担が増えても施設サービスも在宅サービスも両方を充実していくべきである」が27%、「保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである」が24%となっており、この受益と負担に対する意見は割れている。

当該調査対象である一般高齢者層は65歳以上の第1号被保険者であるため、サービス供給の充実に対し、保険料の負担増を実施した場合、特別徴収においては、年金受給額に影響が生じることになり、普通徴収においては、滞納につながる恐れがある。

権利擁護の制度や仕組みの認知度については、「クーリングオフ制度」が45%、「成年後見制度」が40%、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」が31%となっているが、前期計画時の調査（平成22年度）に比べ、「クーリングオフ制度」では、18ポイントも低下している。

制度として一定程度浸透した結果、逆に取り上げられることが少なくなり、風化してしまったということも推察され、今後も継続的な周知、啓発活動が必要である。

●認知症について

認知症の認知度については、「脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある」のみ、男性、女性ともに「知っている」に差がないが、他の項目は、すべて女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

特に男性に対し、引き続き、認知症についての情報や学習の機会を提供することの必要性が伺える。

●今後の生活について

今後の生活については、「現在の住まいでの介護をうけたい」が29%で最も高くなっている。

在宅介護を希望する理由として、女性は「施設に入るだけの経済的余裕がないから」に対し、男性は「施設で他人の世話になるのはいやだから」や「施設を利用するに抵抗を感じるから」が高くなっている、性別による平均寿命の差による傾向も伺える。

夫に先立たれた女性（妻）の経済力、妻による世話に依存する男性（夫）の家事力に対し、扶助やヘルプサービスだけでなく、介護予防の観点からの貯蓄の推奨や自立心の向上を図る必要性も高いものと考える。

●市の高齢者施策について

男性は「一人暮らしの高齢者の人が、急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与」が40%で在宅志向、女性は「老人ホームなどの施設を増やす施策」が37%で施設志向が最も高く、ここでも、性別による平均寿命の差による傾向が伺える。

●主な介護者（お世話をする側）について

施設入所を希望する理由としては、「介護への身体的負担が大きかったから」が最も高く、在宅で介護することを望みながらも、現実的な疲労感を抱えていることが伺える。

また、介護上の困りごとについては、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」、「精神的に疲れる」及び「腰痛など身体的な負担が大きい」が高くなっていることから、介護者の肉体的、精神的負担が大きいことがわかる。今後も介護者へのケアが重要である。

介護者として、地域ボランティアの受入れについては、男女ともに「必要に応じて受け入れる」が最も高くなっているが、男性は「受け入れるつもりはない」も女性に比べて高くなっています、妻や家族による介護への依存心が伺える。

**「いきいき安心プランVまつど」(第7期高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画)
策定にかかる市民アンケート調査 報告書**

平成27年3月

発行 松戸市
〒271-8588 松戸市根本387番地の5
電話 047-366-1111（代表）
編集 松戸市 福祉長寿部 高齢者支援課・介護保険課

